

## □平成 17 年度 研究活動報告□

大谷藤郎総長

### 著書

- ・「医の倫理と人権」共に生きる社会へ，医療文化社，2005.7
- ・理想の病院を求めて（分担執筆），医療行政を見つめてきて，50-76，医療文化社，2005.9
- ・柘の垣を越えた 大谷藤郎先生と全生園自治会と・・・（対談平沢記録），全生互恵会，2005.12

### 総説

- ・社会医学について，リハビリテーションひろば，39，4-5，2005.12

### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

日本重症心身障害学会（名誉会長），日本公衆衛生学会（名誉会員），日本ハンセン病学会

保健学部（看護学科）

### 著書

- ・渡辺孝子（編集）：がん化学療法看護，序文：がん化学療法看護，11，南江堂，2006.2.5
- ・豊嶋三枝子（編著）：手順・留意点・根拠で学ぶ実践看護技術，第Ⅱ部診察・検査に伴う援助技術，92-120，第Ⅲ部治療に伴う援助技術，192-218，杏林図書，2006.3
- ・村松由紀（分担執筆）：がん化学療法看護，白血病患者の看護のポイント，303-306，南江堂，2006.2
- ・村松由紀（分担執筆）：がん化学療法看護，悪性リンパ腫患者の看護のポイント，311-313，南江堂，2006.2
- ・村松由紀（編集，分担執筆）：手順・留意点・根拠で学ぶ 実践看護技術，第1部 第1章 環境調整技術，2-13，杏林図書，2006.3
- ・村松由紀（編集，分担執筆）：手順・留意点・根拠で学ぶ 実践看護技術，第1部 第2章 活動・休息援助技術，14-33，杏林図書，2006.3
- ・村松由紀（編集，分担執筆）：手順・留意点・根拠で学ぶ 実践看護技術，第1部 第5章 排泄援助技術，74-90，杏林図書，2006.3
- ・村松由紀（編集，分担執筆）：手順・留意点・根拠で学ぶ 実践看護技術，第3部 第3章 与薬の技術，166-191，杏林図書，2006.3
- ・糸井裕子（共著）：心理療法ハンドブック（乾 吉佑，氏家 寛，亀口憲治他編），ニューカマー家族，96-97，創元社，2005.9
- ・糸井裕子（共著）：手順・根拠・留意点で学ぶ，実践看護技術（豊嶋三枝子，村松由紀編），第1章，創傷管理技術 第2章，救急救命技術，122-145，146-165，杏林図書，2006.3
- ・戈木クレイグヒル滋子，上原和代，松林由恵 他2名（分担執筆）：質的研究方法ゼミナールーグラウンデッドセオリーアプローチを学ぼう，セッション5 ラベル名をつける，セッション7 比較をする，94-105，126-141，医学書院，2005.9

## 原著論文

- ・ 中西睦子：高度専門看護実践における知識の可視化研究，看護研究，38(7)，2005.12
- ・ 中西睦子：看護行為マスターの開発とその概要，看護管理，15(7)，2005.7
- ・ 中西睦子：高度専門看護実践のサブシステムライブラリーへの展開，看護管理，15(7)，2005.7
- ・ 渡辺孝子：看護学生の喫煙行動と影響要因，第36回日本看護学会－看護教育論文集，113-115，2005.12.12
- ・ 中崎啓子，渡辺孝子 他：認定看護管理者セカンドレベルの評価分析，第36回日本看護学会－看護管理論文集，502-504，2006.3.28
- ・ 豊嶋三枝子，須佐公子，城ヶ端初子，金 升子：看護学生の主観的健康観と予防的保健行動に関する研究，日本看護福祉学会誌，11(2)，30-39，2006.3
- ・ 須佐公子，豊嶋三枝子，伊藤佳代：介護支援専門員の「仕事の困難性」の具体的状況－看護職と介護職の相違－，日本看護福祉学会誌，11(2)，83-90，2006.3
- ・ 小口多美子：小児看護技術演習の工夫－共同学習の試み－，第36回日本看護学会論文集 看護教育，350-352，2006.1

## 研究報告

- ・ 水流聡子，中西睦子 他：保健・医療・福祉領域の安全と質保障に貢献する看護マスターの総合的質管理システムと高度看護実践を支援するシステム開発研究，厚生労働省科学研究費，医療技術評価総合研究事業
- ・ 岡本美香子，大原良子，曾我部美恵子 他5名：栃木県の保育所における母乳育児支援の実態，自治医科大学看護学部紀要，3，109-125，2005.10
- ・ 松澤和正：語りはなぜ可能なのか：精神科看護の事例から，日本保健医療行動科学会年報，20，26-37，2005.6.15
- ・ 小口多美子：看護学生の小児特有ウイルス感染症予防対策に関する研究，国際医療福祉大学紀要，10(3)，27-32，2006.2

## 講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 中西睦子：講演「看護教育」，第36回 日本看護学会，2005.8.4
- ・ 中西睦子：講義，埼玉県看護協会看護管理者セカンドレベル，2005.9.16
- ・ 中西睦子：特別講演，琉球大学看護学部，2005.11.4
- ・ 中西睦子：講演，上総国際高度専門職教育研究学会，2006.1.22
- ・ 中西睦子：（シンポジスト），前京都大学教授星野一正氏 送別記念講演会，2006.2.12
- ・ 中西睦子：六本木アカデミーヒルズ，講演，2006.3.19
- ・ 江幡芳枝：（シンポジウム）「専門性を高める助産教育－分娩実習に焦点を当て－」教育者が意図する助産実習の位置づけ，第30回全国助産師教育協議会研修会，札幌医科大学講堂，札幌市，2005.5.14
- ・ 渡辺孝子：看護管理概説，栃木県看護協会平成17年度認定看護管理者ファーストレベル，栃木県看護協会，栃木県宇都宮市，2005.6.27
- ・ 渡辺孝子：人材育成とキャリア開発，埼玉県看護協会平成17年度認定看護管理者セカンドレベル，埼玉県看護協会，埼玉県さいたま市，2005.10.6
- ・ 渡辺孝子：看護労務管理，埼玉県看護協会平成17年度認定看護管理者セカンドレベル，埼玉県看護協会，埼玉県さいたま市，2005.10.13
- ・ 渡辺孝子：がん医療の担い手が体験する精神的疲労と影響要因，厚生労働省・がん振興財団，ソニックホール，埼玉県さいたま市，2006.2.4
- ・ 渡辺孝子：日常生活のケアと家族ケアのエッセンス，ホスピス研究振興財団，ラフレ，埼玉県さいたま市，2006.3.11

- ・ 金 升子：看護研究計画書と研究の進め方，函館市民病院看護部研究会，函館市民病院，函館市，2005.8
- ・ 金 升子：介護研究の進め方と講評，地域振興財団，都道府県会館，東京，2005.11
- ・ 村松由紀：看護記録の実際，院内研修，医療法人恵生会黒須病院，栃木県さくら市，2005.10.25

## 学会発表

- ・ 東 範子，大井伸子，江幡芳枝 他3名：小学校教諭の性教育の実際と考えに関する研究，第24回日本思春期学会，国立保健医療科学院，埼玉県和光市，2005.8.21
- ・ 星野眞有美，江幡芳枝：寸劇・グループワーク・健康クイズの手法を用いた思春期健康教育の効果に関する検討，第24回日本思春期学会，国立保健医療科学院，埼玉県和光市，2005.8.21
- ・ 星野眞有美，増田初江，江幡芳枝，他2名：寸劇・グループワーク・健康クイズを用いた思春期健康教育の手法の開発を試みてー思春期健康支援プロジェクトチームの取り組みについてー，第43回栃木県公衆衛生学会，栃木県総合文化センター，栃木県宇都宮市，2005.9.9
- ・ 小川景子，江幡芳枝：「神奈川県衛生名鑑」にみる昭和初期の産婆の履歴と活動，第45回日本母性衛生学会，シェアトンワールドコンベンションセンターサミット，宮崎県宮崎市，2005.10.7
- ・ 小川景子，江幡芳枝：昭和戦前期の助産活動ー産婆の聞き取り調査よりー，第20回日本助産学会，東京ビッグサイト，東京，2006.3.5
- ・ 渡辺孝子：看護学生の喫煙行動と影響要因，第36回日本看護学会ー看護教育，宇都宮文化会館，栃木県宇都宮市，2005.8.4
- ・ 内崎啓子，渡辺孝子：認定看護管理者セカンドレベルの評価分析，第36回日本看護学会ー看護管理，奈良文化会館，奈良県奈良市，2005.11.4
- ・ 内野聖子，渡辺孝子：老年看護学実習に事例を用いた看護技術演習を導入して，第10回日本老年看護学会，宇都宮文化会館，栃木県宇都宮市，2005.11.13
- ・ 渡辺孝子（座長）：（基調講演）第6回国際がん看護セミナー，がん研究振興財団国際会議場，東京都中央区，2006.1.27
- ・ 渡辺孝子（座長）：一般演題4題，第20回日本がん看護学会，福岡国際会議場，福岡県福岡市，2006.2.11
- ・ 豊嶋三枝子，小口多美子，金 升子：看護職の定年退職後の生活設計に関する研究，第9回日本看護管理学会年次大会，神戸ポートピアホテル，兵庫県神戸市，2005.8.20
- ・ 豊嶋三枝子，小口多美子，金 升子：看護職の定年退職に対する心理，第25回日本看護科学学会学術集会，青森市文化会館，青森県青森市，2005.11.19
- ・ 郷間悦子（座長）：第3発表会場第1群：学生の変化，第36回日本看護学会ー看護教育ー，宇都宮市文化会館，宇都宮市，2005.8.4-5
- ・ 曾我部美恵子，佐藤千加子，村田美穂，他3名：褥婦の避妊行動の実態に関する調査，栃木母性衛生学会学術集会，宇都宮市医師会館，栃木県，2005.5.14
- ・ 松澤和正：医療政策と政治への今日の一視点，看護思想史の事例から，日本精神保健福祉政策学会，東京医科歯科大学，東京都，2006.2.4
- ・ 小口多美子：小児看護技術演習の工夫ー共同学習の試みー，第36回日本看護学会論文集，看護教育，宇都宮文化会館，栃木，2005.8
- ・ 山形泰士，須田利佳子：術前オリエンテーション効果の検討，日本クリティカルケア看護学会第1回学術集会，タワーホール船堀，東京都江戸川区，2005.7.2

- ・川村佐和子, 中西睦子, 須田利佳子, 他7名: 看護の質を向上させるのは, 卒後臨床研修の制度化か, 基礎教育年限の延長か?, 第9回日本看護管理学会年次大会, 神戸ポートピアホテル, 兵庫県神戸市, 2005.8.20
- ・須田利佳子: 成人看護学急性期実習の現状と課題の明確化, 第25回日本看護科学学会学術集会, 青森市文化会館, ホテル青森, 青森県青森市, 2005.11.19
- ・中西睦子, 川村佐和子, 須田利佳子, 他4名: 一安全な医療・看護サービス提供の実現に向けた提言一, 第25回日本看護科学学会学術集会, 青森市文化会館, ホテル青森, 青森県青森市, 2005.11.19
- ・室津史子, 田尻后子, 野本正子: 助産師達成目標傾向と経験年数との関連, 第46回日本母性衛生学会, ワールドコンベンションセンターサミット, 宮崎県, 2005.10.7
- ・野本正子, 室津史子, 田尻后子: 助産師の志望動機に関する検討, 第46回日本母性衛生学会, ワールドコンベンションセンターサミット, 宮崎県, 2005.10.7
- ・荒井洋子: 不妊治療後妊婦の妊娠初期の心理状況と対処行動, 日本不妊看護学会, 千葉大学, 千葉県, 2005.8.27
- ・堤かおり, 糸井裕子, 中村敦子: 看護学生の臨地実習上の問題と課題—成人・慢性期実習終了アンケートから—, 日本看護教育学会第15回学術集会, 大宮ソニックシティ, 埼玉県さいたま市, 2005.7.24
- ・糸井裕子: 2つのグループにみる学生カンファレンスの差異と課題—カンファレンスの活性化に焦点をあてて—, 日本看護教育学会第15回学術集会, 大宮ソニックシティ, 埼玉県さいたま市, 2005.7.24
- ・上原和代: 母親の評価軸の再編, 日本新生児看護学会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2005.12.5-6
- ・寺内幸恵: 出産後48時間前後で退院した女性の自宅での生活とその受けとめ, 日本助産学会, 東京ビッグサイト, 東京都, 2006.3.5

#### 研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

- ・中西睦子: 看護政策実現にむけた看護職の意見形成ネットワークシステムの構築, 平成17年度文部科学研究
- ・川村佐和子, 中西睦子, 須田利佳子, 他4名: 看護政策実現に向けた看護職の意見形成ネットワークシステムの構築, 文部科学省科学研究費 (平成15~17年度), 基盤研究(B)(2), 15390664, 継続

#### 学位取得・研究業績に対する受賞

- ・新野峰子: 医療保健学修士, 国際医療福祉大学院, 使用後紙おむつの臭気に対するEM (Effective Micro-organisms) の消臭効果の検討, 2006.3.10

#### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・中西睦子: 日本看護科学学会 (理事), 日本保健医療行動科学会 (評議員), 日本健康科学学会 (評議員), 日本生命倫理学会 (評議員, 学会誌編集委員), 日本看護管理学会 (理事)
- ・江幡芳枝: 日本看護研究学会, 日本助産学会, 日本母性衛生学会, 日本小児保健学会, 日本性科学学会, 日本思春期学会
- ・渡辺孝子: 日本がん看護学会 (評議委員, 監事), 日本緩和医療学会 (評議委員), 日本サコオンコロジー学会 (世話人), 日本死の臨床研究会 (世話人), 日本在宅医療研究会 (世話人), 栃木県緩和ケア研究会 (幹事), 栃木県心身医学研究会 (幹事), 日本看護管理学会, 日本看護科学学会
- ・金 升子: 日本集中治療医学会, 日本集中治療医学会関東甲信越地方会, 日本看護科学学会, 日本看護管理学, 日本看護福祉学会, 日本看護医療学会
- ・郷間悦子: 日本看護科学学会, 日本看護研究学会, 日本在宅ケア学会, 日本地域看護学会, 日本健康教育学会, 日本公衆衛生学会, 日本看護管理学会

- ・ 曾我部美恵子：日本看護科学学会，日本生命倫理学会，日本女性心身医学学会，日本母性看護学会，日本母性衛生学会，栃木県母性衛生学会
- ・ 豊嶋三枝子：日本看護科学学会，日本看護管理学会，日本看護福祉学会，日本看護教育学学会，日本保健福祉学会，日本看護技術学会，日本看護医療学会，全国高齢者ケア協会
- ・ 松澤和正：日本精神保健福祉政策学会（理事），日本看護管理学会，多文化間精神医学会，日本生命倫理学会
- ・ 大塚さく子：日本看護科学学会，日本老年看護学会，日本老年社会科学学会
- ・ 小口多美子：日本看護管理学会，日本教育学会，日本小児看護学会，日本看護科学学会
- ・ 須田利佳子：日本看護科学学会，日本看護管理学会，日本がん看護学会，日本クリティカルケア看護学会，ホスピスケア研究会，日本死の臨床研究会
- ・ 田尻后子：日本看護研究学会，日本母性衛生学会，日本助産学会，日本母性看護学会
- ・ 村松由紀：日本がん看護学会，日本看護学教育学会，日本看護管理学会，日本看護科学学会，日本死の臨床研究会，日本小児保健学会
- ・ 荒井 洋子：日本母性衛生学会（助産師），日本不妊看護学会（助産師）（広報委員）
- ・ 糸井裕子：日本看護学教育学会，日本看護科学学会，日本看護管理学会，日本保健福祉学会，日本看護医療学会
- ・ 上原和代：日本新生児看護学会
- ・ 押尾和子：日本看護管理学会，日本看護学教育学会，日本看護科学学会，日本医学教育学会，日本医学看護学教育学会
- ・ 寺内幸恵：日本生命倫理学会，日本助産学会，日本母性衛生学会
- ・ 新野峰子：日本看護管理学会，日本看護学教育学会，日本精神保健看護学会，日本デイケア学会

## 保健学部（理学療法学科）

### 著書

- ・ 丸山仁司（編集）：神経障害系理学療法学，医歯薬出版，2005.4
- ・ 丸山仁司（分担執筆）：神経障害系理学療法学，神経系の障害と理学療法アプローチ，1-8，医歯薬出版，2005.4
- ・ 丸山仁司：理学療法概論，第5版，アイベック，2005.10.1
- ・ 丸山仁司：臨床運動学，第5版，アイベック，2005.10.1
- ・ 秋山純和：内部障害理学療法学概論ノート，アイベック，2005.4
- ・ 秋山純和（監修，分担執筆）：地域理学療法学ノート，1-57，94-107，アイベック，2005.4
- ・ 齋藤昭彦（分担執筆）：ひとりで学べる理学療法士国家試験一問題と詳解，日常生活活動，521-571，廣川書店，2005.5.20
- ・ 齋藤昭彦（翻訳）：図説 マニュアルセラピー—深部組織と神経筋に対するアプローチ—，医学書院，2005.6.1
- ・ 齋藤昭彦（翻訳）：オーソペディックマッサージ—軟部組織に対する神経筋アプローチ—，エンタプライズ，2005.9.15
- ・ 潮見泰藏（分担執筆），丸山仁司（監修）：神経障害系理学療法学，脳血管障害—急性期理学療法—，11-22，医歯薬出版，2005.4
- ・ 谷 浩明（分担執筆），奈良 勲（監修）：標準理学療法学 専門分野 運動療法学 総論（第2版），筋収縮のメカニズム，42-51，医学書院，2006.3

- ・佐野裕子, 藤田博暁, 奈良 勲 (監修) : 理学療法学事典, 医学書院, 2006.3
- ・藤田博暁, 理学療法科学学会 (編集) : 整形外科系理学療法学, 大腿骨頸部骨折, アイペック, 2006.3
- ・藤田博暁 (分担執筆), 理学療法科学学会 (編集) : 理学療法診断学, アイペック, 2006.3
- ・金子純一郎 (分担執筆) : 図解理学療法検査・測定ガイド, 6.各動作の特徴一歩行歩行分析, 752-756, 文光堂, 2006.3.31
- ・下井俊典, 丸山仁司 (編集, 分担執筆) : 系統理学療法学 神経障害系理学療法学, 総論 神経系の障害と理学療法アプローチ, 1-8, 医歯薬出版, 2005.4

## 原著論文

- ・ 終 幸信, 加藤宗規, 佐藤 仁, 丸山仁司 : 3軸角速度センサを用いた動作分析の試み, 理学療法科学, 20(2), 93-98, 2005.5
- ・ 斉藤琴子, 丸山仁司 : 敏捷性と最大歩行速度の関係, 理学療法科学, 20(2), 159-163, 2005.5
- ・ 志村圭太, 河野博之, 丸山仁司 他 : 頭低位での低運動強度が生体に及ぼす影響, 理学療法科学, 20(3), 191-195, 2005.8
- ・ 金子秀雄, 佐藤広徳, 丸山仁司 : 超音波診断装置を用いた側腹筋厚測定の信頼性, 理学療法科学, 20(3), 197-201, 2005.8
- ・ Kera T, Maruyama H : The effect of posture on respiratory activity of the abdominal muscles, J Physiol Anthropol Appl Human Sci, 24(4), 259-265, 2005.10
- ・ 長見 豊, 山本澄子, 丸山仁司 : 軸足設置方法がスパイクジャンプの踏切動作時に及ぼす影響, 日本臨床バイオメカニクス学会誌, 26, 369-374, 2005.8
- ・ 佐藤 仁, 丸山仁司, 終 幸伸 他 : 骨盤へのホールド・リラックスによるFFD改善とアプローチ前のハムストリングス筋長の関係, 理学療法科学, 20(4), 283-287, 2005.11
- ・ 藤田 智, 勝平純司, 藤沢しげ子 他6名 : 妊婦体験ジャケット装着時の非装着時における降段動作の比較, 理学療法科学, 20(2), 127-132, 2005.5.20
- ・ 樋口善英, 齋藤昭彦 : 圧バイオフィードバック装置と超音波診断装置を用いた腹横筋の機能評価, 国際医療福祉大学紀要, 10(2), 18-23, 2005.7.31
- ・ 川井謙太郎, 齋藤昭彦 : 健常女性肩関節周囲筋筋力の加齢的变化—Hand-Held Dynamometerを用いて—, 理学療法科学, 20(3), 207-212, 2005.8.20
- ・ 小椋一也, 大淵修一, 潮見泰蔵 他2名 : 通常歩行時の骨盤加速度に注目した歩行分析, 理学療法科学, 20(2), 171-177, 2005.11
- ・ 板子伸子, 潮見泰蔵 : 高齢障害者に対するVASを用いた主観的健康感に関する調査, 理学療法科学, 21(1), 31-35, 2006.2
- ・ 佐野裕子 : 健常人における口すぼめ呼吸の呼吸抵抗の変化と鼻咽頭閉鎖機構について, 東北医誌, 117, 83-85, 2005.7
- ・ 藤田博暁, 潮見泰蔵, 荒畑和美 他1名 : 地域在住高齢者の大腿骨頸部骨折患者におけるADLと運動機能との関係, 日本老年医学会誌, 43(2), 2006.3
- ・ 勝平純司, 山本澄子, 丸山仁司 他3名 : 階段の形状と手すりの使用が腰部モーメントに及ぼす影響, バイオメカニクス学会誌, 29(2), 95-103, 2005.5
- ・ 木島直幸, 藤井菜穂子, 勝平純司 他3名 : 階段後段動作における健常者とACL損傷者の比較, 理学療法科学, 20(2), 127-132, 2005.5

- ・ 劉 恵林, 霍 明, 丸山仁司: プローブ反応時間からみた自転車エルゴメータの回転数に関する研究, 理学療法科学, 21(1), 13-16, 2006.3

## 総説

- ・ 丸山仁司, 下井俊典: 疲労の克服戦略理学療法, 総合臨床, 55(1), 127-132, 2006.1
- ・ 秋山純和: 閉塞性呼吸障害の物理療法 (原文中国語), 中国康復理論と実践, 4, 310-312, 2005.4
- ・ 齋藤昭彦: ムチ打ち損傷に対するマニュアルセラピー, マニピュレーション, 20(3), 36-40, 2005.8.20
- ・ 齋藤昭彦: 脊椎の分節的安定性のための運動療法, The Journal of Clinical Physical Therapy, 7, 11-18, 2005.9.1
- ・ 齋藤昭彦: 神経系モビライゼーション, 理学療法, 23(6), 191-194, 2006.1.15
- ・ 藤田博暁, 潮見泰蔵, 石橋英明 他1名: 大腿骨頸部骨折後の高齢者に対する自己トレーニングメニュー, Osteoporosis, 14, 180-183, 2006.2
- ・ 谷 浩明: 運動学習に効果的な練習方法とは何か ー理論に基づく介入方法ー, 理学療法, 22(7), 982-988, 2005.7
- ・ 谷 浩明: セラピストによる教示やフィードバックは学習に効果的か?, 理学療法科学, 21(1), 69-73, 2006.3
- ・ 石井博之: 重度身体障害児に対する簡易かつ有効な座位保持椅子の紹介, 理学療法科学, 21(1), 65-68, 2006.2.20
- ・ 佐野裕子, 森沢知之: 肺切除術後の理学療法, 理学療法, 22, 1304-1310, 2005.10
- ・ 畠しのぶ, 佐野裕子, 国島美佐 他3名: 実践腰痛リハビリテーションー牽引療法と電気温熱療法, Monthly Book Medical Rehabilitation, 64, 35-39, 2006.3
- ・ 藤田博暁, 潮見泰蔵, 石橋英明 他1名: 大腿骨頸部骨折後の高齢者に対する自己トレーニングメニュー, Osteoporosis, 14(1), 80-83, 2006.1
- ・ 金子純一郎, 前田眞治: チームに加えたリハビリテーション関連職種「呼吸療法認定士」, 総合リハビリテーション, 34(1), 88-89, 2006.1

## 講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・ 丸山仁司: 老化と障害, 第21回東海北陸理学療法学会大会, 三重県民ホール, 三重県, 2005.11.13
- ・ 丸山仁司: 運動学, 第1回基礎講習会, 東京都, 2005.12.27
- ・ 秋山純和, 中山彰博: 呼吸器系理学療法手技, 理学療法科学学会, 埼玉医科大学, 毛呂山, 2005.5.14-15
- ・ 秋山純和: 地域リハビリテーションの紹介, JICA中国リハビリ専門職人材養成プロジェクト, 中国リハビリ研究センター, 北京, 2005.6.8
- ・ 秋山純和: 神経筋促通治療法 (PNF治療法) の基本技術, JICA中国リハビリ専門職人材養成プロジェクト, 中国リハビリ研究センター, 北京, 2005.6.6
- ・ 秋山純和: 神経筋促通治療法 (PNF治療法) の特殊技術, JICA中国リハビリ専門職人材養成プロジェクト, 中国リハビリ研究センター, 北京, 2005.6.7
- ・ 秋山純和: 神経筋促通治療法 (PNF治療法) に関する若干の応用, JICA中国リハビリ専門職人材養成プロジェクト, 中国リハビリ研究センター, 北京, 2005.6.9
- ・ 秋山純和: 神経筋促通治療法 (PNF治療法) の基礎, 日本理学療法士協会現職者講習会, 健康科学大学, 山梨, 2005.7.23-24
- ・ 秋山純和: 呼吸器系理学療法の紹介, 長春リハビリ協会, 吉林医科大学, 長春, 2005.8.22
- ・ 秋山純和: 神経筋促通治療法 (PNF治療法) の動作への応用, 日本理学療法士協会現職者講習会, 聖隷クリストファー大学, 静岡, 2005.9.3-4

- ・ 秋山純和：神経筋促通治療法（PNF治療法）の紹介と小児への応用，中国脳性麻痺リハビリ医学技術シンポジウム，中国脳性麻痺リハビリ協会，北京，2005.11.26
- ・ 秋山純和：神経筋促通治療法（PNF治療法）の紹介，中国運動療法学会，中国リハビリ研究センター，北京，2005.12.7
- ・ 秋山純和，中山彰博：呼吸器系理学療法手技，理学療法科学学会，埼玉医科大学，毛呂山，2006.3.25-26
- ・ 齋藤昭彦：脊椎の分節的安定性のための運動療法，鹿児島県理学療法士研修会，鹿児島県，2005.4.23-24
- ・ 齋藤昭彦：神経系モビリゼーション，第719回日本理学療法士協会現職者講習会，国際医療福祉大学，栃木県大田原市，2005.6.11-12
- ・ 齋藤昭彦：関節モビリゼーション（下肢），第721回日本理学療法士協会現職者講習会，国際医療福祉大学，栃木県大田原市，2005.7.9-10
- ・ 齋藤昭彦：シンポジウム 脊椎分節の機能異常に起因する疼痛に対する理学療法，第27回日本疼痛学会，社会文化会館，栃木県宇都宮市，2005.7.25
- ・ 齋藤昭彦：関節モビリゼーション（上肢），第743回日本理学療法士協会現職者講習会，国際医療福祉大学，栃木県大田原市，2005.9.3-4
- ・ 齋藤昭彦：マニュアルセラピー（頸椎），第754回日本理学療法士協会現職者講習会，国際医療福祉大学，栃木県大田原市，2005.10.1-2
- ・ 齋藤昭彦：（シンポジウム）筋の障害と慢性痛，公開シンポジウム「慢性痛と運動系～運動器の痛みを探る～」愛知医科大学痛み学寄附講座，東建ホール，愛知県名古屋市，2005.10.23
- ・ 齋藤昭彦：脊椎の分節的安定性のための運動療法，第764回日本理学療法士協会現職者講習会，国際医療福祉大学，栃木県大田原市，2005.10.29-30
- ・ 齋藤昭彦：（シンポジウム）脊椎に対する分節的アプローチ，第13回日本腰痛学会，砂防会館，東京，2005.11.19
- ・ 齋藤昭彦：マニュアルセラピー（腰椎），第770回日本理学療法士協会現職者講習会，国際医療福祉大学，栃木県大田原市，2005.10.26-27
- ・ 潮見泰藏：臨床実習教育の現状と展望，埼玉県理学療法士会，大宮ソニックシティ，埼玉，2005.5.15
- ・ 潮見泰藏：中枢性運動麻痺に対するリハビリテーションの最近の動向，Disarthria臨床研究会，東京医大臨床講堂，東京，2005.6.18
- ・ 潮見泰藏：臨床実習の位置づけ，日本理学療法士協会，サンシップ富山，富山，2005.7.31
- ・ 潮見泰藏：臨床実習の展望，群馬大学医学部公開講座，群馬大学医学部，群馬，2005.8.7
- ・ 潮見泰藏：教育ガイドラインについて，日本理学療法士協会教育研究会，大阪国際会議場，大阪，2005.10.8
- ・ 潮見泰藏：臨床実習のための教育技法，日本理学療法士協会，関西医科専門学校，大阪，2005.12.13
- ・ 潮見泰藏：脳傷害後の機能回復と運動学習，理学療法科学学会，那須大島フォーラム，栃木，2006.3.29
- ・ 谷 浩明：セラピストによる教示やフィードバックは学習に効果的か？，理学療法科学学会 春期研修会，那須大島フォーラム，栃木県那須塩原市，2006.3.25
- ・ 石井博之：重度身体障害児に対する坐位保持椅子，中国小児関連リハビリテーション学会，精華大学，中国北京市，2005.11.27
- ・ 石井博之：世界の中の理学療法，神奈川県理学療法士会，神奈川県立医療福祉大学，神奈川県，2005.10.30
- ・ 佐野裕子：施設で行なう呼吸リハビリテーション，東京都看護協会看護実践研修，東京都看護協会，東京都，2005.5.11
- ・ 佐野裕子：呼吸リハビリテーション理論と実践，西大宮病院研修会，西大宮病院，大宮市，2005.5.15

- ・ 佐野裕子：麻痺のある患者に対するリハビリテーション，東京医科大学看護学校2年生講義，東京医科大学看護学校，東京都，2005.6.3
- ・ 佐野裕子：施設で行なう呼吸リハビリテーション，東京都看護協会看護実践研修，東京都看護協会，東京都，2005.8.31
- ・ 佐野裕子：呼吸理学療法の評価について，兵庫医科大学呼吸リハビリテーション研修会，兵庫医科大学呼吸リハビリテーション研修会，西宮市，2005.9.24
- ・ 佐野裕子：呼吸理学療法実技指導，宮城県看護協会，宮城県看護協会，仙台市，2005.10.8
- ・ 佐野裕子：呼吸リハビリテーションの理論と実際，東京医科大学病院看護部研修会，東京医科大学病院看護部，東京都，2005.11.12
- ・ 佐野裕子：呼吸リハビリテーションの基本概念と基本的な実技，石川県やわたメディカルセンター看護部研修会，やわたメディカルセンター看護部，石川県，2005.11.26
- ・ 佐野裕子：摂食嚥下と呼吸理学療法，北里大学医療衛生学部言語聴覚療法学科3年生特別講義，北里大学，神奈川県，2005.12.12
- ・ 佐野裕子：急性期呼吸器障害に対する理学療法管理論，茨城県立医療大学保健学部3年生特別講義，茨城県立医療大学，茨城県，2006.1.13
- ・ 佐野裕子：呼吸理学療法の概念と基本手技，群馬県理学療法士会技術講習会，群馬県理学療法士会，群馬県，2006.2.19
- ・ 佐野裕子：急性期・慢性期の呼吸理学療法呼吸理学療法の評価方法，那須呼吸リハビリテーション研究会，那須呼吸リハビリテーション研究会，栃木県，2006.2.25-26
- ・ 藤田博暎：介護保険領域におけるリハビリテーション，柔整介護研究会，南大塚教育会館，東京都豊島区，2006.2
- ・ 藤田博暎：臨床実習指導者論及びセミナー，厚生労働省・日本リハビリテーション学会，国立病院機構東京医療センター，東京都目黒区，2006.1
- ・ 勝平純司：歩行のバイオメカニクス，第1回中日国際物理療法科学学術大会，北京リハビリテーションセンター，中国北京市，2005.8.20

## 学会発表

- ・ 韓 憲受，丸山仁司：健常高齢者における股関節外旋内旋の関節可動域パターン，第36回理学療法科学学会学術大会，川崎市，2005.4.23
- ・ 水戸川彩，霍 明，丸山仁司：超音波療法による反応時間から見た筋特性の変化，第36回理学療法科学学会学術大会，川崎市，2005.4.23
- ・ 昇 寛，丸山仁司，高橋直子 他：Toe-Heelペダル運動器による運動効果，第40回日本理学療法学術大会，大阪，2005.5.26-28
- ・ 長嶺 朗，丸山仁司：測定肢位および設定角度の違いが膝関節位置覚の再現能力に与える影響，第40回日本理学療法学術大会，大阪，2005.5.26-28
- ・ 福田真人，金子純一郎，丸山仁司 他：頸部屈曲角度の違いによる気道抵抗および換気量の変化，日本理学療法士協会，第40回日本理学療法学術大会，大阪国際会議場，大阪府大阪市，2005.5.26-28
- ・ 森沢知之，金子純一郎，丸山仁司 他：肺癌術後早期からの肺機能の回復過程と運動耐容能の変化—予測術後肺機能からみた回復率—，日本理学療法士協会，第40回日本理学療法学術大会，大阪国際会議場，大阪府大阪市，2005.5.26-28
- ・ 鈴木千勢，国島美佐，佐野裕子，丸山仁司 他：三脚台を用いた骨盤傾斜と腰椎間歇牽引の効果との関係，第40回日本理学療法学術大会，国際会議場，大阪，2005.5.26-28

- ・ 樋口善英, 齋藤昭彦, 丸山仁司 他: 超音波画像による頸長筋の機能評価, 第40回日本理学療法学会大会, 大阪, 2005.5.26-28
- ・ 金子純一郎, 潮見泰蔵, 石井博之, 丸山仁司: 修正版起き上がり動作分類表に関する測定者間信頼性について, 日本理学療法士協会, 第40回日本理学療法学会大会, 大阪国際会議場, 大阪, 2005.5.26-28
- ・ 西田祐介, 丸山仁司: 頭低位での低強度運動が生体に及ぼす影響, 第40回日本理学療法学会大会, 大阪, 2005.5.26-28
- ・ 斉藤琴子, 吉村茂和, 丸山仁司 他: 脳卒中片麻痺の非麻痺側の反復スピードについて, 第40回日本理学療法学会大会, 大阪, 2005.5.26-28
- ・ 昇 寛, 丸山仁司, 高橋直子: 膝関節固有感覚と膝関節トルクの関係について一考察, 第1回理学療法科学学会国際学会大会, 中国北京, 2005.8.20
- ・ 水戸川彩, 堤堀内カロリーナさやか, 丸山仁司: Fittsの法則からみたプローブ反応時間の検討, 第1回理学療法科学学会国際学会大会, 中国北京, 2005.8.20
- ・ 終 幸伸, 丸山仁司: 小型センサによる局所的動作分析, 第1回理学療法科学学会国際学会大会, 中国北京, 2005.8.20
- ・ 霍 明, 丸山仁司: 高齢者の転倒に関する足踏み時プローブ反応時間の検討, 第1回理学療法科学学会国際学会大会, 中国北京, 2005.8.20
- ・ 斉藤琴子, 吉村茂和, 丸山仁司 他: 脳卒中片麻痺患者の非麻痺側肢の運動機能について, 第24回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 山梨, 2005.9.18
- ・ Nobori H, Maruyama H, Naoko T: The effect of a toe-Heel pedal exercise machine, WCPT-AWP & ACPT, Korea, 2005.11.1
- ・ Tsutsumi C, Maruyama H: Evaluation of physical competence and the related factors in the Paraguayan elderly of Japanese descent, WCPT-AWP & ACPT, Korea, 2005.11.1
- ・ Morala D, Shiomi T, Maruyama H: Illustrating physical, psychological and sociological characteristics of the community-dwelling elderly people in the Philippines, WCPT-AWP & ACPT, Korea, 2005.11.1
- ・ Mitokawa A, Tsutsumi C, Maruyama H: Study on probe reaction time from the the perspective of movement speed, WCPT-AWP & ACPT, Korea, 2005.11.1
- ・ Han H, Maruyama H: ROM patterns of hip jpoint rotation in healthy young adults and healthy old persons, WCPT-AWP & ACPT, Korea, 2005.11.1
- ・ Kaneko J, Shiomi T, Maruyama H et al.: Consideration of cerebral activity in repetitive movement of the lower limbs with near infrared spectroscopic topography (NIRS), WCPT-AWP & ACPT, Congress 2005, Seoul Bnquet & Convention center, Seoul Korea, 2005.11.1
- ・ 上 孝典, 勝平純司, 丸山仁司 他: 移乗介助動作における介助用ベルトの有用性について, 第37回理学療法科学学会大会, 大田原, 2005.11.5
- ・ 昇 寛, 丸山仁司, 高橋直子: 膝関節固有覚と膝関節トルクの関係, 2005中日脳性麻痺学会大会&リハビリ新技术フォーラム, 中国北京, 2005.11.25-29
- ・ 大久保真人 (座長): 第29回日本リンパ学会総会, 宇部市文化会館, 山口県宇部市, 2005.7.16-17
- ・ 仮屋勝秀, 藤沢しげ子, 田中淳一 他1名: 脳弓下器官におけるnon-MNDA受容体によるアセチルコリン放出調節, Neuroscience 2005, PACIFICO YOKOHAMA, YOKOHAMA, 2005.7.28
- ・ Takeda K, Fujisawa S: I pay attention to training results of a science treatment subject student and emotion and will characteristic stress cping and a character, WCPT-AWP & ACPT 2005-10-30-2005-11-2 Korea, Seoul banquet & convention center, Seoul Korea, 2005.10.30

- ・藤沢しげ子（座長）：第1回中日国際物理（理学）療法科学学術大会，中国リハビリテーション研究センター，北京，2005.8.
- ・武田 要，藤沢しげ子：妊産婦の身体特性と歩行分析—3次元動作解析面から，第2回中日国際物理（理学）療法科学学術大会，中国リハビリテーション研究センター，北京，2006.3.18
- ・藤沢しげ子（座長）：第2回中日国際物理（理学）療法科学学術大会，中国リハビリテーション研究センター，北京，2006.3.18
- ・上村さと美，秋山純和，解良武士：運動後の臥位と座位姿勢における回復（クールダウン）運動を用いた循環動態の比較，第36回理学療法科学学会，埼玉医科大学，埼玉，2005.4.23
- ・秋山純和（座長）：理学療法基礎系5，第40回日本理学療法学術大会，大阪国際会議場，大阪，2005.5.27
- ・上村さと美，秋山純和：訪問リハにおける在宅介護者の介護負担感軽減に対する支援方法について，第1回中日国際物理（理学）療法科学学術大会，中国リハビリ研究センター，北京，2005.8.20
- ・秋山純和（座長）：特別講演，第1回中日国際物理（理学）療法科学学術大会，中国リハビリ研究センター，北京，2005.8.20
- ・上村さと美，秋山純和：Study of Needs of Nursing Care and Visiting Rehabilitation Service Cooperation of Physical and Care manager，WCPT-AWP&ACPT，韓国ソウル，2005.10.14
- ・伊東祐恵，坂口祐介，秋山純和：臨床実習期間中と期間外における睡眠時間とその状況，疲労の比較，第37回理学療法科学学会，国際医療福祉大学，大田原，2005.11.6
- ・上村さと美，秋山純和：車椅子タイヤ空気圧の違いにおける推進効率について，第37回理学療法科学学会，国際医療福祉大学，大田原，2005.11.6
- ・上村さと美，秋山純和：車椅子タイヤ空気圧の違いが生体に及ぼす影響，第2回中日国際物理（理学）療法科学学術大会，中国リハビリ研究センター，北京，2006.3.18
- ・秋山純和，江口勝彦：3種類の呼吸介助法と換気指標，第2回中日国際物理（理学）療法科学学術大会，中国リハビリ研究センター，北京，2006.3.18
- ・齋藤昭彦（座長）：第40回日本理学療法学術大会，骨関節系理学療法17，大阪，2005.5.26
- ・渡辺観世子，谷 浩明：結果の知識の細かさが部分荷重課題のパフォーマンスに与える影響，第40回日本理学療法学術大会，大阪国際会議場，大阪府，2005.5.26
- ・下井俊典，谷 浩明：遅発性筋痛評価における4種類の疼痛測定法の信頼性，日本生理人類学会第53回大会，長崎大学医学部，長崎県長崎市，2005.6.11
- ・谷 浩明，松谷 実，松本純一 他2名：競技経験の違いによるペナルティ・キックの軌道予測能力，日本生理人類学会第53回大会，長崎大学医学部，長崎県長崎市，2005.6.11
- ・石井博之（座長，主催者）：第1回日中理学療法科学学会，中国リハビリテーション研究センター，中国北京市，2005.8.20
- ・石井博之（座長，主催者）：第2回日中理学療法科学学会，中国リハビリテーション研究センター，中国北京市，2006.3.18
- ・石井博之：低コストかつ容易に計測可能な動作解析法の研究，第2回日中理学療法科学学会，中国リハビリテーション研究センター，中国北京市，2006.3.18
- ・石井博之，野口 薫（共同演者）：日常生活の活動能力を高めるための特製椅子作製報告，第1回日中理学療法科学学会，中国リハビリテーション研究センター，中国北京市，2005.8.20
- ・石井博之，梶 紅（共同演者）：軽度の足関節機能障害に対する装具の開発とその効果に対する研究，第1回日中理学療法科学学会，中国リハビリテーション研究センター，中国北京市，2005.8.20

- ・石井博之, 劉 恵林 (共同演者) : 脳卒中片麻痺患者における異常歩行に対する客観的動作分析法の研究, 第1回日中理学療法科学学会, 中国リハビリテーション研究センター, 中国北京市, 2005.8.20
- ・石井博之, 李 潔輝 (共同演者) : 北京におけるバリアフリー整備状況の実態調査, 第1回日中理学療法科学学会, 中国リハビリテーション研究センター, 中国北京市, 2005.8.20
- ・石井博之, 野口 薫 (共同演者) : 脳性麻痺児の頸部コントロール能力に対する前傾いすの効果, 第2回日中理学療法科学学会, 中国リハビリテーション研究センター, 中国北京市, 2006.3.18
- ・石井博之, 梶 紅 (共同演者) : 軽度の足関節機能障害に対する装具の開発とその効果に対する研究, 第2回日中理学療法科学学会, 中国リハビリテーション研究センター, 中国北京市, 2006.3.18
- ・石井博之, 劉 恵林 (共同演者) : 脳卒中片麻痺患者の歩行時における体幹運動の研究, 第2回日中理学療法科学学会, 中国リハビリテーション研究センター, 中国北京市, 2006.3.18
- ・石井博之, 李 潔輝 (共同演者) : 両股義足装着にて学校通学が可能になった症例の報告, 第2回日中理学療法科学学会, 中国リハビリテーション研究センター, 中国北京市, 2006.3.18
- ・石井博之, 劉 建宇 (共同演者) : 上海新プロジェクトの紹介, 第2回日中理学療法科学学会, 中国リハビリテーション研究センター, 中国北京市, 2006.3.18
- ・Sano Y, Kurosawa H, Matsumoto 他5名 : Mechanisms on pursed-lip breathing to work without nose-clipping, ATS, San Diego, 2005.5.25
- ・Sano Y, Kurosawa H, Matsumoto 他5名 : Respiratory system impedance and nasopharyngeal closure during pursed-lip breathing., CHEST International Conference, Montreal, 2005.11.2
- ・Sano Y, Kurosawa H, Matsumoto 他5名 : Respiratory system impedance and nasopharyngeal closure during pursed-lip breathing., Meakins-Christy laboratories Japanese Sake seminar, Meakins-Christy laboratories, Montreal, 2005.10.31
- ・佐野裕子, 黒澤 一, 松本香代美 他2名 : COPD患者における口すぼめ呼吸の呼吸抵抗の変化について, 第15回日本呼吸管理学会学術集会, 国際会議場, 仙台, 2005.7.29
- ・畠しのぶ, 佐野裕子, 国島美佐 他4名 : パーキンソニズムを呈する患者の息こらえ時間と口すぼめ呼吸時呼吸数, 第15回日本呼吸管理学会学術集会, 国際会議場, 仙台, 2005.7.29
- ・佐野裕子, 黒澤 一, 松本香好美 他4名 : 口すぼめ呼吸時の呼吸抵抗および 鼻咽頭閉鎖について, 第8回伊豆レスピロロジーフォーラム, 伊豆ルネッサ赤沢, 静岡, 2005.8.20
- ・藤井菜穂子 : 理学療法学科学生における臨床実習困難感に関する検討, 日本理学療法士協会, 大阪国際会議場 (大阪グランキューブ), 大阪府大阪市, 2005.5.27
- ・藤田博暁 (座長) : 第1回理学療法科学学会国際学会, 中国リハビリテーション研究センター, 中国北京市, 2005.8
- ・藤田博暁 (大会長) : 第37回理学療法科学学会学術大会, 国際医療福祉大学, 栃木県大田原市, 2005.11
- ・堀 恵輔, 井本真美, 藤田博暁 他5名 : 和式生活を考慮したパフォーマンステストの有効性, 第37回理学療法科学学会学術大会, 国際医療福祉大学, 栃木県大田原市, 2005.11
- ・藤田博暁, 潮見泰蔵, 石橋英明 他1名 : 大腿骨頸部骨折後の高齢者に対する自己トレーニングメニュー, 第2回転倒予防医学研究会, 京都府医師会館, 京都府京都市, 2005.10
- ・Katsuhira Junji, Yamamoto Sumiko, Maruyama Hitosi, with other 3 coworkers : Effects of dimensions of stairs and handrail on low back joint moment during ascent and descent, 14th Annual Meeting of the European Society of Movement Analysis of Adults and Children, バルセロナ国際会議場, スペインバルセロナ, 2005.9.21-26
- ・勝平純司, 谷口敬道, 杉原素子 他3名 : 介護予防トレーニングの前後における歩行の変化, 第26回バイオメカニズム学術講演会, 国際医療福祉大学, 栃木県大田原市, 2005.10.22-23

- ・佐々木秀明, 勝平純司, 齋藤昭彦: 移乗介助動作において移乗補助器具を用いた場合の介護者の身体負担について, 第26回バイオメカニズム学術講演会, 国際医療福祉大学, 栃木県大田原市, 2005.10.22-23
- ・窪田 聡, 勝平純司, 山本澄子: 電動ギャッチベッドの背上げ時姿勢評価, 第26回バイオメカニズム学術講演会, 国際医療福祉大学, 栃木県大田原市, 2005.10.22-23
- ・桑原正彦, 勝平純司, 丸山仁司: 上り坂および下り坂での歩行開始, 第27回臨床歩行分析研究会定例会, 藤田保健衛生大学, 愛知県豊明市, 2005.12.11
- ・長澤夏子, 勝平純司, 山本澄子 他3名: 腰部負荷から見た収納動作加齢対応住宅における腰部負担軽減を目的とした動作寸法体系の研究 その2, 日本建築学会大会学術講演会, 近畿大学, 大阪府東大阪市, 2005.9.2
- ・長澤夏子, 勝平純司, 山本澄子 他3名: 生理的負担と腰部負荷からみた収納計画評価加齢対応住宅における腰部負担軽減を目的とした動作寸法体系の研究 その3, 日本建築学会大会学術講演会, 近畿大学, 大阪府東大阪市, 2005.9.2
- ・勝平純司, 佐々木秀明: 移乗介護動作時の腰部関節モーメント, パワー, エネルギー, 第2回中日国際物理療法科学学術大会, 北京リハビリテーションセンター, 中国北京市, 2006.3.18
- ・Takeda K, Kaneko J, Kato H et al.: NEAR-INFRARED SPECTROSCOPY FOR MONITORING CEREBRAL ACTIVATION AFTER HEMIPARETIC STROKE, Neuroscience, Washington DC, 2005.12.12-16
- ・湯口 聡, 金子純一郎, 丸山仁司 他: 深呼吸方式の違いによる換気量の変化, シルベスター法と深呼吸の比較, 日本理学療法士協会, 大阪国際会議場, 大阪府大阪市, 2005.5.26
- ・下井俊典: 遅発性筋痛評価における4種類の疼痛測定法の信頼性, 日本生理人類学会第53回大会, 長崎大学医学部, 長崎, 2005.6.10-11
- ・下井俊典: 3ヶ月間の運動療法の心身機能と要介護度の改善効果, 全国老人保健施設協会 第16回全国介護老人保健施設神奈川大会, パシフィコ横浜, 神奈川, 2005.8.30-9.1
- ・霍 明, 丸山仁司, 劉 惠林: Optimal Pedaling Rate in Bicycle Ergometer Exercise Determined by Probe Reaction Time and Its Relevance to Rhythm of Movement, 第9回WCPT-AWP& ACPT (アジア理学療法士学会), ソウル教育センター, ソウル, 2005.10.30-11.2
- ・霍 明, 丸山仁司 他3名: プローブ反応時間を用いて歩行習得度の評価, 第2回理学療法科学学会国際学術大会, 中国リハビリテーション研究センター, 北京, 2006.3.18

#### 研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

- ・加藤宏之, 潮見泰藏, 金子純一郎 他4名 (分担研究): 発達および障害回復期における神経回路の再編成機構, チーム型研究 (CREST), 科学技術振興機構, 継続

#### 学位取得・研究業績に対する受賞

- ・佐野裕子: 博士 (障害科学), ロすぼめ呼吸の生理学的検証—オシレーション法を用いた呼吸インピーダンスの測定—, 2006.3.24
- ・勝平純司: バイオメカニズム学会論文奨励賞, 階段およびスロープ昇降時の関節モーメント分析, 2005.10.22
- ・金子純一郎: 専門理学療法士 (骨・関節系), 2006.3.10

## 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 丸山仁司：東京保健科学学会（理事，評議員），理学療法科学学会（会長），日本義肢装具学会，日本理学療法士協会（副会長），バイオメカニズム学会，日本人間工学会（評議員），日本体力医学会，日本老年医学会，ヒトと動物の関係学会，日本エム・イー学会，日本リハビリテーション医学会，運動療法研究会，人類動態学会，日本生理学会，日本私立医科大学理学療法研究会，臨床歩行分析懇談会，運動障害研究会，日本運動生理学会，日本生理人類学会，日本病院管理学会，馬と健康社会研究会
- ・ 大久保真人：日本解剖学会（評議員），日本リンパ学会（理事）
- ・ 藤沢しげ子：日本理学療法士協会（専門理学療法士（神経系））（教育部員），日本私立医科大学理学療法士学会（理事），理学療法科学学会（評議員，編集委員）
- ・ 秋山純和：日本理学療法士協会（専門理学療法士（理学療法基系，内部障害系，神経系，骨・関節系，生活環境支援系，教育・管理系））（理学療法学編集協力，倫理委員会委員），理学療法科学学会（評議員，理学療法科学編集協力），日本PNF学会（シニアインストラクター）（理事，PNFリサーチ編集協力），呼吸器系理学療法研究会（運営委員），日本老年医学会，日本呼吸器学会，日本福祉学会，日本生理人類学会，日本病態生理学会，肺理学療法研究会
- ・ 齋藤昭彦：日本理学療法士協会，日本診療医学会，日本私立医科大学理学療法研究会，理学療法科学学会，日本徒手の理学療法研究会（学術担当幹事，学術編集部委員，栃木支部長），栃木県理学療法士会（理事），日本理学療法学会大会（骨・関節系理学療法），基礎系専門理学療法士（第1-30），神経系専門理学療法士（第2-58），骨関節系専門理学療法士（第3-72），内部障害系専門理学療法士（第4-39），生活支援系専門理学療法士（第5-37），物理療法系専門理学療法士（第6-20），教育系管理系専門理学療法士（第7-29）
- ・ 潮見泰蔵：理学療法科学学会（副会長，理事，評議員），日本理学療法士協会（教育部長）
- ・ 佐野裕子：日本理学療法士協会（ニュース編集部長），日本呼吸器学会，日本呼吸管理学会，日本私立大学理学療法研究会，臨床運動療法研究会，日本摂食嚥下リハビリテーション学会
- ・ 藤井菜穂子：日本理学療法士協会，理学療法科学学会（評議委員），日本老年医学会，生理人類学会，日本体力医学会
- ・ 藤田博暁：日本理学療法士協会（内部障害系専門理学療法士認定，骨関節系専門理学療法士認定，内部障害系専門理学療法士部会委員），理学療法科学学会（理事，事務局部長，評議委員，学術局委員），日本老年医学会，日本心臓リハビリテーション学会，転倒予防医学研究会
- ・ 勝平純司：バイオメカニズム学会（学会誌編集委員），日本人間工学会，日本建築学会，日本義肢装具学会
- ・ 金子純一郎：日本理学療法士協会，日本老年医学会，理学療法科学学会
- ・ 倉本アフジャ亜美：日本理学療法士協会，理学療法科学学会
- ・ 齋藤里果：理学療法科学学会，日本理学療法士協会
- ・ 下井俊典：日本理学療法士協会，理学療法科学学会，日本人間工学会，日本物理療法学会，日本生理人類学会
- ・ 霍明：日本理学療法士協会，理学療法科学学会，日本PNF学会

## 保健学部（作業療法学科）

### 著書

- ・ 杉原素子：リハビリテーション論 第3版（澤村誠志責任編集），IADLとリハビリテーション，42-47，メディカルフ

レンド社, 2005.12.14

- ・ 菅原洋子 : 身体機能作業療法学 (岩崎テル子編集), 頸髄損傷, 172-188, 医学書院, 2005.4
- ・ 菅原洋子 : 作業療法評価学 (岩崎テル子他編集), 頸髄損傷の評価, 323-332, 医学書院, 2005.6
- ・ Maeda M, Nakagome Y, Shimizu S 他3名 : 3<sup>rd</sup> International Society of Physical and Rehabilitation Medicine, Effects of left hemineglect in facial image recognition, 99-104, Monduzzi Editore Italy, 2005.4.10
- ・ Maeda M, Shimizu S, Kamide N 他2名 : 3<sup>rd</sup> International Society of Physical and Rehabilitation Medicine, Rehabilitation Measures for Higher Brain Function Disorder Patients Using Cellular Phones, 157-159, Monduzzi Editore Italy, 2005.4.10
- ・ Kamide N, Sumida S, Maeda M 他2名 : 3<sup>rd</sup> International Society of Physical and Rehabilitation Medicine, Evaluation of Stretch-Shortening-Cycle in knee extensor and flexor muscles and relation to performance, 461-464, Monduzzi Editore Italy, 2005.4.10
- ・ Sumida S, Kamide N, Maeda M 他2名 : 3<sup>rd</sup> International Society of Physical and Rehabilitation Medicine, Relation between stretch-shortening cycle and eccentric, concentric contraction for knee joint extensor and flexor, 433-436, Monduzzi Editore Italy, 2005.4.10
- ・ 前田真治 : 温泉療養の手帖 第5版, 筋肉痛, 変形性膝関節症と温泉療法, 68-84, 民間活力開発機構, 2005.5.21.
- ・ 前田真治 : リハビリテーション医学テキスト第2版 (三上真弘, 石田 暉編集), 脳血管障害, 92-111, 南江堂, 2005.8

## 原著論文

- ・ 上出直人, 柴 喜嵩, 前田真治 他1名 : 進行性核上性麻痺患者に対する部分体重免荷トレッドミル歩行トレーニングを含んだ短期集中練習—単一症例研究—, 理学療法学, 32, 130-134, 2005.4
- ・ 上出直人, 山崎岳之, 前田真治 他2名 : 外傷性不全脊髄損傷患者に対する体重免荷トレッドミルトレーニング (BWSTT)が歩行能力に及ぼす影響, 理学療法学, 33, 7-13, 2006.1

## 総説

- ・ 杉原素子 : 作業療法の10年を振り返って, 作業療法ジャーナル, 40(1), 41-45, 2006.1
- ・ 杉原素子 : いつまで医療サービスか, いつから福祉サービスか, 作業療法, 24(6), 532-537, 2005.12
- ・ 杉原素子 : 杉原会長に聞く, 作業療法ジャーナル, 39(12), 1155-1158, 2005.11
- ・ 荻原喜茂 : 作業療法 (士) の今とこれから, 医学のあゆみ, 216(8), 624-627, 2006.2
- ・ 前田真治, 椿原彰夫, 高岡 徹 他3名 : リハビリテーションにおけるリスクマネージメントの考え方, 臨床リハ, 14, 210-216, 2005.4
- ・ 前田真治 : 筋肉痛と温泉療法・環境療法, みんかつ, 192, 5-11, 2005.5
- ・ 中西浩司, 前田真治 : RAのリハビリテーション 作業療法, 日本臨床, 63, 595-598, 2005.6
- ・ 前田真治 : 変形性膝関節症と温泉療法, みんかつ, 193, 4-10, 2005.8
- ・ 前田真治 : 特集/健康関連QOLとリハビリテーション 5. 関節リウマチ, 総合リハ, 33, 1021-1024, 2005.10
- ・ 前田真治 : 温泉療法 (リハビリテーションの視点から), 臨床リハ, 14, 944-946, 2005.10
- ・ 前田真治 : 温泉療法と皮膚疾患, 総合臨床, 55, 346-348, 2006.2
- ・ 金子純一郎, 前田真治 : 呼吸療法士, 総合リハ, 34, 88-89, 2006.1
- ・ 河野 眞 : 不器用な子どもたち, 栃木県特別支援教育指導資料, 2006.3

## 研究報告

- ・ 前田真治, 椿原彰夫, 高岡 徹 他3名: リハビリテーション医療におけるリスクマネジメントの考え方と安全管理マニュアルの作成に向けての提言, 厚生労働科学研究費補助金 医療技術評価総合研究事業, 医療の質及び医療安全体制の確保に関する研究—医療事故を防止するための対策の効果的な実施および評価に関する研究15151501—, 平成16年度総括研究報告書 (主任研究者: 千野直一), 1-33, 2005.4
- ・ 前田真治: 第2章ラドン泉についての調査, 1.本邦におけるラドン泉の分布について, 環境省業務報告書, 平成17年度温泉利用に関する医学的文献収集等検討調査, 107-146, 2006.3
- ・ 前田真治: 第2章ラドン泉についての調査, 2.ラドン泉に関する医学的文献, 1)国際文献, 環境省業務報告書, 平成17年度温泉利用に関する医学的文献収集等検討調査, 150-158, 2006.3
- ・ 前田真治: 第2章ラドン泉についての調査, 4.増富温泉における現地調査, 環境省業務報告書, 平成17年度温泉利用に関する医学的文献収集等検討調査, 177-182, 2006.3
- ・ 前田真治: 特集◎診療ガイドラインの動向と課題, 安全管理・推進のためのガイドライン策定委員会, 日本リハビリテーション医学会, リハニュース, 27, 4, 2005.10.15
- ・ 田中 繁, 梶田 明, 下田信明 他31名: 再委託調査研究成果報告書 (移動補助器分野の国際規格適正化調査研究), 日本福祉用具・生活支援用具協会, 2006.3
- ・ 杉原素子, 谷口敬道 他27名: 要支援者および軽度要介護者の介護サービスの計画および標準化に関する研究, 平成17年度厚生労働科学研究費補助金 (長寿科学総合研究事業) (総括) 研究報告書, 2006.3.31
- ・ 勝平純司, 谷口敬道, 下井俊典, 霍 明, 齋藤里果, 杉原素子: 介護予防トレーニング前後における歩行の変化, 第26回バイオメカニズム学術講演会, 講演会抄録, 259-262, 2005.10.23

## 講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・ 杉原素子: 介護予防とIADL, 介護労働安定センター, 二荒山会館, 栃木県, 2005.11.29
- ・ 杉原素子: 子どもの教育と作業療法 (シンポジウム), (社)日本作業療法士協会 全国研修会, 大阪国際交流センター, 大阪府大阪市, 2005.10
- ・ 杉原素子: 作業療法の将来展望, (社)日本作業療法士協会士会合同研修会, 乃木坂ホール, 東京都港区, 2005.10.29
- ・ 杉原素子: PT/OTにおける卒前・卒後教育の現状と連携のあり方, 全国PT/OT学校連絡協議会, 石川県教育会館ホール, 石川県金沢市, 2005.6.18
- ・ 杉原素子: 作業療法とその専門性について, NPO法人 愛音, 朝霞文化センター, 埼玉県朝霞市, 2005.11.26
- ・ 杉原素子: これからの作業療法, 三重県作業療法士会創立20周年記念講演, ホテルグリーンパーク, 三重県津市, 2005.10.2
- ・ 杉原素子: 協会の歴史, 栃木県作業療法士会新人研修会, 栃木青年会館, 栃木県宇都宮市, 2005.9.11
- ・ 杉原素子: 岐阜県作業療法士会創立20周年記念シンポジウム, 岐阜県岐阜市, 2005.11.27
- ・ 荻原喜茂: 生活の捉え方—アクティビティの理解と実践を中心に—, 平成17年度第1回認知症介護指導者研修, 認知症介護研究・研修仙台センター, 仙台, 2005.5.19
- ・ 荻原喜茂: 精神科リハビリテーションの概念と実際, (社)全国訪問看護事業協会平成17年度精神科訪問看護研修会 (集中講座), (社)全国訪問看護事業協会, 東京, 2005.7.12
- ・ 荻原喜茂: 認知症のリハビリテーション, 平成17年度会津・南会津合同地域リハビリテーション従事者等研修会, 会津大学, 福島, 2005.9.3

- ・ 荻原喜茂：生活の捉え方—アクティビティの理解と実践を中心に—，平成17年度第2回認知症介護指導者研修，認知症介護研究・研修仙台センター，仙台，2005.9.5
- ・ 荻原喜茂：保健・医療・福祉の制度改革の中での作業療法，第16回東北作業療法学会，大館市民文化会館，秋田，2005.10.1
- ・ 荻原喜茂：生活の捉え方—アクティビティの理解と実践を中心に—，平成17年度第3回認知症介護指導者研修，認知症介護研究・研修仙台センター，仙台，2005.11.30
- ・ 荻原喜茂：精神科リハビリテーションの概念と実際，(社)日本精神科看護協会 平成17年度精神科訪問看護研修会：専門編，(社)日本精神科看護協会，東京，2005.12.7
- ・ 荻原喜茂：精神障害者の地域生活支援，精神障害者の地域生活支援を進める実践研究会，(社)全国社会福祉協議会，東京，2006.2.3
- ・ 荻原喜茂：老年期PT・OT教育を考える，全国PT・OT学校連絡協議会研修会，聖隷クリストファー大学，静岡，2006.2.19
- ・ 菅原洋子：海外における作業療法，栃木県作業療法士会新人研修，栃木県健康の森，栃木県宇都宮市，2005.10
- ・ 前田真治：(特別講演)脳卒中急性期のリハビリテーション，薬師寺脳卒中セミナー，自治医大，栃木，2006.2.23
- ・ 前田真治：(特別講演)介護保険とリハビリテーション，石川県リウマチケア研究会学術講演会，金沢スカイホテル，石川県金沢市，2006.2.25
- ・ 前田真治：(特別講演)リハビリテーション行方際に必要な温泉医学の知識，第20回鹿児島リハビリテーション研究会，鹿児島大学，鹿児島県鹿児島市，2006.3.5
- ・ 前田真治：(シンポジウム)医療専門職におけるEBMのとらえ方と取り組み 医師におけるとらえ方と取り組み，第12回POアカデミー研究会 POアカデミージャーナル13(suppl)，32-35，2005，大宮ソニックシティ，埼玉県大宮市，2005.7.16
- ・ 前田真治：(シンポジウム)温泉医療の現状と動向(展望)，2005日本地熱学会学術集会，小浜観光ホテル，長崎県雲仙小浜，2005.11.18-20
- ・ 前田真治：温泉療法医・専門医制度，第26回温泉療法医教育研修会講師，日本温泉気候物理医学会主催，宇奈月国際フォーラム，富山県宇奈月，2005.5.28
- ・ 前田真治：水治療法各論，厚生労働省主催温泉療法指導者講習会講師，東京，2005.7.1
- ・ 前田真治：温泉医学総論・各論，平成17年度厚生労働省主催，第2回「温泉入浴指導員養成講習会」講師，東京，2005.7.30
- ・ 前田真治：温泉環境と健康，平成17年度厚生労働省主催，第2回「温泉入浴指導員養成講習会」講師，東京，2005.7.31
- ・ 前田真治：炭酸泉の医学的効果，平成17年度日本温泉気候物理医学会関東甲信越群地区研修会講師，新潟，2005.10.15
- ・ 前田真治：理学療法士の質の向上・人材育成，平成17年度栃木県作業療法士教育研修会，済生会宇都宮病院，栃木県宇都宮，2005.11.4
- ・ 前田真治：リウマチ患者さんのための無理なくできる運動，リウマチ市民公開講座「ペーパーミント・ウェーブ リウマチセミナー」厚生労働省主催，東京国際フォーラム，東京，2005.12.4
- ・ 前田真治：温泉医学，平成17年度厚生労働省主催，第3回「温泉入浴指導員養成講習会」講師，東京，2005.12.11
- ・ 前田真治：温泉医学とリハビリテーションのFusion，日本温泉気候物理医学会近畿・東海・関東温泉療法医地区研修会，三重県鈴鹿市，2006.2.5
- ・ 谷口敬道：地域で支える介護予防，真岡市保健福祉部，真岡市市民会館，栃木県真岡市，2005.6.11

- ・ 谷口敬道：介護予防サービスの実践方法，鹿沼市ケアマネージャー協議会，鹿沼市文化会館，栃木県鹿沼市，2005.7.14
- ・ 谷口敬道：介護予防サービスの実践方法，栃木県社会福祉施設連絡協議会，ホテルニューイタヤ，栃木県宇都宮市，2005.8.25
- ・ 谷口敬道：要支援者および軽度要介護者の介護サービスの計画および標準化に関する研究報告，大田原市ケアマネージャー連絡協議会，大田原市庁舎東別館，栃木県大田原市，2005.11.16
- ・ 下井俊典，谷口敬道：地域で支える介護予防，大田原市民生部保険課，国際医療福祉大学，栃木県大田原市，2006.3.22
- ・ 小賀野操：認知症高齢者の行動と心理，国際医療福祉大学公開講座（イブニングセミナー），国際医療福祉大学，栃木県大田原市，2005.5.25
- ・ 森田千晶：筋電義手基本講座，日本義肢装具士協会東日本研修委員会，秋葉原ダイビル，東京，2005.10.22
- ・ 森田千晶：第2回切断者SIG主催研修会・筋電義手活用のために「基礎編」，日本作業療法士協会切断者SIG，国際医療福祉大学大学院乃木坂ホール，東京，2005.12.17-18
- ・ 森田千晶：日常生活のできるリハの工夫，在宅難病患者に対する訪問事業・医療生活相談会，矢板健康福祉センター，矢板市，2006.1
- ・ 森田千晶：住宅・福祉用具に関する知識，JA宇都宮ホームヘルパー要請研修，JA宇都宮，宇都宮，2005.11.1
- ・ 森田千晶：住宅改造について，栃木県作業療法士会，とちぎ健康の森，宇都宮，2006.3.5
- ・ 河野 眞：特別支援教育について，栃木県作業療法士協会学術部発達障害分野，とちぎリハビリテーションセンター，栃木宇都宮，2005.9.15
- ・ 高橋きのみ：アクティビティプログラムの理解と実践，栃木県保健福祉部高齢対策課，とちぎ認知症介護研修センター，栃木県宇都宮市，2005.10.26
- ・ 高橋きのみ：アクティビティプログラムの理解と実践，栃木県保健福祉部高齢対策課，とちぎ認知症介護研修センター，栃木県宇都宮市，2006.1.18
- ・ 渡邊清美：多動のメカニズムと対応について，県北地区こども発達支援センター，烏山町社会福祉協議会，那須烏山市，2005.11.28

## 学会発表

- ・ 杉原素子 他：介護予防トレーニングの前後における歩行の変化，第26回バイオメカニズム学術講演会，2005.10.22-23
- ・ 杉原素子 他：3ヶ月間の運動療法の心身機能と要介護度の改善効果，第16回全国介護老人保健施設，パシフィコ横浜，神奈川県，2005.8.30-9.1
- ・ 杉原素子（座長）：教育講演会，第40回日本作業療法学会，つくば国際会議場，茨城県つくば市，2005.6.24
- ・ 菅原洋子：地域における住宅改修長期経過，作業療法学会，茨城県つくば市，2005.6
- ・ 菅原洋子：頸髄損傷者のADL自立と自助具，第1回中国作業療法学会，Postal Service Resort，中華人民共和国青島市，2005.9.17
- ・ Maeda M，Nakagome Y，Shimizu S 他2名：Effects of left hemineglect in facial image recognition，3<sup>rd</sup> International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (ISPRM)，Sao Paulo International Convention Center，Sao Paulo Brazil，2005.4.10-14
- ・ Maeda M，Shimizu S，Kamide N 他2名：Rehabilitation Measures for Higher Brain Function Disorder Patients Using Cellular Phones.，3<sup>rd</sup> International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (ISPRM)，Sao Paulo International Convention Center，Sao Paulo Brazil，2005.4.10-14

- Kamide N, Sumida S, Maeda M 他2名 : Evaluation of Stretch-Shortening-Cycle in knee extensor and flexor muscles and relation to performance, 3<sup>rd</sup> International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (ISPRM), Sao Paulo International Convention Center, Sao Paulo Brazil, 2005.4.10-14
- Sumida S, Kamide N, Maeda M 他2名 : Relation between stretch-shortening cycle and eccentric, concentric contraction for knee joint extensor and flexor, 3<sup>rd</sup> International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (ISPRM), Sao Paulo International Convention Center, Sao Paulo Brazil, 2005.4.10-14
- 前田真治, 杉田 淳, 齋藤雅人 他2名 : 日本酒濃縮物添加温水の人体に対する効果, 第70回日本温泉気候物理医学会総会, 宇奈月国際フォーラム, 富山県宇奈月, 2005.5.27-28
- 前田真治 : 健常成人に対する全身浴が運動能力に及ぼす影響, 第70回日本温泉気候物理医学会総会, 宇奈月国際フォーラム, 富山県宇奈月, 2005.5.27-28
- 前田真治, 古橋紀久 : 水中歩行における筋活動, 第42回リハビリテーション医学会学術集会, 全日空ホテル金沢など, 石川県金沢市, 2005.6.16-18
- 前田真治 : 半側無視と相貌回転画像, 第29回日本高次脳機能障害学会, 川崎医大, 岡山, 2005.10
- 前田真治 : 炭酸温浴におけるHSP70の変化, 第10回人工炭酸研究会, 東京, 2005.12.2
- 隅田祥子, 上出直人, 前田真治 他2人 : 感覚統合からみたRA患者の姿勢調整能, 第24回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 山梨県甲府市, 2005.9.17-18
- 安藤文子, 上出直人, 前田真治 他4人 : 変形性膝関節症患者のバランス調整能の特徴, 第24回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 山梨県甲府市, 2005.9.17-18
- Shimizu S, Maeda M, Ikeda Y 他1名 : Relationship between falls and visual attention for difference visuospatial positions in stroke patients, WCPT-AWP & ACPT 2005. The 4<sup>th</sup> world confederation for physical therapy—Asia western pacific region & The 9<sup>th</sup> asia confederation for physical therapy congress, Seoul Banquet & Convention Center Korea, Korea Seoul, 2005.10.30-11.1
- Ikeda Y, Shimizu S, Maeda M 他2人 : The influence of reaction hand on visual attention for different visuospatial positions, WCPT-AWP & ACPT 2005. The 4<sup>th</sup> world confederation for physical therapy—Asia western pacific region & The 9<sup>th</sup> asia confederation for physical therapy congress, Seoul Banquet & Convention Center Korea, Korea Seoul, 2005.10.30-11.1
- 下田信明, 國府田弘子, 松木英里奈 他1名 : 脳血管障害発症6年2ヶ月後も手指機能が向上している症例への作業療法経験, 第39回日本作業療法学会, つくば国際会議場, 茨城県つくば市, 2005.6.24
- 菊地教継, 國府田弘子, 下田信明 他2名 : 重度四肢麻痺入所者のテレビリモコンの改造, 第16回全国老人保健施設神奈川大会, パシフィコ横浜, 神奈川県横浜市, 2005.8.30
- 下田信明, 畦上恭彦, 國府田弘子 他1名 : 介護老人保健施設での作業療法士による摂食・嚥下および構音訓練～外部の言語聴覚士との連携の実際～, 第11回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2005.9.2
- Takeda K, Gomi Y, Shimoda N 他5名 : NEAR-INFRARED SPECTROSCOPY FOR MONITORING CEREBRAL ACTIVATION AFTER HEMIPARETIC STROKE, Society for Neuroscience, Itinerary Planner, Washington, D.C., 2005.11.12-16
- 下田信明, 武田湖太郎, 潮見泰蔵 他3名, 健常左手利き者と右手利き者の空間認知課題における局所脳血流量変化の比較—NIRSによる検討—, 第8回日本ヒト脳機能マッピング学会大会, 自然科学研究機構岡崎コンファレンスセンター, 愛知県岡崎市, 2006.3.12
- 武田湖太郎, 五味幸寛, 下田信明 他2名 : 脳卒中患者の麻痺手の他動的運動時における脳血流変化—NIRSによる計測—, 第10回脳機能とリハビリテーション研究会, 川崎市産業振興会館, 神奈川県川崎市, 2006.3.19

- ・ Kaneko J, Kato H, Shimoda N 他3名 : Consideration of cerebral activity in repetitive movement of the lower limbs with near infrared spectroscopic topography (NIRS), The 4th world confederation for physical therapy, Seoul Bnquet&Convention center, Seoul Korea, 2005.10.30-11.1
- ・ 下井俊典, 谷口敬道, 杉原素子 他 : 3ヶ月間の運動療法の心身機能と要介護度の改善効果, 第16回全国介護老人保健施設神奈川県大会, パシフィコ横浜, 神奈川県横浜市, 2005.8.30
- ・ OBUCHI C, SHIROMA M, TANIGUCHI T 他2名 : NON-INVASIVE ASSESSMENT OF LANGUAGE PROCESSING IN CORTEX ON YOUNG COCHLEAR INPLANT CHILDREN, The 5<sup>th</sup> Asia Pacific Symposium on Cochlear Implant and Related Sciences, 香港中文大学, 香港, 2005.11.26
- ・ 河野 眞, 安田章子, 桐本 光 : カンボジアに適合する地域精神保健サービス体制開発のための活動について, 日本作業療法学会, つくば国際会議場, 茨城県つくば, 2005.6.24

### 研究助成金（文部科学省，厚生労働省，公的研究費，その他研究助成金）

- ・ 杉原素子 : 要支援者および軽度要介護者の介護サービスの計画および標準化に関する研究, 厚生労働科学研究研究費補助金長寿科学総合研究事業, 厚生科学研究, 2060275782, 継続（医学・医療）
- ・ 前田真治, 椿原彰夫, 高岡 徹 他3名 : 医療の質及び医療安全体制の確保に関する研究—医療事故を防止するための対策の効果的な実施および評価に関する研究—, 厚生労働科学研究費補助金, 医療技術評価総合研究事業, 15151501, 継続
- ・ 前田真治 : 平成17年度温泉利用に関する医学的文献収集等検討調査, 環境省業務, 新規
- ・ 林由美子 : ベトナムにおける地域リハビリテーション及び障害当事者エンパワメントを通じた身体障害者支援事業, JICA草の根技術協力事業（パートナー型）, 採択（H18.1.6から3年間プロジェクトマネージャーとしてベトナム・チョーライ病院勤務中）

### 学位取得・研究業績に対する受賞

- ・ 森田千晶 : 飯田賞奨励賞, 「筋電義手の開発と作業療法」, 2005.11.19

### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 杉原素子 : 日本保健科学学会（理事）, 日本病院管理学会, 日本リハビリテーション医学会（評議員）, 日本作業療法士協会（会長）
- ・ 荻原喜茂 : 日本作業療法士協会, 日本精神障害リハビリテーション学会（理事）
- ・ 菅原洋子 : 日本人間工学学会, 日本リハビリテーション工学協会, 日本リハビリテーション連携科学学会, 作業療法教育研究会
- ・ 前田真治 : 日本リハビリテーション医学会（リハビリテーション専門医第157号, リハビリテーション指導責任者第90429号）（評議員, 関連専門職委員会委員長, 安全管理ガイドライン策定委員会, 委員長）, 日本脳卒中学会（脳卒中専門医第20030091号）（評議員, 雑誌査読委員）, 日本温泉気候物理医学会（温泉療法専門医）（理事, 評議員）, 日本リウマチ学会（リウマチ専門医第449号）, 日本内科学会（認定内科医第71696号）, 日本高次脳機能障害学会（評議員）, 日本神経心理学会, 日本義肢装具学会, 日本リウマチのリハビリテーションケア研究会, 国際リハビリテーション医学会(ISPRM), 国際水治療法学会(ISMH)
- ・ 下田信明 : 日本作業療法士協会, 日本作業行動研究会, 医療マネジメント学会栃木地方会, 日本リハビリテーション連携科学学会, 日本ヒト脳機能マッピング学会, 日本老年社会科学学会, 日本神経心理学会, 日本在宅ケア学会
- ・ 谷口敬道 : 日本作業療法士協会（認定作業療法士）, 日本重症心身障害学会, 光脳機能イメージング研究会

- ・ 森田千晶：日本作業療法士協会，日本義肢装具学会（評議員，編集委員），国際義肢装具学会（ISPO），日本リハビリテーション工学協会
- ・ 高橋きのみ：ハンドセラピー学会
- ・ 林由美子：日本作業療法士協会，Joint Facilitation

## 保健学部（言語聴覚学科）

### 著書

- ・ 藤田郁代：言語コミュニケーション障害の新しい視点と介入理論，構文機能の障害，183-198，医学書院，2005.9
- ・ 伊藤元信（分担執筆）：リハビリテーションMOOK12，言語障害・摂食嚥下障害とリハビリテーション（大橋正洋 他編），治療の実際，構音障害，32-38，医歯薬出版，2005.9.30
- ・ 伊藤元信（分担執筆）：リハビリテーションMOOK13，高齢者のリハビリテーション（大橋正洋 他編），高齢者のコミュニケーション障害，134-140，医歯薬出版，2005.11.25
- ・ 城間将江，廣田栄子，小渊千絵，武智司尾子：聴覚障害学I・II演習テキスト，監修，国際医療福祉大学，2005.4
- ・ 城間将江：新生児聴覚スクリーニング，人工内耳と聴覚・言語発達，80-92，金原出版，（2005.1）
- ・ 城間将江：「お子さんの耳がきこえない」と言われたら，人工内耳，19-23，全国層機支援研究会，2005.11
- ・ 新美成二（監修）：動画で見る音声障害，インテルナ出版，2005.5.18
- ・ 田中裕美子：よく分かる言語発達，読み書きの発達，58-61，ミネルヴァ書房，2005.5
- ・ 田中裕美子：よく分かる言語発達，言語学習障害の実際，154-157，ミネルヴァ書房，2005.5

### 原著論文

- ・ 菅野倫子，藤田郁代，伊藤智彰，橋本律夫：失語症における構文理解障害のパターン—左前頭葉病変例と左側頭葉病変例の比較，神経心理学研究，21(4)，243-251，2005.12
- ・ 尾原恵美，伊藤元信，菊地義信：食道発声における発話明瞭度，音声言語医学，47(1)，5-15，2006.1
- ・ Matsunaga T, Shiroma, M, Goto Y, Usami S : Audiological features and mitochondrial DNA sequence in a large family carrying Mitochondrial A1555G mutation without use of aminoglycoside, Annals of Otolaryngology & Rhinology, 114(2), 153-160, 2005
- ・ 西尾正輝，新美成二：加齢に伴う話声位の変化，音声言語医学，46(2)，136-144，2005.4
- ・ 横山有希子，三枝英人，八木聡明，新美成二：上咽頭癌照射後，晩期に感音難聴と嚥下障害を発症した1例，音声言語医学，46(3)，167-173，2005.6
- ・ Matsunaga T, Hirota E, Bito S, Niimi S, Usami S : Clinical Course of Hearing and Language Development in GJB2 and Non-GJB2 Deafness following Habilitation with Hearing Aid., Audiology and Neurotology, 11(1), 59-68, 2005.9
- ・ Nishio M, Niimi S : Comparison of Speaking Rate, Articulation Rate and Alternating Motion Rate in Dysarthric Speakers, Folia Phoniatr Logop, 58(3), 114-131, 2006.5
- ・ Tsunoda K, Kondou K, Kaga K, Niimi S, Baer T : Autologous Transplantation of Fascia into the Vocal Fold, Laryngoscope, Suppl. 108, 1-10, 2005.12
- ・ Menn L, Tanaka Welty Y : Developing quantitative methods of analyzing language deficiencies in narratives Special issue, Japanese Journal of Communication Disorders, 22, 127-138, 2005.8

- ・ 前新直志, 山崎和子, 小林宏明: 幼児の非流暢性発話に対する鑑別診断および母親の聴覚判定, コミュニケーション障害学, 22(2), 73-82, 2005.8
- ・ 森田秋子, 小林修二, 濱中康治, 三吉佐和子: 失語症患者の排泄訓練における言語聴覚士の役割, 言語聴覚研究, 2(2), 71-78, 2005.7
- ・ 小林修二, 原 瑞穂, 森田秋子: 予後予測因子としての失禁に関する妥当性の研究, 理学療法科学, 20(2), 99-102, 2005.5
- ・ 森田秋子, 小林修二, 濱中康治, 飯島 節: 半側空間無視の長期経過一机上検査で所見が消失した患者の経過を中心に, 日本老年医学雑誌, 42(6), 708-711, 2005.11
- ・ 小淵千絵, 水上喜美子: 聴取能力の加齢変化に影響する要因の検討, 聴覚言語障害, 34, 1-7, 2005.7

## 総説

- ・ 田中裕美子: 言語学習障害・読み書き障害, 音声言語医学, 46(2), 148-154, 2005.4

## 研究報告

- ・ 藤田郁代: 脳外傷のコミュニケーション障害の病態と談話機能検査開発に関する研究, 科学研究費補助金報告書, 1-86, 2005.6
- ・ 千野直一, 里宇明元, 藤田郁代 他: リハビリテーション医療における安全管理・推進のためのガイドライン, 医歯薬出版出版, 2006.3
- ・ 比企静雄, 城間将江: 人工内耳を通しての声の高さの弁別閾値の向上, 日本音響学会, 聴覚研究会資料集, 36(1), 137-147, 2006.3
- ・ 比企静雄, 城間将江: 人工内耳を通しての声の高さの弁別閾値の向上, 電子情報通信学会技術研究報告, 106(686), 11-16, 2006.3
- ・ 田中裕美子: 言語障害に伴う学習の問題を早期に予防するコンピューター指導法の効果についての研究, 文部科学省科学研究最終報告書, 2005.6
- ・ 前新直志, 寺尾恵美子, 鈴木真由美: 顕著な随伴運動を伴う幼児吃音への直接的アプローチ, 新潟言語障害児懇談会研究論文集, 2, 49-51, 2005.9
- ・ 渡邊正基, 前新直志: 会話より音読でどもる傾向にある吃音女児への言語指導, 新潟言語障害児懇談会研究論文集, 2, 55-62, 2005.9

## 講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・ 藤田郁代: 脳外傷の談話機能障害, 愛知県言語聴覚士会セミナー, 名古屋医療センター, 名古屋市, 2005.6.26
- ・ 藤田郁代: 言語聴覚士の現状と未来, 岐阜県言語聴覚士会セミナー, ぱるるプラザ岐阜, 岐阜市, 2005.10.10
- ・ 藤田郁代: 言語聴覚士教育の理念とカリキュラム展開, 言語聴覚士養成校連絡協議会研修会, アルカディア市谷, 東京, 2006.3.19
- ・ 藤田郁代: 脳外傷の認知・コミュニケーション障害—評価とリハビリテーション, 日本言語聴覚士協会全国研修会, 慶応大学, 東京, 2005.11.20
- ・ 藤田郁代, 伊藤智彰: 失語症の語彙訓練の理論と実際, 言語聴覚士卒後研修会, 大阪リハビリテーション学校, 大阪, 2005.12.4
- ・ 伊藤元信: 摂食・嚥下障害へのアプローチ—臨床場面における評価と治療, 第2回茨城県北西部リハビリテーション研究会, 常陸大宮市文化センター, 茨城県常陸大宮市, 2005.11.19

- ・城間将江：マッピングについて，人工内耳研究会，虎ノ門病院，東京都，2005.10.29
- ・城間将江：思春期の難聴児の指導，札幌医科大学，札幌医大記念ホール，札幌市，2005.11.3
- ・城間将江：人工内耳装用児の指導，水戸市，2005.12.3
- ・Masae Shiroma：Assessment of Cochlear Implant Children in Japan，Asian Pacific Symposium of Cochlear Implant，Conference Center of Hong Kong，Hong Kong，2005.11.26
- ・新美成二：Care of Professional Voice，春季国際声楽アカデミー，彩の国さいたま芸術劇場，大宮市，2006.3.12
- ・田中裕美子：ダブルリミテッド／一時的セミリングル現象を考える，文部科学省・名古屋外国語大学外国学部日本語学科・母語・継承語・バイリンガル教育研究会共催，名古屋外国語大学，名古屋，2006.2.18
- ・畦上恭彦：INREALアプローチについて，栃木県情緒障害教育研究会，那須烏山市立烏山小学校，栃木県那須烏山市，2005.6.30
- ・畦上恭彦：子どもの心とことばを育む，大宮インリアル研究会，With You さいたま，埼玉県さいたま市，2005.7.10
- ・畦上恭彦：県北地域での発達障害児早期発見事業『のびのび発達相談』の現状と課題，栃木県県西健康福祉センター保育士研修会，鹿沼市民情報センター，栃木県鹿沼市，2005.8.10
- ・畦上恭彦：特別支援教育を進めるために，特別支援教育研修会，黒羽町立片田小学校，栃木県黒羽町，2005.9.9
- ・前新直志：器質的構音障害児の指導，埼玉県教育委員会，埼玉県総合教育センター，埼玉県さいたま市，2005.7.5
- ・前新直志：構音障害の基礎と臨床過程，栃木県小学校教育研究会，栃木県総合教育センター，栃木県宇都宮市，2005.12.16
- ・前新直志：Evidenc-based Treatment of Stuttering-吃音臨床の方向性，新潟県聴覚言語障害児教育研究会，パイプ長岡，新潟県長岡市，2005.11.19
- ・森田秋子：現場で役に立つSTになるために，大分県言語聴覚士会，大分県大分市，2005.4.22
- ・森田秋子：訪問リハビリテーション，国際医療福祉大学言語聴覚学科卒業後研究会，市ヶ谷アルカディア，東京都市ヶ谷，2005.7.30
- ・森田秋子：高次脳機能障害を持つ方々への支援，目黒区社会福祉課，目黒区社会福祉協議会あいアイ館，東京都目黒区，2005.11.14
- ・森田秋子：失語症とADL，戸田中央病院グループリハビリテーション研究会，戸田中央病院，埼玉県戸田市，2006.2.4
- ・森田秋子：診療報酬改定に関して，千葉県言語聴覚士会，千葉大学附属病院，千葉県千葉市，2006.3.26

## 学会発表

- ・藤田郁代（座長）：失語症の認知神経心理学的アプローチ群，第29回日本高次脳機能障害学会，川崎医療福祉大学，倉敷市，2005.11.25
- ・藤田郁代（座長）：失語症群，第29回日本神経心理学会，京都大学，京都，2005.9.22
- ・藤田郁代（主催者，座長）：失語症・学生指導群，第6回日本言語聴覚士協会総会・日本言語聴覚学会，ソニックシティー大宮，大宮市，2005.6.11
- ・藤田郁代（座長）：高次障害2群，第50回日本音声言語医学会，メルパルク，横浜市，2005.10.28
- ・森田秋子，藤田郁代，伊藤智彰，内海景子 他2名：漢字と仮名に特異的な症状を認めた深層失読の一例，第6回日本言語聴覚士協会総会・日本言語聴覚学会，ソニックシティー大宮，大宮市，2005.6.12
- ・山本瑞穂，藤田郁代：超皮質性感覚失語における前方主病変例と後方主病変例の呼称能力の比較，第6回日本言語聴覚士協会総会・日本言語聴覚学会，ソニックシティー大宮，大宮市，2005.6.11

- ・ 竹内若菜, 藤田郁代: 錯文法における自動詞・他動詞の接尾辞の処理, 第50回日本音声言語医学会, メルパルク横浜, 横浜市, 2005.10.28
- ・ 山本瑞穂, 藤田郁代: 超皮質性感覚失語における前方主病変例と後方主病変例の呼称反応時間と誤りの比較, 第50回日本音声言語医学会, メルパルク横浜, 横浜市, 2005.10.28
- ・ 田代絢子, 伊藤元信: 脳血管障害急性期における摂食・嚥下障害の時間別検討, 第11回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋国際会議場, 名古屋市, 2005.9.2
- ・ 平田 文, 窪田 聡, 伊藤元信: 食塊量にともなう嚥下反射惹起性の検討, 第11回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋国際会議場, 名古屋市, 2005.9.3
- ・ 城間将江 (座長): 日本音声言語医学会, メルパルク横浜, 横浜市, 2005.10.27
- ・ 加藤秀敏, 藤本綾子, 城間将江, 加我公孝: 3歳後半で人工内耳手術を受けた一先天性高度難聴児の構音の発達に関する考察—健聴児の構音の獲得時期と比較して, 日本音声言語医学会, メルパルク横浜, 横浜市, 2005.10.27
- ・ Shiroma M, Hiki S: Improving the Discrimination Threshold of Voice Pitch through Cochlear Implants, Asian Pacific Symposium of Cochlear Implant, Conference Center of Hong Kong, Hong Kong, 2005.11.26
- ・ Hiki S, Imaizumi K, Shiroma M: Possibility of Perceiving Japanese Word Accent and Chinese Tones through the Cochlear Implants, Asian Pacific Symposium of Cochlear Implant, Conference Center of Hong Kong, Hong Kong, 2005.11.26
- ・ Obuchi C, Shiroma M, Matsumoto H, Taniguchi N et al.: Noninvasive Assessment of Language Processing in Cortex on Young Cochlear Implant children, Asian Pacific Symposium of Cochlear Implant, Conference Center of Hong Kong, Hong Kong, 2005.11.26
- ・ 新美成二 (座長): 音声外科, 日本耳鼻咽喉科学会, 大阪国際会議場, 大阪市, 2005.5.21
- ・ 新美成二 (座長): GERDの病態と治療, GERDと咽喉頭疾患研究会, パレスホテル, 東京都, 2005.6.4
- ・ 新美成二 (座長): 言語, 日本口蓋裂学会, 文京シビックセンター, 東京都, 2005.5.26
- ・ 新美成二 (座長): 記念講演「宇宙と私」, 日本音声言語医学会, メルパルク横浜, 横浜市, 2005.10.27
- ・ 新美成二 (座長): シンポジウム「喉頭フィードバック機構の解明」, 日本気管食道科学会, 国立京都国際会館, 京都市, 2005.11.17
- ・ Yumiko Tanaka Welty, Lise Menn: Language Processing Overload: Evidence from sentence comprehension of Japanese SLI, International Congress for the study of child language, University of Berlin, Germany, 2005.7.24-28
- ・ Yumiko Tanaka Welty, Naoshi Maeara, Jenny Roberts: Spoken & Written language profiles of Japanese dyslexic children, Annual convention of American Speech Language Association, San Diego, CA USA, 2005.11.17-20
- ・ 田中裕美子 (企画者): 発達障害児へのダイナミックアセスメント (DA) アプローチの適用 (1), 日本特殊教育学会シンポジウム, 福井大学, 福井県, 2005.9
- ・ 田中裕美子 (企画者): ダイナミックアセスメント (Dynamic Assessment; DA) に基づく子どもの理解と支援, 日本LD学会シンポジウム, 金沢大学, 富山県, 2005.9
- ・ 田中裕美子 (企画): ダイナミックアセスメントとは, 日本コミュニケーション障害学会, 京都, 2005.5
- ・ 前新直志, 田中裕美子: 特異 (persistent) な構音障害を示した言語学習障害児へのアプローチ, 日本音声言語医学会, 北里大学, 神奈川, 2005.11
- ・ 畦上恭彦, 遠藤重典, 田中裕美子 他1名: 言語発達遅滞児への適用, 第31回日本コミュニケーション障害学会, ひと・まち交流館京都, 京都府京都市, 2005.5.20-21
- ・ 田中裕美子, 畦上恭彦, 遠藤重典 他1名: ダイナミックアセスメント (Dynamic Assessment :DA法) とは, 第31回日本コミュニケーション障害学会, ひと・まち交流館京都, 京都府京都市, 2005.5.20-21

- ・ 遠藤重典, 畦上恭彦, 田中裕美子 他1名: DA法の広汎性発達障害児への適用, 第31回日本コミュニケーション障害学会, ひと・まち交流館京都, 京都府京都市, 2005.5.20-21
- ・ 前新直志, 畦上恭彦, 遠藤重典 他1名: DA法の言語学習障害児への適用, 第31回日本コミュニケーション障害学会, ひと・まち交流館京都, 京都府京都市, 2005.5.20-21
- ・ 畦上恭彦 (座長): コミュニケーションと言語発達, 第31回日本コミュニケーション障害学会, ひと・まち交流館京都, 京都府京都市, 2005.5.20-21
- ・ 畦上恭彦, 遠藤重典: 学生指導におけるINREALアプローチの意義の検討ー学生はコミュニケーションをどう評価するかー, 第6回日本言語聴覚士協会総会・日本言語聴覚学会, ソニックシティ, 埼玉県さいたま市, 2005.6.11-12
- ・ 下田信明, 畦上恭彦, 國府田弘子 他1名: 介護老人保健施設での作業療法士による摂食・嚥下および構音訓練へ外部の言語聴覚士との連携の実際~, 第11回日本摂食・嚥下障害リハビリテーション学会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2005.9.2-3
- ・ 田中裕美子, 畦上恭彦, 大伴 潔 他2名: ダイナミックアセスメント (Dynamic Assessment : DA法) に基づく子どもの理解と支援 (シンポジウム), 日本LD学会第14回大会, 福井県立大学・福井キャンパス, 福井県吉田郡松岡町, 2005.9.30-10.3
- ・ 田中裕美子, 畦上恭彦, 大石敬子 他2名: 発達障害児へのダイナミックアセスメント (DA) アプローチの適用 (1) : Fast Mapping (言語習得) 能力を中心に (シンポジウム), 第44回日本特殊教育学会, 金沢大学・角間キャンパス, 石川県金沢市, 2005.9.23-25
- ・ 田中裕美子, 前新直志, 遠藤重典 他1名: ダイナミックアセスメント (Dynamic Assessment) とは, 第31回コミュニケーション障害学会, ひと・まち交流館, 京都, 2005.5.21
- ・ 遠藤重典, 前新直志, 田中裕美子 他1名: DA法の広汎性発達障害児への適用, 第31回コミュニケーション障害学会, ひと・まち交流館, 京都, 2005.5.21
- ・ 畦上恭彦, 田中裕美子, 前新直志 他1名: DA法の言語発達遅滞児への適用, 第31回コミュニケーション障害学会, ひと・まち交流館, 京都, 2005.5.21
- ・ 前新直志, 田中裕美子, 畦上恭彦 他1名: DA法の言語学習障害児への適用, 第31回コミュニケーション障害学会, ひと・まち交流館, 京都, 2005.5.21
- ・ 前新直志, 山田好秋: 発話刺激の間の変化に対する幼児の「発話反応時間」と「発話の間」の相関, 第6回日本言語聴覚士協会総会・日本言語聴覚学会, 大宮ソニックシティ, 埼玉, 2005.6.11
- ・ 前新直志: 幼児吃音にみられた随伴運動への対応ー吃音の意識を配慮した症例ー, 第43回日本特殊教育学会, 金沢大学, 石川, 2005.9.23
- ・ 前新直志, 川合紀宗, 長澤泰子 他5名: Evidenc-Based Treatment of Stutteringー吃音研究と臨床成果の融合を目指してー, 第43回日本特殊教育学会, 金沢大学, 石川, 2005.9.25
- ・ 寺尾恵美子, 前新直志: 硬口蓋切歯乳頭部の神経痛によって発話困難を訴えた症例ー第II報 プレート装着後の言語訓練ー, 第43回日本特殊教育学会, 金沢大学, 石川, 2005.9.25
- ・ 前新直志, 田中裕美子: 特異 (persistent) な構音障害を伴う言語学習障害児の指導, 第50回日本音声言語医学会, メルパルク横浜, 神奈川, 2005.10.27
- ・ Tanaka Y Welty, Maeara N, Roberts J: Spoken and Written Language Profiles of Japanese Dyslexic Children : A Case Studies Approach, The Annual ASHA Conbention, San Diego Conbention Center, San Diego U.S.A, 2005.11.18
- ・ 森田秋子 (座長): 失語症・高次脳機能障害II, 日本言語聴覚士学会, 大宮ソニック, 埼玉, 2005.6.11
- ・ 森田秋子: 半側空間無視が脳血管障害後の基本ADLの予後に与える影響, 日本老年医学会, 東京, 2005.6.16
- ・ 森田秋子: 失語症の下位機能がADLに与える影響, 日本高次脳機能学会, 川崎医療福祉大学, 岡山, 2005.11.28

- ・小瀧千絵, 水上喜美子: 高齢者の主観的聞こえとその要因に関する検討, 第69回日本心理学会学術大会, 慶應義塾大学, 東京都港区, 2005.9.12
- ・小瀧千絵, 廣田栄子: 中高度聴覚障害児の単語識別における韻律情報の活用の検討, 第50回日本聴覚医学会総会ならびに学術講演会, 六本木ヒルズ, 東京都港区, 2005.9.23
- ・廣田栄子, 小瀧千絵, 武智司尾子: 高齢者の音節識別における雑音負荷と周波数遮断要因の検討, 第50回日本聴覚医学会総会ならびに学術講演会, 六本木ヒルズ, 東京都港区, 2005.9.21
- ・小瀧千絵, 高度聴覚障害幼児における発話の韻律知覚に関する検討—音声模倣時の音声にみられる韻律情報の分析—, 第43回日本特殊教育学会学術大会, 金沢大学, 石川県金沢市, 2005.9.25
- ・Obuchi C, Shiroma M, Matsumoto H et al.: Non-invasive assessment of language processing in cortex on young cochlear implant children, The 5th Asia pacific symposium on cochlear implants and related sciences, Hong Kong Convention and Exhibition Center, Hong Kong, 2005.11.28

#### 研究助成金（文部科学省，厚生労働省，公的研究費，その他研究助成金）

- ・千野直一, 里宇明元, 藤田郁代 他: 医療の質および医療安全体制の確保に関する研究, 厚生科学研究費補助金, 医療, 15151501, 継続
- ・加我君孝, 城間将江 他: 新生児聴覚スクリーニングと精密聴力検査及び人工内耳手術の成果に関する長期追跡研究, 平成17年度厚生労働科研補助金感覚器障害研究事業, 感覚器障害
- ・新美成二: 喫煙時の鼻咽腔動態に関する生理学的研究, 喫煙科学財団研究助成金, 採択
- ・田中裕美子 (代表者): 学習障害児早期発見スクリーニング法開発のための縦断研究, 文部科学省科学研究費補助金, 基盤研究B, 17330203, 採択

#### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・藤田郁代: 日本音声言語医学会 (理事, 評議員), 日本神経心理学会 (理事, 学会誌編集委員, 学会プログラム委員), 日本高次脳機能障害学会 (理事, 評議員, 学会誌編集委員, 学会プログラム委員), 日本リハビリテーション医学会, 日本言語聴覚士協会 (学会プログラム委員), 言語障害臨床学術研究会 (世話人)
- ・伊藤元信: 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 (理事), 日本音声言語医学会 (評議員), 日本高次脳機能障害学会 (評議員), 日本神経心理学会 (評議員), 言語障害臨床学術研究会 (世話人), American Speech-Language-Hearing Association
- ・城間将江: 日本聴覚医学会, 日本音声言語医学会 (評議員), 日本言語聴覚士学会, Society of Asian Pacific Cochlear Implant and Related Sciences (評議員), American Speech-Language-Hearing Association, AG Bell Association
- ・新美成二: 日本耳鼻咽喉科学会 (専門医) (言語, 聴覚, 平衡委員会委員長, 嚥下委員会委員), 日本気管食道科学会 (認定医) (理事), 日本音声言語医学会 (理事), 日本口蓋裂学会 (評議員), 日本口腔咽頭科学会 (評議員), 日本喉頭科学会 (理事), 日本嚥下医学会 (理事), 国際音声言語医学会 (理事), 国際音声外科学会 (理事), Cologium Medicorum Theatri (理事), 東アジア音声外科研究会 (理事)
- ・畦上恭彦: 日本言語聴覚士協会, 日本高次脳機能障害学会, 日本音声言語医学会, 日本特殊教育学会, 日本LD学会, 日本発達心理学会, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 日本コミュニケーション障害学会 (理事), 日本赤ちゃん学会
- ・前新直志: 日本音声言語医学会, 日本言語聴覚士協会, 日本特殊教育学会, 日本コミュニケーション障害学会, 日本聴覚言語障害学会, 日本発達心理学会, 新潟歯学会, International Fluency Association
- ・森田秋子: 日本老年医学会, 日本高次脳機能学会, 日本神経心理学会

- ・ 伊藤智彰：日本言語聴覚士協会，日本神経心理学学会，日本高次脳機能障害学会，日本音声言語医学会
- ・ 小田部夏子：日本神経心理学学会，栃木県カウンセリング協会
- ・ 小渊千絵：日本心理学学会，日本特殊教育学会，日本聴覚医学会，日本音声言語医学会，日本神経心理学学会，日本高次脳機能障害学会，日本聴覚言語障害学会，日本生理心理学学会
- ・ 田村佳穂：日本特殊教育学会，日本高次脳機能障害学会
- ・ 山本瑞穂：日本高次脳機能障害学会，日本神経心理学学会，日本音声言語医学会，日本言語聴覚士協会

## 保健学部（視機能療法学科）

### 著書

- ・ 新井田孝裕（分担）：視能学，基礎視能矯正学，I.視覚生理学，6.電気生理学，88-99，文光堂，（2005.3）
- ・ 宇賀茂三（分担）：眼科診療プラクティス，眼科臨床に必要な解剖生理，虹彩の解剖，120-125，文光堂，2005.11
- ・ 山田徹人（分担）：視能学，1.基礎医学大要，3.眼球運動系，28-35，文光堂，（2005.3）

### 原著論文

- ・ Emoto M, Niida T, Okano F : Repeated vergence adaptation causes the decline of visual functions in watching stereoscopic television, Journal of display technology, 1(2), 328-340, 2005.12
- ・ 中田かづき, 山田徹人, 四之宮佑馬, 藤田純子, 新井田孝裕, 高橋和晃 : 治療に苦慮している先天性周期性交代性眼振の1例, 眼科臨床医報, 99(5), 398-401, 2005.5
- ・ 小野里規子, 山田徹人, 四之宮佑馬, 新井田孝裕, 高橋和晃 : 延髄・小脳障害を疑わせる異常眼球運動を伴った片側核間麻痺の一例, 神経眼科, 22(4), 527-532, 2005.12
- ・ 大下雅世, 後藤 浩, 山川直之, 白井正彦, 宇賀茂三 : 反復する鈍的機械刺激による実験的白内障モデルの確立と発症機序の解明, 日眼会誌, 109(4), 197-204, 2005.4
- ・ 関口沙知子, 伊藤美沙絵, 矢野 隆, 相澤大輔, 鈴木雅信, 庄司信行, 魚里 博, 清水公也 : 若年者における高次収差の検討, 日本視能訓練士協会誌, 34, 83-88, 2005.9

### 講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 三柴恵美子 : なす療育園における視機能評価の実際と問題点, 栃木県視能訓練士勉強会, 国際医療福祉大学, 大田原市, 2005.9

### 学会発表

- ・ 新田任里江, 比嘉利沙子, 新井田孝裕 他2名 : モノビジョン法への視能訓練士の関わり, 第41回日本眼光学学会, 名古屋市吹上中小企業振興会館, 愛知県名古屋市, 2005.9
- ・ 伊藤美沙絵, 疋田朋子, 新井田孝裕 他4名 : 知覚優位性と眼位異常の検討, 第46回日本視能矯正学会, 大阪国際会議場, 大阪府大阪市, 2005.11
- ・ 村上みや, 矢野 隆, 四之宮佑馬, 新井田孝裕 : 調節に伴う角膜屈折力の検討, 第46回日本視能矯正学会, 大阪国際会議場, 大阪府大阪市, 2005.11

- ・平野大輔, 三柴恵美子: 重症心身障害児・者の視力評価の検討, 日本重症心身障害学会, 国立オリンピック記念青少年総合センター, 東京都, 2005.9
- ・高橋和晃, 四之宮佑馬, 村山慎二郎: デジタルカメラ付き携帯電話を利用したロービジョン補助具の検討, 第59回日本臨床眼科学会, 北海道厚生年金会館他, 北海道札幌市, 2005.10

#### 研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

- ・新井田孝裕: モノビジョンにおける視機能の解明 (眼優位性の生理学的検討及び定量的評価法), 文部科学省科学研究費, 基盤(C), 4571686, 継続
- ・藤田純子: 視野闘争を用いた眼優位性の時間的定量と電気生理学的検討, 文部科学省科学研究費, 若手研究(B), 16791064, 継続
- ・村山慎二郎, 菊地裕一, 青木恭太, 八藤後猛, 高橋和晃, 四之宮佑馬: 色覚障害者対応デジタル画像処理機能付拡大読書機の開発, 福祉用具研究開発事業助成金, 採択

#### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・新井田孝裕: 日本眼科学会 (専門医), 日本神経眼科学会 (評議員, 査読・書評, 編集委員), 日本眼光学学会, 日本弱視斜視学会, 日本眼科手術学会, 日本神経科学学会, 日本解剖学会
- ・宇賀茂三: 日本眼科学会, 日本白内障学会 (評議員), 日本神経眼科学会, 日本顕微鏡学会, Int'nl Society for Eye Research, The Association for Research in Vision and Ophthalmology
- ・山田徹人: 日本神経眼科学会 (評議員), 日本眼科学会 (専門医), 日本眼光学学会, 日本視覚学会, The Association for Research in Vision and Ophthalmology, The Society for Neuroscience
- ・藤田純子: 日本弱視斜視学会, 日本ロービジョン学会, 日本視能訓練士協会
- ・三柴恵美子: H17年度日本医師会医療安全推進者養成講座終了 (終了証No.0510434), 日本重症心身障害学会, 日本視能訓練士協会
- ・藤田純子: 日本弱視斜視学会, 日本ロービジョン学会, 日本視能訓練士協会
- ・矢野 隆: 日本神経眼科学会, 日本眼光学学会, 日本弱視斜視学会, 日本視能訓練士協会
- ・四之宮佑馬: 日本弱視斜視学会, 日本視覚学会, 日本視能訓練士協会
- ・村上みや: 日本視能訓練士協会

#### 保健学部 (放射線・情報科学科)

#### 著書

- ・佐々木博, 飯沼一浩: 診療放射線技師を目指す学生のためのー医用超音波論, 4-109, iuhw, 2005.9
- ・佐々木博, 小池貴久: 診療放射線技師を目指す学生のためのーX線CT工学 (改訂), iuhw, 2005.9
- ・飯沼一浩: 国試要説・演習 電気電子工学, 1-60, アイユーエイチ, 2005.11
- ・金場敏憲: 医療学セミナー, 医療倫理と患者の権利, 医療倫理と患者の権利, 生命倫理, 1-62, 岩手県放射線技師会, 2005.10

## 原著論文

- ・根岸 徹, 飯沼一浩 : マンモグラフィ用増感紙の温度特性と精度管理, 国際医療福祉大学紀要, 10(3), 1-8, 2006.2.10
- ・尾原恵美, 伊藤元信, 菊地義信 : 食道発声における発話明瞭度, 一明瞭度低下の要因について一, 音声言語医学, 47(1), 5-15, 2006.1.20
- ・Harada F, Tomizawa H, Miki E 他 : Substituent effect of 8-quinolinolato ligands on photo-induced isomerization for linear nitrosylruthenium(II) complexes—Experimental study, Inorganica Chimica Acta, 359, 665-672, 2005.11.21
- ・Akira Matsumura, Tomonori Isobe, Shingo Takano, Hiraku Kawamura, Izumi Anno : Non-invasive quantification of lactate by proton MR spectroscopy and its clinical applications, Clinical Neurology and Neurosurgery, 107, 379-384, 2005
- ・Akira Matsumura, Tomonori Isobe, Izumi Anno, Shingo Takano, Hiraku Kawamura : Correlation between choline and MIB-1 index in human gliomas. A quantitative in proton MR spectroscopy study, Journal of Clinical Neuroscience, 12(4), 416-420, 2005

## 総説

- ・飯沼一浩 : 技術の樹はどのようにして成長するか【第3回】, 電子走査型超音波診断装置開発への道, 忍れきてる(オンラインマガジン)<http://elekitel.jp/elekitel/index.htm>, 6回連載, 全14ページ, 2006.3
- ・青木幸昌 : わが国における癌事情と今後の動向, 治療学, 39(12), 1267-1270, 2005.12
- ・青木幸昌 : 固形癌における局所制御の意義, 治療学, 39(12), 1273-1276, 2005.12
- ・青木幸昌, 羽田正人, 伊丹 純, 中島 淳 : 癌局所療法10年後を予測する, 治療学, 39(12), 1341-1349, 2005.12
- ・青木幸昌 : 放射線科—治療—, 産科と婦人科, 73(1), 89-97, 2006.1
- ・福留 潤 : 骨転移, 治療学, 39(12), 1299-1302, 2005.12

## 研究報告

- ・室井健三, 飯沼一浩 : MR脳機能画像生成における統計的解析方法の検討, 国際医療福祉大学紀要2005, 10(3), 19-26, 2006.2.10
- ・佐久間洋一, 山西弘城, 橋本光康 : Two Dimensional Neutron Measurement Using Thermo-Luminescent Sheets, KURRI Progress Report 2004, 2005.9

## 講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・金場敏憲 : 生命倫理・医療倫理, 岩手県放射線技師会, 岩手医科大学, 岩手県盛岡市, 2005.10.29
- ・金場敏憲 : 医療の歴史, 岩手県放射線技師会, 岩手医科大学, 岩手県盛岡市, 2005.10.29
- ・金場敏憲 : JICA医療技術スタッフ練成コースII, 国際協力機構/国際医療技術交流財団, JICA兵庫国際センター, 兵庫県神戸市, 2006.1.23
- ・金場敏憲 : JIMTEF学生セミナー, 国際医療技術交流財団, JICA市ヶ谷国際センター, 東京都市ヶ谷, 2005.12.17

## 学会発表

- ・根岸 徹, 飯沼一浩 他3名 : 乳房用X線装置の付加フィルタに関する基礎的検討—Rhフィルタに対する他元素フィルタの付加効果—, 日本放射線技術学会第61回総会学術大会, パシフィコ横浜, 横浜市, 2005.4
- ・根岸 徹, 飯沼一浩 他3名 : 乳房用X線装置の付加フィルタに関する基礎的検討—付加フィルタより放出される特性X線の検討—, 日本放射線技術学会第61回総会学術大会, パシフィコ横浜, 横浜市, 2005.4

- ・根岸 徹, 飯沼一浩 : 乳房用X線装置の被ばく低減と画質向上に関する基礎的研究—マンモグラフィ用増感紙の温度特性—, 日本放射線技術学会東京部会X線装置研究会第28回緑陰講座, 京都府, 2005.7
- ・根岸 徹, 飯沼一浩 他3名 : クランプ電流計を用いた管電流の精度管理に関する検討, 日本放射線技術学会第33回秋季学術大会, かごしま県民交流センター, 鹿児島市, 2005.10.22
- ・Watanabe H, Iinuma K 他4名 : Comparative evaluation of JPEG and wavelet compression in digital radiography:Comprehension of image properties based on physical analysis, RSNA(Radiological Society of North America), McCormick Place, Chicago, Illinois, USA, 2005.11.27-12.2
- ・須藤英理, 粕谷英樹, 菊地義信 : 食道音声の声質改善装置に関する検討, 日本音響学会・講演論文集, 東北大学(川内キャンパス), 宮城県仙台市, 2005.9.28
- ・金場敏憲, 室井健三, 樋口清孝 : 超音波画像診断における教育方法の構築, 第15回ACRT放射線技師総合学術大会, 幕張メッセ 国際会議場, 千葉県千葉市, 2005.11.20
- ・金場敏憲 (評価者) : JIMTEF海外研修生報告会, 国際医療技術交流財団, JICA兵庫国際C, 神戸市, 2006.3.23
- ・橋本光康 (座長) : 第18回日本放射線腫瘍学会, 川越プリンスホテル, 埼玉県川越市, 2005.11.24-26
- ・橋本光康 (プログラム委員) : 第18回日本放射線腫瘍学会, 川越プリンスホテル, 埼玉県川越市, 2005.11.24-26
- ・橋本光康, 大西世紀, 佐々木徹, 土器屋卓志 : I-125前立腺がん組織内照射法でのモンテカルロ法による全身相対線量分布の把握, 第18回日本放射線腫瘍学会, 川越プリンスホテル, 埼玉県川越市, 2005.11.26
- ・酒井良忠, 久保田昌裕, 高橋宏次, 熊野信雄, 小池貴久 : 新しいダイアライザーの設計コンセプトとそのX線CT技術等での検証, 第50回日本透析医学会学術集会, パシフィコ横浜, 神奈川県横浜市, 2005.6.25
- ・水野将人, 清水俊宏, 高木宏彰, 小池貴久, 熊野信雄 : 半導体検出器の性能評価, 第17回核医学セミナー, 三重県厚生年金健康福祉センターサンピア伊賀, 三重県伊賀市, 2005.8.6
- ・樋口清孝, 西倉 健, 味岡洋一, 渡辺 玄 : 粘液形質からみた陥凹型早期胃癌の肉眼的特徴に関する検討, 第7回 新潟食道・胃癌研究会, 新潟ユニゾンプラザ, 新潟県新潟市, 2005.11.5
- ・樋口清孝 (主催者) : 第7回医療画像情報学研究セミナー, かもしか荘, 栃木県那須塩原市, 2005.8.6
- ・杉原 卓, 室井健三 他 : CR画像における画質と線量の関係, 第53回総合医用画像技術研究会, 国立がんセンター中央病院, 東京都, 2005.9.17
- ・川村 拓, 阿武 泉, 松村 明 他2名 : 1H-Chemical shift imaging法を用いた悪性脳腫瘍の代謝物比に関する基礎的検討, 第33回日本磁気共鳴医学会, 京王プラザ, 東京都, 2005.9.20

#### 研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

- ・熊野信雄, 小池貴久 : 半導体検出器の性能評価, 安西メディカル株式会社との共同研究, 継続
- ・熊野信雄, 小池貴久 : 人工透析装置の性能評価, 東レ (共同研究), 継続

#### 学位取得・研究業績に対する受賞

- ・樋口清孝 : 博士 (医学), Macroscopic Findings and Mucous Phenotypes of Early Gastric Depressed Type Carcinomas, 2006.3.23

#### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・佐々木博 : 日本超音波医学会 (評議員)
- ・飯沼一浩 : 日本超音波医学会 (名誉会員), 日本生体医工学会, 日本放射線技術学会, 日本放射線腫瘍学会, American Association of Physicists in Medicine

- ・ 大嶽 達：日本医学放射線学会（専門医），日本核医学会（認定医）
- ・ 熊野信雄：日本核医学会，日本医学放射線学会，日本放射線技術学会，日本核医学技術学会
- ・ 斎藤裕久：日本放射線技術学会，日本消化器集団検診学会，日本乳癌検診学会，日本がん検診・診断学会，日本消化器画像情報研究会，総合医用画像技術研究会，日本乳癌画像研究会
- ・ 田之上司：応用物理学会，応用物理学会放射線分科会，日本放射線技術学会，日本磁気共鳴医学会，日本生体磁気学会，ESR応用計測研究会
- ・ 菊地義信：IEEE (The Institute of Electric and Electronic Engineers)，電子情報通信学会，日本音響学会，日本音声言語医学会，日本聴覚医学会
- ・ 金場敏憲：日本放射線技術学会，日本国際保健医療学会，日本ME学会
- ・ 富沢比呂之：日本化学会，錯体化学会
- ・ 橋本光康：日本医学放射線学会（医学物理士），日本放射線腫瘍学会（放射線腫瘍学認定技師），日本医学物理学会，日本放射線技術学会，日本物理学会，放射線治療品質管理機構（放射線治療品質管理士）
- ・ 小池貴久：日本物理学会，応用物理学会，日本核医学会，日本放射線技術学会
- ・ 樋口清孝：日本胃癌学会，日本消化器集団検診学会，日本高齢消化器病学会，日本放射線技術学会
- ・ 室井健三：日本放射線技術学会，日本ヒト脳機能マッピング学会，総合医用画像技術研究会

## 医療福祉学部（医療経営管理学科）

### 著書

- ・ 鳥羽克子：ICD-9-CM-手術および処置の分類 2003—容例示表—日本病院会版，共同製作，じほう，2005.8.31
- ・ 外山比南子（分担執筆），開原成允，田中 博，大江和彦 他：病院経営と情報化—医療機関CIOのための基礎知識，第12章，I 診療データベースの作成と利用について，180-194，平成17年度「医療情報管理者育成のためのモデルプログラム開発事業」モデルプログラム開発委員会，2005.12.26
- ・ 安藤秀雄，大西正利，杉本恵申（分担執筆，編集）：診療報酬請求事務能力認定試験「受験対策と予想問題集」（前期版），オリジナル実技問題と解説，138-171，189-193，210-215，231-236，251-255，271-276，290-296，311-316，医学通信社，2005.4.28
- ・ 安藤秀雄，大西正利，杉本恵申（分担執筆，編集）：診療報酬請求事務能力認定試験「受験対策と予想問題集」（後期版），オリジナル実技問題と解説，138-171，189-193，210-215，231-236，251-255，271-276，290-296，311-316，311-335，医学通信社，2005.10.5
- ・ 西村周三（編集委員代表），山田康夫（分担執筆） 他：医療経営白書2005年度版，介護保険制度改革を見据えた医療機関の介護事業戦略，73-87，日本医療企画，2005.9.19
- ・ 角田雄一，山田康夫（監修）：優良病院に見る経営改革事例と課題，株式会社マーケティングビジョン研究所，2005.5
- ・ 岡村世里奈（分担執筆）：医療の個人情報保護とセキュリティ，介護分野における個人情報保護，119-136，有斐閣，2005.5
- ・ 加藤尚子：もう一つのハンセン病—山の中の小さな園にて—，医療文化社，2005.11.20
- ・ 菅原琢磨，南部鶴彦，開原成允 他2名（分担執筆）：医療と介護の世代間格差—現状と改革—，介護保険と老人保健の利用給付関係の検討（第8章），167-188，東洋経済新報社，2005.9.8

## 原著論文

- Okochi J, Takahashi T, Takamuku K, Matsuda S, Takagi Y : Reliability of a geriatric assessment instrument with illustrations, *Geriatrics and Gerontology International*, 5, 37-47, 2005
- 田中浩二, 高橋 泰, 大河内二郎 : 国際生活機能分類による環境因子測定を試みーサービス・制度・政策ー, 国際医療福祉大学紀要, 10(2), 5-17, 2005.7
- Okochi J, Utsunomiya S, Takahashi T : Health measurement using the ICF: Test-retest reliability study of the ICF codes and the ICF qualifiers in geriatric care, *Health and Quality Of Life Outcome*, 3, 46, 2005.7
- 鳥羽克子 : 診療記録情報の管理と利用・そして処分について, 眼科と経営, 17.January, 14-15, 2006.1
- 鳥羽克子, 菊池優子, 国分厚志 他7名 : 情報提供業務の重要性について, 診療録管理, 17(3), 39-42, 2006.1
- 河口洋行, 河原和夫 : 3次救急施設へのアクセス時間に関する研究, 病院管理, 43(1), 35-46, 2006.1

## 総説

- 高橋 泰, 猪口雄二, 安藤高郎 : 亜急性病床の現状と今後のあるべき姿, 日経ヘルスケア, 特別寄稿, 2005.5.15
- 鳥羽克子 : 日本診療録管理学会30年の歩み, 診療録管理 (30周年記念誌), 17.Supplement, 78-82, 2005.8.31
- 開原成允, 高橋加代子, 外山比南子 他 : ケースシミュレーションと交渉技術を用いた病院経営教育, 病院, 64(9), 751-754, 2005.9
- 大西正利 : 点数算定実践講座, 月刊保険診療, 60(4), 126-130, 2005.4.10
- 大西正利 : 点数算定実践講座, 月刊保険診療, 60(5), 120-123, 2005.5.10
- 大西正利 : 点数算定実践講座, 月刊保険診療, 60(6), 111-115, 2005.6.10
- 大西正利 : 点数算定実践講座, 月刊保険診療, 60(7), 127-131, 2005.7.10
- 大西正利 : 点数算定実践講座, 月刊保険診療, 60(9), 129-131, 2005.9.10
- 大西正利 : 点数算定実践講座, 月刊保険診療, 60(10), 120-123, 2005.10.10
- 大西正利 : 点数算定実践講座, 月刊保険診療, 60(11), 123-127, 2005.11.10
- 大西正利 : 点数算定実践講座, 月刊保険診療, 60(12), 124-127, 2005.12.10
- 福永 肇 : 病院ファイナンスの現状・8 間接金融 (3) 長期資金調達1 福祉医療機構から融資を受ける場合, 医学書院「病院」, 64(4), 69-73, 2005.4
- 福永 肇 : 病院ファイナンスの現状・9 間接金融 (4) 長期資金調達2 福祉医療機構利用のメリット, 医学書院「病院」, 64(5), 420-423, 2005.5
- 福永 肇 : 病院ファイナンスの現状・10 間接金融 (5) 長期資金調達3 福祉医療機構利用における注意点, 医学書院「病院」, 64(6), 498-501, 2005.6
- 福永 肇 : 病院ファイナンスの現状・11 間接金融 (6) 長期資金調達4 病院の担保, 医学書院「病院」, 64(7), 576-580, 2005.7
- 福永 肇 : 病院ファイナンスの現状・12 間接金融 (7) 長期資金調達5 理事長・病院長の連帯保証, 医学書院「病院」, 64(8), 674-677, 2005.8
- 福永 肇 : 病院ファイナンスの現状・13 間接金融 (8) 長期資金調達6 民間銀行の病院宛貸出金残高分析, 医学書院「病院」, 64(9), 767-771, 2005.9
- 福永 肇 : 病院ファイナンスの現状・14 間接金融 (9) 長期資金調達7 融資稟議書のフローと審議プロセス, 医学書院「病院」, 64(10), 844-847, 2005.10
- 福永 肇 : 病院ファイナンスの現状・15 間接金融 (10) 長期資金調達8 病院長期資金調達の基礎知識, 医学書院「病院」, 64(11), 928-932, 2005.11

- ・ 福永 肇：病院ファイナンスの現状・16 間接金融 (11) 長期資金調達9 長期借入金の返済源資：減価償却費の絡繰り，医学書院「病院」，64(12)，1022-1025，2005.12
- ・ 福永 肇：病院ファイナンスの現状・17 間接金融 (12) 長期資金調達10 病院経営状況び銀行審査ポイント，医学書院「病院」，65(1)，63-68，2006.1
- ・ 福永 肇：病院ファイナンスの現状・18 間接金融 (13) 長期資金調達11 病院「財務諸表」の銀行審査ポイント，医学書院「病院」，65(2)，162-167，2006.2
- ・ 福永 肇：病院ファイナンスの現状・19 間接金融 (14) 長期資金調達12 資金計画書の銀行審査，医学書院「病院」，65(3)，247-252，2006.3
- ・ 福永 肇，稲村和彦：バンコク病院見聞記・1 言語サービスとグローバル経営の株式会社立病院，医学書院「病院」，64(4)，342-345，2005.4
- ・ 福永 肇，大野珠美，高橋慶子：バンコク病院見聞記・2 入院体験記－微笑の国で体験した最高の患者サービス，医学書院「病院」，64(5)，436-439，2005.5
- ・ 福永 肇，鈴木昌美，和田知子：バンコク病院見聞記・3 顕微鏡の中でマラリアと戦う 国立マヒドン大学熱帯医学部付属病院見学記，医学書院「病院」，64(6)，516-519，2005.6
- ・ 福永 肇，金沢 梢：バンコク病院見聞記・4 バンコク公衆衛生省MoPHを訪ねて，医学書院「病院」，64(7)，585-587，2005.7
- ・ 福永 肇，中川和喜：徳洲会グループの海外展開，医学書院「病院」，64(8)，659-665，2005.8
- ・ 福永 肇：複利計算の頭を持つとう，医学書院「病院」，64(5)，423，2005.5
- ・ 福永 肇：ベトナム国立チョーライ病院，医学書院「病院」，64(11)，935，2005.11
- ・ 福永 肇：病院の管理予算制度，医学書院「病院」，65(3)，252，2006.3
- ・ 福永 肇：自校教育のケース紹介，国際医療福祉大学紀要，10(3)，37-44，2006.2
- ・ 福永 肇：人生で一番熱かったベトナムの夏の日々，国際医療福祉大学「2005海外研修・活動報告書」，33-35，(2005.3.24)
- ・ 山田康夫：日本の医療制度の推移と医療費の現状，診療報酬のしくみがわかる！最新医療制度の基礎知識，看護部長通信，3(1)，66-70，2005.4
- ・ 山田康夫：日本の社会保障費の現状と課題，診療報酬のしくみがわかる！最新医療制度の基礎知識，看護部長通信，3(2)，73-80，2005.6
- ・ 山田康夫：医療におけるCSR経営，看護管理，15(7)，570-576，2005.7
- ・ 山田康夫：日本の医療・介護保険の制度改革，診療報酬のしくみがわかる！最新医療制度の基礎知識，看護部長通信，3(3)，69-75，2005.8
- ・ 山田康夫：現在の病院経営の課題，診療報酬のしくみがわかる！最新医療制度の基礎知識，看護部長通信，3(4)，49-54，2005.10
- ・ 山田康夫：医療経営における看護部門の位置と課題，診療報酬のしくみがわかる！最新医療制度の基礎知識，看護部長通信，3(5)，55-59，2005.12
- ・ 山田康夫：平成18年度の診療報酬・介護報酬同時改定の見通しと日本の医療の行方，診療報酬のしくみがわかる！最新医療制度の基礎知識，看護部長通信，3(6)，87-95，2006.2
- ・ 山本康弘：第4回総合医療事務試験，月刊保険診療，60(10)，43-44，2005.10
- ・ 山本康弘：第4回総合医療事務試験（解答），月刊保険診療，60(11)，50-53，2005.11
- ・ 山本康弘：医療機関のための統計入門講座，月刊保険診療，60(12)，3-12，2005.12
- ・ 磯 伸彦：効率的放射線検査治療について医事担当者の視点から，全国自治体病院協議会雑誌，44(6)，42-45，2005.6

## 研究報告

- ・ 高橋 泰：急性期以降の施設ケアにおけるケースミックス、資源消費、評価手法に関する日本とカナダの比較，平成17年度ファイザー財団国際共同研究
- ・ 井上宗迪：Japan and the New International Order, Oxford University, 2006.2.25
- ・ 河口洋行：The effect of the Community Health Care Program on hospital markets in Japan, 内閣府国際共同研究プロジェクト研究報告会，口頭発表，2006.2.14
- ・ 河口洋行：医療計画の実態及びその評価に関する研究，厚生労働省，研究報告書，37-108，2006.3.31
- ・ 開原成允，高橋 泰，山田康夫 他：DPC導入の地域医療体制への影響の分析，平成17年度厚生科学研究費補助金（厚生労働特別研究事業）分担研究報告書，2006.3
- ・ 岡村世里奈：居宅介護事業者のための個人情報管理マニュアル，平成17年度独立行政法人福祉医療機構，高齢者・障害者福祉基金助成事業，分担研究報告書，8-32，2006.3.31

## 講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 高橋 泰：病院協会・職能団体・福祉医療機構・病院・企業などから講演依頼を受け，1.平成18年度の医療制度改革の概要，2.DPC，3.介護予防プラン作成方法などの講演を年間50回行った
- ・ 井上宗迪：ハイデッカー哲学と認知科学，SGI日本支社，2006.1.30
- ・ 佐藤貴一郎：医療・福祉における質経営，日本福祉大学，東京国際貿易センター，東京都，2005.7.30
- ・ 佐藤貴一郎：バランスト・スコアカードとはー導入と運用ー，聖マリアンナ医科大学病院看護部師長会，聖マリアンナ医科大学病院講堂，川崎市，2006.1.18
- ・ 鳥羽克子：DPCとPOS，第27回日本POS医療学会大会，ロイトン札幌(カレス・アライアンス)，北海道札幌市，2005.6.10
- ・ 鳥羽克子：医療機関における個人情報保護について，看護師職能集会・講演会，神奈川県看護協会研修会，神奈川県横浜市，2005.7.8
- ・ 鳥羽克子：診療情報管理士の教育と役割，第31回日本診療録管理学会学術大会，教育講演，秋田キャッスルホテル，秋田県秋田市，2005.9.15
- ・ 鳥羽克子：診療情報管理の現状と役割～個人情報保護法施行と病院の取り組み～，神奈川県病院協会研修会，神奈川県病院協会，神奈川県横浜市，2005.10.21
- ・ 鳥羽克子：医療の安全とチーム医療を支える記録のあり方，民医連診療情報管理研究会，金沢セントラルホテル，石川県金沢市，2005.11.11
- ・ 鳥羽克子：看護基礎教育における個人情報の取扱いⅡー診療情報管理士の視点からー，専任教員再教育研修会，茨城県開発公社，茨城県保健福祉部厚生指導課，茨城県水戸市，2005.11.18
- ・ 大西正利：平成18年度診療報酬改定の徹底分析，病院管理学会，国際医療福祉大学F101教室，栃木県，2006.2.18
- ・ 河口洋行：3次救急施設へのアクセス時間に関する研究，医療科学研究所，港区，2006.2.28
- ・ 河口洋行：3次救急施設へのアクセス時間に関する研究，医療経済研究機構，港区，2006.1.13
- ・ 河口洋行：医療計画の見直しに関する検討状況について，多摩大学大学院品川キャンパス，品川区，2005.9.8
- ・ 豊田修一，外山比南子：医療の情報化を学習する仮想病院実習室について，私立大学情報教育協会，アルカディア市ヶ谷，東京，2005.9.8
- ・ 豊田修一：個人情報保護と医療の情報化，山形県病院協議会，山形メトロポリタンホテル，山形，2005.11.4
- ・ 福永 肇：病院ファイナンス，日本福祉大学，TIME24ビル セミナールーム1+2，東京都中央区，2005.7.31

- ・ 福永 肇：病院経営幹部としての看護管理職，岡山県病院協会，岡山ロイヤルホテル 光楽の間，岡山県岡山市，2005.11.30
- ・ 山田康夫：医療と福祉ー今後の病院との関係ー，社団法人川崎市病院協会第57回定時総会時特別講演，川崎日航ホテル，神奈川県川崎市，2005.5.25
- ・ 山田康夫：DPCと医療経営，国際メディカル専門学校医療経営集中講義，国際メディカル専門学校，新潟県新潟市，2005.7.27
- ・ 山田康夫，長谷川敏彦 他：ケーススタディ，国立保健医療科学院 平成17年度病院管理研修・管理者研修（病院長コース1），国立保健医療科学院，埼玉県和光市，2005.6.17
- ・ 山田康夫：医療経済論，社団法人群馬県看護協会 認定看護管理者研修セカンドレベル，社団法人群馬県看護協会，群馬県前橋市，2005.7.29-30
- ・ 山田康夫：医療管理 I 経営組織管理論，平成17年度国公立私立大学病院看護管理者講習会，千葉大学看護学部，千葉県千葉市，2005.8.29
- ・ 山田康夫：長谷川敏彦 他：ケーススタディ，国立保健医療科学院 平成17年度病院管理研修・管理者研修（病院長コース2），国立保健医療科学院，埼玉県和光市，2005.10.7
- ・ 山田康夫：これからの社会福祉施設における経営戦略について，平成17年度人事管理研修，社会福祉法人 千葉県社会福祉協議会，千葉県千葉市，2005.11.9
- ・ 山田康夫：医療管理学，社団法人東京都看護協会平成17年度認定看護管理師教育課程（感染管理），社団法人東京都看護協会，東京都新宿区，2005.11.16
- ・ 山田康夫：DPCデータの季節差の有無に関する研究，DPC試行病院協議会 データ解析部会，国際医療福祉大学乃木坂ホール，東京都港区，2006.1.27
- ・ 山田康夫：平成18年度診療報酬改定最新情報～最新医療制度の基礎知識～，日総研グループ／株式会社日総研出版看護部トップマネジメント人材養成講座，東京JJホール，東京都千代田区，2006.3.11
- ・ 山田康夫：費用対効果，社団法人東京都看護協会平成17年度認定看護管理師教育課程（感染管理），社団法人東京都看護協会，東京都新宿区，2006.3.16
- ・ 岡村世里奈：介護と個人情報保護法，NPO人材開発機構，東京都立飯田橋技術専門校，東京都，2005.5.27
- ・ 菅原琢磨：医療経済学の概要と今後の展開，日本赤十字社幹部看護師研修センター幹部看護師研修，日本赤十字社幹部看護師研修センター，東京都港区，2005.8.4
- ・ 山本康弘：研究計画書作成の考え方，特別・特定医療法人若弘会，若草第一病院，大阪，2005.4.30
- ・ 山本康弘：データ整理と有意差検定，特別・特定医療法人若弘会，若草第一病院，大阪，2005.8.5
- ・ 山本康弘：BSC活用による戦略的病院経営，特定医療法人景岳会，南大阪病院，大阪，2006.3.5
- ・ 磯 伸彦：インフォームドコンセントと医療情報，社団法人静岡県放射線技師会，静岡赤十字病院，静岡県静岡市，2005.8.21

## 学会発表

- ・ 高橋 泰：亜急性病床の現状調査と評価，第42回病理管理学会，東京
- ・ 高橋 泰（企画，総司会）：ヤングフォーラム，全日本病院協会，宮崎学会，2005.10
- ・ 高橋 泰（座長）：若手経営者による経営のあり方，日本療養型病床協会全国研修会，東京，2005.10
- ・ 高橋 泰（座長）：医療経営学会，川崎医大，2005.11
- ・ 佐藤貴一郎（座長）：第2回急性期病院経営セミナー，ホテルキャッスル，熊本市，2005.11.5

- ・ 佐藤貴一郎（座長）：第3回日本医療バランスト・スコアカード研究学会学術総会，熊本県立劇場，熊本市，2005.11.6
- ・ 佐藤貴一郎（主催）：第242回日本病院管理学会例会，国際医療福祉大学，大田原市，2006.2.18
- ・ 鳥羽克子（座長）：医療の質向上のためのChart Reviewの実践とそこから得た課題，認定病院患者安全推進協議会：医療記録部会，池之端分化センター，東京都文京区，2005.11.10
- ・ 外山比南子（座長），豊田修一：電子カルテを利用した大学内仮想病院実習の試み，第25回日本医療情報学連合大会，パシフィコ横浜，横浜，2005.11.25
- ・ 中村勝弥，外山比南子（座長），高橋加代子 他：病院のIT活用を推進するリーダー（医療情報管理者）を育成するための教育プログラムの開発，第25回日本医療情報学連合大会，パシフィコ横浜，横浜，2005.11.25
- ・ 中村勝弥，外山比南子（座長），高橋加代子 他：医療機関における情報管理責任者（CIO）に求められるもの，第43回日本病院管理学会学術総会，ホテルオークラ，東京，2005.10.27
- ・ 高橋加代子，外山比南子，中村勝弥 他：シミュレーションゲームを取り入れた病院経営の教育，第43回日本病院管理学会学術総会，ホテルオークラ，東京，2005.10.27
- ・ Ikuma Takahashi, Tadashi Nariai, Hinako Toyama et al. : Visualization of Correlated Neural and Metabolic Functions in Temporal Lobe Epilepsy by a Correlation Analysis with Multiple PET Studies, BrainPET05, Vrije 大学, アムステルダム, 2005.6.7-11
- ・ 生駒洋子, 伊藤 浩, 外山比南子 他：PET動態解析における定量パラメータの推定精度評価法の検討，第45回日本核医学会総会，タワーホール船堀，東京，2005.11.11-13
- ・ 上村幸司, 成相 正, 外山比南子 他：側頭葉てんかん症例におけるマルチトレーサPETの機能相関解析，第45回日本核医学会総会，タワーホール船堀，東京，2005.11.11-13
- ・ 外山比南子（座長）：動物PET，第45回日本核医学会総会，タワーホール船堀，東京，2005.11.11-13
- ・ 河口洋行：Do or do not mix private and public fund in Japan ?, 国際医療経済学会，バルセロナ，スペイン，2005.7.13
- ・ 河口洋行：世代別将来可処分所得の機械的推計に関する研究，日本経済学会，中央大学，八王子市，2005.9.17
- ・ 関口 潔：医療領域におけるホスピタリティ・マネジメント，日本ホスピタリティ・マネジメント学会 第9回関東支部研究発表会，アルカディア市ヶ谷，東京都千代田区，2005.7.2
- ・ 関口 潔：後発医薬品の導入と使用選択に伴う諸問題，第4回日本医療経営学会学術集会，川崎医療福祉大学，岡山県倉敷市，2005.11.12
- ・ 山田康夫：医療におけるCSR経営，第2回日本クリニカルガバナンス研究会コンファレンス，英国大使館ニューホール，東京都千代田区，2005.6.3
- ・ 山田康夫，武藤正樹，小林暁峯 他：パネル討議「日本版クリニカルガバナンスの構築を目指して」，第2回日本クリニカルガバナンス研究会コンファレンス，英国大使館ニューホール，東京都千代田区，2005.6.3
- ・ 山田康夫，高橋 泰，開原成允 他：診断群分類データの季節変動の有無に関する研究，第43回日本病院管理学会学術総会，ホテルオークラ，東京都港区，2005.10.28
- ・ 山田康夫，外山比南子，高橋 泰：DPCデータの特性に関する研究，第4回日本医療経営学会学術集会・総会，川崎医療福祉大学，岡山県倉敷市，2005.11.12
- ・ 山田康夫，高橋 泰，開原成允 他：DPCデータの季節差に関する研究，第25回医療情報学連合大会・第6回日本医療情報学会秋期学術大会，パシフィコ横浜，神奈川県横浜市，2005.11.25
- ・ 山田康夫：第5次医療法改正における医療機関のガバナンス，第3回日本クリニカルガバナンス研究会コンファレンス，広島国際大学国際教育センター，広島県広島市，2005.12.9

- ・ 山田康夫：法令遵守に関する病院アンケート，第10回日本クリニカルガバナンス定例研究会，日本医療企画セミナー  
ルーム，東京都千代田区，2006.3.20
- ・ 岡村世里奈：経営・運営の変化が医療及び医療機関に与える影響に関する研究，第43回日本病院管理学会，ホテルオ  
ークラ東京，東京都，2005.10.27

#### 研究助成金（文部科学省，厚生労働省，公的研究費，その他研究助成金）

- ・ 高橋 泰：自立から死亡までのプロセスとコストの分析（H13-長寿-021），平成17年度厚生科学研究費補助金による  
長寿科学総合研究事業（最終報告書）（主任研究員）
- ・ 高橋 泰：長寿科学総合研究事業，平成15年度厚生科学研究費補助金，主任研究員，採択（2年継続，2年目）
- ・ 高橋 泰：平成15年度21世紀型医療開拓推進研究事業班，分担研究員，採択（3年継続，3年目）
- ・ 高橋 泰：政策科学総合研究事業，平成15年度厚生科学研究費補助金，主任研究員，採択（3年継続，3年目）
- ・ 高橋 泰：平成17年度ファイザー財団国際共同研究，採択
- ・ 佐藤貴一郎：ホルモン補充療法の対効果費用に関する検討，平成17年度長寿医療研究委託事業，継続
- ・ 佐藤貴一郎：各種高脂血症治療薬の糖尿病性心血管病進展予防効果の総合的研究，平成17年度厚生労働科学研究費補  
助金，H18-循環器等（生習），一般-016，採択
- ・ 鳥羽克子：電子カルテシステム導入が診療記録の質に与えた影響とその結果としての医療の質の改善に関する研究，  
平成17年度厚生労働省科学研究費補助金による医療技術評価総合研究事業，分担研究員，採択
- ・ 大道 久，石川 澄，鳥羽克子 他30名：認定病院間の医療事故情報共有による患者安全の推進と医療記録の検証に  
よる事故防止策の実施に関する研究，認定病院患者安全推進協議会，医療技術評価総合研究事業，15151501，継続
- ・ 外山比南子：チーム医療のための教育用電子カルテ・システムの検討，教育・学習方法等改善支援経費，採択
- ・ 河原和夫（主任研究者），河口洋行：医療計画の実施及びその評価に関する研究，厚生労働科学研究費補助金，医療  
技術評価総合，H15-医療-009，継続
- ・ 開原成允，高橋 泰，山田康夫，外山比南子，磯 伸彦 他：DPC導入の地域医療体制への影響の分析，平成17年度  
厚生科学研究費補助金（厚生労働特別研究事業），H-16政策，027，継続
- ・ 岡村世里奈：高齢者介護分野における規制のあり方に関する研究，ユニバーサル財団助成研究，採択
- ・ 加藤尚子：平成17年度萌芽研究 民間ハンセン病療養所の生活世界に関する文化人類学的研究—国立療養所との比較  
から—，文部科学省科学研究費，萌芽研究
- ・ 山本須美子，加藤尚子：ハンセン病療養所における結婚と子供，トヨタ財団2005年度研究費助成
- ・ 種田憲一郎，加藤尚子：地域連携クリティカルパスモデルの開発に関する研究，平成17年度 厚生労働科学研究費補  
助金 厚生労働科学特別研究事業
- ・ 和田 勝，菅原琢磨，小山秀夫 他6名：先進諸国における介護保険制度の国際比較研究—日本・ドイツ・ルクセン  
ブルグの比較—，ファイザーヘルスリサーチ振興財団 国際共同研究(A)助成，継続

#### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 高橋 泰：日本病院管理学会（評議員），日本医療情報学会，日本老年医学会，日本医療経営学会（評議委員），日  
本神経疾患医療福祉従事者学会（理事），PCSE（Patient Classification System/ Europe），日本診療情報管理学会
- ・ 佐藤貴一郎：日本病院管理学会（評議員），日本医療バランスト・スコアカード研究学会（評議員），日本医療情報  
学会，日本経済学会，日本オペレーションズ・リサーチ学会，日本経営情報学会
- ・ 鳥羽克子：日本診療録管理学会（診療情報管理士指導者）（理事），日本POS医療学会（診療情報管理士）（評議  
員）

- ・ 河口洋行：国際医療経済学会，日本経済学会，日本病院管理学会，日本介護経営学会
- ・ 関口 潔：日本ホスピタリティ・マネジメント学会（論文審査編集委員，財務委員），日本病院管理学会
- ・ 豊田修一：IEEE，AMIA，電子情報通信学会，情報処理学会
- ・ 福永 肇：日本経済学会，日本経済政策学会，経済社会学会，臨床経済学研究会
- ・ 山田康夫：日本病院管理学会，日本クリニカルガバナンス研究会（副会長兼幹事），日本医療経営学会（編集委員会幹事），日本品質管理学会（医療経営の総合的質研究会委員），臨床経済学研究会，ホスピタル・ガバナンス研究会（主宰）
- ・ 岡村世里奈：社会保障法学会，日本病院管理学会
- ・ 加藤尚子：日本病院管理学会，医療マネジメント学会，日本文化人類学会
- ・ 菅原琢磨：日本経済学会，日本病院管理学会
- ・ 山本康弘：日本病院管理学会，日本診療録管理学会，日本医療バランスト・スコアカード研究学会
- ・ 磯 伸彦：経営行動研究学会（幹事），日本病院管理学会

## 医療福祉学部（医療福祉学科）

### 著書

- ・ 会田元明：子どもの問題行動理解の心理学，ミネルヴァ書房，2005.4
- ・ 六波羅詩朗（分担執筆）：新版・社会福祉学習双書2006 公的扶助論，3章 低所得者対策の概要及び関連施策，161-188，4章 公的扶助と社会福祉援助活動，190-208，全国社会福祉協議会，2006.2
- ・ 六波羅詩朗（分担執筆）：新版社会福祉士養成講座6第4版 公的扶助論，低所得対策の概要，160-207，中央法規出版，2006.1
- ・ 寫末憲子，小嶋章吾：生活援助・相談援助・関連領域（2005年改定版 ホームヘルパー養成研修テキスト2級課程），相談援助の方法，3，93-115，財団法人長寿社会開発センター，2005.4.1
- ・ 小嶋章吾，寫末憲子（分担執筆），木下康仁（編集）：分野別実践編 グラウンデッド・セオリー・アプローチ，居宅高齢者の生活支援～生活場面面接のプロセスと技法の明確化のために～，61-90，弘文社，2005.10
- ・ 小嶋章吾（分担執筆），京極高宣，村上須賀子（編集）：医療ソーシャルワーカー新時代～地域医療と国家資格～，医療福祉実習の必要性和実際，132-140，勁草書房，2005.6.30
- ・ 小嶋章吾（分担執筆），北島英治，副田あけみ，高橋重宏，渡部律子（編集）：ソーシャルワーク演習（上），ソーシャルワークの記録に関する演習・ソーシャルワーカーの役割に関する演習，153-189，有斐閣，2006.2.28
- ・ 小嶋章吾（共訳）：J.D.Kagle, Social Work Records, 2nd（久保絃章，佐藤豊道編訳『ソーシャルワークの記録』），Records Used in Social Work Education（ソーシャルワーク教育における記録），相川書房，2006.3
- ・ 小林雅彦，山口 稔，新井 宏 他6名（分担執筆）：地域福祉とソーシャルワーク実践（理論編），地域福祉の制度・政策・財政，159-174，樹村房，2005.9
- ・ 小林雅彦，高橋信幸，森岡清志 他2名（分担執筆）：地域福祉サービス，地域福祉を支える法・制度，35-68，ぎょうせい，2006.3
- ・ 小林雅彦，大橋謙作，和田敏明 他12名（分担執筆）：地域福祉論，生活協同組合，253-259，全国社会福祉協議会，2006.2

- ・ 小林雅彦, 市川一宏, 栃本一三郎 他17名 (分担執筆) : 社会福祉協議会活動論, 住民参加型在宅福祉サービスの組織化・支援, 108-118, 社会福祉事業者と社会福祉の連携, 123-126, 全国社会福祉協議会, 2006.2
- ・ 式恵美子 (分担執筆) : 介護福祉士受験講座2006, 介護概論, 174-192, 介護技術I, 193-209, 介護技術II, 210-225, 形態別介護技術I, 226-237, 形態別介護技術II, 238-252, 実技編I, 276-292, 実技編II, 293-303, 医療福祉総合研究所, 2005.4.21
- ・ 式恵美子 (監修及び実技指導) : 介護福祉士国家試験実技試験対策VTR全2巻, ニチイ学館, 2005.5
- ・ 式恵美子 (分担執筆) : 介護支援専門員・予想問題集2005, 保健医療サービス分野, 24-30, 54-59, 82-87, 111-116, 138-145, 165-172, 192-200, 220-227, 日総研, 2005.7
- ・ 山崎順子 (監修) : 障害者地域生活支援ハンドブック「障害のある人と接するときに」, 栃木県障害者社会参加推進センター, 2006.3
- ・ 山崎順子 (分担執筆) : 介護福祉士受験講座2006, 社会福祉援助技術, 62-71, 株式会社医療福祉研究所, 2005.4
- ・ 林 芳治 (分担執筆) : 介護福祉士受験講座2006サブノート, 老人福祉論, 23-37, (株)医療福祉総合研究所, 2005.4
- ・ 林 芳治 (分担執筆) : ケアマネージャー試験対策2006, 第1章介護保険制度の基本視点, 第2章介護保険制度の概要, 第9章福祉系居宅サービス, 第10章福祉系施設サービス, 第11章高齢者福祉の基礎知識, 第1章・第2章 8-46, 第9章・第10章・第11章 236-293, (株)医療福祉総合研究所, 2005.4
- ・ 若倉 健 (分担執筆) : 田代国次郎先生古希記念論文集, 虐待当事者の社会関係—高齢者虐待の支援過程に関する事例研究—, 69-78, 立正大学大学院, 2005.10
- ・ 若倉 健 (分担執筆) : ケアマネージャー試験対策2006, 国際医療福祉総合研究所, 2005.4
- ・ 若倉 健 (分担執筆) : ケアマネージャー試験総まとめ, 一橋出版, 2005.6
- ・ 若倉 健 (分担執筆) : ケアマネージャー模擬問題集, 一橋出版, 2005.6
- ・ 若倉 健 (分担執筆) : 2006社会福祉士国家試験模擬問題集, 中央法規, 2005.6

## 原著論文

- ・ 鳶末憲子, 小嶋章吾 : 高齢者ホームヘルプ実践における生活場面面接の研究～M-GTA (修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ) を用いた利用者の「持てる力を高める」プロセスの検討～, 介護福祉学, 12(1), 105-117, 2005.10.1
- ・ 小嶋章吾 : 医療ソーシャルワークの次世紀をいかに推進すべきか～保健医療ソーシャルワーク・リーダーシップ協会(SSWLHC)とわが国への示唆～, 医療と福祉, 79, 50-51, 2006.3
- ・ 須藤昌寛 : 高齢者に対して不適切な介護をおこなっていた介護者への理解に関する一考察, 社会福祉士, 13, 84-90, 2006.2
- ・ 若倉 健 : 高齢者虐待に対するエンパワメントに着目したアセスメント, 立正大学社会福祉研究, 11, 11-18, 2005.10

## 総説

- ・ 鈴木五郎 : 高齢者の生きがいと社会参加, 新版介護福祉士養成講座, 2, 208-226, 2006.1
- ・ 鈴木五郎 : 地域援助技術, 新版介護福祉士養成講座, 5, 238-262, 2006.1
- ・ 鈴木五郎 : 地域援助技術の意義と定義, 新版社会福祉士養成講座, 8, 179-189, 2006.1
- ・ 鈴木五郎 : 地域援助技術の理論と技術, 新版社会福祉士養成講座, 9, 97-141, 2006.1
- ・ 六波羅詩朗 : 書評ブックレビュー「新ケースワーク要論」, 季刊公的扶助研究, 198, 60-61, 2005.7

- ・ 六波羅詩朗（分担執筆）：社会福祉学習双書編集委員会，社会福祉学習重要語句集2006，全国社会福祉協議会，2006.3
- ・ 寫末憲子，小嶋章吾：（連載）利用者の自立生活支援のために①生活場面面接の考え方とプロセスを意識したホームヘルプ実践，ヘルパーネットワーク，55，2005.11
- ・ 寫末憲子，小嶋章吾：（連載）利用者の自立生活支援のために②「利用者のエンパワメントを図る生活場面面接」の演習～介護予防訪問介護や介護職員基礎研修にも求められる～，ヘルパーネットワーク，56，2006.2
- ・ 小嶋章吾：ヒバクシャ思想の「語り部」として，被爆体験記ピカに灼かれて，第28集（終刊号），130-131，2005.8.6
- ・ 小嶋章吾：社会福祉士実習施設に医療機関を追加するための2つの条件，日本医療ソーシャルワーク研究会ニュース，2005.12.26
- ・ 小嶋章吾：ソーシャルワーカーって？，HEART NET TIMES，1，2006.1.20
- ・ 小嶋章吾：地域福祉権利擁護事業における生活場面面接～利用者のエンパワメントを引き出す援助のあり方を考える～，生活支援員だより よりそい，2006.3
- ・ 若倉 健，松島優子：栃木県の高齢者の経済的虐待－社会福祉士の実践を中心に－，栃木県社会福祉士会社会福祉研究，1，28-36，2006.3
- ・ 鈴木孝尚，浅香 勉，若倉 健 他6名：栃木県社会福祉士会における今後の研修体制について－研修委員会の現状を踏まえて－，栃木県社会福祉士会社会福祉研究，1，22-27，2006.3

## 研究報告

- ・ 杉村 宏（代表），六波羅詩朗，岡部 卓 他3名（分担執筆）：貧困の世代間再生産の緩和・解消のための支援に関する基礎的研究3－生活困難母子世帯の調査結果と自立支援の課題－，厚生労働省，2005.4
- ・ 青木 紀（代表），六波羅詩朗，岩田美香 他1名：福祉資金貸付制度の制効果と課題に関する研究，厚生労働省，2005.4
- ・ 青木 紀（代表），六波羅詩朗，岩田美香 他1名：母子寡婦福祉資金（修学資金）貸付制度の現状と課題に関する調査（結果），研究報告書（北海道大学大学院教育学研究科・教育福祉論分野），1-49，2005.8
- ・ 山崎順子（代表），六波羅詩朗，小林雅彦，若倉 健，大石剛史，須藤昌寛 他：障害者（児）の地域支援システムの在り方に関する研究，平成16年度（財）みづほ福祉助成財団，2005.11
- ・ 小嶋章吾（研究代表者），寫末憲子：研究成果報告 社会福祉実践における生活場面面接の理論と方法の体系化に関する研究，平成16年度科学研究費，2005.4
- ・ 寫末憲子，小嶋章吾：研究成果報告 対応困難な要介護高齢者へのソーシャルワーカーとホームヘルパーの協働に関する研究，平成16年度科学研究費，2005.4
- ・ 若倉 健：経済的虐待の実態とケアマネジメント，高齢者虐待予防プログラム検討委員会（文部科学省科学研究事業），2005.5.22
- ・ 若倉 健：愛知県大府市における高齢者虐待への対応について，高齢者虐待予防プログラム検討委員会（文部科学省科学研究事業），2005.10.17
- ・ 若倉 健：大阪府門真市における高齢者虐待への対応について，高齢者虐待予防プログラム検討委員会（文部科学省科学研究事業），2005.10.17

## 講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 鈴木五郎：地域福祉の現状と課題，国土庁，関東ブロック都市計画行政職員会議，飛鳥，大田原市，2005.11.21
- ・ 鈴木五郎：社会福祉制度改革と課題，栃木県議会議員連盟，栃木県文化会館，宇都宮市，2005.4.14

- ・ 鈴木五郎：高齢者の介護予防と社会参加，栃木県町村会収入役研修会，ホテルニュー紅葉，那須塩原市，2005.5.16
- ・ 鈴木五郎：日本社会の将来像と福祉，栃木県立清峰高校全校集会，清峰高校体育館，那須塩原市，2005.10.24
- ・ 会田元明：相談の基礎，大田原市社会福祉協議会，大田原市役所，大田原市，2005.12.15
- ・ 会田元明：児童福祉施設に求められるもの，栃木県養護施設連絡協議会，桔梗寮，那須烏山市，2005.11.21-22
- ・ 浅香 勉：心を育てる育児，食生活改善推進員教育事業，大田原市保健センター，大田原市，2005.6.14
- ・ 浅香 勉：子どもの発達と子育て，栃木県新規登録里親研修会，栃木県中央児童相談所，栃木県，2005.9.29
- ・ 浅香 勉：保育サービスにおける苦情解決制度の意義，宇都宮市民間保育園園長会，とちぎ福祉プラザ，宇都宮市，2005.9.5
- ・ 浅香 勉：シンポジウム 児童虐待について，中堅民生・児童委員研修会，とちぎ福祉プラザ，宇都宮市，2005.9.6
- ・ 浅香 勉：子どもの性虐待と児童養護施設，メンタルサポート「こころのみなと」定期研修会，中野サンプラザ，東京都中野区，2005.9.17
- ・ 小嶋章吾：民生委員・児童委員による相談・支援活動～面接相談の意義と展開を中心に～，東京都民生委員児童委員連合会（平成17年度現任（1）研修），東京，2005.6.10，7.22，7.29
- ・ 寫末憲子，小嶋章吾：ヘルパーの行う相談業務について～生活場面面接の技法を学び，利用者のエンパワメントを生み出す），社団法人全国社会福祉協議会（平成17年度全国ホームヘルパー協議会協議員セミナー），全国ホームヘルパー協議会，東京，2005.5.15
- ・ 小嶋章吾：社会福祉士養成課程における医療ソーシャルワーカー養成教育の必要性と可能性～「業務指針」が求める「社会福祉学を基にした専門性」付与のために～，日本医療ソーシャルワーク研究会，東北福祉大学，仙台市，2005.7.2
- ・ 小嶋章吾：個人情報保護と情報公開時代におけるソーシャルワーク記録のあり方とスキル～優れた実践のためにこそ，優れた記録が求められる～，東京民主医療機関連合会ソーシャルワーカー部会，2005.7.21
- ・ 小嶋章吾：ソーシャルワークにおけるコミュニケーション技法と面接技法を学ぶ，足利市社会福祉協議会（栃木県在宅介護支援センター協議会安足地区ブロック会研修会），足利市，2005.7.20
- ・ 小嶋章吾：職場スーパービジョン，社会福祉法人生活クラブ生協（2005年度職員研修），2005.8.8-9
- ・ 小嶋章吾：地域福祉権利擁護事業における生活場面面接，全国社会福祉協議会（平成17年度地域福祉権利擁護事業生活支援員中央現任研修会），東京，2005.9.16
- ・ 小嶋章吾：事例演習を通じてスーパービジョンの基礎を学ぶ，社会福祉法人とちぎ健康福祉協会（ケアマネジメントリーダー養成研修）・ケアマネジャー支援センター，宇都宮市，2005.10.28
- ・ 小嶋章吾（シンポジスト）：シンポジウム 生活を支える専門職～ケアマネジャーの役割～，日本ケアマネジメント学会公開講座in東京，第1回東京都介護支援専門員研究協議会，大正大学，東京，2005.10.29
- ・ 小嶋章吾：医療福祉（日本社会事業大学社会事業研究所社会福祉セミナー），ワークショップ・分野別ソーシャルワーク実践検討会，日本社会事業大学，東京，2005.11.5
- ・ 小嶋章吾：利用者情報の保護と共有のあり方～連携・協働における課題～，富山県医療ソーシャルワーカー協会（平成17年度保健医療福祉連携研修事業），富山市，2005.11.25
- ・ 小嶋章吾：生活場面面接の理論と技法，広島県社会福祉士会，広島市，2005.11.27
- ・ 小嶋章吾：地域福祉権利擁護事業における生活場面面接，栃木権利擁護センターあすてらす，宇都宮市，2005.12.2
- ・ 寫末憲子，小嶋章吾：ホームヘルパーによる相談援助～生活場面面接の活用による利用者のエンパワメント～，石川県・富山県社会福祉協議会（石川・富山県ホームヘルパー協議会合同研修会），富山市，2005.12.10-11
- ・ 小嶋章吾：主任児童委員による相談・支援活動～生活場面面接の展開を中心に～，東京都民生委員児童委員連合会（平成17年度主任児童委員(1期未満)研修），東京都，2006.2.17

- ・ 小嶋章吾：ソーシャルワークの価値・視点，栃木県医療社会事業協会・栃木県精神保健福祉士会（中堅会員研修），宇都宮市，2006.2.19
- ・ 小嶋章吾：地域福祉権利擁護事業における生活場面面接～利用者のエンパワメントを引き出す援助のあり方を考える～，富山県社会福祉協議会・富山県地域福祉権利擁護センター（生活支援員登録者研修会），富山市，2006.3.13
- ・ 小嶋章吾，寫末憲子：M-GTAによる生活場面面接のプロセスと技法の明確化の試み，TAMAソーシャルワーク研究会，首都大学東京，東京，2006.3.25
- ・ 式惠美子：介護予防，NPO介護予防協会，NPO介護予防協会，東京都新宿区，2005.12.16，2006.3.3
- ・ 式惠美子：介護技術講習会，国際医療福祉大学／介護福祉士養成施設協会の委託事業，国際医療福祉大学，栃木県大田原市，2005.6.7
- ・ 式惠美子：介護保険の見直しと介護の変化への対応および介護計画の立案，（社）医療経済研究所主催，盛岡市，2005.8
- ・ 式惠美子：高齢者の自立支援に向けたケアマネジメント，埼玉県春日部市介護保険課，埼玉県春日部市総合福祉センター，埼玉県春日部市，2005.11
- ・ 式惠美子：介護保険の見直しと介護の変化への対応，香川県主催（衛生部），香川県社会福祉総合センター，香川県高松市，2005.12
- ・ 式惠美子：在宅で行う介護予防，福島県郡山市社会福祉協議会，ビッグパレットふくしま，福島県郡山市，2005.12
- ・ 式惠美子：地域健康づくりサポーター養成，小平市健康センター，東京都小平市，2006.1.
- ・ 山崎順子：地域における障害者支援について，栃木県社会福祉協議会，ふくしプラザ，宇都宮市，2005.7.26
- ・ 山崎順子：看護に必要な面接技術，栃木県看護協会，栃木県看護研修センター，宇都宮市，2005.6.10
- ・ 山崎順子：障害者福祉はどう変わるか①，国際医療福祉大学リハビリテーションセンター，大田原市，2005.10.28
- ・ 山崎順子：障害者福祉はどう変わるか②，国際医療福祉大学リハビリテーションセンター，大田原市，2005.11
- ・ 須藤昌寛：ケアマネジメントとカウンセリング，とちぎケアマネジャー支援センター，とちぎ健康の森，栃木県宇都宮市，2005.4.18
- ・ 須藤昌寛：認知症高齢者に対するアセスメントとケアプラン①，栃木県認知症介護実務者研修，とちぎ認知症介護研修センター，宇都宮市，2006.1.17
- ・ 須藤昌寛：認知症高齢者を抱える家族への相談援助，栃木県認知症介護実務者研修，とちぎ認知症介護研修センター，宇都宮市，2006.1.18
- ・ 須藤昌寛：認知症高齢者に対するアセスメントとケアプラン②，栃木県認知症介護実務者研修，とちぎ認知症介護研修センター，宇都宮市，2006.3.6
- ・ 永野なおみ：保健医療機関のソーシャルワーカーの存在意義，栃木県医療社会事業協会平成17年度中堅者研修会，済生会宇都宮病院，宇都宮市，2006.2.19
- ・ 永野なおみ：相談援助の基本～バイステックの7原則をよりどころに～，神奈川県社会福祉協議会平成17年度市民活動マネジメントセミナー，かながわ県民センター，横浜市，2006.3.2
- ・ 若倉 健：介護支援専門員受験対策講座，とちぎケアマネージャー協会，とちぎ健康の森，栃木県宇都宮市，2005.8.13
- ・ 若倉 健：社会福祉士国家試験対策講座，栃木県社会福祉士会，栃木県総合教育センター，栃木県宇都宮市，2005.12.3

## 学会発表

- ・長竹教夫, 相原和子: 統合失調症のクリニカル・パス作成の試み, 日本医療社会福祉学会, 日本女子大学, 東京, 2005.9.19
- ・六波羅詩朗, 山崎順子, 若倉 健: 障害者(児)の地域生活支援システムの在り方に関する研究(1)ー研究の目的・視点及び地域の特徴ー, 日本社会福祉学会第53回全国大会, 東北福祉大学, 宮城県仙台市, 2005.10.8
- ・山崎順子, 六波羅詩朗, 若倉 健: 障害者(児)の地域生活支援システムの在り方に関する研究(2)ー事例分析を通して明らかとなったコーディネーターの機能ー, 日本社会福祉学会第53回全国大会, 東北福祉大学, 宮城県仙台市, 2005.10.8
- ・浅香 勉: 1歳6ヶ月・3歳児健康診査からみる子育て支援の課題, 日本子ども虐待防止学会, 札幌学院大学, 北海道江別市, 2005.9.4
- ・浅香 勉: 子どもの性的虐待の対応の現状と課題, 日本社会福祉学会, 東北福祉大学, 仙台市, 2005.10.9
- ・小嶋章吾, 永野なおみ, 若倉 健: 大学での医療ソーシャルワーカー養成教育の現状と課題(その1)ー医療ソーシャルワーク実習に関する実習指導者の意見からー, 第2回栃木県医療社会事業協会学会, 宇都宮市, 2005.4.16
- ・永野なおみ, 小嶋章吾, 若倉 健: 大学での医療ソーシャルワーカー養成教育の現状と課題(その2)ーシラバス調査の結果からー, 第2回栃木県医療社会事業協会学会, 宇都宮市, 2005.4.16
- ・若倉 健, 永野なおみ, 小嶋章吾: 大学での医療ソーシャルワーカー養成教育の現状と課題(その1)ー4年制大学における医療福祉論などの開講状況調査からー, 第25回日本医療社会事業学会, 神戸国際会議場, 神戸市, 2005.5.27
- ・永野なおみ, 小嶋章吾, 若倉 健: 大学での医療ソーシャルワーカー養成教育の現状と課題(その2)ーシラバス調査の結果からー, 第25回日本医療社会事業学会, 神戸国際会議場, 神戸市, 2005.5.27
- ・小嶋章吾, 永野なおみ, 若倉 健: 大学での医療ソーシャルワーカー養成教育の現状と課題(その3)ー医療ソーシャルワーク実習に関する実習指導者の意見からー, 第25回日本医療社会事業学会, 神戸国際会議場, 神戸市, 2005.5.27
- ・小嶋章吾, 寫末憲子: 生活場面面接技法の体系化に関する研究(1)ー居宅高齢者を対象としたソーシャルワーク面接に焦点化して, 日本社会福祉学会第53回全国大会, 東北福祉大学, 仙台市, 2005.10.8
- ・寫末憲子, 小嶋章吾: サービス提供責任者が捉えた要介護高齢者の対応困難事例に関する検討ーホームヘルパー及びケアマネジャーとの協働実践を軸にした検討, 日本社会福祉学会第53回全国大会, 東北福祉大学, 仙台市, 2005.10.8
- ・永野なおみ, 小嶋章吾: 医療ソーシャルワーカー養成教育の現状と課題(その2), 日本社会福祉学会第53回全国大会, 東北福祉大学, 仙台市, 2005.10.8
- ・寫末憲子, 小嶋章吾: サービス提供責任者が捉えた要介護高齢者の対応困難事例に関する検討ー関係者のインタビューデータを中心とした質的分析, 第13回日本介護福祉学会大会, 神奈川県立保健福祉大学, 横須賀市, 2005.10.22
- ・式恵美子: 吸引等医療行為の学習に対する学生の認識に関する考察, 日本介護福祉教育学会研究大会, 滋賀県, 2005.7.2
- ・式恵美子(座長): 実習報告書の作成及び発表会に関する考察, 日本介護福祉学会第13回大会, 神奈川県立保健福祉大学, 神奈川県, 2005.10.22
- ・式恵美子: 在宅高齢者の外出支援に関する考察, 日本在宅ケア学会第10回大会, 新潟医療福祉大学, 新潟県, 2006.3.3
- ・山崎順子: 障害者(児)の地域生活支援システムの在り方に関する研究(1)(2), 第53回社会福祉学会, 日本福祉大学, 宮城県仙台市, 2005.10.8
- ・山崎順子(主催者, 座長, コメンテーター): 栃木県ソーシャルワーク学会, とちぎ健康の森, 宇都宮市, 2006.3.11
- ・荒井春生: 神経性無食欲症患者の自己イメージの変化, 日本アディクション看護学会, 東京, 2005.12

- ・須藤昌寛：「高齢者虐待」に至った介護者への理解に関する一考察－介護者の回想を通して－，第8回日本老年行動科学会東京大会，明治学院大学，東京都，2005.9.3
- ・須藤昌寛：「高齢者虐待」という言葉に関する心理学的検討，第2回とちぎソーシャルワーク学会，とちぎ健康の森，栃木県宇都宮市，2006.3.12
- ・永野なおみ，小嶋章吾：医療ソーシャルワーカーとして求められる人材とは～大学への求人票の分析をもとに，栃木県医療社会事業学会，とちぎ健康の森，宇都宮市，2005.4.16
- ・小嶋章吾，永野なおみ：医療ソーシャルワーク実習のあり方を探る～実習指導者に対するアンケート調査結果分析をもとに～，栃木県医療社会事業協会，とちぎ健康の森，宇都宮市，2005.4.16
- ・林 芳治：旧産炭地域における社会解体過程と住民の社会関係，東北社会学会，宮城教育大学，仙台市，2005.7.31
- ・鈴木庸一，若倉 健：公共施設におけるバリアフリーの現状と課題－茨城県への調査旅行を通して－，日本福祉のまちづくり学会第8回全国大会，千葉県教育会館，千葉県千葉市，2005.8.26
- ・大石剛史，若倉 健：社会福祉士の研修と職能団体の役割①～自己実現と協働性への意欲を高める研修～，第2回とちぎソーシャルワーク学会，とちぎ健康の森，栃木県宇都宮市，2006.3.12
- ・若倉 健，大石剛史：社会福祉士の研修と職能団体の役割②～求められる研修内容を中心に～，第2回とちぎソーシャルワーク学会，とちぎ健康の森，栃木県宇都宮市，2006.3.12

#### 研究助成金（文部科学省，厚生労働省，公的研究費，その他研究助成金）

- ・青木 紀（代表），六波羅詩朗，岩田美香 他1名：福祉資金貸付制度の制効果と課題に関する研究，厚生労働科学研究費，H-16，004，継続
- ・手島陸久（主任研究者，日本社会事業大学教授），後藤 隆，山下英三郎，田中千枝子，竹内幸子，小嶋章吾，矢部正治，柳田正明，鈴木ゆかり：社会福祉専門職国家資格化後におけるソーシャルワーク実践事例の収集・評価による実践方法の標準化に関する研究，平成17年度厚生労働科学研究費補助金（政策科学研究事業），継続
- ・寫末憲子（研究代表者，埼玉県立大学講師），小嶋章吾：対応困難な要介護高齢者へのソーシャルワーカーとホームヘルパーの協働に関する研究～ケアマネジメントシステムにおける利用者の生活変化と援助プロセスを中心とした検討～，平成17年度科学研究費補助金，継続
- ・白澤政和（研究代表者，社団法人日本社会福祉士養成校協会会長），東條光雄，中谷陽明，石川久展，小嶋章吾：社会福祉士及び介護福祉士の資格に関する教育のあり方等に関する研究，財団法人社会福祉振興・試験センター 平成17年度社会福祉振興関係調査委託事業（社会福祉施設における社会福祉士の雇用状況と雇用に向けての調査研究事業），採択
- ・京極高宣（研究代表者，国立社会保障・人口問題研究所所長），小嶋章吾：わが国の在宅医療における医療ソーシャルワーカー実践事例の調査研究－医療ソーシャルワーカーの国家資格化と養成カリキュラムのあり方を求めて－，財団法人在宅医療助成勇美財団，2005年度在宅医療助成，採択
- ・若林浩司，奥村ますみ，小嶋章吾：医療ソーシャルワーカーに求められる専門性～大学附属病院の場合～，社団法人日本医療社会事業協会，平成17年度社会活動補助，採択
- ・小嶋章吾，寫末憲子：社会福祉実践における生活場面面接の理論と方法の体系化に関する研究～実践的技法と教育訓練プログラムの開発，日本学術振興会，平成17年度科学研究費基盤研究(C)，継続
- ・小嶋章吾，永野なおみ，荻津 守，栗本孝雄：大学における医療ソーシャルワーカー養成教育の現状とあり方に関する基礎研究，社団法人日本医療社会事業協会，平成17年度社会活動補助，採択
- ・山崎順子，六波羅詩朗，小林雅彦，須藤昌寛，大石剛史，若倉 健：障害者（児）の地域生活支援システムの在り方に関する研究，財団法人みずほ福祉助成財団 社会福祉助成金事業，採択

- ・京極高宣, 村上須賀子, 石田路子, 小嶋章吾, 永野なおみ, 竹中麻由美, 横山豊治: わが国の在宅医療における医療ソーシャルワーカー実践事例の調査研究－医療ソーシャルワーカーの国家資格化と養成カリキュラムのあり方を求めて－, 財団法人在宅医療助成勇美記念財団, 採択
- ・杉原素子, 佐藤恭子 他: 要支援者および軽度要介護者の介護サービス計画および標準化に関する研究, 平成17年度厚生労働科学研究費補助金, 長寿科学総合, H16長寿014, 継続

### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・鈴木五郎: 日本社会福祉学会, 日本地域福祉学会
- ・相原和子: 日本医療社会福祉学会 (副会長)
- ・六波羅詩朗: 日本社会福祉学会 (学会誌査読委員), 日本社会福祉学会関東ブロック (学会運営委員, 機関誌編集委員), 日本地域福祉学会, 経済統計学会, 社会事業史学会, 日本社会保障法学会, 社会政策学会
- ・浅香 勉: 日本社会福祉学会, 日本福祉教育・ボランティア学習学会, 日本子どもの虐待防止研究会, 日本子ども家庭福祉学会
- ・小嶋章吾: 日本社会福祉学会 (査読委員), 日本介護福祉学会 (投稿論文査読), 日本社会福祉実践理論学会, ソーシャルワーク研究会, 日本医療ソーシャルワーク研究会, TAMAソーシャルワーク研究会, M-GTA研究会 (世話人)
- ・小林雅彦: 日本地域福祉学会 (栃木県担当委員), 日本認知症ケア学会 (関東甲信越地域部会委員)
- ・式恵美子: 日本社会福祉学会, 日本介護福祉学会, 日本医療保健社会学会, 日本ケアマネジメント学会 (広報委員), 日本看護学教育学会, 日本死の臨床研究会, 日本在宅ケア学会, 日本認知症ケア学会 (認定認知症ケア専門士), 介護福祉士養成協会 (介護技術講習会主任指導者)
- ・山崎順子: 日本社会福祉学会, 日本発達障害学会
- ・大石剛史: 福祉教育・ボランティア学習学会, 地域福祉学会
- ・須藤昌寛: 日本心理学会, 日本福祉心理学会, 日本カウンセリング学会 (認定カウンセラー), 日本老年行動科学会, 日本社会福祉学会, 日本地域福祉学会
- ・永野なおみ: 日本社会福祉学会, 日本医療社会事業学会
- ・林 芳治: 北海道地域福祉学会, 日本社会福祉学会, 日本地域福祉学会, 日本社会学会, 東北社会学会, 岩手県立大学総合政策学会
- ・福井康江: 日本芸術療法学会, 日本精神障害者リハビリテーション学会
- ・佐藤恭子: 社会福祉学会, ケアマネジメント学会, 地域福祉学会
- ・若倉 健: 日本社会福祉学会, 日本地域福祉学会, 日本高齢者虐待防止学会, 日本老年行動科学会, 日本福祉のまちづくり学会, 日本ケアマネジメント学会, 立正大学社会福祉学会, 日本医療社会事業学会

### 薬学部 (薬学科)

#### 著書

- ・伊賀立二 (分担執筆): 医薬品情報学 改訂第三版 (編集: 山崎幹夫, 望月眞弓, 武立啓子), 序論－医薬品適正使用へ向けて医薬品情報はいかにあるべきか, 1-10, 東京大学出版会, 2005.9
- ・伊賀立二 (分担執筆): 高齢者の薬の使い方 (監修: 大内尉義), 高齢者の薬物療法の基礎－薬物動態学, 薬力学からのアプローチ, 2-9, メジカルビュー社, 2005.4

- ・清野敏一, 鈴木洋史, 伊賀立二 (分担執筆) : 高齢者の薬の使い方 (監修: 大内尉義), 高齢者における服薬指導の実際, 24-29, メジカルビュー社, 2005.4
- ・草間紀子, 伊賀立二 : 高齢者の薬の使い方 (監修: 大内尉義), TDMを高齢者薬物療法にどのように活かすか, 30-34, メジカルビュー社, 2005.4
- ・伊賀立二 (編集) : 研修医・医学生のためのくすりのマニュアル, 南江堂, 2005.7
- ・野口隆志 (編集) : 改正GCP治験ハンドブック, 薬事日報, 2005.4.15
- ・野口隆志 : 医薬品開発基礎研究会誌 (第9回), 治験実施医療機関への要望と期待, 昭和大学医学部 医薬品開発基礎研究会, 2005.4.1
- ・野口隆志 他 (分担執筆) : 治験の国際化に向けて(7), (株)メディカル・パブリケーションズ, 2005.11.15
- ・野口隆志 (編集) : 改正GCP治験ハンドブック (追補), 薬事日報, 2005.12.20
- ・吉田武美 他 (編集), 野口隆志 (分担執筆) : NEW医薬品の安全性学, 廣川書店, 2006.3.10
- ・野口隆志 : (京都薬科大学創立120周年記念誌座談会) 戦後から現在までの社会変化・医療-薬学環境変化における本学の変遷, 京都薬科大学, 2005.6

## 原著論文

- ・山田安彦, 高柳理早, 大関健志, 横山晴子, 伊賀立二, 新家 眞 : ニフラジロール点眼液による全身性副作用の $\beta$ 受容体結合占有に基づく定量的予測, あたらし眼科, 23(1), 87-92, 2006.1
- ・Tanigawa S, Ono M, Akita H : The First Synthesis of (S)-(+)-cacalol, *Heterocycles*, 65(2), 319-327, (2005.2)
- ・Tanigawa S, Ono M, Akita H : Enzymatic Resolution of ( $\pm$ )-5-Acetoxy-4-aryl-(2E)-pentenoate Derivatives, *Chem. Pharm. Bull.*, 53(5), 565-569, (2005.2)
- ・Nakajima R, Ono M, Aiso H, Akita H : Synthesis of Methyl 1-O- (4-Hydroxymethamphetaminy) -  $\alpha$  -D- glucopyranouronate, *Chem. Pharm. Bull.*, 53(6), 684-687, (2005.3)
- ・Ono M, Ehara T, Yokoyama H, Ohtani N, Hoshino Y, Akita H : Solvolysis of (4,5)-anti-4-Aryl- 5-tosyloxy-2(E)-hexenoate Derivatives, *Chem. Pharm. Bull.*, 53(10), 1259-1265, 2005.7
- ・櫻井史保子, 松本直樹, 中村紘一 他6名 : 第1相試験の健康成人ボランティアを対象とした治験に対する意識調査, *臨床薬理*, 36(6), 315-22, 2005.11
- ・Watanabe T 他8名 : Stereodivergent Synthesis of Highly Substituted Enantiopure 4-Alkoxy-3, 6-dihydro-2H-1, 2-oxazines, *Eur. J. Org. Chem.*, 6, 1003-1019, 2005.6
- ・Watanabe T 他9名 : New Labdane-type Diterpenoids from *Croton oblongifolius* and Their Cytotoxic Activity, *Heterocycles*, 65(4), 809-822, 2005.4
- ・Watanabe T 他4名 : The First Total Synthesis of Kwakhurin, *Org. Biomol. Chem.*, 3(4), 674-681, 2005.4
- ・Takami N, Shiraishi M, Shiozawa S 他8名 : The promoter region of death receptor 3 (DR3) gene is specifically methylated in rheumatoid synovial cells, *Arthritis Rheum*, 54(3), 779-787, 2006.3
- ・Todoroki K, Yoshida H, Yoshitake T 他3名 : Simultaneous liquid chromatographic measurement of melatonin and related indoles through post-column electrochemical demethylation and fluorescence derivatization, *Analytical Sciences*, 22(2), 281-286, 2006.2
- ・Yoshitake M, Nohta H, Yoshitake T 他3名 : Selective determination of native fluorescent bioamines through precolumn derivatization and liquid chromatography using intramolecular fluorescence resonance energy transfer detection., *Analytical Chemistry*, 78(3), 920-927, 2006.2

- Yoshitake T, Kehr J, Todoroki K 他2名 : Derivatization chemistries for determination of serotonin, norepinephrine and dopamine in brain microdialysis samples by liquid chromatography with fluorescence detection, *Biomedical Chromatography*, 20(3), 267-281, 2006.3
- 真野泰成, 西上 潤, 打和壽子 他4名 : 病棟スタッフからの質問とそれらに対する薬剤師の薬学的対応, *医療薬学*, 31(8), 679-685, 2005.8.10
- Yokogawa K, Ido A, Mano Y 他4名 : Serum aminotransferase activity as a predictor for estimation of total clearance of hepatically metabolized drugs in rats with acute hepatic failure, *Biological & pharmaceutical bulletin*, 29(1), 141-145, 2006.1.1
- Mitsue Tetsuka (Nakano), Yumiko Saito, Kei Maruyama 他4名 : Arginine residue 155 in the second intracellular loop plays a critical role in rat melanin-concentrating hormone receptor 1 activity, *Endocrinology*, 146(8), 3452-3462, 2005.8

## 総説

- 野口隆志 : 医薬品産業ビジョンと今後の展望, *ファルマシア*, 41(8), 777-782, 2005.8.1
- 野口隆志 : 国際医療福祉大学の取り組み, *メディカル・アカデミー・ニュース*, 2005.9.1
- 石丸直樹 : CoRESTによるヒストンの脱メチル化, *ファルマシア*, 42(3), 265-266, 2006.3
- 井尻聡一郎 : 金イオンを触媒に用いた化学発光法による免疫測定, *ファルマシア*, 42(2), 167-168, 2006.2

## 講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- 伊賀立二 : 新しい薬剤師像を目指してー薬学教育6年制と今後の方向性ー, 佐賀県薬剤師会生涯教育研修会, 佐賀県薬剤師会館研修ホール, 佐賀市, 2005.4.23
- 伊賀立二 : 新設大学と地域薬剤師会とのかかわり, 日本女性薬剤師会関東ブロック研修会, いたやホテル, 宇都宮市, 2005.11.2
- 伊賀立二 : 医薬品の適正使用と医薬品情報提供の在り方, 日本医薬情報センター, 東京都, 2005.11.28
- 伊賀立二 : 薬剤師の生涯教育, 滋賀県薬剤師連盟薬剤師スキルアップセミナー, 暖灯館さくらのや, 滋賀県雄琴, 2006.1.28
- 中村紘一 : Global Studyのための臨床薬理学, 第7回クインタイルズ・アカデミー講演会 (東京), アメリカンクラブ, 東京, 2006.2.22
- 中村紘一 : Global Studyのための臨床薬理学, 第7回クインタイルズ・アカデミー講演会 (大阪), ワシントンプラザホテル, 大阪, 2006.3.2
- 野口隆志 (シンポジスト) : 治験の質の向上を目指したCRC教育を考えるー大学院の立場からー, 5回CRCと臨床試験のあり方を考える会, 横浜, 2005.10.15-16
- 野口隆志 (セミナー座長) : 現行GCP施行8年を振り返ってーわが国の治験の問題点と課題, 第26回日本臨床薬理学会年会, 大分, 2005.12.1-3
- 野口隆志 (特別講演座長) : 「PK-PDモデリングによる医薬品の評価と医療上の位置付け」, 第1回Intensive Course 臨床薬理に基づく医薬品開発戦略, 東京大学, 2005.7.8-9
- 野口隆志, 小林真一 (シンポジウム座長) : 医薬品開発はここまできた, 第10回医薬品開発基礎研究会, 昭和大学, 2005.11.18
- 真野泰成, 野口隆志 他 (共同発表者) : (ポスター) 国際医療福祉大学薬学部における早期体験実習 (Early Exposure) への取り組みと評価, 医療薬学会, 岡山, 2005.10.1-2

- ・ 真野泰成, 野口隆志 他 (共同発表者) : (ポスター) 事前実習のための模擬病院薬局システムの構築, 日本薬学会第126年会, 仙台, 2006.3.28-30
- ・ 小田由紀子, 野口隆志 他 (共同発表者) : (ポスター) 事前実習のための模擬保険薬局システムの構築, 日本薬学会 第126年会, 仙台, 2006.3.28-30
- ・ 菊地桂子, 野口隆志 他4名: 「臨床試験の被験者スクリーニングにおけるInformation Technology (DBF focus) 利用の有用性の検討, 5回CRCと臨床試験のあり方を考える会, 横浜, 2005.10.15-16
- ・ 山木輝彦, 野口隆志 他5名: (ポスター) 治験参加の意思決定に関わる要因の調査研究, 5回CRCと臨床試験のあり方を考える会, 横浜, 2005.10.15-16
- ・ 鈴木高弘, 野口隆志 他3名: (ポスター) 遠隔データ収集システムを利用した被験者の家庭血圧同行調査, 5回CRCと臨床試験のあり方を考える会, 横浜, 2005.10.15-16
- ・ 阿部尚美, 野口隆志 他3名: (ポスター) 医師主導型臨床試験における試験参加に及ぼす因子の検討, 5回CRCと臨床試験のあり方を考える会, 横浜, 2005.10.15-16
- ・ 山中順子, 野口隆志 他4名: (ポスター) 臨床試験に参加する被験者のコンプライアンスについて—特に高齢者における問題点の調査研究—, 5回CRCと臨床試験のあり方を考える会, 横浜, 2005.10.15-16
- ・ 野呂瀬記子, 野口隆志 他4名: (ポスター) Line-oriented Frigate Training (LOFT) をモチーフとした新しい治験コーディネーター教育システムの確立: シナリオ作成, 5回CRCと臨床試験のあり方を考える会, 横浜, 2005.10.15-16
- ・ 団起志子, 野口隆志 他5名: (ポスター) Crew Resource ManagementのLine-oriented Frigate TrainingをモチーフにしたCRC教育システムの評価系の作成, 5回CRCと臨床試験のあり方を考える会, 横浜, 2005.10.15-16
- ・ 吉武 尚, 能田 均, 山口政俊: (招待講演) 神経伝達アミン類のインビボ計測を可能にする化学反応, 第18回バイオメディカル分析科学シンポジウム, グランシップ, 静岡県静岡市, 2005.8.6
- ・ 吉武 尚: (招待講演) 脳内物質の新規生体計測法の開発と神経ペプチドの機能解析への応用, 第10回神経科学領域における分子モニタリングシンポジウム, エーザイ本社, 東京都, 2005.10.22
- ・ 吉武 尚: (特別講演) マイクロダイアリシス法を用いる高感度分析法の開発と応用, 第16回マイクロダイアリシス研究会, 昭和女子大学, 東京都, 2005.12.3

## 学会発表

- ・ 真野泰成, 栗原 健, 野村政明, 伊賀立二 他2名: 四塩化炭素(CCl<sub>4</sub>)誘発慢性肝障害ラットにおける肝固有クリアランスの低下と血清アルブミン値との関係, 医療薬学フォーラム2005 第13回クリニカルファーマシーシンポジウム, 鹿児島市民文化ホール, 鹿児島県鹿児島市, 2005.7.16
- ・ 真野泰成, 野口隆志, 伊賀立二: 国際医療福祉大学薬学部における早期体験実習 (Early Exposure) への取り組みと評価, 第15回日本医療薬学会, 岡山全日空ホテル 他, 岡山市, 2005.10.1
- ・ 真野泰成, 藤原直子, 石丸直樹, 野口隆志, 伊賀立二 他3名: 事前実習のための模擬病院薬局システムの構築, 日本薬学会 第126年会, せんだいメディアテーク, 宮城県仙台市, 2006.3.29
- ・ 小田由紀子, 真野泰成, 井尻聡一郎, 野口隆志, 伊賀立二 他: 事前実習のための模擬保険薬局システムの構築, 日本薬学会 第126年会, せんだいメディアテーク, 宮城県仙台市, 2006.3.29
- ・ 伊賀立二 (座長): (特別講演) 個人情報保護法と薬剤師 (三輪亮寿氏), 医療薬学フォーラム2005 第13回クリニカルファーマシーシンポジウム, 鹿児島市民文化ホール, 鹿児島市, 2005.7.16
- ・ 伊賀立二 (座長): (特別講演) 薬剤師大改革—21世紀を薬剤師の世紀に (藤井基之氏), 日本薬剤師会学術大会, 広島国際会館, 広島市, 2005.10.9
- ・ 伊賀立二 (座長): 医療サービスⅡ, 第12回ヘルスリサーチフォーラム, 都市センターホテル, 東京, 2005.11.5

- ・ 中島理加, 尾能満智子, 相磯貞和, 秋田弘幸 : Methyl 1-O-(4-Hydroxymethamphetamine)- $\alpha$ -D- glucopyranouronate の合成, 日本薬学会 第126年会, 国際センター, 宮城県仙台市, 2006.3.30
- ・ 角南明彦, Fozzard HA : システインミュータントによる電位依存性NaチャンネルのドメインIV, S6内側部の同定, 第7回応用薬理シンポジウム, 幕張メッセ国際会議場, 千葉, 2005.8.6
- ・ 角南明彦, Fozzard HA : システインアクセシビリティを用いた電位依存性NaチャンネルのドメインIV, S6ポア内側部の構造決定, 日本薬学会 第126年会, 仙台国際センター, 仙台, 2006.3.28
- ・ 渡辺義人, 池上文昭, 中村紘一 他1名 : 臨床検査値の異常変動を判定する基準の標準化, 第26回日本臨床薬理学会年会, 別府ビーコンプラザ, 大分県別府市, 2005.12.2
- ・ 櫻井史保子, 松本直樹, 中村紘一 他6名 : 健康成人ボランティアを対象とした治験 (第I相) に対する意識調査, 第26回日本臨床薬理学会年会, 別府ビーコンプラザ, 大分県別府市, 2005.12.3
- ・ 渡邊敏子 (共同研究者) : アジリジンを合成素子とするリゼルグ酸の不斉合成研究, 日本薬学会 第126年会, せんだいメディアテーク, 仙台, 2006.3.30
- ・ 白石昌彦 : 迅速重亜硫酸修飾反応 : シトシンからウラシルへの変換を20分で, 第64回日本癌学会学術総会, 国際館パミール, 北海道札幌市, 2005.9.14
- ・ 白石昌彦 (座長) : ワークショップ : DNAメチル化 (3) , 第64回日本癌学会学術総会, ロイトン札幌, 北海道札幌市, 2005.9.14
- ・ 井尻聡一郎, 轟木堅一郎, 吉武 尚 他3名 : レーザー誘起蛍光検出キャピラリー電気泳動法によるエリスロポエチンの糖鎖分析, 第12回クロマトグラフィーシンポジウム, 九州大学, 福岡県福岡市, 2005.5.19
- ・ Kehr J, Yoshitake T, Sun L 他1名 : Development of nanoscale bioassay technologies based on electrogenerated chemiluminescence, Nanotechnology in BioDiagnostics and Analytics (NBDA), Musée de Grenoble, Grenoble (France), 2005.6.29
- ・ Kehr J, Yoshitake T, Spenger C 他4名 : Magnetic resonance imaging of neuronal stem cells labelled with superparamagnetic nanoparticles, EuroNanoForum2005, Edinburgh Exhibition and Conference Center, Edinburgh (Scotland), 2005.9.7
- ・ 吉武 尚, Kehr J, 井尻聡一郎 他2名 : HPLC蛍光検出法による前頭前野微小透析液中ノルエピネフリン, ドーパミン及びセロトニンの高感度定量—各種抗うつ薬の単回及び反復投与後のモニタリング—, 日本分析化学会第54年会, 名古屋大学, 愛知県名古屋市, 2005.9.14
- ・ 中島智光, 井尻聡一郎, 吉武 尚 他6名 : 蛍光共鳴エネルギー移動現象を利用する糖鎖のルミネッセンス構造解析法の開発, 日本分析化学会第54年会, 名古屋大学, 愛知県名古屋市, 2005.9.14
- ・ Kehr J, Fujino K, Yoshitake T : Advances in analytical techniques for microdialysis, National Congress of the Italian Society for Neuroscience, Regina Isabella Congress Center, Ischia(Italy), 2005.10.3
- ・ 中島智光, 井尻聡一郎, 吉武 尚 他6名 : 蛍光共鳴エネルギー移動を利用する糖鎖の構造解析法の開発, 第22回日本薬学会九州支部大会, 福岡大学, 福岡県福岡市, 2005.12.11
- ・ 真野泰成 : 国際医療福祉大学薬学部長期実務実習の試行 (大学展示ブース) , 第15回日本医療薬学会, 岡山全日空ホテルなど, 岡山県岡山市, 2005.10.1
- ・ 柄田浩孝, 栗原 健, 真野泰成 他3名 : 四塩化炭素誘発慢性肝障害ラットにおけるバイオマーカーを指標とした全身クリアランス予測法の開発, 日本薬学会 第126年会, 仙台国際センター, 仙台市民会館など, 宮城県仙台市, 2006.3.30
- ・ 斉藤祐見子, 中野満恵, 丸山 敬 他3名 : Critical role of the basic motif in melanin-concentrating hormone receptor1, 第28回日本神経科学大会, パシフィコ横浜, 神奈川県 横浜市, 2005.7.26-28

- ・ Saito Y, Tetsuka (Nakano) M, Saito S 他2名: Critical role of R155 in the second intracellular loop in melanin-concentrating hormone receptor., 第48回日本神経化学大会, JALリゾートシーホークホテル福岡, 福岡県福岡市, 2005.9.28-30
- ・ 丸山 敬, 齊藤静司, 中野満恵 他5名: 摂食受容体メラニン凝集ホルモン受容体の活性に必須な1アミノ酸の同定とその解析, 第79回日本薬理学会年会, パシフィコ横浜, 神奈川県 横浜市, 2006.3.8-3.10

#### 研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

- ・ 伊賀立二 (分担) (代表者 鈴木洋史): 包括化・後発品使用・診療ガイドライン使用の中での安全性確保を指向した医薬品実態調査と病院医薬品集選択の方法論のモデル構築, 厚生労働科学研究費補助金, H16-医薬-050, 継続
- ・ 角南明彦: Single channel study of Ranolazine effects on late sodium currents in the heart, Sponsored research (CV Therapeutics, Inc., CA, USA), 2005.12-2006.11
- ・ 吉武 尚 (分担研究): 脳内高分子計測用探索子の創製とその脳機能研究への実用, 平成17年~19年度文部科学省科学研究費補助金, 基盤研究(B), 17390013, 採択
- ・ 吉武 尚: 微量生体関連物質の高感度分析法の開発と応用, 平成17年~18年度 エイコム株式会社, 採択

#### 学位取得・研究業績に対する受賞

- ・ 真野泰成: 博士 (薬学), 肝障害時における薬物投与設計法の開発, 2006.3.22

#### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 伊賀立二: 日本医療薬学会 (認定薬剤師, 指導薬剤師) (理事), 日本薬剤学会 (評議員), 日本TDM学会 (評議員), 日本薬剤疫学会 (評議員), 日本医薬品情報学会 (顧問)
- ・ 太田由己: 日本薬学会, 日本生化学会, 日本分子生物学会, 日本蛋白質科学会
- ・ 尾能満智子: 日本薬学会, 有機合成化学協会
- ・ 角南明彦: 日本薬理学会 (学術評議員), 日本生理学会 (評議員), 日本薬学会, Biophysical Society (US), Society of General Physiologists (US), The Physiological Society (UK) (J Physiol (London)査読員)
- ・ 中村紘一: 日本臨床薬理学会 (認定医, 指導医) (評議員, 「臨床薬理研究振興財団賞」選考委員会委員, ホームページ担当委員), 日本麻酔学会 (専門医), アメリカ麻酔学会, 日本薬理学会, 日本中毒学会
- ・ 野口隆志: ASM (アメリカ細菌学会), 日本感染症学会, 日本化学療法学会 (臨床試験指導員制度問題委員会委員), 日本薬学会, 日本臨床薬理学会, 日本薬物動態学会, 日本薬理学会, 日本臨床ウイルス学会, 緑膿菌研究会, Bacterial Adherences & Biofilm研究会, 医薬品開発基礎研究会 (運営幹事), 治験の国際化シンポジウム (運営幹事)
- ・ 野原功全: 日本物理学会, 応用物理学会, 日本核医学会, 日本医用画像工学会, 日本医学放射線学会, 日本医学物理学学会, 日本アイソトープ協会
- ・ 渡邊敏子: 日本薬学会 (代議員), 日本化学会, 有機合成化学協会
- ・ 白石昌彦: 日本薬学会, 日本分子生物学会, 日本生化学会, 日本癌学会, DNA Methylation Society
- ・ 吉武 尚: 日本薬学会, 日本分析化学会
- ・ 井尻聡一郎: 日本薬学会, 日本分析化学会
- ・ 真野泰成: 日本病院薬剤師会 (日本病院薬剤師会実務実習指導薬剤師, 生涯研修履修認定), 日本医療薬学会, 日本薬学会, 日本薬剤師研修センター認定薬剤師

## リハビリテーション学部（理学療法学科）

### 著書

- ・ 田原弘幸（分担執筆）：理学療法評価法，運動発達検査，135-151，神陵文庫，2005.4
- ・ 田原弘幸（分担執筆）：理学療法 検査・測定ガイド，運動発達，457-474，文光堂，2006.3
- ・ 杉原 甫，田端寿美：メタボリック・シンドローム実践マニュアル，松澤・船橋編，脂肪細胞，メタボリック・シンドロームの細胞基盤，29-38，フジメディカル出版，2005.12.1
- ・ 甲斐 悟（分担執筆）：図解理学療法検査・測定ガイド，座位，724-731，文光堂，2006.3

### 原著論文

- ・ Fujikura J, Sugihara H et al. : Insulin-induced Lipohypertrophy, *Endocrine Journal*, 52(5), 623-628, 2005.6.6
- ・ Matsusita S, Sugihara H et al. : A Solitary Fibrous Tumor arising in the Perioral Region, *Journal of Dermatology*, 32(12), 1041-1043, 2005.12.10
- ・ Toda S, Sugihara H : Air-liquid interface promotes invasive growth of laryngeal squamous cell carcinoma, *Biochem Biophys Res Comm*, 326(4), 866-872, 2005.4.3
- ・ 杉原 甫，井手口浩幸，森田喜一郎，前田久雄：脂肪細胞：日本人固有のサイズを求めて，国際医療福祉大学リハビリテーション学部紀要，1，19-26，2006.3
- ・ Lin H, Ozaki S, Fujishiro N 他4名：Subunit composition and role of Na-K ATPases in adrenal chromaffin cells, *J. Physiology*, 564(1), 161-172, 2005.4
- ・ Endo Y, Harada K, Fujishiro N 他3名：Localization of Muscarinic receptor and cation channel in guinea-pig adrenal chromaffin cells, *Acta. Histochem. Cytochem*, 38(4), 273-282, 2005.7
- ・ Kai S, Watari K : Intermanual transfer of effects of motor learning from the dominant to non-dominant hand using a grip force retaining task, *J. Phys. Ther. Sci*, 17(2), 57-61, 2005.12
- ・ 花岡秀明，村木敏明，矢倉千昭 他3名：健康関連QOLの向上を目指した肥満改善プログラムの有効性に関する検討，総合リハビリテーション，33(10)，951-957，2005.10
- ・ 矢倉千昭，長住達樹，田原弘幸 他3名：30秒間の椅子立ち上がりテストと等速性下肢筋力および筋パワーとの関係，国際医療福祉大学リハビリテーション学部紀要，1，1-10，2006.3

### 総説

- ・ 杉原 甫 他：白色脂肪細胞の初代培養，*Adiposcience*, 2(3), 306-311, 2005.5.5
- ・ 杉原 甫 他：脂肪細胞，肥満と再生のメカニズム，日本医事新報，4251，14-15，33-36，2005.10.15
- ・ 戸田修二，杉原 甫：甲状腺組織の新しい培養法，ホルモンと臨床，53(1)，29-36，2005.4.25
- ・ 矢倉千昭，神津 玲：がん性疼痛，理学療法，23(1)，380-383，2006.1

### 研究報告

- ・ 奈良貴史，鈴木敏彦，古田美智子：岩手県川崎村河崎の柵擬定地遺跡出土人骨について，河崎の柵擬定地発掘調査報告書，431-530，2006.2.28
- ・ 奈良貴史：出土人骨について，長根 I 遺跡発掘調査報告書，152-172，2006.2.28
- ・ 松崎秀隆，甲斐 悟，高橋精一郎 他10名：当学院理学療法及び作業療法学科生における喫煙調査，リハビリテーション教育研究，11，95-97，2006.3

## 講演（学会、研究会、分科会、シンポジウム等の講演）

- ・ 太田善郎：健康教育，リハビリテーション学部後援会総会，リハ学部，大川市，2005.10.29
- ・ 杉原 甫：脂肪細胞：肥満と再生，西日本肥満研究会，全日空ホテル，大分市，2005.7.9
- ・ 杉原 甫：脂肪細胞：肥満と再生，東京臨床肥満研究会，文京シビックホール，東京都，2006.3.15
- ・ 奈良貴史：東北地方の頭蓋形態，第47回歯科基礎医学会学術大会市民講座，仙台市情報・産業プラザ，宮城県仙台市，2005.9.29
- ・ 奈良貴史：リハビリテーションと人類進化，学校法人北杜学園特別講演会，仙台市イズミティ21，宮城県仙台市，2005.10.19
- ・ 長住達樹：健康増進事業における理学療法士の役割，実践的グラウンデッド・セオリー・アプローチ公開研究会，久留米大学，福岡県久留米市，2005.12.3

## 学会発表

- ・ 川副功成，山内 淳，田原弘幸 他2名：痴呆予防と運動の関係（第2報），第40回日本理学療法学術大会，大阪国際会議場，大阪府大阪市，2005.5.26
- ・ 松尾亜弓，川副功成，田原弘幸 他2名：要介護高齢者における筋力向上トレーニングの効果について，第40回日本理学療法学術大会，大阪国際会議場，大阪府大阪市，2005.5.26
- ・ 松下美奈子，田原弘幸，鶴崎俊哉：発達障害をもつ子どものいる母親の育児支援について，第40回日本理学療法学術大会，大阪国際会議場，大阪府大阪市，2005.5.27
- ・ 田原弘幸（座長）：教育・管理系理学療法12，第40回日本理学療法学術大会，大阪国際会議場，大阪府大阪市，2005.5.27
- ・ 杉原 甫 他3名：間質細胞の配列を決める因子は何か，第94回日本病理学会，パシフィコ横浜，横浜市，2005.4.14
- ・ 山崎峰子，杉原 甫 他2名：メルケル細胞の初代培養の成功，第94回日本病理学会，パシフィコ横浜，横浜市，2005.4.15
- ・ 戸田修二，杉原 甫 他2名：空気暴露培養は扁平上皮癌の浸潤性増殖を促進する，第94回日本病理学会，パシフィコ横浜，横浜市，2005.4.14
- ・ 杉原 甫 他3名：骨髄・前脂肪細胞の癌細胞（HeLa細胞）に及ぼす影響，第26回日本肥満学会，ホテルロイトン札幌，札幌市，2005.10.14
- ・ 戸田修二，杉原 甫：白色脂肪細胞の増殖様式と多機能性間質細胞としての役割，第4回日本形成外科学会基礎学術集会，シンポジウム「脂肪細胞の最前線」，都市センターホール，東京，2005,10,15
- ・ 甲斐 悟，渡利一生，高橋精一郎 他7名：握力調節課題における両手間転移，第40回日本理学療法学術大会，大阪国際会議場（グランキューブ大阪），大阪府大阪市，2005.5.26
- ・ 森下志子，甲斐 悟，高橋精一郎 他9名：健常者に対するシャトルウォーキングテストを用いた運動負荷試験，第40回日本理学療法学術大会，大阪国際会議場（グランキューブ大阪），大阪府大阪市，2005.5.27
- ・ 野中良子，山口雅也 他：メタボリック症候群の罹病率，日本人間ドック学会，ホテルメトロポリタン秋田，秋田市，2005.8.26
- ・ 藤井美智子，山口雅也 他：メタボリック症候群の体力，日本人間ドック学会，ホテルメトロポリタン秋田，秋田市，2005.8.25
- ・ 奈良貴史，鈴木敏彦，古田美智子：岩手県川崎村河崎の柵擬定地遺跡出土人骨について，第59回日本人類学会大会，横浜市開港記念館，神奈川県横浜市，2005.11.4-6

- ・吉本龍司, 甲斐 悟, 高橋精一郎 他9名: 荷物運搬方法の相違における筋活動, 第40回日本理学療法学会, 大阪国際会議場 (グランキューブ大阪), 大阪府大阪市, 2005.5.26
- ・渡利一生, 甲斐 悟, 高橋精一郎 他7名: 背筋力と握力の運動学習における結果の知識付与頻度の影響, 第40回日本理学療法学会, 大阪国際会議場 (グランキューブ大阪), 大阪府大阪市, 2005.5.26
- ・村上茂雄, 甲斐 悟, 高橋精一郎 他8名: 足趾内転筋力強化が前方重心制御能へ与える影響, 第40回日本理学療法学会, 大阪国際会議場 (グランキューブ大阪), 大阪府大阪市, 2005.5.27
- ・森田正治, 甲斐 悟, 高橋精一郎 他10名: 当学院理学療法学科および作業療法学科学生における喫煙実態調査, 第27回九州理学療法士・作業療法士合同学会, 熊本市市民会館・熊本市国際交流会館, 熊本県熊本市, 2005.11.5
- ・渡利一生, 甲斐 悟, 高橋精一郎 他10名: 当学院理学療法学科および作業療法学科学生における喫煙に関する意識調査, 第27回九州理学療法士・作業療法士合同学会, 熊本市市民会館・熊本市国際交流会館, 熊本県熊本市, 2005.11.5
- ・吉本龍司, 甲斐 悟, 高橋精一郎 他11名: マイオビデオを用いた荷物運搬歩行時の筋活動時期の分析, 第27回九州理学療法士・作業療法士合同学会, 熊本市市民会館・熊本市国際交流会館, 熊本県熊本市, 2005.11.6
- ・矢倉千昭, 木原勇夫: 若年者および老年男性における30秒椅子立ち上がりテストと下肢筋機能との関係, 第60回日本体力医学会大会, 川崎医療福祉大学, 岡山県倉敷市, 2005.9.25
- ・桐本 光, 矢倉千昭, 北田耕司 他3名: 運動負荷形式の違いが活動交代出現に及ぼす影響, 第60回日本体力医学会大会, 川崎医療福祉大学, 岡山県倉敷市, 2005.9.24
- ・大石 賢, 高柳公司, 矢倉千昭 他5名: 通所リハビリ高齢者の身体機能と転倒の関連性, 第27回九州理学療法士・作業療法士合同学会, 熊本市市民会館・熊本市国際交流会館, 熊本県熊本市, 2005.11.6
- ・Yasumoto Seiichi: Dyson Boson Mapping and Shell-Model Calculations for Even-Even Nuclei, CNS workshop, 理化学研究所, 埼玉県和光市, 2006.1.28
- ・安本誠一: Dyson Boson Mapping for Many-Nucleon system I, 第61回日本物理学会, 愛媛大学, 愛媛県松山市, 2006.3.28

#### 研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

- ・藤城直二: GABAによる分泌促進及び活動電位発生のシミュレーションによる解析, 基盤研究(c)(2), 継続

#### 学位取得・研究業績に対する受賞

- ・甲斐 悟: 博士 (保健学), 健常成人男性における跳躍距離調節能と膝関節角度再現能及び筋出力調節能の関連性, 2005.10.27

#### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・田原弘幸: 日本理学療法士協会 (専門理学療法士 (理学療法基礎系), 専門理学療法士 (教育・管理系)), 日本疫学会, 日本公衆衛生学会, 日本QOL学会, 日本小児保健協会
- ・杉原 甫: 日本病理学会 (病理専門医) (学術評議員), 日本肥満学会 (理事 (財務担当)), 日本内分泌学会 (功労評議員), 再生医療学会, 内分泌病理学会 (名誉会員)
- ・高橋精一郎: 日本理学療法士協会, 日本呼吸管理学会, 日本公衆衛生学会, 日本産業衛生学会
- ・奈良貴史: 日本解剖学会, 日本人類学会, 日本考古学協会
- ・藤城直二: 日本生理学会 (評議員), 日本動物学会, 日本生物物理学会
- ・甲斐 悟: 日本理学療法士協会, 理学療法科学学会, 日本解剖学会, 日本障害者スポーツ協会 (障害者スポーツ指導員初級), 日本整形徒手療法協会

- ・ 矢倉千昭：日本理学療法士協会，理学療法科学学会，日本体力医学会，日本運動生理学会，日本心臓リハビリテーション学会，日本農村医学会
- ・ 安本誠一：日本物理学会，情報処理学会
- ・ 長住達樹：日本医学教育学会，日本理学療法士協会

## リハビリテーション学部（作業療法学科）

### 著書

- ・ 佐々木淳，寺本民生，片山茂裕（編集）：講義録内分泌・代謝学，低脂血症，300-305，メジカルビュー社，2005.10
- ・ 佐々木淳：別冊NHKきょうの健康「内臓肥満」，運動を習慣づける，84-90，日本放送出版協会，2005.8
- ・ 佐々木淳：高脂血症とうまくつき合うために読む本，第5章 運動で治す&予防する，74-104，技術評論社，2005.9
- ・ 佐々木淳：高脂血症とうまくつき合うために読む本，第6章 よい習慣で治す&予防する，105-116，技術評論社，2005.9
- ・ 佐々木淳：高脂血症診療 Q & A，高脂血症の運動療法，43-61，日本医学出版，2005.4
- ・ 佐々木淳：今日の診療のためにーガイドライン外来診療2006，高脂血症，164-172，日経メディカル開発，2006.3
- ・ 佐々木淳：生活習慣病キーワード 2，運動療法と高血圧，運動療法と高脂血症，運動療法の指導演法，運動療法のメリットとデメリット，34-35，36-37，38-39，40-41，医事出版社，2006.3
- ・ 石井久敬（分担訳）：愛情剥奪と非行 ウィニコット著作集第2巻，23～25章，215-235，岩崎学術出版社，2005.12.14
- ・ 大庭潤平（分担執筆）：筋電義手訓練マニュアル，筋電義手訓練の実際，22-43，全日本病院出版会，2006.3.25

### 原著論文

- ・ Shimamoto K, Kita T, Sasaki J et al. : The risk of cardiovascular events in Japanese hypertensive patients with hypercholesterolemia.: Sub-analysis of the Japan Lipid Intervention Trial (J-LIT) study, Hypertens Res, 28, 879-887, 2005.11
- ・ Nakaya N, Kita T, Sasaki J et al. : Large-scale cohort study on the relationship between serum lipid concentrations and risk of cerebrovascular disease under low-dose simva statin in Japanese patients with hypercholesterolemia-Sub-analysis of the Japan Lipid Intervention Trial (J-LIT), Circ J, 69, 1016-1021, 2005.9
- ・ Arai H, Yamamoto A, Sasaki J et al. : Polymorphisms in four genes related to triglyceride and HDL-cholesterol levels in the general Japanese population in 2000, J Atheroscler Thromb, 12, 240-250, 2005
- ・ 川辺千津子, 中山広宣, 森田喜一郎：母子を提示写真とした統合失調症患者の探索眼球運動の特徴，臨床脳波，48(3)，147-152，2006.3
- ・ 藤井千太，金子奈穂子，橘川博江，佐々木裕光，永井 宏，石井久敬 他9名：日本における抗うつ薬処方現状，日本社会精神医学会雑誌，14(1)，30-35，2005
- ・ Goto Y, Kinoe H, Nakashima T 他1名：Familiarity facilitates the cortico-cortical processing of face perception, Neuro Report, 16(12), 1329-1334, 2005.6
- ・ Maekawa T, Goto Y, Kinukawa N 他3名：Functional characterization of mismatch negativity to a visual stimulus, Clin Neurophysiol, 116(10), 2392-2402, 2005.10
- ・ Yamasaki T, Goto Y, Taniwaki T 他3名：Left hemisphere specialization for rapid temporal processing: A study with auditory 40 Hz steady-state responses, Clin Neurophysiol, 166(2), 393-400, (2005.2)

- ・柴田 滋：法の平等論—社会保障法学と平等の法理念，国際医療福祉大学リハビリテーション学部紀要，1，27-57，2006.3

## 総説

- ・佐々木淳：ホームエクササイズとは？，Q&Aでわかる肥満と糖尿病，4(4)，693-695，2005.7
- ・佐々木淳：ガイドラインをどう読むか？動脈硬化性疾患診療ガイドライン2002年版，Journal of Vascular Medicine，1(2)，65-67，2005
- ・佐々木淳：高HDL-C血症低 HDL-C血症の治療 症例とQ&Aで学ぶ高脂血症，今月の治療，13(6)(7)，137-142，2005.6
- ・佐々木淳：動脈硬化性疾患診療ガイドラインはどう動くか？，動脈硬化予防，4(3)，4-9，2006.1
- ・木庭新治，佐々木淳：生活習慣改善による血栓症の一次予防 2) 運動療法，血栓と循環，13(3)，47-53，2005.9
- ・佐々木淳：メタボリックシンドロームの予防と治療：高齢者に可能な運動療法，Geriatric Medicine，43(5)，759-763，2005.5
- ・佐々木淳：中高年の日本人男性高脂血症患者における冠動脈イベントのリスクファクター：九州脂質治療研究 (KLIS) サブ解析，ジェロントロジーニューホライズン，17(3)，53-54，2005.6
- ・佐々木淳：高脂血症に対する食事療法・薬物療法の長期的効果，日本医事新報，4269，108-109，2006.2
- ・佐々木淳，及川真一，佐野隆一 他1名：生活習慣病の病態と治療（座談会），Medico，37(1)，31-42，2006
- ・後藤純信，山崎貴男，飛松省三：ヒトの早期感覚情報処理における半球間機能連関：コヒーレンス解析法の有用性，臨床神経生理学，33(1)，13-20，2005.4
- ・後藤純信，鶴澤礼実，中島大輔 他1名：顔や表情認知の脳内情報処理，臨床脳波，47(11)，701-708，2005.11
- ・陳 隆明，大庭潤平：義手によるADL動作（日常生活動作）獲得—主として前腕切断者用筋電義手について—，日本ロボット学会誌，23(7)，7-12，2005.10.15

## 研究報告

- ・後藤純信：脳死過程での脳機能変化と法医学的脳死診断法の確立：外傷性脳死モデルにおける定量的脳波解析と神経損傷マーカーの診断的意義，財団法人カンオ科学振興財団，平成14年度 年報，2005.12
- ・岡山 晶，山崎貴男，後藤純信：アルツハイマー病患者はどうして迷子になるのか：Optic flow刺激による視空間認知障害の検出と早期診断システムの確立，財団法人臨床研究奨励基金年報，18，（2005.2）
- ・Kurokawa-Kuroda T, Yamasaki T, Goto Y 他1名：Temporal and spectral processing in auditory cortex: Steady-state auditory evoked potential study, Unveiling the Mystery of the Brain, 1278, 27-30, (2005.1)
- ・Goto Y, Tobimatsu S：An electrophysiological study of the initial step of face perception, Unveiling the Mystery of the Brain, 1278, 45-48, (2005.1)
- ・Tsurusawa R, Goto Y, Mitsudome A 他1名：An important role for high spatial frequencies in recognition of facial expressions, Unveiling the Mystery of the Brain, 1278, 53-56, (2005.1)
- ・Yamasaki T, Goto Y, Tobimatsu S：Can we estimate the activating effects of visual channels in primary visual cortex by flicker VEPs?, Unveiling the Mystery of the Brain, 1278, 73-76, (2005.1)
- ・Maekawa T, Goto Y, Tobimatsu S：Can we record the valid visual mismatch negativity to a windmill pattern during auditory attention?, Unveiling the Mystery of the Brain, 1278, 401-404, (2005.1)
- ・長谷麻由，原口建三，丹羽 敦：ICFの概念をとり入れた臨床実習の効果～専門領域別・病期別の特徴について～I，リハビリテーション教育研究，11，27-29，2006.3

## 講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 古川昭人：老年期障害におけるOTの歴史及び法的変遷，長崎県OT士会現職研修会，小野ふれあい会館，諫早市，2005.11.26
- ・ 古川昭人：老年期障害における地域作業療法，長崎県OT士会現職研修会，小野ふれあい会館，諫早市，2005.11.26
- ・ 古川昭人：人を活かし，暮らしを創る；生活支援のあり方を考える，香川県OT士会学会，サンポート高松国際会議場，高松市，2006.1.29
- ・ 古川昭人：地域作業療法実践モデルの構築，地域作業療法研究大会，ウェルネス交流プラザ，都城市，2006.3.5
- ・ 古川昭人：生活のリズムを創る介護予防，宮崎県地域リハ広域支援センター研修会，都城洋香看護専門学校講堂，宮崎県三股町，2006.3.25
- ・ 佐々木淳（司会）：動脈硬化診療ガイドライン，第37回日本動脈硬化学会総会，京王プラザホテル，東京都，2005.7.15
- ・ 佐々木淳：日本人のエビデンスに基づいた高脂血症治療，第6回動脈硬化教育フォーラム，仙台国際センター，仙台市，2006.2.5
- ・ Sasaki J：Small Dense LDL as a Risk Factor for Atherosclerotic Cardiovascular Disease:Clinical Significance of measuring LDL cholesterol with Direct Method and Apolipoprotein B with TIA Method，Lipid Seminar，Cochin，India，2005.10.19
- ・ Sasaki J：Small Dense LDL as a Risk Factor for Atherosclerotic Cardiovascular Disease:Clinical Significance of measuring LDL cholesterol with Direct Method and Apolipoprotein，Lipid Seminar，Chennai，India，2005.10.21
- ・ 佐々木淳：日本人のエビデンスに基づいたスタチンの使い方，福岡県社保・国保支払い基金合同講演会，福岡市，2005.4.19
- ・ 佐々木淳：症例からみる治療のポイント動脈硬化症，郡山カンファレンス，郡山市，2005.4.28
- ・ 佐々木淳：メタボリックシンドロームの治療戦略，宮崎生活習慣病研究会，宮崎市，2005.5.6
- ・ 佐々木淳：メタボリックシンドロームの治療戦略，長崎大学第二内科県北循環器グループ研究会，佐世保市，2005.5.16
- ・ 佐々木淳：メタボリックシンドロームの治療戦略，熊本生活習慣病研究会，熊本市，2005.6.10
- ・ 佐々木淳：メタボリックシンドロームの治療戦略，福岡生活習慣病研究会，福岡市，2005.6.23
- ・ 佐々木淳：日本人のエビデンスに基づくスタチンの使い分け，都城医師会学術講演会日本医師会生涯教育制度講座，都城市，2005.7.21
- ・ 佐々木淳：メタボリックシンドロームの治療戦略，久留米生活習慣病研究会，久留米市，2005.7.27
- ・ 佐々木淳：ガイドラインの考え方高脂血症診療の進歩，日本医師会生涯教育制度講座，広島市，2005.9.2
- ・ 佐々木淳：日常診療に診るメタボリックシンドロームの最新治療，高脂血症の立場から求められる治療，日本医師会生涯教育講座，日経メディカルフォーラム，名古屋市，2005.12.10
- ・ 佐々木淳：日本人のエビデンスに基づくスタチンの使い分け，日本医師会生涯教育制度講習会茨城県病院薬剤師会生涯研修，水戸市，2006.3.4
- ・ 佐々木淳：日本人の最適な脂質管理を考える，学術講演会，福岡市，2006.3.10
- ・ 佐々木淳：日本人のエビデンスに基づくスタチンの使い分け，大阪医師会生涯研修，豊中市，2006.3.11
- ・ 佐々木淳：私の研究遍歴，長崎大学第2内科県北地区循環器グループ研究会，佐世保市，2005.12.15
- ・ 佐々木淳：JELISから学ぶ心血管イベントの予防戦略，日本医師会生涯教育認定講座，大牟田市，2006.1.26
- ・ 佐々木淳：メタボリックシンドローム治療の最前線：高脂血症の立場から求められる治療，日本医師会生涯教育講座朝日現代セミナー，福岡市，2005.7.23

- ・ 佐々木淳 : ガイドラインの考え方, 高脂血症カンファレンス2005 in NAGOYA, 日本医師会生涯教育講座, 名古屋市, 2005.10.7
- ・ 佐々木淳 : メタボリックシンドロームの治療戦略, 日本医師会生涯教育講座, 仙台市, 2005.11.2
- ・ 佐々木淳 : ガイドラインの考え方, 高脂血症診療の進歩2005, 日本医師会生涯教育制度講座, 徳島市, 2005.11.4
- ・ 佐々木淳 : 日本人のエビデンスに基づくスタチンの使い分け, 日本医師会生涯教育制度講座, 静岡市, 2005.11.10
- ・ 佐々木淳 : ガイドラインの考え方, 日本人の高脂血症治療を考える, 日本医師会生涯教育講座, 福岡市, 2005.11.19
- ・ 佐々木淳 : EBMに基づく高脂血症治療のリスクマネジメント, 第6回日本クリニカルパス学会学術集会ランチョンセミナー, 新潟市, 2005.12.3
- ・ 佐々木淳 : 日本人のエビデンスに基づくスタチンの使い分け, 第3回長崎動脈硬化フォーラム, 佐世保市, 2005.12.16
- ・ 佐々木淳 : ガイドラインの考え方, 第1回筑豊生活習慣病フォーラム, 飯塚市, 2006.2.10
- ・ 佐々木淳 : 日本人のエビデンスに基づくスタチンの使い分け, 福岡市南区医師会・内科医会合同学術講演会日本医師会生涯教育講座, 福岡市, 2006.3.15
- ・ 中山広宣 : 作業療法の構造—構造の治療的意味—, 佐賀県作業療法士会, 医療福祉専門学校緑生館, 佐賀県鳥栖市, 2005.7.31
- ・ 中山広宣 : エビデンス オブ 精神科作業療法, 第11回福岡県作業療法学会教育講演, 志免町総合福祉施設シーメイト, 福岡県志免町, 2006.2.25
- ・ 後藤純信 : 誘発電位検査のコツ, 第42回日本臨床神経生理学会技術講習会, 福岡国際会議場, 福岡市, 2005.11.28
- ・ 新川寿子 : Practical use of the activity for the elderly with senile dementia, 2005 International Occupational Therapy Conference, Qingdao Postal Service Resort, Qingdao, China, 2005.9.20
- ・ 丹羽 敦 : 車椅子からの移乗, 車椅子シーティング, シーティングに必要な生理学, 障害学, 福祉用具選定技能士認定研修会 (日本福祉用具供給協会), 久留米市商工会議所, 福岡県久留米市, 2006.1.19
- ・ 丹羽 敦 : ICFの概念における老年期OTの視点, 福岡県作業療法協会現職者研修会, 麻生リハビリテーション専門学校, 福岡県福岡市, 2005.9.17
- ・ 丹羽 敦 : ICFの概念からみる福祉用具の視点, 福岡県作業療法協会環境調整委員会研修会, 国際医療福祉大学リハビリテーション学部, 福岡県大川市, 2006.2.5
- ・ 大庭潤平 : 義肢装具分野におけるOTの取り組み, 宮崎県作業療法士会 現職者研修会, JAアズムホール, 宮崎市, 2005.12.4
- ・ 大庭潤平 : 姿勢・介助方法について, 福岡県ガイドヘルパー養成研修会, 北九州市シルバー会館, 北九州市, 2005.12.8
- ・ 大庭潤平 : 筋電義手の有効性, 日本作業療法士協会SIG切断者支援研究会, 国際医療福祉大学大学院乃木坂キャンパス, 東京都, 2005.12.17
- ・ 大庭潤平 : 個人情報保護法について, 兵庫県作業療法士会, 西宮市民会館, 兵庫県西宮市, 2006.1.28
- ・ 大庭潤平 : テクノエイドについて, 佐賀県障害者ケアマネジメント研修会, 佐賀総合庁舎, 佐賀市, 2006.3.7

## 学会発表

- ・ Sasaki J, Kono K, Iwashita M et al. : Prevalence of coronary events and cerebral infarction in male patients with the metabolic syndrome: The Kyushu Lipid Intervention Study, European Atherosclerosis Society 75<sup>th</sup> EAS Congress, Czech Republic, 2005.4.23-26
- ・ Sasaki J, Fujii M, Nonaka R et al. : The association of physical activity, maximal oxygen uptake and metabolic syndrome in Japanese, American Heart Association Scientific Sessions, Dallas Tx, 2005.11.13-16

- Sasaki J : Japanese Atherosclerosis Society (JAS) Guideline for Diagnosis and Treatment of Atherosclerotic Cardiovascular Disease 2002, The Third Central Vietnam Open Congress of Cardiology, Quy Nhon, Binh Dinh, Vietnam, 2005.8.7-9
- Yokoyama M, Origasa H, Sasaki J et al. : Major outcomes and safety of EPA derived from Japan EPA Lipid Intervention Study (JELIS), The 70<sup>th</sup> Anniversary Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Nagoya, 2006.3.24-26
- 藤井美智子, 野中良子, 佐々木淳 他5名 : 人間ドック受診者におけるメタボリック症候群と体力の関連, 第46回人間ドック学会学術大会, 秋田市, 2005.8.25-26
- 野中良子, 藤井美智子, 佐々木淳 他5名 : 人間ドック受診者におけるメタボリック症候群の罹病率に関する研究, 第46回人間ドック学会学術大会, 秋田市, 2005.8.25-26
- 佐々木淳 : 日本人のエビデンスに基づいた高脂血症治療戦略シンポジウム「血管障害をいかに予防するかエビデンスに基づく診断, 治療, 予防」, 日本総合健診医学会第34回大会, 別府市, 2006.1.27-28
- 中山広宣, 森田喜一郎, 西浦佐知子 : 社会不安障害者における視覚刺激による認知療法の精神生理学的検討, 第39回日本作業療法学会, つくば国際会議場, 茨城県つくば市, 2005.6.25
- 石原浩二, 中山広宣, 森田喜一郎 : 作業療法学科学生の眼球運動からみた観察力と成績・臨床実習との関係性, 第39回日本作業療法学会, つくば国際会議場, 茨城県つくば市, 2005.6.24
- 川辺千津子, 中山広宣, 森田喜一郎 : 観察場面における学生の探索眼球運動の特徴 (第2報), 第39回日本作業療法学会, つくば国際会議場, 茨城県つくば市, 2005.6.25
- 中山広宣 (座長) : メインシンポジウム「生きる」, 第48回日本病院地域精神医学会, アクロス福岡, 福岡県福岡市, 2005.10.7
- 石原浩二, 中山広宣, 森田喜一郎 : 作業療法学科学生の臨床実習による観察力の変化, 第51回九州精神保健学会, 福岡国際会議場, 福岡県福岡市, 2005.11.11
- 関谷香苗, 出水 瞳, 中山広宣 : 当院における作業療法の有用性について, 第51回九州精神保健学会, 福岡国際会議場, 福岡県福岡市, 2005.11.11
- 川辺千津子, 中山広宣, 森田喜一郎 : 教育の課程における観察力の相違—探索眼球運動の解析から—, 第35回日本臨床神経生理学会, 福岡国際会議場, 福岡県福岡市, 2005.12.1
- Ishii H, Chung U(chairman) : Workshop:Hikikomori and Ijime, The 6<sup>th</sup> Joint Workshop for Psychiatric of Korea & Japan, Seoul Palace Hotel, Seoul, 2005.7.16
- 後藤純信, 飛松省三 : 高頻度反復刺激による視覚誘発脳磁場反応の解析, 第20回日本生体磁気学会, 千里ライフサイエンスセンター, 大阪市, 2005.7.21
- 後藤純信, 飛松省三 : 高頻度反復刺激による視覚誘発脳磁場反応の解析:健常若年成人と老年者での検討, 第6回脳磁場ニューロイメージング研究会, 岡崎コンファレンスセンター, 岡崎市, 2005.11.3
- Goto Y, Nakashima T, Tobimatsu S : Familiarity facilitates the cortico-cortical processing of face perception, SfN 35<sup>th</sup> Annual Meeting, Convention Center, Washington D.C., 2005.11.10
- Nakashima T, Goto Y, Abe T 他3名 : An important role of low spatial frequency information in processing face and facial expression, SfN 35<sup>th</sup> Annual Meeting, Convention Center, Washington D.C., 2005.11.10
- 後藤純信, 中島大輔, 齋藤崇子 他2名 : 顔知覚に対する親密度の影響 : モザイク写真を用いた電気生理学的検討, 第35回日本臨床神経生理学会学術大会, 福岡国際会議場, 福岡市, 2005.12.1
- 後藤純信 (座長) : ヒトの運動・感覚情報処理機構, 第17回臨床神経生理研究会, 福岡ソフトリサーチパーク, 福岡市, 2005.8.20
- 後藤純信 (座長) : 運動関連反応, 第35回日本臨床神経生理学会学術大会, 福岡国際会議場, 福岡市, 2005.12.1

- ・ 後藤純信 (座長) : 脳機能イメージング-1, 第35回日本臨床神経生理学会学術大会, 福岡国際会議場, 福岡市, 2005.12.2
- ・ 柴田 滋 : フランス社会保障改革の方向性, 社会保険法理研究会, 西南大学, 福岡市, 2005.4
- ・ 西田征治, 新川寿子 : 移動介助における介助者の腰部負担度と難易度～表面筋電図, Borg scaleを用いて～, 39回日本作業療法学会, つくば国際会議場, 茨城県つくば市, 2005.6.25
- ・ 丹羽 敦, 長谷麻由, 原口建三 : ICFの特性を活かした臨床実習の視点～臨床指導・学内教育への提言～, 第39回日本作業療法学会, つくば国際会議場, 茨城県つくば市, 2005.6.24
- ・ 長谷麻由, 丹羽 敦, 原口建三 : ICFの概念をとり入れた臨床実習の有効性～ICF概念とICIDHによる実習形態を比較して～, 第39回日本作業療法学会, つくば国際会議場, 茨城県つくば市, 2005.6.24
- ・ 長谷麻由, 原口建三, 丹羽 敦 : ICFの概念をとり入れた臨床実習の効果～専門領域別・病期別の特徴について～, 第11回教員研究大会, 米子全日空ホテル, 鳥取県米子市, 2005.8.25
- ・ 神野 智・小西草美子・丹羽 敦 : 訪問リハが在宅生活に与える影響～開始時期と課題設定の重要性～, 福岡県作業療法学会, 志免町総合福祉施設シーメイト, 福岡県粕屋郡志免町, 2006.2.26
- ・ 大庭潤平, 溝部二十四, 柴田八衣子 他7名 : 作業用筋電義手: グライファーにより復職が可能となった右側手関節離断の一症例, 日本義肢装具学会, 静岡県コンベンションアーツセンター, 静岡市, 2005.11.20
- ・ 溝部二十四, 柴田八衣子, 大庭潤平 他8名 : 筋電義手訓練におけるチームスタッフのスキルが切断者の義手使用状況に与える影響, 日本義肢装具学会, 静岡県コンベンションアーツセンター, 静岡市, 2005.11.20
- ・ 溝部二十四, 柴田八衣子, 大庭潤平 他8名 : 乳幼児への筋電義手の試み～先天性手根骨欠損児に対して第2報～, 日本義肢装具学会, 静岡県コンベンションアーツセンター, 静岡市, 2005.11.20
- ・ 桐本 光, 田巻弘之 : 持続的筋収縮時に出現する活動交代の合目的意義と上位中枢の関与, 第18回作業療法基礎研究会学術大会, 産業技術研究所, 茨城県つくば市, 2005.6.23
- ・ 桐本 光, 河野 眞, 田巻弘之 : タスクの違いが静的足関節底屈中の協働筋活動様式及び疲労に及ぼす影響, 第39回日本作業療法学会, つくば国際会議場, 茨城県つくば市, 2005.6.24
- ・ 河野 眞, 安田章子, 桐本 光 : カンボジアに適合する地域精神保健サービス体制開発のための活動について, 第39回日本作業療法学会, つくば国際会議場, 茨城県つくば市, 2005.6.24
- ・ 桐本 光, 田巻弘之 : 持続的足関節底屈時における下腿三頭筋間の相互相関関係, 第13回日本運動生理学会大会, 東京工業大学, 東京都目黒区, 2005.7.30
- ・ 桐本 光, 後藤純信, 大庭潤平 他2名 : 運動負荷形式の違いが持続的等尺性収縮時における筋放電活動に及ぼす影響, 第17回臨床神経生理研究会, リサーチパーク, 福岡県福岡市, 2005.8.20
- ・ 桐本 光, 矢倉千昭, 田巻弘之 他4名 : 運動負荷形式の違いが活動交代出現に及ぼす影響, 第60回日本体力医学会大会, 川崎医療福祉大学, 岡山県倉敷市, 2005.9.23
- ・ 北田耕司, 桐本 光, 田巻弘之 他2名 : 初動負荷トレーニングにおける負荷重量の検討, 第60回日本体力医学会大会, 川崎医療福祉大学, 岡山県倉敷市, 2005.9.24
- ・ 與谷謙吾, 桐本 光, 田巻弘之 : 剣道の引き面及び引き小手手動作における上肢の筋活動様式, 第60回日本体力医学会大会, 川崎医療福祉大学, 岡山県倉敷市, 2005.9.24
- ・ 今泉英徳, 桐本 光, 田巻弘之 : 光刺激に対する剣道の引き技動作の反応時間及び打突動作時間の分析, 第60回日本体力医学会大会, 川崎医療福祉大学, 岡山県倉敷市, 2005.9.24
- ・ 桐本 光, 後藤純信, 大庭潤平 他2名 : 静的足関節持続時に出現する下腿三頭筋間の活動交代の生理学的特性, 第35回日本臨床神経生理学会学術大会, 福岡国際会議場, 福岡県福岡市, 2005.11.30

- ・早坂友成, 白川 寿, 佐藤美穂 他2名: 閉眼時における立体知覚の遅延について—統合失調症者の知覚評価を目的として—, 第39回日本作業療法学会, つくば国際会議場, 茨城県つくば市, 2005.6.23
- ・伊藤由紀, 斎藤延男, 早坂友成: 精神科作業療法において機能訓練を必要とした症例—妄想により手指拘縮を呈した症例を通して—, 第39回日本作業療法学会, つくば国際会議場, 茨城県つくば市, 2005.6.23

#### 研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

- ・北 徹 (代表), 佐々木淳 (分担): 心血管疾患のハイリスク患者スクリーニングのための新たな診断システムの構築とその臨床応用, 厚生労働科学研究費補助金循環器疾患等総合研究事業, H18-循環器等 (生習) 一般034, 採択
- ・後藤純信, 田原弘幸, 飛松省三 他1名: 直流電流刺激による一過性脳機能調節法を用いたヒトの視覚系と前庭・小脳系の機能連関の解明: 失調患者に対する新たなリハビリテーション手法の開発に向けた基礎研究, 医科学応用研究財団研究助成, その他研究助成金 (代表), 採択
- ・神尾陽子, 飛松省三, 後藤純信 他5名: 社会性の発達メカニズムの解明: 自閉症スペクトラムと定型発達のコホート研究, 社会技術研究事業, (分担), 継続
- ・石橋達朗, 米満吉和, 後藤純信 他2名: 網膜変性疾患に対する国産遺伝子導入ベクターを用いた治療法の開発—臨床応用を目指した試み—, 文部科学省科学研究費補助金, 基盤A(2)一般 (分担), 15209057, 継続
- ・飛松省三, 谷脇考恭, 後藤純信: モデル脳を用いたヒトの高次視覚認知調節機構の研究, 文部科学省科学研究費補助金, 基盤B(2)一般 (分担), 16390253, 継続
- ・飛松省三, 後藤純信: 脳虚血診断における高頻度反復刺激多モダリティ感覚誘発脳磁場計測の有用性, 循環器病研究委託費, 公的研究費, 継続

#### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・古川昭人: 日本地域作業療法研究会 (代表理事), 日本作業療法学会 (演題審査委員), 日本老年精神医学会
- ・佐々木淳: 日本内科学会 (設定医), 日本循環器学会 (専門医) (二次予防ガイドライン改訂委員会委員), 日本動脈硬化学会 (理事, 評議員, 動脈硬化診療, 疫学委員会委員, 教育研修委員会委員, 学会賞選考委員会委員, 第7回動脈硬化教育フォーラム代表世話人), 日本老年病学会 (指導医) (評議員), 日本肥満学会 (評議員), 体力医学会, 人間ドック学会, アメリカ心臓病学会(AHA)
- ・中山広宣: 日本臨床神経生理学学会, Psychiatry and Clinical Neurosciences学会, 精神科デイ・ケア研究協議会, 九州集団療法研究会, 作業療法士会
- ・石井久敏: 日本総合病院精神医学会 (専門医) (評議員), 日本精神神経学会, 九州精神神経学会, 日本精神科診断学会, 日本精神科救急学会, 日本医学教育学会
- ・後藤純信: 日本脳神経外科学会 (専門医) (評議員)
- ・柴田 滋: 日本社会保障法学会
- ・新川寿子: 日本作業療法士協会, 日本感覚統合学会, 日本作業行動研究会, 作業療法基礎研究会
- ・丹羽 敦: 日本作業療法学会 (演題審査委員), 福岡県作業療法学会, 日本地域作業療法研究会, 日本作業療法教育研究会, 日本在宅ケア学会
- ・大庭潤平: 日本作業療法士協会, 日本義肢装具学会, 日本地域作業療法研究会, 切断者の支援研究会
- ・桐本 光: 日本作業療法士協会, 日本体力医学会, 日本臨床神経生理学学会, 日本運動生理学学会, 作業療法基礎研究会
- ・早坂友成: 日本臨床神経生理学学会, 日本精神障害者リハビリテーション学会

## センター（基礎医学研究センター）

### 著書

- ・ Kojima S, MacDonald AS (分担) : Topley and Wilson's Microbiology and Microbial Infections, 10<sup>th</sup> Edition, Parasitology, Schistosomes: general, 600-609, Hodder Arnold, London, 2005.10
- ・ Kojima S, MacDonald AS (分担) : Topley and Wilson's Microbiology and Microbial Infections, 10<sup>th</sup> Edition, Parasitology, Schistosomes: African, 610-625, Hodder Arnold, London, 2005.10
- ・ Kojima S (分担) : Topley and Wilson's Microbiology and Microbial Infections, 10<sup>th</sup> Edition, Parasitology, Schistosomes: Asian, 626-639, Hodder Arnold, London, 2005.10
- ・ 小島 莊明 : 住血吸虫症と宮入慶之助ーミヤイリガイ発見から90年, 住血吸虫症ワクチン, 91-101, 九州大学出版会, 2005.11
- ・ 黒澤美枝子 (分担執筆) : 標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 老年学 第2版, 加齢に伴う変化: 生理機能 (形態学的変化も含めて), 13-22, 医学書院, 2005.4
- ・ 黒澤美枝子 (分担執筆) : 神経内科学テキスト, 神経生理学の基礎, 16-21, 南江堂, 2005.9
- ・ 黒澤美枝子 (分担翻訳) : ギャノン生理学原書22版 (翻訳), 第7章皮膚感覚, 深部感覚, 内臓感覚, 142-152, 丸善, 2006.1
- ・ 黒澤美枝子 (分担翻訳) : ギャノン生理学原書22版 (翻訳), 第13章自律神経系, 230-237, 丸善, 2006.1
- ・ 黒澤美枝子 (分担翻訳) : ギャノン生理学原書22版 (翻訳), 第14章内臓機能の中樞性調節, 238-261, 丸善, 2006.1
- ・ 黒澤美枝子 (編集, 分担執筆) : コメディカルのための専門基礎分野テキスト生理学, 神経, 運動, 内分泌, 1-53, 68-92, 115-137, 中外医学社, 2006.2
- ・ 長谷川 薫 (編集, 分担執筆) : コメディカルのための専門基礎分野テキスト生理学, 血液, 循環, 呼吸, 消化・吸収, 150-246, 中外医学社, 2006.2

### 原著論文

- ・ Kojima S, Waikagul J, Rojekittikun W 他1名 : The current situation regarding the establishment of national ethical guidelines for biomedical research in Thailand and its neighboring countries, Southeast Asian J Trop Med Public Health, 36, 728-732, 2005.5
- ・ Htabu T, Kawazu S, Kojima S 他4名 : *In vitro* susceptibility and genetic variations for chloroquine and mefloquine in *Plasmodium falciparum* isolates from Thai-Myanmar border, Southeast Asian J Trop Med Public Health, 36 (Suppl. 4), 73-79, 2005.6
- ・ Kamei Y, Aoyama Y, Kamiyama R et al. : A steroidogenic cell line with differentiation potential from mouse granulosa cells, transfected with Ad4BP and SV40 large T antigen genes, Journal of Endocrinology, 185(1), 187-195, 2005.4
- ・ Senoo T, Hasegawa K, Obara Y et al. : Deep lamellar keratoplasty by deep parenchyma detachment from the corneal limbs, British Journal of Ophthalmology, 89, 1597-1600, 2005.12

### 総説

- ・ Jimba M, Waikagul J, Kojima S 他2名 : Beyond deworming, Lancet, 365(9461), 751, (2005.2.26)
- ・ Kojima S : Prize Winners' Lectures: The JSTM Award of Excellence: Quo Vadis: From Bench to Field, Trop Med Health, 33(1), 26, (2005.3)

- ・ Kojima S, Takeuchi T : Global parasite control initiative of Japan (Hashimoto Initiative), *Parsitol Int*, 55(Suppl.), S293-S296, 2006.2
- ・ 今井 正 : 食塩と高血圧 : 腎臓の役割を中心として, *日本食品科学工学会誌*, 52(1), 1-6, 2005
- ・ 今井 正 : 水・電解質と健康をめぐる落とし穴, *日本海水学会誌*, 59(2), 95-96, 2005
- ・ 今井 正 : Naバランスの調節機構 : 海から陸への適応, *日本海水学会誌*, 59(2), 97-101, 2005
- ・ 今井 正 : 体液と血圧の調節から見た塩と健康, *日本海水学会誌*, 59(6), 179-188, 2005
- ・ 今井 正 : 尿細管輸送の分子機構, *日本臨床*, 64(2), 23-30, 2006
- ・ 黒澤美枝子 : 脳腸相関と自律神経, *BIO Clinica*, 20(5), 410-415, 2005.5
- ・ 下重里江, 黒澤美枝子 : 体性感覚刺激による肝グルコース放出の反射性変化, *日本臨床生理学会雑誌*, 35(6), 319-325, 2005.12

## 研究報告

- ・ 黒澤美枝子, Stener-Victorin E : 多嚢胞性卵巣のモデル実験動物における卵巣交感神経刺激効果とアドレナリン作動性受容体の関与について, *日本学術振興会特別研究員 受入れ研究報告書*
- ・ 黒澤美枝子, 一ノ宮悟史, 鈴木義之 他3名 : 遺伝子組み換えG<sub>M1</sub>-ガングリオシドーシスモデルマウスの神経学的評価, *厚生労働科学研究費補助金分担研究報告書*, 2006.3
- ・ 黒澤美枝子, 丸山貴美子, 戸田寛子 他1名 : ニコチンの肝グルコース放出におよぼす影響とその機序の研究, *平成17年度喫煙科学研究財団報告書*

## 講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・ Kojima S, Takeuchi T : Global parasite control initiative of Japan (Hashimoto Initiative), *Taeniasis/Cysticercosis and Echinococcosis International Symposium*, Asahikawa Medical College, Asahikawa, Hokkaido, 2005.7.5-8
- ・ 黒澤美枝子 : 鍼の作用機序としての体性自律神経反射, *全日本鍼灸学会関東甲信越支部認定委員会指定講習会*, 東京大学鉄門記念講堂, 東京都文京区, 2005.5.8
- ・ 黒澤美枝子 : 消化管機能の末梢性自律神経性調節, *第58回日本自律神経学会*, 京成ホテルミラマーレ, 千葉県千葉市, 2005.10.28
- ・ Kurosawa M : The influence of acupuncture on the visceral - an overview of the basic science research, *AACP / BMAS Joint Scientific Meeting*, University of Warwick, England, Warwick, 2006.3.26
- ・ 野首和人 : 国試のための解剖学, *IPEC 第1回基礎講習会*, 桐杏学園, 豊島区, 2005.12.27

## 学会発表

- ・ 小林 潤, 小島莊明 他4名 : アジア, メコン圏での学校を基盤としたマラリア教育, *第46回日本熱帯医学会大会*, 国立京都国際会館会議場, 京都市, 2005.10.14
- ・ Tsuruoka S, Swenson ER, Imai M : The role of luminal membrane -bound carbonic anhydrase in the mechanism of inhibition of Na-glucose cotransport by cadmium methalothionein in isolated perfused rabbit proxima tubule cells, *38<sup>th</sup> American Society of Nephrology*, Philadelphia, USA, 2005.11.25
- ・ Kurosawa M, Watanabe O, Maruyama K 他1名 : Responses of spinal blood flow to brushing of various cutaneous segmental areas in anesthetized rats, *第82回日本生理学会*, 仙台国際センター, 宮城県仙台市, 2005.5.20

- ・ Kurosawa M, Watanabe O, Maruyama K 他2名 : Effect of cutaneous brushing on spinal cord blood flow in anesthetized rats, 14th Congress of the International Society for Autonomic Neuroscience, Université de la Méditerranée, France, Marseille, 2005.7.13
- ・ 黒澤美枝子, 齋藤昭彦 (座長) : 理学療法からみた疼痛の基礎と臨床, 第27回日本疼痛学会, 栃木県総合文化センター, 栃木県宇都宮市, 2005.7.27
- ・ 黒澤美枝子 (座長) : 消化管と自律神経, 第58回日本自律神経学会, 京成ホテルミラマーレ, 千葉県千葉市, 2005.10.28
- ・ 黒澤美枝子, 渡邊織江, 戸田寛子 他1名 : ラット脊髄血流に及ぼす皮膚触刺激の影響, 第33回自律神経生理研究会, 日本光電株式会社本社研修センター, 東京都新宿区, 2005.12.3
- ・ 一ノ宮悟史, 黒澤美枝子, 鈴木義之 他7名 : 遺伝子組換えG<sub>M1</sub>-ガングリオシドーシスモデルマウスの神経学的評価, 第48回日本先天代謝異常学会, 熊本市市民会館, 熊本県熊本市, 2005.11.16
- ・ 鈴木義之, 一ノ宮悟史, 黒澤美枝子 他6名 : G<sub>M1</sub>-ガングリオシドーシスモデルマウスを用いた新しい治療法の開発, 第22回日本疾患モデル学会, 伊香保温泉福一, 群馬県伊香保, 2005.11.24
- ・ Suzuki Y, Ichinomiya S, Kurosawa M 他5名 : Neurological examination of genetically engineered G<sub>M1</sub>-gangliosidosis model mice, 32nd British Paediatric Neurology Association XXXII Annual Conference, European Centre of Culture, England, Bristol, 2006.1.18

#### 研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

- ・ 黒澤美枝子 : 授乳期並びに成長期に加えた触刺激が成熟後の自律反応におよぼす影響とその機序の研究, 科学研究費補助金, 基盤研究C2, 15590214, 継続
- ・ 黒澤美枝子 : 遺伝子組み換えG<sub>M1</sub>-ガングリオシドーシスモデルマウスの神経学的評価, 厚生労働科学研究費補助金, こころの健康科学研究事業, H17-こころ-019, 採択 (分担)
- ・ 黒澤美枝子 : ニコチンの肝グルコース放出におよぼす影響とその機序の研究, 喫煙科学研究費, 継続

#### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 小島莊明 : 日本寄生虫学会 (評議員, 小泉賞選考委員), 日本熱帯医学会 (評議員), ICD制度協議会 (感染症制御専門医)
- ・ 今井 正 : 日本薬理学会 (学術評議員)
- ・ 神山隆一 : 日本病理学会 (病理専門医, 名誉会員), 日本血液学会 (功労会員), 日本リンパ網内系学会 (評議員), 日本臨床血液学会, 国際血液学会
- ・ 黒澤美枝子 : 日本生理学会 (評議員, 将来計画委員, 編集協力委員), 日本自律神経学会 (国際渉外委員, 編集委員), 日本神経科学学会, International Society for Autonomic Neuroscience (編集委員)
- ・ 野首和人 : 日本解剖学会 (評議員)
- ・ 長谷川薫 : 日本生理学会 (評議員), 日本細胞生物学会, 日本組織培養学会, 米国インビトロ・バイオロジー学会, 日本動物学会, New York Academy of Science (USA)

## センター（臨床医学研究センター）

### 国際医療福祉リハビリテーションセンター

#### 著書

- ・ 松本和則（分担執筆）：介護福祉士受験講座サブノート2006，医学一般 I，II，147-163，（株）医療福祉総合研究所，2005.4
- ・ 松本和則（編集，分担執筆）：コメディカルのための専門基礎分野テキスト 老年医学，高齢者の臨床，16-27，高齢者の医療と福祉，59-64，中外医学社，（2005.3）
- ・ 下泉秀夫：現場で役立つ特別支援教育ハンドブック，二次障害を示す子どもたち，37-49，日本文化科学社，（2005.3）
- ・ 下泉秀夫：小児虐待医学的対応マニュアル，ネグレクトを疑うとき，69-80，新興交易医書出版部，2006.2
- ・ 下泉秀夫：小児虐待医学的対応マニュアル，障害児医療と虐待，109-119，新興交易医書出版部，2006.2
- ・ 下泉秀夫：発達障害医学の進歩，発達障害と虐待，59-67，診断と治療社，2006.3

#### 原著論文

- ・ 内藤浩美，大橋一之，池田 薫 他：長期経管栄養者における口腔環境に関する検討—唾液分泌量について—，障害者歯科学会誌，27，23-27，2006.2

#### 講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 下泉秀夫：「虐待への対応」～虐待をしている保護者と虐待を受けている子どもへの援助方法～，県南健康福祉センター管内市町保健師業務研究会，栃木県都賀町，2005.4.21
- ・ 下泉秀夫：シンポジウム「児童虐待」4) 児童虐待を減らすために，我々ができること，第17回栃木県小児保健会研修会，独協医大，栃木県壬生町，2005.7.9
- ・ 下泉秀夫：学校におけるカウンセリングの進め方「子ども虐待の理解と支援」，上智大学カウンセリング研究所第2回カウンセリングセミナー，上智大学，東京都，2005.8.4
- ・ 下泉秀夫：児童虐待の早期発見と初期対応，栃木県整形外科医会研修会，小山グランドホテル，栃木県小山市，2005.8.17
- ・ 下泉秀夫：心のケアとカウンセリング，第38回日本カウンセリング学会，栃木県教育会館，栃木県宇都宮市，2005.8.19
- ・ 下泉秀夫：児童虐待の早期発見と対応，第21回カトリック医療関連学生セミナー，コンセーレ，栃木県宇都宮市，2005.8.21
- ・ 下泉秀夫：肢体不自由児施設における被虐待児への対応，第20回関東甲信越肢体不自由児施設「療育研究部会」，ニューイタヤホテル，栃木県宇都宮市，2005.9.7
- ・ 下泉秀夫：児童虐待の発見と対応，日本カウンセリング学会栃木県支部研修会，栃木県教育会館，栃木県宇都宮市，2005.9.11
- ・ 下泉秀夫：子ども虐待の理解と支援，東京都墨田区立両国小学校校内研修会，東京都墨田区立両国小学校，東京都，2006.1.12
- ・ 下泉秀夫：発達障害と医学，発達障害医学セミナー，後楽園会館，東京都，2006.2.18
- ・ 大橋一之，内藤浩美：口腔ケア，栃木県看護協会研修会，コンセーレ，宇都宮，2005.9.22

## 学会発表

- ・ 滝口慎一郎, 岩崎博之, 下泉秀夫 他：乳幼児期早期にシャント手術を受けず経過した水頭症の1例, 日本小児科学会栃木県地方会, 国立栃木病院, 栃木県宇都宮市, 2005.7.16
- ・ 下泉秀夫 (座長)：医療ネグレクト, 第10回日本子ども虐待防止学会, 札幌学院大学, 北海道札幌市, 2005.9.4
- ・ 下泉秀夫：栃木県における5歳児健診の試み, 第15回日本乳幼児医学心理学会, 青山学院大学, 東京都, 2005.11.19
- ・ 下泉秀夫 (座長)：第15回日本乳幼児医学心理学会, 青山学院大学, 東京都, 2005.11.19
- ・ 岩崎博之：行動障害にて対応に苦慮しているPrader-Willi症候群の16歳男性, 日本小児科学会栃木県地方会, 自治医科大学, 栃木県, 2005.11.13
- ・ 内藤浩美, 石下透江, 永本彩子 他：長期経管栄養者における口腔環境に関する検討—第3報安静時唾液量と口呼吸について—, 第11回摂食嚥下リハビリテーション学会, 名古屋国際会議場, 名古屋, 2005.9.2-3

## 研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

- ・ 下泉秀夫 (分担研究者)：軽度発達障害児の発見と対応システムおよびそのマニュアル開発に関する研究, 厚生労働省研究費補助金子ども家庭総合研究事業

## 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 松本和則：日本消化器病学会 (専門医) (学会評議員, 関東地方会評議員), 日本肝臓学会 (専門医) (東部会評議員), 日本成人病学会 (評議員), 日本消化器内視鏡学会 (認定専門医), 日本内科学会 (認定医), 日本老年病学会
- ・ 下泉秀夫：日本小児科学会 (専門医), 日本小児神経学会 (専門医) (評議員), 日本子ども虐待防止学会 (運営委員), 日本小児保健学会, 日本児童青年精神医学会, 日本小児精神神経学会, 日本小児心身医学会, 日本乳幼児医学・心理学会, 日本てんかん学会, 日本リハビリテーション医学会
- ・ 岩崎博之：日本小児科学会 (専門医), 日本小児神経学会, 日本先天代謝異常学会, 日本重症心身障害学会,
- ・ 内藤浩美：日本口腔診断学会 (認定医, 指導医), 口腔科学会, 口腔外科学会, 摂食嚥下リハビリテーション学会, 障害者歯科学会, 口腔粘膜学会, 国際歯科学会

## センター (臨床医学研究センター)

### 健康管理センター

## 著書

- ・ 谷 禮夫：老年医学, 消化器疾患, 134-149, 中外医学社, 2005.4
- ・ 谷 禮夫：高齢者保健医療の基礎知識, ケアマネジャー試験対策2005, 118-187, 医療福祉総合研究所, 2005.4

## 原著論文

- ・ 野口忠秀, 神部芳則, 三田村治郎：口腔扁平苔癬におけるSODの発現に関する免疫組織学的検討, 日本口腔粘膜学会雑誌, 11(2), 48-53, 2005.12
- ・ 池田 薫, 神部芳則, 三田村治郎：上唇および両側頬粘膜に多発した小唾液腺唾石症の1例, 日本口腔外科学会雑誌, 51(10), 509-511, 2005.7

## 学会発表

- ・ 三田村治郎, 大橋一之, 内藤浩美 : 口腔扁平苔癬におけるMMP-2, MMP-3, MMP-9との関連性, 日本口腔科学会, 徳島県郷土文化会館, 徳島大学, 徳島県, 2005.4.21-22
- ・ 三田村治郎, 大橋一之, 内藤浩美 : 口腔扁平苔癬におけるuPA, uPARとの関連性, 日本口腔粘膜学会, 熊本県民パレオホール, 熊本大学, 熊本県, 2005.7.7-8

## 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 谷 禮夫 : 日本内科学会 (認定医), 日本消化器病学会 (認定専門医, 認定指導医, 壁細胞研究会代表幹事), 日本消化器内視鏡学会 (認定専門医, 認定指導医) (評議員, 和文誌査読委員, 関東支部会運営委員), 日本消化管学会 (評議員), 日本実験潰瘍学会 (評議員), 日本肝臓学会, 日本神経消化器病学会, 日本老年医学会
- ・ 三田村治郎 : 日本口腔外科学会, 日本歯科麻酔学会, 日本口腔粘膜学会, 日本口腔科学会, 日本歯科基礎学会

## センター (臨床医学研究センター)

### 言語聴覚センター

## 学会発表

- ・ 遠藤重典, 田中裕美子 他3名 : DA法の広汎性発達障害児への適用, 第31回日本コミュニケーション障害学会, ひと・まち交流館, 京都市, 2005.5.21
- ・ 畦上恭彦, 遠藤重典 : 学生指導におけるINREALアプローチの意義の検討, 第6回日本言語聴覚士協会総会・日本言語聴覚学会, 大宮ソニックシティ, さいたま市, 2005.6.11
- ・ 遠藤重典, 田中裕美子 他2名 : 広汎性発達障害児へのDAアプローチの適用, 自主シンポジウム 発達障害児へのダイナミックアセスメント (DA) アプローチ適用 (1) : Fast Mapping (言語習得) 能力を中心に, 日本特殊教育学会第43回大会, 金沢大学, 金沢市, 2005.9.25
- ・ 遠藤重典, 田中裕美子 他3名 : 発達障害児へのDA/RTIアプローチの適用検討, 自主シンポジウム ダイナミックアセスメント (Dynamic Assessment) に基づく子ども理解と支援, 日本LD学会第14回大会, 福井県立大学, 福井市, 2005.9.30
- ・ 木暮由季, 遠藤重典 他4名 : 新生児聴覚スクリーニング後に当施設を利用した患児の検討, 日耳鼻栃木県地方部会第89回学術講演会, ホテルニューイタヤ, 宇都宮市, 2005.12.4

## 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 遠藤重典 : 日本言語聴覚士協会, 日本コミュニケーション障害学会, 日本音声言語医学会, 日本特殊教育学会, 聴覚医学会, 日本高次脳機能障害学会, 日本教育心理学会, 日本LD学会

## センター（臨床医学研究センター）

### 国際医療福祉病院

#### 著書

- ・ 川内基裕：セーフティテクニック心臓手術アトラス，冠状動脈バイパス手術，124-153，南江堂，2005.10
- ・ 川内基裕：セーフティテクニック心臓手術アトラス，心筋梗塞の機械的合併症の外科治療，154-163，南江堂，2005.10
- ・ 川内基裕：セーフティテクニック心臓手術アトラス，動脈管開存症，164-170，南江堂，2005.10
- ・ 川内基裕：セーフティテクニック心臓手術アトラス，大動脈縮索，171-179，南江堂，2005.10
- ・ 川内基裕：セーフティテクニック心臓手術アトラス，肺動脈絞扼術，180-182，南江堂，2005.10
- ・ 川内基裕：セーフティテクニック心臓手術アトラス，血管輪と肺動脈索，183-186，南江堂，2005.10
- ・ 川内基裕：セーフティテクニック心臓手術アトラス，体一肺動脈短絡手術，187-197，南江堂，2005.10
- ・ 川内基裕：セーフティテクニック心臓手術アトラス，心臓腫瘍，306-307，南江堂，2005.10
- ・ 川内基裕：セーフティテクニック心臓手術アトラス，心房細動の外科治療，308-310，南江堂，2005.10
- ・ 川内基裕：ナース全科ドレーン管理マニュアル，心嚢ドレナージ，49-51，照林社，2005.9
- ・ 川内基裕：ナース全科ドレーン管理マニュアル，心臓外科手術後ドレナージ，67-69，照林社，2005.9
- ・ 橋本雅章：わたしのここから第2号，脳にやさしい治療法，12-13，（株）オフィス東和，2005.9.1
- ・ 橋本雅章：わたしのここから第3号，めまいはどこから，20-21，（株）オフィス東和，2006.3.1
- ・ 柳田 薫：産科婦人科の最新医療，顕微授精，50-53，先端医療技術研究所，2006.3
- ・ 柳田 薫：体外受精 改訂4版，ICSIの準備と実技，182-189，メジカルビュー社，2005.4
- ・ 柳田 薫，藤倉洋子，佐々木志野，新免昭恵：ARTマニュアル，卵活性化法 Artificial oocyte activation，99-103，永井書店，2006.3
- ・ 柳田 薫（分担執筆）：産婦人科診療指針，無月経の検査・治療法，350-362，中外医学社，2005.7
- ・ 柳田 薫（分担執筆）：産婦人科診療指針，卵細胞質内精子注入法，477-484，中外医学社，2005.7
- ・ 山田哲夫（分担執筆）：産婦人科診療指針，月経随伴症状，363-365，中外医学社，2005.7
- ・ 山田哲夫（分担執筆）：産婦人科診療指針，機能性出血，366-367，中外医学社，2005.7
- ・ 山田哲夫（分担執筆）：産婦人科診療指針，不育症・抗リン脂質抗体症候群，491-495，中外医学社，2005.7

#### 原著論文

- ・ Kurosaki R, Muramatsu Y, Kato H 他4名：Effect of angiotensin-converting enzyme inhibitor perindopril on interneurons in MPTP-treated mice, *Eur Neuropharmacol*, 15, 57-67, (2005.1)
- ・ Himeda T, Mizuno K, Kato H 他1名：Effects of age on immunohistochemical changes in the mouse hippocampus, *Mech Ageing Dev*, 126, 673-677, 2005.6
- ・ Himeda T, Kanbara S, Kato H 他2名：Effects of chronic administration of nilvadipine against immunohistochemical changes related to aging in the mouse hippocampus, *Metab Brain Dis*, 20, 141-153, 2005.6
- ・ Himeda T, Hayakawa N, Kato H 他3名：Alteration of interneurons of the gerbil hippocampus after transient cerebral ischemia: effect of pitavastatin, *Neuropsychopharmacology*, 30, 2014-2025, 2005.11
- ・ Himeda T, Kadoguchi N, Kato H 他3名：Neuroprotective effect of arundic acid, an astrocyte-modulating agent, in mouse brain against MPTP (1-methyl-4-phenyl-1, 2, 3, 6-tetrahydropyridine) neurotoxicity, *Neuropharmacology*, 50, 329-344, 2006.3

- ・蘇原泰則, 村山史雄 他: 肺微小循環の生体観察, 気管支学, 28(1), 20-31, 2006
- ・片寄治男, 林幸太郎, 高橋秀憲, 菅原 登, 鈴木博志, 鈴木りか, 柳田 薫, 佐藤 章: 腹腔鏡卵巣腫瘍手術時に術中迅速病理診断が有効であった2症例, 日本産科婦人科学会東北連合地方部会誌, 52(2), 34-38, 2005.9
- ・恩田浩一, 野口正行, 杉山 久: 佐野厚生総合病院精神神経科の病床運営と今後の課題, 栃木精神医学, 25, 61-66, 2005.12.15
- ・内藤浩美, 大橋一之, 池田 薫, 草間幹夫: 長期経管栄養者における口腔環境に関する検討—唾液分泌量について—, 障害者歯科 (日本障害者歯科学会雑誌), 27(1), 23-27, 2006
- ・Sato T, Konishi F, Endoh N, Uda H, Sugawara Y, Nagai H: Long-term outcomes of a neo-anus with a pudendal nerve anastomosis contemporaneously reconstructed with an abdominoperineal excision of the rectum, Surgery, 137(1), 8-15, 2005
- ・佐藤知行: 現在の3期的新肛門手術—内外両肛門括約筋と直腸のリザーバー機能の再建—「手術」, 59(1), 71-76, 2005
- ・佐藤知行, 小西文雄: 新肛門: 2期法の術式と長期成績—腹会陰式直腸切断術と同日に施行する陰部神経縫合法による括約筋再建と直腸リザーバー機能再建—, 消化器外科4月臨時増刊号, 28(5), 834-838, 2005.4
- ・佐藤知行: 新肛門—括約筋の機能再建術, 日本医事新報, 4242, 89, 2005.8.13
- ・佐藤知行: 南の島から新肛門を希望する, 消化器外科ナーシング Gastroenterological Surgical Nursing, 10 (11月号), 1, 2005.11
- ・佐藤知行, 澁澤公行, 中村英美, 森嶋 計, 五十嵐敦, 小西文雄: 消化管機能温存を考えた外科手術最前線〔癌手術における機能温存および機能再建術—直腸癌〕新肛門—直腸癌手術における排便機能再建術, 臨床外科 12月号, 60(13), 1571-1577, 2005.12
- ・菅野倫子, 藤田郁代, 橋本律夫, 伊藤智彰: 失語症における構文理解障害のパターン—左前頭葉病変例と左側頭葉病変例の比較—, 神経心理学, 21, 243-251, 2005.12

## 総説

- ・加藤宏之: T2\*強調MRIによる微小出血の検出, Med Technol, 33, 122, (2005.2)
- ・加藤宏之: 光トポグラフィーによる脳機能診断, Mebio, 22, 82-87, 2005.8
- ・福内靖男, 今井 明, 加藤宏之 他3名: 脳卒中治療ガイドライン後の脳卒中診療の展望—慢性期診療を中心として—, Nikkei Medical, 7月号, 栃木版1-4, 2005
- ・島田和彦, 藤倉洋子, 佐々木志野, 柳田 薫: ゴナドトロピン併用療法による人工授精, 産婦人科の世界, 57(7), 2785-2789, 2005.4
- ・柳田 薫, 藤倉洋子: 不妊・生殖医療のインフォームド・コンセント 体外受精・顕微授精, 産婦人科の実際, 54(11), 1805-1816, 2005.10
- ・柳田 薫, 藤倉洋子: インフォームドコンセント顕微授精, 産科と婦人科, 73 (増刊号), 143-147, 2005.6
- ・柳田 薫: 不妊治療の最前線, テーミス
- ・Kaoru Yanagida: Complete fertilization failure in ICSI, Human Cell, 17, 187-193, 2005.4
- ・柳田 薫: 生殖補助医療の限界, 生殖補助医療の成績, 医学の歩み, 213(3), 183-187, 2005.4
- ・柳田 薫: 不妊治療の最前線, くらしとからだ, 47, 16-17, 2005.10
- ・柳田 薫: 不妊治療とART-EBMと限界, 日本産科婦人科学会熊本地方部会雑誌, 49, 21-25, 2005.4
- ・Kaoru Yanagida, Yoko Fujikura: ICSI and Embryogenesis, Reproductive Immunology and Biology, 20(2), 79-81, 2005.11
- ・柳田 薫, 藤倉洋子: ART成功率向上のための要点 精子の調整・媒精, 臨床婦人科産科, 60(1), 53-57, 2006.1
- ・柳田 薫, 藤倉洋子: Embryo donationのリスク, ホルモンと臨床, 53(7), 667-673, 2005.7

- ・柳町隆造, 柳田 薫, 押尾 茂: 発見は夢から生まれる, 日本不妊学会雑誌, 50(1), 47-52, 2005.4

## 研究報告

- ・苛原 稔, 柳田 薫: 生殖補助医療体系における設備・人的資源・消耗品使用の現状に関する研究 生殖補助医療の安全管理および心理的支援を含む統合的運用システムに関する研究 (中間報告), 厚生労働科学研究費補助金 (子ども家庭総合研究事業) 研究 生殖補助医療の安全管理および心理的支援を含む統合的運用システムに関する研究 分担研究報告書, 48-76, 2005.4
- ・柳田 薫: 研究範囲の設定に関する研究, 厚生労働科学研究費補助金 (厚生労働科学特別研究事業) 分担研究報告書 ヒト胚の研究体制に関する研究, 16-20, 2005.4
- ・苛原 稔, 柳田 薫: 生殖補助医療体系における設備・人的資源・消耗品使用の現状に関する研究, 生殖補助医療の安全管理および心理的支援を含む統合的運用システムに関する研究 (最終報告), 厚生労働科学研究費補助金 (子ども家庭総合研究事業) 研究・生殖補助医療の安全管理および心理的支援を含む統合的運用システムに関する研究 分担研究報告書, 2006.3
- ・柳田 薫: 生殖補助医療体系における設備・人的資源のガイドラインに関する研究, 厚生科学研究費補助金 (子ども家庭総合研究事業) 生殖補助医療の安全管理および心理的支援を含む統合的運用システムに関する研究 平成17年度 分担研究報告書, 2006.3
- ・恩田浩一, 加藤 敏: ポールギロー病院入院案内, 精神科治療学, 21, 207-213, 2006.2.19
- ・恩田浩一, 加藤 敏: ポールギロー病院処遇困難精神障害者病棟見学記ー主として司法精神医療の観点からー, 精神医学, 48, 199-203, 2006.2.15

## 講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・内田克紀: 前立腺肥大症について, キッセイ薬品社内勉強会, キッセイ薬品宇都宮営業所, 宇都宮市, 2006.2.3
- ・内田克紀: 国際医療福祉病院における前立腺癌2次検診の現況, 筑波大学大学院セミナー, エポカルつくば, つくば市, 2006.3.4
- ・内田克紀: 前立腺肥大症の臨床, 那須郡市医師会黒羽支部, ニュー勝田屋, 大田原市, 2006.3.27
- ・加藤宏之: (特別講演) 心房細動による心原性脳梗塞の診断と治療, 第10回県北・呼吸と循環の会, 大田原市, 2005.8.3
- ・加藤宏之: (特別講演) 多発性硬化症の診断と治療, 第1回県北神経変性疾患研究会, 大田原市, 2005.10.22
- ・加藤宏之: (教育講演) 脳梗塞急性期の画像診断, 第5回ブレイン・アタックフォーラム, 仙台, 2005.11.19
- ・加藤宏之: fMRI / DTI / NIRSによる脳卒中中の運動障害の回復過程評価, 第4回損傷脳研究会, 2005.12.23
- ・Kato H: Ischemic tolerance: an inherent mechanism of neuroprotection, International Congress of Neuroscience and Molecular Imaging, Linkou(Taiwan), 2006.1.22
- ・加藤宏之: (講演) 脳虚血に対するピタバスタチンの神経細胞保護作用, 第5回星陵談話会 in 栃木, 宇都宮, 2006.1.26
- ・川内基裕: 感染性心内膜炎とホモグラフト, 第7回県北循環器懇話会, ニュー勝田屋, 大田原市
- ・橋本雅章: 片頭痛の最新治療, ドクターコンサルティング, ファイザー宇都宮オフィス, 宇都宮市, 2005.9.20
- ・橋本雅章: 脳卒中にならないために, 那須郡市医師会, 那須野が原ハーモニーホール, 大田原市, 2005.11.6
- ・橋本雅章: 脳を若々しく保つための工夫, 矢板中学校, 矢板中学校講堂, 矢板市, 2006.1.26
- ・橋本雅章: 薬剤と保健医療の注意点, 三菱ウェルファーマ, 三菱ウェルファーマ宇都宮支社, 宇都宮市, 2006.3.17
- ・松岡勇二郎: 肺癌について, 第8回石心会放射線学術大会, 石心会狭山病院, 埼玉県狭山市, 2005.7.10
- ・村山史雄: 第1回日本呼吸器外科学会関東・東京地区胸腔鏡セミナー, 自治医科大学, 栃木県, 2006.1.28

- ・遠藤俊輔, 村山史雄 他: 再発悪性前縦隔腫瘍に対するplastron-trapdoor technique, 第22回日本呼吸器外科学会総会, 京都国際会議場, 京都府, 2005.6.3
- ・柳田 薫: ヒトICSIの現状と問題点, SSRE 生殖工学研究会シンポジウム, 明治大学リパティタワー, 東京都, 2006.3.11
- ・柳田 薫: 不妊治療とART, EBMと限界, 日本産科婦人科学会山梨地方部会後期研修会, 古名屋ホテル, 山梨県甲府市, 2005.10.14
- ・柳田 薫: 卵子を大切に・健康と月経と卵子, 栃木県教育委員会, 栃木県立足利女子高等学校, 栃木県足利市, 2005.7.8
- ・柳田 薫: 生殖医療・進歩の軌跡と現状, 山梨先端医療研究会, 山梨大学医学部, 山梨県甲府市, 2005.10.2
- ・柳田 薫: 不妊治療とART, 福島県郡山市産婦人科医会, ビックアイ, 福島県郡山市, 2005.9.22
- ・柳田 薫: GnRHアナログと不妊症, 宇都宮市産婦人科医会, ホテル東日本宇都宮, 栃木県宇都宮市, 2005.6.10
- ・柳田 薫: ARTのEBMと障壁, 那須産婦人科医会研修会, ホテル花月, 栃木県大田原市, 2005.6.6
- ・柳田 薫: 思春期のダイエットとリプロダクティブ・ヘルス, 関東甲信越地区母子保健事業研修会・日本家族計画協会, 栃木県総合文化センター, 栃木県宇都宮市, 2005.11.2
- ・大橋一之, 内藤浩美, 牛山美江, 石下透江: 口腔ケアについて, 栃木県看護協会研修会, 栃木県青年会館コンセーレ, 宇都宮, 2005.10.3
- ・橋本律夫: パーキンソン病と療養上の注意点, 西那須野保健センター, 那須塩原市, 2005.7.30
- ・橋本律夫: 脳損傷と記憶障害, 静岡県立大学, 静岡県立大学薬学部, 静岡, 2005.9.6
- ・橋本律夫: 高次脳機能障害を呈したてんかん患者のSPECT画像, 第9回Neurology SPECT定量検討会, 東京, 2005.10.22
- ・橋本律夫: パーキンソン病と脊髄小脳変性症, 西那須野保健センター, 那須塩原市, 2005.12.8

## 学会発表

- ・Kaneko J, Kato H, Shiomi T 他3名: Consideration of cerebral activity in repetitive movement of the lower limbs with near infrared spectroscopic topography (NIRS), The 4<sup>th</sup> World Confederation for Physical Therapy—Asia Western Pacific Region & The 9<sup>th</sup> Asia Confederation for Physical Therapy Congress 2005, Seoul (Korea), 2005.10.30-11.1
- ・Takeda K, Gomi Y, Kato H 他5名: Near-infrared spectroscopy for monitoring cerebral activation after hemiparetic stroke., Society for Neuroscience 35<sup>th</sup> Annual Meeting, Washington DC(USA), 2005.11.13
- ・Lee T-H, Yang J-T, Kato H 他1名: Hypertension downregulates the expression of brain-derived neurotrophic factor in the ischemia-vulnerable hippocampal CA1 and cortical areas after carotid artery occlusion, International Congress of Neuroscience and Molecular Imaging, Linkou(Taiwan), 2006.1.22
- ・門口直仁, 早川夏美, 加藤宏之 他2名: パーキンソン病モデルマウスを用いたarundic acidの神経保護効果の検討, 第13回カテコールアミンと神経疾患研究会, 東京, 2005.4.23
- ・武田湖太郎, 金子純一郎, 加藤宏之 他4名: 脳卒中患者の急性期における手運動時の脳血流変化—NIRSによる検討, CREST「脳の機能発達と学習メカニズムの解明」第3回領域内報告会, 大阪, 2006.3.6
- ・下田信明, 武田湖太郎, 加藤宏之 他4名: 健常左手利き者と右手利き者の空間認知課題における局所脳血流量変化の比較—NIRSによる検討, 第8回日本ヒト脳機能マッピング学会大会, 岡崎, 2006.3.11-12
- ・武田湖太郎, 五味幸寛, 加藤宏之 他2名: 脳卒中患者の麻痺手の他動的運動時における脳血流変化—NIRSによる計測—, 第10回脳機能とリハビリテーション研究会, 川崎, 2006.3.19
- ・五味幸寛, 武田湖太郎, 加藤宏之 他3名: 上肢機能訓練時の大脳皮質運動関連領域の活性化について, 第10回脳機

能とリハビリテーション研究会, 川崎, 2006.3.19

- ・ 加藤宏之 (座長) : 再生・移植・分子生物学, 第30回日本脳卒中学会総会, 盛岡, 2005.4.21
- ・ 加藤宏之 (座長) : 脳血管障害・虚血モデル・細胞治療1, 第46回日本神経学会総会, 鹿児島, 2005.5.25
- ・ 加藤宏之 (当番幹事, 座長) : (特別講演) 第3回県北脳卒中研究会, 大田原, 2006.2.15
- ・ 加藤宏之 (座長) : モデル動物, 第31回日本脳卒中学会, 横浜, 2006.3.20
- ・ 川内基裕, 古瀬 彰: エホバの証人派信者ならびにその家族の心臓血管外科手術, 第35回日本心臓血管外科学会, アクトシティ浜松, 浜松市, 2005.2.23
- ・ 川内基裕: 心臓血管外科術後精神身体回復状態の生態学的経時的評価法, 第105回日本外科学会, 名古屋国際会議場, 名古屋市, 2005.5.11
- ・ 川内基裕 (プログラム委員) : 第22回日本呼吸器外科学会, 国立京都国際会館, 京都, 2005.6.2
- ・ 川内基裕 (プログラム委員) : 第58回日本胸部外科学会, 岡山コンベンションセンター, 岡山市, 2005.10.5
- ・ 松岡勇二郎 (座長) : 第10回むつき会学術講演会, 明治記念館, 東京都, 2006.1.7
- ・ 村上厚文: ソケイ靱帯以下の閉塞性動脈硬化症に対するバルーンPTA・STENTING治療, 第33回日本血管外科学会総会, 旭川グランドホテル・旭川医科大学, 旭川市, 2005.6.23
- ・ 村上厚文: 手術当日の朝発見されたハイリスク静脈血栓症の1例, 第12回肺塞栓症研究会・学術集会, 東京商工会議所, 東京都, 2005.11.5
- ・ 村上厚文: Pagett-Schroetter 症候群の1例, 第127回血管外科症例検討会, さいたま市民病院, 浦和市, 2005.11.12
- ・ 大下優介, 村上厚文: 大学生野球選手に生じた特発性右腋窩・鎖骨下静脈血栓症の一例, 第46回関東整形災害外科, シェーンバツハ砂防, 東京, 2006.3.25
- ・ 阿部 裕, 村上厚文: 虫垂炎に続発した上腸間膜静脈血栓症の1例, 第67回日本臨床外科学会, 新高輪プリンスホテル, 東京, 2005.11.10
- ・ 村山史雄 (主催者) : 第9回栃木県内視鏡外科研究会, とちぎ健康の森, 栃木県宇都宮市, 2005.10.22
- ・ 林章太郎, 伊藤明子, 熊耳敦子, 高山智子, 菅沼亮太, 小宮ひろみ, 片寄治男, 佐藤 章, 柳田 薫: ICSIでの卵活性化障害・反復不成功例に対しStrontiumによる人為的卵活性化を行い妊娠・分娩に至った1症例, 日本不妊学会, ニュースカイホテル, 熊本県熊本市, 2005.11.17
- ・ 菅沼亮太, 片寄治男, 小宮ひろみ, 林章太郎, 高山智子, 伊藤明子, 熊耳敦子, 佐藤 章, 柳田 薫, 柳町隆造: 卵活性化因子障害精子モデルを用いた, 卵細胞質内精子注入法に併用した人為的卵活性化法の有効性に関する検討, 日本不妊学会, ニュースカイホテル, 熊本県熊本市, 2005.11.18
- ・ 菅沼亮太, 片寄治男, 小宮ひろみ, 林章太郎, 高山智子, 伊藤明子, 熊耳敦子, 佐藤 章, 柳田 薫, 柳町隆造: 卵活性化因子障害精子モデルを用いた, 卵細胞質内精子注入法に併用した人為的卵活性化法の影響に関する検討, 日本アンドロロジー学会, 横浜シンポジア, 神奈川県横浜市, 2005.7.22
- ・ 菅沼亮太, 片寄治男, 小宮ひろみ, 林章太郎, 高山智子, 熊耳敦子, 佐藤 章, 柳田 薫, 柳町隆造: 卵活性化因子障害精子を用いた, 卵細胞質内精子注入法に併用した人為的卵活性化法の影響に関する検討, 日本哺乳動物学会, ユートリー, 青森県八戸市, 2005.5.21
- ・ 菅沼亮太, 片寄治男, 小宮ひろみ, 林章太郎, 両角和人, 高山智子, 熊耳敦子, 佐藤 章, 柳田 薫, 柳町隆造: 卵活性化因子障害精子を用いた, ICSI後未受精卵に対する人為的卵活性化法の有効性に関する検討, 日本産科婦人科学会, 国立京都国際会館, 京都府京都市, 2005.4.4
- ・ 高山智子, 片寄治男, 林章太郎, 小宮ひろみ, 佐藤 章, 柳田 薫: Sperm chromatin structure assay(SCSA)による精子核クロマチン構造解析と胚盤胞形成率の相関, 日本産科婦人科学会, 国立京都国際会館, 京都府京都市, 2005.4.4
- ・ 末永香緒里, 桑田知之, 種市明代, 高山 剛, 山田哲夫, 柳田 薫, 佐藤郁夫: 妊娠36週胎動消失感で来院した一症

例, 第63回日産婦栃木地方部会, 栃木県, 宇都宮市, 2006.2.26

- ・ 恩田浩一, 加藤 敏 : Consultation gérontopsychiatrique en service d'orthopédie, Colloque Médical Franco-Japonais, Maison de la Culture du Japon à Paris, Paris France, 2005.5.27
- ・ 恩田浩一, 野口正行, 杉山 久 : 佐野厚生総合病院精神科病棟における他害・暴力事例の検討, 第18回 総合病院精神医学会, 松江テルサ, 島根県松江市, 2005.11.12
- ・ 恩田浩一, 加藤 敏, 杉山 久 : Un cas de possession de sa belle-soeur, 14th European congress of Psychiatry, Acropolis, Nice France, 2006.3.5
- ・ 三田村治郎, 内藤浩美, 大橋一之, 野口忠秀, 神部芳則, 草間幹夫, 槻木恵一, 渡辺是久 : 口腔扁平苔癬における UPA, MMP\_9発現の免疫組織学的検討, 第59回日本口腔科学会総会, 徳島県郷土文化会館, 徳島, 2005.4.21-22
- ・ 三田村治郎, 内藤浩美, 大橋一之, 野口忠秀, 神部芳則, 草間幹夫, 槻木恵一, 渡辺是久 : 口腔扁平苔癬における UPA, MMP\_9 (2, 3, 9) 発現の免疫組織学的検討, 第15回日本口腔粘膜学会総会学術集会, くまもと県民交流館パレアホール, 熊本, 2005.7.7-8
- ・ 内藤浩美, 石下透江, 永元彩子, 大橋一之 : 長期経管栄養者における口腔環境に関する検討—第3報—安静時唾液量と口呼吸について, 第11回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋国際会議場, 名古屋, 2005.9.2-3
- ・ 佐藤知行, 澁澤公行, 金澤実季, 森嶋 計, 中村英美, 五十嵐敦 : blood patch EMRの安全性と有用性に関する prospectieな検討 (日本消化器内視鏡学会雑誌2005年, 47(supplement 1), 753), 第69回日本消化器内視鏡学会総会, 東京, 2005.5.26
- ・ 森嶋 計, 中村英美, 五十嵐敦, 佐藤知行, 澁澤公行, 安田是和 : 小腸間膜リンパ管腫の1例 (日本臨床外科学会雑誌66 (増刊), 550, 2005), 第67回日本臨床外科学会総会, 東京, 2005.11.10
- ・ 森嶋 計, 澁澤公行, 佐藤知行, 中村英美, 五十嵐敦 : Meckel憩室のmesodiverticular vascular bandによる絞扼性イレウスの1例 (日本臨床外科学会雑誌66 (増刊), 754, 2005), 第67回日本臨床外科学会総会, 東京, 2005.11.9
- ・ 佐藤知行 : ブラッドパッチEMR(blood patch EMR)に吸引法を応用した“ブラッドプリンEMR(blood pudding EMR)” (日本大腸肛門病学会雑誌, 58(9), 583, 2005), 第60回日本大腸肛門病学会総会, 東京, 2005.10.28
- ・ 佐藤知行, 森嶋 計, 中村英美, 五十嵐敦, 澁澤公行 : 奥まった術野を照らす電気メス・ライトガイドの有用性—他の方法との比較 (日本臨床外科学会雑誌66 増刊9, 598, 2005), 第67回日本臨床外科学会総会, 東京, 2005.11.10
- ・ 佐藤知行, 森嶋 計, 中村英美, 五十嵐敦, 澁澤公行, 小西文雄, 永井秀雄 : 新肛門手術—直腸癌における動的肛門機能再建 (日本癌治療学会雑誌, 288, 2005), 第43回日本癌治療学会総会, 名古屋, 2005.10.27
- ・ 橋本律夫, 小川朋子, 加藤宏之, 田中康文 : 新しい視空間記憶検査 Card placing task (CPT)の開発, 第46回日本神経学会総会, 鹿児島市民文化ホール, 鹿児島, 2005.5.25
- ・ 橋本律夫, 宮崎朋美, 田中康文 : 新しい視空間記憶検査 Card placing task (CPT)の開発, 第29回日本神経心理学会総会, 京都大学, 京都, 2005.9.22
- ・ 宮崎朋美, 熊田敦史, 橋本律夫 : 慢性経過した頭部外傷患者のリハビリテーション効果について—薬物治療との併用が復職に至った2例の紹介—, 第29回日本神経心理学会総会, 京都大学, 京都, 2005.9.22
- ・ 松島陽一郎 : 局所多汗をともなったangioblastomaの1例, 日本小児皮膚科学会, 宇部全日空ホテル, 宇部市, 2005.7.2

#### 研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

- ・ 加藤宏之 (主たる研究参加者), 鍋倉淳一 (研究代表者) : (研究領域) 脳の機能発達と学習メカニズムの解明・発達期および障害回復期における神経回路の再編成機構, 科学技術振興機構 (JST), 戦略的創造研究推進事業, チーム型研究CREST, 継続
- ・ 加藤宏之 : fMRIによる脳卒中後の運動・言語機能回復機序の解明と臨界期の同定, 科学研究費補助金, 研究代表者,

基盤研究(C)(2), 16500352, 継続

- ・ 柳田 薫：難治性不妊症である受精障害例の原因解明とその治療法に関する研究，平成17年度科学研究，基盤研究(C)，16591677，継続
- ・ 柳田 薫：生殖補助医療体系における設備・人的資源・消耗品使用の現状に関する研究，平成17年度厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業），継続
- ・ 柳田 薫：生殖補助医療体系における設備・人的資源のガイドラインに関する研究，平成17年度厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業），継続

## 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 内田克紀：日本泌尿器科学会（専門医，指導医）（評議員），日本腎臓学会（専門医，指導医），米国泌尿器科学会，国際泌尿器科学会，日本癌学会，日本癌治療学会，日本ESWL and Endourology学会，日本超音波医学会
- ・ 加藤宏之：日本神経学会（専門医）（評議員），日本脳卒中学会（専門医）（評議員），日本脳循環代謝学会（評議員），日本内科学会（認定内科医），日本神経治療学会，International Society of Cerebral Blood Flow and Metabolism (Editorial board)，Society for Neuroscience，東北脳卒中研究会（世話人），下野神経疾患研究会（世話人）
- ・ 川内基裕：日本外科学会（認定医，指導医，専門医），日本胸部外科学会（認定医，指導医）（評議員，学会誌査読委員），日本心臓血管外科学会（専門医）（評議員，国際会員），日本外科系連合学会（評議員），日本呼吸器外科学会（指導医，評議員），日本心臓病学会（特別正会員），日本循環器学会，日本小児外科学会，日本移植学会，日本小児循環器学会，日本人工臓器学会，The Transplantation Society，The Internatinal Society for Heart and Lung Transplantation
- ・ 橋本雅章：日本脳神経外科学会（専門医），日本脳神経外科コンgres（評議員），栃木県勤務医会（理事）
- ・ 松岡勇二郎：日本医学放射線学会（放射線科専門医）
- ・ 村上厚文：日本胸部外科学会（指導医），日本循環器学会（専門医），日本外科学会（指導医），日本心臓血管外科学会（専門医），日本血管外科学会症例検討会（幹事），雑誌“血管外科”（幹事）（依頼原稿選考委員），横浜戸塚地域循環器疾患研究会（世話人），栃木肺塞栓症研究会（世話人），日本血管外科学会，日本人工臓器学会，日本静脈学会，日本脈管学会，日本小児外科学会，日本呼吸器外科学会，日本気胸学会，肺塞栓症研究会，大動脈外科学会
- ・ 村山史雄：日本呼吸器外科学会（指導医，専門医）（評議員），日本外科学会（認定医），日本胸部外科学会（認定医），日本臨床細胞学会（指導医，専門医），日本呼吸器内視鏡学会（指導医，専門医）
- ・ 柳田 薫：日本哺乳動物卵子学会（常任理事），日本生殖外科学会，日本受精着床学会（評議員），Journal of Mammalian Ova Research (Chief editor)，European Society of Human Reproduction and Embryology，日本アンドロロジー学会（評議員），日本産科婦人科学会（専門医），日本不妊学会（生殖医療指導医），日本生殖免疫学会，日本産科婦人科内視鏡学会
- ・ 山田哲夫：日本産科婦人科学会（専門医），日本周産期・新生児医学会，日本生殖免疫学会
- ・ 恩田浩一：日本精神神経学会，総合病院精神医学会（専門医）
- ・ 大橋一之：日本口腔診断学会（認定医，指導医），日本小児口腔外科学会（評議員），日本歯科医療福祉学会（評議員），日本口腔外科学会，日本口腔科学会，日本障害者歯科学会，日本有病者歯科医療学会，日本歯科麻酔学会，日本口腔腫瘍学会，日本摂食・嚥下リハビリテーション学会，日本頭頸部腫瘍学会，日本救急医学会，日本外科系連合学会，日本歯科薬物療法学会
- ・ 橋本律夫：日本神経学会（専門医），日本内科学会（認定医），日本神経心理学会（評議員），日本高次脳機能障害学会（評議員）

- ・ 松島陽一郎：日本皮膚科学会（皮膚科専門医）

センター（臨床医学研究センター）

介護老人保健施設 マロニエ苑

### 原著論文

- ・ 鈴木一実, 徳江章彦：精巣腫瘍に対するBEP療法に伴う間質性肺炎の危険因子の臨床的検討, 西日本泌尿器科, 68(1), 1-6, 2006.1

### 総説

- ・ 徳江章彦：ストーマ雑感, 栃木県ストーマ研究会報, 5, 1-2, 2005.12

### 研究報告

- ・ 山崎晶司, 徳江章彦：苓姜求甘湯が著効した間質性膀胱炎の1例, 漢方医学, 29(6), 287-291, 2005.12

### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 徳江章彦：日本泌尿器科学会（指導医, 専門医）, 国際泌尿器科学会, 泌尿器科漢方研究会（監事, 幹事）

センター（臨床医学研究センター）

山王病院

### 著書

- ・ 奥田 誠, 辻塚一幸, 松井 哲, 丸山圭一（分担執筆）：吉野肇一, 古山信明, 塩崎 均編集 新版・手術室研修医マニュアル, 器械吻合, 220-234, 診断と治療社, 2006.1
- ・ 織田正也, 中村正彦（分担執筆）：急性胃粘膜病変（AGML）. YEAR NOTE SERIES, SELECTED ARTICLES 2006. 「主要病態・主要疾患の論文集」, 51-70, メディックメディア, 2005.4
- ・ 織田正也, 中村正彦（分担執筆）：Self Assessment, A. 消化管・腹壁・腹膜疾患：A-5急性胃粘膜病変（AGML）, 1-2, メディックメディア, 2005.4
- ・ Asano M, Oda M（編集）：Editors. Microcirculation annual 2005, 21, Nihon-Igakukan, 2005.8
- ・ 織田正也（監修）：からだ情報 すこぶる 第74号, 肝臓の健康—予防と早期発見で肝機能を元気に保つ, 4-10, すこぶる出版, 2005.11
- ・ 奥仲哲弥（分担執筆）：呼吸器系マニュアル, 蛍光気管支鏡（肺癌に早期発見）, 214-215, 羊土社, 2005
- ・ 奥仲哲弥（分担執筆）：呼吸器系マニュアル, 光線力学的療法（PDT）, 216-218, 羊土社, 2005
- ・ 奥仲哲弥（分担執筆）：呼吸器系マニュアル, 超音波気管支鏡, 219-220, 羊土社, 2005
- ・ 奥仲哲弥（分担執筆）：第99回医師国家試験問題解説書, 医学評論社, 2005
- ・ 奥仲哲弥（分担執筆）：がんの早期発見と治療の手引き, 小学館, 2005

- ・川合陽子（編集，分担執筆）：臨床検査のガイドライン2005/2006，15.貧血，16.出血傾向，84-89，90-96，宇宙堂八木書店，2005.12.25
- ・川合陽子（分担執筆）：三輪血液病学，2.凝固因子に関する検査，3.線溶因子に関する検査，1976-1984，1985-1994，文光堂，2006.1.5
- ・川合陽子（分担執筆）：血栓症ナビゲーター，5.血液凝固検査，6.凝固分子マーカー，180-181，182-183，メディカルレビュー社，2006.1.15
- ・川合陽子（分担執筆）：スタンダード検査血液学，1.凝固系分子マーカー，60-62，医歯薬出版，2006.1.20
- ・長原 光：Pharma Medica，消化器内科外来における問診表による腰部脊柱管狭窄症患者の検出とリプロマスト投与による有効例の検討，83-86，メディカルレビュー，2005.5.10
- ・保科 清：子育て 親育ち，薬事日報社，2006.2
- ・須藤英一，松瀬 健（千野直一，安藤徳彦 編集主幹）：リハビリテーションMOOK，高齢者の呼吸障害，73-83，金原出版，2005.11.25
- ・須藤英一（大内尉義 監修，鳥羽研二 担当編集）：日常診療に活かす老年病ガイドブック7 高齢者への包括的アプローチとリハビリテーション，嚥下障害のリハビリテーション，210-223，メジカルビュー社，2006.3.20

## 原著論文

- ・Yokomori H, Wakabayashi G, Yoshimura K, Nomura M, Kitajima M, Hibi T, Oda M : High expressions of caveolins on the proliferating bile ductules in primary biliary cirrhosis. World J. Gastroenterol, 11(24), 3710-3713, 2005
- ・Yokomori H, Oda M, Ogi M, Wakabayashi G, Kawachi S, Yoshimura K, Nagai T, Kitajima M, Nomura M, Hibi T : Expression of adhesion molecules on mature cholangiocytes in canal of Hering and bile ductules in wedge biopsy samples of primary biliary cirrhosis. World J. Gastroenterol., 11(28), 4382-4389, 2005
- ・中村雄二 : 診断と治療，健診データの読み方と生かし方，心電図，負荷心電図，93(9)，1427-1436，診断と治療社，2005.9
- ・Yamauchi K, Nagahara H, Shiratori K : A murine model of acute liver injury induced by human monoclonal autoantibody, Hepatology, 42(1), 149-155, 2005.7
- ・戸部正博，水谷一裕，若江幸三良，甲斐秀顕，柳原 泰 : 橈骨遠位端骨折に対する手術療法－内固定か外固定か－，骨折，27，359-362，2005.5
- ・柳原 泰 : 腰椎椎間板ヘルニア，TMDC MATE，2238，18，2005.6
- ・柳原 泰 : 脊椎管狭窄症の治療と予防について，CLINIC，28-29，2005.7
- ・河野 優，鷺崎一成，國本雅也 他2名 : 髄液異常を認めた一酸化炭素中毒間歇型の26歳女性例，脳と神経，57，611-615，2005.7
- ・須藤英一，奥澤 健，奥仲哲弥 : セフェム系抗菌薬無効市中肺炎にガチフロキサシン(Gatifloxacin; GFLX)が著効した外来での一症例，診断と治療，93(12)，2199-2202，2005.12.1
- ・須藤英一，奥仲哲弥，鷺崎一成 他1名 : 陽・陰圧体外式人工呼吸器(RTX)使用により気管切開部位からの人工呼吸器の離脱が可能となったと考えられる多系統萎縮症の1症例，Geriatric Medicine (老年医学)，44(3)，419-423，2006.3.1

## 総説

- ・杉本恒明，矢崎義雄，山沖和秀 他1名（編集委員）：心不全関連の文献紹介を中心としたNewsletter，Excerpta Medica News-letter，51，（2005.3），52，2005.7，53，2005.11
- ・川合陽子：包括医療（DPC）における臨床検査のガイドライン，医学のあゆみ，215(11)，921-923，2005.11

- ・片桐尚子, 川合陽子: 血液疾患の検査 DIC「一線診療のための臨床検査」, 検査と技術 (増刊号), 33(11), 1086-1090, 2005.11
- ・清水長子, 川合陽子: 血液検査 血小板数「これだけは知っておきたい検査のポイント」, *Medicina* (増刊号), 42(12), 82-85, 2005.11
- ・川合陽子: 術前における出血時間検査の適応, 日本検査血液学会雑誌, 7(1), 194-195, 2006.2
- ・保科 清: 「子どもの心相談医」の目指すもの, 教育と医学, 54(3), 74-79, 2006.3
- ・美馬達夫: 低髄液圧症候群 (脳脊髄液減少症), ペインクリニック, 26, 1403-1411, 2005.10
- ・美馬達夫: めまいと低髄液圧症候群, *Equilibrium Research*, 64, 164-165, (2005.3)
- ・鷺崎一成, 武田克彦: 外来診療での神経・筋疾患患者の訴えのとらえ方「話しにくい」, 診断と治療, 93, 86-89, 2005.8
- ・須藤英一: [地域医療の実践] 第3回山王病院呼吸教室を終えて, 港区医師会報, 109, 67-68, 2006.2.20

## 研究報告

- ・ Han J.-Y., Horie Y, Li D, Akiba Y, Nagata H, Miura S, Oda M, Ishii H, Hibi T : Myakuryu improves ischemia-reperfusion-induced microcirculatory disturbances in rat mesentery. In: *Microcirculation annual 2005.*, 21, Edited by M. Asano and M. Oda. Nihon-Igakukan, 53-55, Tokyo, 2005.4

## 講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・ HanJ.-Y, Horie Y, Li D, Nagata H, Miura S, Oda M, Ishii H, Hibi T : Dihydroxyphenyl lactic acid improves ischemia-reperfusion-induced microcirculatory disturbances in rat mesentery. ACM Symposium I ” Free Radicals and Inflammation in Microcirculation”, The 6th Asian Congress for Microcirculation (ACM'05), Tokyo Japan, (2005.2.24-26)
- ・ Yokomori H, Oda M, Hibi T : Expression of adhesion molecules on mature cholangiocytes from canals of Hering to interlobular bile ducts in primary biliary cirrhosis. Presidential Poster, World Congress of Gastroenterology (WCOG 2005), Montreal Canada, 2005.9.12-14
- ・ Yokomori H, Oda M, Hibi T : High expressions of caveolins on the proliferating bile ductules in primary biliary cirrhosis. AGA Poster Session I : Chronic Cholestatic Diseases, 106th Digestive Disease Week (DDW), Chicago U.S.A, 2005.5.14-19
- ・ Yokomori H, Oda M, Hibi T : Rho kinase and myosin light chain kinase regulate sinusoidal endothelial fenestrae organization and cell spreading of sinusoidal endothelial cells. AASLD Poster Session: Cell and Molecular Biology; Signal Transduction, 106th Digestive Disease Week (DDW), Chicago U.S.A, 2005.5.14-19
- ・ Oda M, Yokomori H : Functional significance of the proliferating bile ductules in primary biliary cirrhosis—Increased expressions of caveolin-1 and -2—. Poster Session: Liver, 70th Annual Scientific Meeting of the American College of Gastroenterology (ACG), Honolulu Hawaii, 2005.10.3-11.2
- ・ Yokomori H, Oda M, Hibi T : Endothelin-1 induces aggregation of hepatic sinusoidal fenestrae. Poster Session : Cell Structure:Function Relationship, 56th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases(AASLD), San Francisco U.S.A., 2005.11.11-15
- ・ Tetuya Okunaka : PDT for lung cancer, Taiwan Association of Thoracic and Cardiovascular Surgery, Taiwan National University, Taipei Taiwan, 2005.11.22
- ・ Tetsuya Okunaka : Clinical application of PDT for lung cancer, 16<sup>th</sup> World congress of the International Society for Laser Surgery and Medicine, Keio Plaza Hotel, Tokyo Japan, 2005.9.7-10
- ・ 川合陽子 : シンポジウム「血液学的検査の標準化と新たな展開」: 網状赤血球測定, 日本臨床検査自動化学会第37回

大会, パシフィコ横浜, 神奈川県横浜市, 2005.9.30

- ・ 川合陽子: 骨髄移植後の血栓性微小血管症, 第4回日本検査血液学会冬季セミナー, ホテルポールスター札幌, 北海道札幌, 2006.2.19
- ・ 中村雄二 (座長): 一般講演, 第34回総合健診医学会, 11504-11507, 2006.1.27
- ・ 美馬達夫: 低髄液圧症候群の診断と治療の実際について, 第20回埼玉脊椎・脊髄病研究会, 大宮パレスホテル3階チェリールーム, 大宮, 2006.2.25
- ・ 須藤英一: COPD患者対策としての「包括的」呼吸リハビリテーションの紹介, 医療フォーラム「患者さまの満足とは」, 東京国際フォーラム, 東京, 2005.10.15
- ・ 須藤英一: 冬へ向けてかぜをひかないために—免疫力を上げましょう, ナースネット, サンパール荒川, 東京, 2005.11.19
- ・ 須藤英一: 肺の病気総論～冬へ向けてかぜをひかないために, 第3回山王病院呼吸教室, 山王病院, 東京, 2005.12.9

## 学会発表

- ・ 奥田 誠 (座長): 一般演題講演 放射線治療, 第60回日本大腸肛門病学会総会, 東京 (京王プラザホテル), 東京都新宿区, 2005.10.28
- ・ 織田正也, 市田隆文 (座長): ワークショップ1「肝病態解明のための分子形態学的アプローチ」, 第37回日本分子形態学会総会・学術講演会, 大阪, 2005.9.30-10.1
- ・ 織田正也, 成原健太郎 (コメンテーター): 診療と研究のトピックス「その他」, 第42回日本腹部救急医学会総会, 東京, 2006.3.9-10
- ・ 織田正也 (座長): 一般演題 講演発表 セッションIX「内皮細胞」, 第19回肝類洞壁細胞研究会学術集会, 秋田, 2005.10.22-23
- ・ 織田正也 (世話人): 第1回京都肝セルバイオロジー研究会, 京都, 2005.7.16
- ・ 織田正也 (代表世話人): 第24回消化器病態生理勉強会, 東京, 2005.8.6-7
- ・ 織田正也 (世話人): 第19回肝類洞壁細胞研究会学術集会, 秋田, 2005.10.22-23
- ・ 奥仲哲弥 (座長): Laser therapy, 16<sup>th</sup> World congress of the International Society for Laser Surgery and Medicine, Keio Plaza Hotel, Tokyo Japan, 2005.9.7-10
- ・ 奥仲哲弥 (座長): PDT for lung cancer, 10<sup>th</sup> World congress of the International Photodynamic Association, Arabella Sheraton Grand Hotel, Munich, Germany, 2005.6.22-25
- ・ 奥仲哲弥 (座長): Endobronchial therapy, 1<sup>st</sup> Asian Pacific Congress on Bronchology and Interventional Pulmonogy, Makuhari Prince Hotel, Chiba Japan, 2005.11.26-27
- ・ 奥仲哲弥 (座長): 転移性肺腫瘍, 第22回日本呼吸器外科学会, 京都国際会館, 京都市, 2005.6.25 - 27
- ・ 奥仲哲弥 (座長): 気管支鏡治療, 第28回日本呼吸器内視鏡学会, 京王プラザホテル, 東京都新宿区, 2005.6.8-10
- ・ 奥仲哲弥 (座長): 稀少な肺癌症例, 第46回日本肺癌学会, 幕張プリンスホテル, 千葉県幕張市, 2005.11.25-26
- ・ 奥仲哲弥 (座長): 光線力学的療法, 第115回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会, 京王プラザホテル, 東京都新宿区, 2005.12.17
- ・ 川合陽子 (座長): 凝固セッション6, 第6回日本検査血液学会学術集会, 長崎大学医学部キャンパス, 長崎県長崎市, 2005.7.31
- ・ 川合陽子 (座長): 血液凝固, 日本臨床検査自動化学会第37回大会, パシフィコ横浜, 横浜市, 2005.9.30
- ・ 川合陽子 (座長): 血液2 (白血球2), 第52階日本臨床検査医学会総会, 福岡国際会議場, 福岡市, 2005.11.17
- ・ 長原 光, 中村雄二, 川合陽子, 下條ゑみ: 健診により発見されたNon-Alcoholic Steatohepatitis (NASH)の2症例, 日本

総合健診医学会第34回大会, ビーコンプラザ, 別府, 2006.1.27

- ・ 中村雄二: 左脚前枝ブロックの臨床的意義, 第46回人間ドック学会, 秋田, 2005.8.27
- ・ 中村雄二: 健診により発見されたNon-Alcoholic Steatohepatitis(NASH)の4症例, 第34回総合健診医学会, 大分, 2006.1.27
- ・ Nagahara H, Kogiso T, Shiratori K: Apoptosis induced by TGF- $\beta$  in human hepatocellular carcinoma(HCC) is mediated by Cdc2 activation with Wee1 downregulation and inhibited by p21Cip1 induction simultaneously occurred., Cold Spring Harbor Laboratory Meeting (MOLECULAR APPROACHES TO CONTROLLING CANCER), Cold Spring Harbor Laboratory Meeting, NY USA, 2005.6.6
- ・ Tomomi Kogiso, Hikaru Nagahara, Keiko Shiratori: A novel therapeutic approach to human hepatocellular carcinoma (HCC) using Wee1 kinase inhibition, AASLD 56<sup>th</sup>, annual meeting, San Francisco, CA USA, 2005.11
- ・ Tomomi Kogiso, Hikaru Nagahara, Keiko Shiratori: High sensitivity c-reactive protein (hs-CRP) correlated with serum markers in patients with fatty liver, AASLD 56<sup>th</sup> annual meeting, San Francisco, CAUSA, 2005.11
- ・ 小木曾智美, 森吉百合子, 長原 光: 人間ドック受診者における脂肪肝 (FL) の現状と対策について, DDW-Japan (第47回日本消化器病学会大会), 神戸, 2005.10
- ・ 小木曾智美, 長原 光, 白鳥敬子: Wee1kinase/Cdc2経路を分子標的とした肝癌治療の可能性, 第9回日本肝臓学会大会, 神戸, 2005.10
- ・ 保科 清: アンケート調査による早発型B群溶連菌感染症の臨床像, レンサ球菌感染症研究会, ブラザエフ, 東京都, 2005.6.18
- ・ 美馬達夫: 脳卒中治療でやりたかったこと: 脳梗塞とクモ膜下出血, 脳卒中治療研究会大磯セミナー, 大磯プリンスホテル (プリンスホール), 大磯, 2005.7.9-10
- ・ 美馬達夫: 髄液循環の謎: 正常圧水頭症と低髄液圧症候群大磯, 脳卒中治療研究会大磯セミナー, 大磯プリンスホテル (プリンスホール), 大磯, 2005.7.9-10
- ・ 美馬達夫: 脳脊髄液減少症でブラッドパッチ後に抗うつ剤が著効を示した2症例の考察, 第4回脳脊髄液減少症研究会 (熱海ワークショップ), 国際医療福祉大学附属熱海病院B1大会議室, 熱海, 2006.2.4-5
- ・ 戸部正博, 水谷一裕, 津布久義人, 甲斐秀顕, 柳原 泰: リン酸カルシウム骨セメントを使用した高齢者橈骨遠位端骨折の治療, 第48回日本手の外科学会学術集会, 海峡メッセ, 山口県下関, 2005.4.19
- ・ 須藤英一 (座長): 高齢者呼吸器疾患, 第47回日本老年医学会学術集会, 東京国際フォーラム, 東京, 2005.6.17
- ・ Mizutani H, Destine D, Rutkunas V, Nakamura K, Ishikawa S: Retentive force of different overdenture stud attachments in various dislodgement. In Vitro Study, The 4th international conference on magnetic applications in dentistry, <http://wwwsoc.nil.ac.jp/jmd/index-e.shtml>, (2005.3.1-20)
- ・ ディスティネ ダーリン, 水谷 紘, 中村和夫 他: スタッドアタッチメントの維持力に関する基礎的研究第3報 疲労試験 (繰り返し着脱) 後の変化, 日本磁気歯科学会, 北九州市総合保健福祉センター, 福岡県 北九州市, 2005.11.12
- ・ 松井 哲: 非浸潤性乳癌症例の検討, 第13回日本乳癌学会, 倉敷, 2005.6
- ・ 倉島一浩: メニエール病, 低音障害型感音難聴に対する柴苓湯と抗不安薬の併用療法, 第15回日本耳科学会, 大阪国際会議場, 大阪市, 2005.10.20

#### 研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

- ・ 織田正也: 原発性胆汁性肝硬変の肝内胆汁うっ滞に対する茵薺蒿湯の臨床効果の検討, 平成17年度 日本漢方医学研究助成金, 採択

## 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 井上正人：哺乳動物卵子学会（理事長），日本産科婦人科内視鏡学会（理事），日本受精着床学会（評議員），日本不妊学会（評議員）
- ・ 奥田 誠：日本大腸肛門病学会（指導医，専門医）（評議員），日本外科学会（指導医，認定医，専門医），日本消化器外科学会（指導医，認定医，専門医），日本大腸検査学会（評議員），日本消化器内視鏡学会（専門医），日本消化器病学会（認定医），日本臨床外科医学会，日本癌治療学会，日本内視鏡外科学会，日本サイコオンコロジー学会，The American Society of Colon & Rectal Surgeons, Society of General Internal Medicine
- ・ 織田正也：日本内科学会（認定医），日本自律神経学会（評議員），ヨーロッパ微小循環学会（ESM）（Executive Committee Member），日本肝臓学会（専門医，指導医）（評議員），アメリカ微小循環学会，日本臨床分子形態学会（評議員），日本微小循環学会（理事），アメリカ肝臓病学会（AASLD），国際肝臓病学会（IASL），国際リンパ学会（ISL），日本腹部救急医学会（評議員），アメリカ消化器病学会（AGA），アメリカ消化器病学会（ACG），Asian Union of Microcirculation（AUM）（Active Member），Journal” Microvascular Research (Microvasc. Res.)”（Editorial Board Member），日本脈管学会（評議員），ヨーロッパ微小循環学会（Executive Committee Member），日本臨床電子顕微鏡学会（理事，編集委員会委員），Journal “Clinical Molecular Morphology”（Associate Editor），日本消化器病学会（専門医，指導医）（功労会員）
- ・ 山沖和秀：日本循環器学会（循環器専門医）（関東甲信越地方会評議員），日本内科学会（内科認定医），日本高血圧学会，日本心臓病学会，日本老年病学会，日本脈管学会，Heart Journal（編集委員）
- ・ 奥仲哲弥：日本外科学会（指導医，専門医，認定医），日本呼吸器外科学会（指導医，専門医）（評議員），日本呼吸器内視鏡学会（指導医，専門医）（評議員，編集委員，安全管理委員），日本レーザー医学会（指導医，専門医），（理事，編集委員），日本肺癌学会（評議員），日本臨床細胞学会（指導医），日本呼吸器学会（専門医），International Photodynamic association（理事），日本光線力学学会（理事，ガイドライン委員長），日本外科系連合学会（評議員）
- ・ 川合陽子：日本内科学会（認定医），日本血液学会（認定医，指導医）（代議員，専門医認定試験形態問題作成委員），日本臨床検査医学会（認定臨床検査医）（評議員，包括医療検討委員会委員長），日本医師会（認定産業医），日本検査血液学会（会計幹事，評議員，編集委員，プログラム委員，冬季セミナー委員，血栓止血標準化小委員），日本臨床血液学会（評議員），日本サイトメトリー学会（日本サイトメトリー技術者），日本臨床検査自動化学会（評議員，科学技術委員，編集委員），日本血栓止血学会（評議員）
- ・ 中村雄二：日本内科学会（指導医），日本腎臓学会（評議員，指導医），日本高血圧学会（評議員），日本ドック学会（評議員），日本総合健診医学会（評議員）
- ・ 保科 清：日本小児科学会（専門医），日本感染症学会（専門医，ICD）（評議員），日本内分泌学会（内分泌代謝科（小児科）専門医）（代議員）
- ・ 美馬達夫：日本脳神経外科学会（評議員），日本脳卒中学会（評議員），日本脳循環代謝学会（評議員），正常圧水頭症研究会（世話人），脳脊髄液減少症研究会（世話人）
- ・ 柳原 泰：日本整形外科学会（整形外科学会専門医，整形外科学会認定スポーツ医，整形外科学会認定リウマチ医），日本手の外科学会（評議員，広報委員会アドバイザー），日本リウマチ学会（日本リウマチ学会専門医），日本医師会（日本医師会認定産業医，日本医師会健康スポーツ医），日本リウマチ財団（日本リウマチ財団リウマチ登録医），日本骨折治療学会，日本バイオメカニクス学会，東日本整形災害外科学会，東日本手の外科研究会
- ・ 鷺崎一成：日本神経学会（専門医）
- ・ 岩脇 淳：日本精神神経学会（専門医試験面接委員），日本社会精神医学会，日本産業精神保健学会，日本多文化間精神医学会，日本認知療法学会，日本精神科診断学会（評議員）

- ・ 須藤英一：日本内科学会（認定内科医），日本呼吸器学会（専門医），日本老年医学会（専門医，指導医）（代議員），日本リハビリテーション医学会，日本温泉気候物理医学会，日本抗加齢医学会，日本睡眠学会，日本医師会（認定産業医）
- ・ 中村和夫：日本補綴歯科学会（指導医，専門医），日本磁気歯科学会（認定医）（理事），日本歯科理工学会，日本歯科心身医学会，日本顎関節学会，口腔病学会
- ・ 松井 哲：日本外科学会（指導医），日本乳癌学会（専門医）
- ・ 倉島一浩：日本耳鼻咽喉科学会（認定専門医），日本耳科学会，日本めまい平衡医学会，日本顔面神経研究会

## センター（臨床医学研究センター）

国際医療福祉大学東京ボイスセンター

## 著書

- ・ 福田宏之：イラスト手術手技のコツ 耳鼻咽喉科・頭頸部外科，喉頭蓋嚢胞摘出術の要点，243-244，東京医学社，2005.5.1

## 原著論文

- ・ 楠山敏行，田村悦代：声帯麻痺up-to-date：Q&A 声帯内脂肪注入術のコツは？，JOHNS，21(5)，745-747，2005.5
- ・ 田村悦代，楠山敏行 他：難治性声門閉鎖不全疾患に対する声帯内脂肪注入術，音声言語医学，46，245-250，2005.10
- ・ Nakagawa H, Kusuyama T et al. : Isolated Vagus Nerve Paralysis Caused by Varicella Zoster Virus Reactivation, Otolaryngology-Head and Neck Surgery, 133, 460-461, 2005.9
- ・ 中川秀樹，楠山敏行 他：水痘帯状疱疹ウイルスの再活性化によりそれぞれ迷走神経および舌咽神経麻痺を生じた2症例，喉頭，17，115-120，2005.12

## 研究報告

- ・ 田村悦代，福田宏之 他：難治性声門閉鎖不全疾患に対する声帯内脂肪注入術，音声言語医学，46，245-250，2005.10
- ・ 中川秀樹，福田宏之 他：Isolated Vagus Nerve Paralysis Caused by Varicella Zoster Virus, Reactivation Otolaryngology-Head and Neck Surgery, 133, 460-461, 2005.9
- ・ 中川秀樹，福田宏之 他：水痘帯状疱疹ウイルスの再活性化によりそれぞれ迷走神経および舌咽神経麻痺を生じた2症例，喉頭，17，115-120，2005.12
- ・ 福田宏之：ラリngoマイクロサージャリーの歩みー私の場合ー，喉頭，17，49-54，2005.12

## 学会発表

- ・ 磯貝 豊，福田宏之 他：（一般演題）甲状軟骨上角の咽頭腔内側への偏位について，第106回日本耳鼻咽喉科学会，大阪，2005.5.19-21
- ・ 田村悦代，福田宏之 他：（一般演題）声門閉鎖不全疾患に対する声帯内自家脂肪注入術，第106回日本耳鼻咽喉科学会，大阪，2005.5.19-21

- ・池田麻子, 福田宏之 他：(一般演題) 当教室における喉頭微細手術の現況, 第106回日本耳鼻咽喉科学会, 大阪, 2005.5.19-21
- ・福田宏之：(一般演題) 喉頭のpre-malignant lesions にたいする扱い, 第3回アジア頭頸部外科学会, 東京, 2005.7.2
- ・楠山敏行, 福田宏之：(一般演題) 東京ボイスセンターにおける音声障害の統計的観察, 日本耳鼻咽喉科学会東京都地方部会例会, 第167回学術講演会, 東京, 2005.7.23
- ・田村悦代, 福田宏之 他：(一般演題) 声帯内自家脂肪注入術における塩基性繊維芽細胞増殖因子投与の効果について, 第50回日本音声言語医学会総会・学術講演会, 横浜, 2005.10.27-28
- ・磯貝 豊, 福田宏之 他：(一般演題) 特発性内筋麻痺が疑われた症例, 第50回日本音声言語医学会総会・学術講演会, 横浜, 2005.10.27-28
- ・楠山敏行, 福田宏之 他：(一般演題) 声帯結節の治療法の検討, 第50回日本音声言語医学会総会・学術講演会, 横浜, 2005.10.27-28
- ・磯貝 豊, 福田宏之 他：(一般演題) 全麻覚醒時に発生したVocal fold dysfunction (吸気性声門閉鎖), 第57回日本気管食道科学会総会・学術講演会, 京都, 2005.11.17-18
- ・田村悦代, 福田宏之 他：(一般演題) 声帯内自家脂肪注入術における術後経過に及ぼす影響因子の検討, 第57回日本気管食道科学会総会・学術講演会, 京都, 2005.11.17-18
- ・磯貝 豊, 福田宏之 他：(一般演題) 単板CCD (同時方式) の下咽頭内視鏡の試作, 第57回日本気管食道科学会総会・学術講演会, 京都, 2005.11.17-18
- ・楠山敏行, 福田宏之 他：(一般演題) 声帯嚢胞症例の検討～類上皮嚢胞と貯溜嚢胞の臨床像の比較～, 第57回日本気管食道科学会総会・学術講演会, 京都, 2005.11.17-18
- ・福田宏之 (司会, 座長)：第14群ビデオ 喉頭, 第106回日本耳鼻咽喉科学会, 大阪, 2005.5.19-21
- ・福田宏之 (司会, 座長)：第1群 喉頭手術 1, 第50回日本音声言語医学会総会・学術講演会, 横浜, 2005.10.27-28
- ・福田宏之 (司会, 座長)：ワークショップ 喉頭狭窄への対応, 第57回日本気管食道科学会総会・学術講演会, 京都, 2005.11.17-18
- ・福田宏之 (司会, 座長)：シンポジウム 喉頭癌における音声保存再建, 第16回日本気管食道科学会認定医大会, 東京, 2006.2.18-19
- ・Fukuda H：High-risk lesion of the larynx, Round table discussion Premalignant lesions, 18th IFOS World Congress, Rome, 25-30, 2005.6
- ・楠山敏行：(一般演題) 音声障害症例の検討, 第3回アジア頭頸部外科学会, 東京, 2005.7.2
- ・楠山敏行, 藤本裕一, 佐藤麻美：(一般演題) 声帯結節の治療法の検討, 第50回日本音声言語医学会, 横浜, 2005.10.28

#### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・楠山敏行：日本気管食道科学会 (専門医) (評議員), 日本音声言語医学会 (評議員, 幹事), 日本喉頭科学会 (幹事), 日本耳鼻咽喉科学会 (専門医), 日本耳鼻咽喉科学会東京都地方部会 (予備代議員)

## センター（臨床医学研究センター）

化学療法研究所附属病院

### 著書

- ・ 小中千守：MOOK肺癌の臨床，喀痰細胞診の精度と展望，39-46，篠原出版新社，2005.4

### 原著論文

- ・ Furukawa K, Kato H, Konaka C, Okunaka T, Usuda J, Ebihara Y : Locally Recurrent Central-Type Early Stage Lung Cancer <1.0cm in Diameter After Complete Remission by Photodynamic Therapy, CHEST, 128(5), 3269-3275, 2005.11

### 総説

- ・ 小中千守，八島孝一，村上哲朗，山川雅之：インフォームドコンセント時代の癌治療，埼玉県医学会雑誌，39(1)，93-94，2005.9

### 講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 小中千守：呼吸器 I，第3回細胞診断セミナー，全共連ビル，東京，2005.8.19

### 学会発表

- ・ 小中千守（座長）：ワークショップ気管支鏡検査の安全対策，第28回日本呼吸器内視鏡学会総会，京王プラザホテル，東京，2005.6.10
- ・ 小中千守（座長）：（一般口演）縦隔腫瘍，第22回日本呼吸器外科学会総会，京都国際会館，京都，2005.6.3
- ・ Konaka C（座長）：Oral PDT，16th ISLSM，京王プラザホテル，東京，2005.9.9
- ・ 小中千守（座長）：（一般演題）症例，稀な経過，第46回日本肺癌学会総会，幕張メッセ，千葉，2005.11.25
- ・ 小中千守（座長）：診断，第13回日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医大会，大阪国際交流センター，大阪，2006.2.18
- ・ 小中千守（会長）：第115回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会，京王プラザホテル，東京，2005.12.17

### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 小中千守：日本外科学（指導医，専門医），日本胸部外科学会（指導医）（評議員），日本呼吸器外科学会（専門医）（評議員），日本呼吸器内視鏡学会（専門医，指導医）（評議員），日本呼吸器学会（専門医，指導医），日本臨床細胞学会（専門医，指導医）（評議員），日本レーザー医学会（指導医）（理事），日本肺癌学会（評議員），日本気管食道科学会（評議員），日本臨床外科学会，日本癌治療学会，日本外科系連合学会（評議員），日本癌学会，日本内視鏡外科学会，日本乳癌学会（認定医），日本サイトメトリー学会（評議員），米国胸部疾患学会（FCCP），国際臨床細胞学会（Cytopathologist）（FLAC），世界肺癌学会，国際気管支学会，国際レーザー医学会，国際光線力学学会
- ・ 佐々木孝逸：日本内科学会，日本呼吸器学会，日本気管支内視鏡学会，日本肺癌学会，日本救急医学会，日本結核病学会，日本臨床血液学会

## センター（語学教育センター）

### 著書

- ・ 田中美子, 南井紀子, 宮崎路子 : English for Co-medical Professionals+カセットテープ2本, 国際医療福祉大学, 2005.4
- ・ Charles Kevin Dobbs (Japanese Worker's Committee) : People's Voices From Japan, Human Rights, 27-28, Social Council of the United Nations, 2005.8

### 原著論文

- ・ Charles Kevin Dobbs : The Too-Beautiful Hu Lang, Karumu, Eastern Illinois University, XIX(2), 99-107, 2005.4
- ・ 宮崎路子 : 栃木の英学—明治21年来栖のジー・ホルムスを中心に, 東日本英学史研究, 5, 81-86, 2006.3

### 総説

- ・ Charles Kevin Dobbs : To the Few Chinese at Dachau, Maverick Magazine, San Francisco, 12(13), 2005.4
- ・ Charles Kevin Dobbs : Children's Hospital, Chang Chun, Maverick Magazine, San Francisco, 12, 14, 2005.4
- ・ Charles Kevin Dobbs : COCA COLA IN THE CHANG CHUN CHILDREN'S HOSPITAL, 1991, Maverick Magazine, San Francisco, 12, 15, 2005.4

### 学会発表

- ・ 田中美子, 南井紀子, 宮崎路子 : 医療福祉系大学における効果的英語教育, 外国語教育メディア学会第45回全国研究大会, 東京国際大学, 埼玉県川越市, 2005.7.30
- ・ 飛田ルミ, 国吉初美, 宮崎路子 : Utterance Improvement Using Voice-recognition Software, APAMALL 2005 and ROCMELIA 2005, 昆山科学技術大学, 台湾, 台南市, 2005.12.10
- ・ 植田麻実 : Student Input and Collaborative Learning: An Action Research Study, 日本実用英語学会, 早稲田大学, 東京都新宿区, 2006.1.14

### 研究助成金（文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金）

- ・ 田中美子, 南井紀子, 宮崎路子, 植田麻実, 千葉礼子 : コメディカル大学における英語教育のニーズアナリシスに基づくカリキュラム開発, 日本学術振興会, 基盤研究 (C) , 17520393, 採択
- ・ 田中美子 : 教育・学習方法等改善, 文部科学省, 経常費, 14E0043, 継続

### 学会役員・学会認定資格・学会役員等

- ・ 田中美子 : 外国語教育メディア学会LET (団体会員代表者), Teachers of English to Speakers of Other Language TESOL, 国際平和教育学会IPE (組織委員 (日本代表)), 大学英語教育学会(JACET), 全国語学教育学会(JALT), アメリカ学会(JAAS)
- ・ 宮崎路子 : 日本英学史学会 (東日本支部役員 (会計)), 日本実用英語学会 (JAPE), 大学英語教育学会 (JACET), Teaching English to Speakers of Other Languages (TESOL), 関東甲信越英語教育学会 (KATE), 外国語教育メディア学会 (LET), 国際ユーモア学会 (ISHS)
- ・ 植田麻実 : 日本実用英語学会, 大学英語教育学会, 全国語学教育学会
- ・ G.C.コータ : JALT (Japan Association of Language Teachers)
- ・ 千葉礼子 : 日本中世英語英文学会東支部学会, 都立大学中世英語英文学研究会

## センター（総合教育センター）

### 総説

- ・ 小林真理子：書評，岸本寛史著「緩和のこころ」，精神療法，31(2)，106，2005.4
- ・ 小林真理子：思春期の発達危機と家族－自立と依存のはざまで－，子育て応援メッセージ，NPO法人キッズシェルター報告書，2，36-43，2005.4
- ・ 小林真理子：描画を用いた子どもとのかかわり，とちぎ子どもレポート，31，1-2，2006.1
- ・ 小林真理子：子どものこころの発達－乳幼児期の母子関係－，子育て応援メッセージ，NPO法人キッズシェルター報告書，3，32-40，2006.3
- ・ 森田野百合，小林真理子：カナダ発の新しい親教育プログラム，Nobody's Perfect講座，子育て応援メッセージ，NPO法人キッズシェルター報告書，3，45-48，2006.3

### 研究報告

- ・ 小林真理子：学校臨床における描画を通してのアプローチ－母と子の間をつなぐこと－，遊戯療法学研究，4(1)，23-32，2006.1

### 講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 小林真理子：子どもの心の発達と家族－小学生の子どもをもつ親として何が出来るか－，西小学校PTA研修会，高根沢町立西小学校，高根沢町，2005.6.13
- ・ 小林真理子：児童期の子どもの心の発達と家族，大山小学校PTA講演会，大山小学校，那須塩原市，2005.6.23
- ・ 小林真理子：思春期の発達危機と家族－自立と依存のはざまで－，黒田原中学校PTA教育講演会，黒田原中学校，那須町，2005.7.12
- ・ 小林真理子：教育相談のあり方，須賀川中学校職員研修会，須賀川中学校，黒羽町，2005.7.14
- ・ 小林真理子：被虐待児のプレイセラピー，金町慈友クリニック研究会，金町慈友クリニック，東京，2005.7.30
- ・ 小林真理子：子どもの心の発達と家族，NPO法人キッズシェルター子育て支援セミナー，大山公民館，那須塩原市，2005.8.3
- ・ 小林真理子：学校における危機対応と心のケア，東原小学校PTA研修会，東原小学校，那須塩原市，2005.12.7
- ・ 小林真理子：最近の大学生の心理的特徴－実習をめぐる問題を中心に－，国際医療福祉大学理学療法学科研修会，国際医療福祉大学，大田原市，2006.1.11
- ・ 小林真理子：子どものこころの発達と家族－今，親にできること－，那須塩原市南公民館教育講演会，南公民館，那須塩原市，2006.2.26

### 学会発表

- ・ 木下愛子，小林真理子：統合型HTP法の学生相談室での臨床的適用・その3，日本心理臨床学会第24回大会，国立京都国際会館，京都，2005.9.7
- ・ 小林真理子（座長）：学校不適応を起こした生徒への関わり，日本心理臨床学会第24回大会，国立京都国際会館，京都，2005.9.7

### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 森田耕喜：日本哲学会，日本ヘーゲル学会，西田幾多郎学会，独文学会，臨床死生学会

- ・ 小林真理子：日本心理臨床学会，日本遊戯療法学会，日本芸術療法学会，FOUR WINDS 乳幼児精神保健学会

## センター（国際交流センター）

### 著書

- ・ 伊藤孝恵：お茶の水女子大学日本語文化学会（編），共生時代を生きる日本語教育一言語学博士上野田鶴子先生古稀記念論集一，国際結婚夫婦の相互理解と共生一価値観と習慣を切り口にして一，326-346，凡人社，2005.11

### 原著論文

- ・ 伊藤孝恵：国際結婚夫婦の相互理解と共生，山梨大学留学生センター紀要『言葉の学び，文化の交流』，1，2006.3

### 総説

- ・ 陳霞芬：日本の護理現状及質量評価，現代護理報（Modern Nursing News），総第534期，国際セッション，2005.8.2

### 講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ Chen X：Current status and evaluation of nursing in Japan，2005 International Nursing Development Form，Middle Conference Hall of Wuxi People's Great Hall，Wu Xi CHina，2005.7.10

### 学会発表

- ・ Li F, Chen X：The Characteristic and Role of Chinese traditional Medicine，The 10th Asian Congress of Agricultural Medicine and Rural Health，Hotel New Okabe，Tochigi Japan，2005.11.25
- ・ Tsunoda M, Chen X：Effects of Fluoride on Murine Macrophage Cells(II):Analysis of Cytokines By real-Time PCR and Elisa，XXVIth ISFR CONFERENCE，Wiesbaden，Germany，2005.9.26

### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 陳霞芬：日本病院管理学会，日本公衆衛生学会，日本産業衛生学会，日本ストレス学会，栃木県マネジメント学会
- ・ 渡辺晴世：日本語教育学会
- ・ 石鍋 浩：日本語教育学会，日本教育工学会，専門日本語教育学会

## 国際医療福祉大学大学院

### 著書

- ・ 開原成允，樋口範夫（編著）：医療の個人情報保護とセキュリティ（改定2版），有斐閣，2005.5
- ・ 北村 諭，開原成允（監修）：コメディカルのための専門基礎分野テキスト（全10冊），中外医学社，2005.12
- ・ 大熊由紀子，開原成允，服部洋一（編著）：患者の声を医療に生かす，なぜ患者の声を聞くのか，医学書院，2006.2
- ・ 梅内拓生：国際保健医療学，プライマリ・ヘルスケア，113-121，杏林書院，2006.3

- ・ 樋渡正夫：看護のための最新医学講座循環器疾患 [第2版]，高血圧性緊急症，中山書店，2005
- ・ 樋渡正夫：リハビリテーション医学—改訂第二版—，内部疾患，南江堂，2005
- ・ Neumann K, 月城慶一, 山本澄子, 江原義弘 他1名 (訳)：観察による歩行分析，医学書院，2005.5
- ・ 湯沢八江 (分担執筆)：ベストプラクティスNew感染管理ナーシング，在宅での感染とその管理高齢者介護施設での感染とその管理，228-236，学研，2006.3
- ・ 和田 勝 (編著)：介護保険の手引，全般，0-406，ぎょうせい，2006.2
- ・ 和田 勝 (編著)：医学一般，医療保障，259-277，全国社会福祉協議会，2006.2
- ・ 木村哲彦 (監修)：生活環境論 (改)，福祉用具の活用 分担，356-360，医歯薬出版，2005.12
- ・ 木村哲彦 (監修)：整形外科教科書 (改II)，総論 分担，17-27，南山堂，2006.1.20
- ・ 木村哲彦 (監修)：イラストによる安全な介助の手引き二版 (改)，TAISシステムの活用分担，168-178，医歯薬出版，2005.7
- ・ 木村哲彦 (分担)：糖尿病の最新医療，フィットネス機器「ジョーバ」の開発と生理学的効果，337-342，先端医療技術研究所，2005.4
- ・ 木村哲彦 (分担)：形態別介護技術，総論 分担，2-8，中央法規，2006.1.20
- ・ 松下年子, 千種あや (分担執筆)：患者の声を医療に生かす，日本の患者会をとりまく状況，186-189，医学書院，2006.2
- ・ 中原綾子 (講演記録)：(シンポジウム) 記録治験の国際化に向けて，CRCから見た治験へのやる気，146，メディカル・パブリケーションズ，2005.11
- ・ 小沢愉理, 高嶋幸男：呼吸の事典，乳幼児突然死症候群，313-324，朝倉書店，2006.1
- ・ 安德恭演 (著)：PT, OT, STのための神経内科学，メディカ出版，2006.1
- ・ 江口有一郎, 山本匡介：消化器疾患診療実践ガイド，脂肪肝 fatty liver，691-694，文光堂，2005.10.1

## 原著論文

- ・ 開原成允 (医療福祉経営審査機構)：医療機関債についての一試案，病院，64(3)，219-224，(2005.3)
- ・ 開原成允, 高橋加代子, 外山比南子, 西川俊哉, 高橋 泰, 阿曾沼元博：ケースシミュレーションと交渉技術を用いた病院経営教育—病院管理者への情報技術教育の一環として—，病院，64(9)，751-754，2005.9
- ・ 開原成允, 亀田俊忠, 芝田佳樹, 平井健二, 菊池浩人, 塚田 智, 西山孝之, 阿南 誠, 平良奈緒子：患者にも医療関係者にもわかりやすい新書式保険点数表の提案，社会保険旬報，2253，6-9，2005.8.21
- ・ 藤本 幹, 鎌倉矩子 他2名：重症心身障害児の主養育者である父親の抱く子ども観の分析，作業療法ジャーナル，39(4)，349-355，2005.4
- ・ 山崎せつ子, 鎌倉矩子：与えられた玩具で遊ぶ健常乳幼児の行為にみられる継続性—Nちゃんの生後6ヶ月から生後18ヶ月まで—，作業療法，24(5)，376-385，2005.8
- ・ 鈴木 宏, 五十嵐久美子, 梅内拓生 他5名：ザンビアにおける小児疾病の包括医療感染症(IMCI)活動の現状—community IMCIからGMP+(Growth Monitoring Programme Plus)へ—，小児感染免疫，17(2)，117-123，2005.7
- ・ 本田文子, 梅内拓生, 三浦宏子, 濱田 彰, 坂野昌司：フィリピンでの家庭の疾病治療にかかる財政費用に関する研究，日本公衆衛生雑誌，52(7)，639-651，2005.7
- ・ 武藤久司, 田中 繁 他：介護予防3 茨城北西総合リハセンターでのパワーリハの開始とこの間の効果について，パワーリハビリテーション，4，2005.10
- ・ Yamamoto S, Hagiwara A, Mizobe T et al.：Development of an ankle-foot orthosis with an oil damper，Prosthetics and Orthotics International，29(3)，209-219，2005.12

- ・ 櫻井愛子, 山本澄子, 田澤英二 : 短下肢装具の背屈制動機能が片麻痺者の歩行に与える影響, 理学療法学, 32(7), 406-415, 2005.12
- ・ 渡邊カヨ子, 湯沢八江 : 気管内挿管・人工呼吸器管理に関わる看護師の裁量範囲と実践力・望む裁量範囲との関連, 日本看護管理学会誌, 9(2), 41-49, 2006.3
- ・ 田中俊一, Utsunomiya H, Yamakawa T, Kamei J 他2名 : Anti-hyperglycemic effects of plum in a rat model of obesity and type 2 diabetes, Wistar fatty rat, Biomedical Res., 26, 193-200, 2005
- ・ Kojima S, Funahashi T, Kitagawa A 他11名 : Levels of the adipocyte-derived plasma protein, adiponectin, have a close relationship with atheroma., Thromb Res., 115(6), 483-490, 2005
- ・ Matsushita T, Matsushima E, Maruyama M : Psychological state, QOL(quality of life), and coping style in patients with digestive cancer, General Hospital Psychiatry, 27(2), 125-132, 2005.4
- ・ Matsushita T, Matsushima E, Maruyama M : Anxiety and depression of patients with digestive cancer, Psychiatry and Clinical Neurosciences, 59(5), 576-583, 2005.10
- ・ 松下年子, 村田比奈子, 松島英介 他 : 手術を受ける婦人科腫瘍患者の心理特性とコーピング, 総合病院精神医学, 17(2), 170-179, 2005.5
- ・ 松下年子, 村田比奈子, 松島英介 他 : 手術を受ける婦人科腫瘍患者のQOL, 臨床婦人科産科, 59(6), 919-925, 2005.6
- ・ 松下年子, 松島英介 : 手術を受ける消化器癌患者の不安, 抑うつおよびQOL(Quality of life)と対処行動の関連, 東京保健科学学会誌, 8(1), 5-14, 2005.6
- ・ 松下年子, 渡辺雅美, 本山二三 他 : 精神科急性期治療病棟における入院期間および看護ケア量を規定する因子について, 臨床精神医学, 34(8), 1067-1072, 2005.8
- ・ 松下年子, 大木友美, 濱島 央 他 : 外科的治療を受ける患者のSOC (Sense of Coherence) , 総合病院精神医学, 17(3), 278-286, 2005.9
- ・ 松下年子, 濱島 央, 松島英介 : 癌患者の心理特性とSOC (Sense of Coherence) , 日本社会精神医学会雑誌, 14(2), 171-178, 2005.10
- ・ Furuta A, Takashima S, Yokoo H 他3名 : Expression of glutamate transporter subtypes during normal corticogenesis and type II lissencephaly, Develop Brain Res, 155, 155-164, 2005
- ・ Ichinohe A, Takahashi K, Takashima S 他1名 : Early and late development of Notch 3 in human brains, Neuroembryology, 3, 13-18, 2005
- ・ Takashima S, Ichinohe A, Itoh M : Pathogenesis and prevention of pontosubicular necrosis, Neuroembryology, 3, 42-46, 2005
- ・ Ichinohe A, Kanaumi T, Takashima S 他3名 : Cystathionine  $\beta$ -synthase is enriched in the brains of Down's patients, Biochemical and Biophysical Research Communications, 338, 1547-1550, 2005.12
- ・ 小沢愉理, 高嶋幸男, 多田 裕 : SIDSの病因における脳病理からアプローチ, 日本SIDS学会誌, 5, 38-44, 2005
- ・ Mizuta T, Ozaki I, Yamamoto K 他4名 : The effect of menatetrenone, a vitamin K2 analog, on disease recurrence and survival in patients with hepatocellular carcinoma after curative treatment, Cancer, 106, 867-872, 2006
- ・ 野見山真理, 小島加代子 他3名 : 子宮腔癒着症のAFS分類別治療成績, 日本産科婦人科内視鏡学会雑誌, 21(2), 395-399, 2005.12
- ・ Sakamoto T, Hara M, Yamamoto K 他12名 : Influence of alcohol consumption and gene polymorphisms of ADH2 and ALDH2 on hepatocellular carcinoma in a Japanese population, Int.J.Cancer, 118, 1501-1507, 2006

## 総説

- ・ 開原成允：医療情報の開示による医療の変化，都市問題研究，57(8)，3-13，2005.8
- ・ 開原成允：医療における個人情報の保護と情報管理，全国自治体病院協議会雑誌，44(11)，27-39，2005.11
- ・ 鎌倉矩子：手よーこの，世界への接点，作業療法，24(5)，456-460，2005.10
- ・ 山本澄子：下肢装具のEBM，日本義肢装具学会誌，21(4)，239-247，2005.10
- ・ 山本澄子：義肢装具士教育の現状と将来展望，リハビリテーション，429，32-35，2005.12
- ・ Newmann K, 月城慶一, 山本澄子 (訳)：観察による歩行分析ー筋活動とバイオメカニクスー，総合リハビリテーション，34(2)，107-116，2006.2
- ・ 山本澄子, 月城慶一：歩行分析による義肢装具の適応・調節の評価，総合リハビリテーション，34(2)，133-140，2006.2
- ・ 田中俊一：速効型インスリン分泌促進薬，総合臨床，54(7)，2005
- ・ 松下年子, 松島英介：癌患者のQOLの軌道ー自記式質問紙 (EORTC QLQ) を用いた癌患者のQOL調査から (その2) ー，精神科「リエゾンと緩和」，6(4)，389-395，2005.4.28
- ・ 松下年子, 松島英介：術後せん妄の予測と評価：各種評価スケールによる評価の妥当性，ICUとCCU「術後せん妄を考える」，29(6)，447-454，2005.6.10
- ・ 松下年子：米国におけるアディクション医療とアディクション看護師の役割ー米国アディクション看護視察研修報告ー，日本アディクション看護学会学会誌，2(2)，76-107，2005.5.31
- ・ 福島範子, 山本匡介：血清脂質の読み方，臨床と研究，83(2)，183-187，2006.2

## 研究報告

- ・ 田中 繁：平成17年度 経済産業省委託「再委託調査研究成果報告書（移動補助具分野の国際規格適正化調査研究）」，日本福祉用具・生活支援用具協会，2006.3
- ・ 田中 繁：経済産業省委託「福祉用具のJIS規格作成人材育成事業報告書」，日本福祉用具・生活支援用具協会，2006.3
- ・ 田中 繁：経済産業省委託「福祉用具のJIS規格作成指針に関する調査研究」，日本福祉用具・生活支援用具協会，2006.3.20
- ・ 田中 繁：平成17年度 経済産業省委託「福祉用具ライフサイクルマネジメントの標準化に関する調査研究報告書」，日本福祉用具・生活支援用具協会，2006.3
- ・ 田中 繁：厚生労働省委託「公的給付における福祉用具評価システムに関する調査研究報告書」，財団法人テクノエイド協会，2006.3.31
- ・ 足立 啓, 湯沢八江：従来型施設における痴呆性高齢者環境支援指針の適用による環境改善手法の開発と効果の多面的評価，厚生労働省，2005.4.1
- ・ 湯沢八江, 松下年子, 島田千穂：特別養護老人ホームにおける感染管理ーユニット型と従来型施設を対象とした実態調査ー，厚生労働省，2005.9.1
- ・ 辻 明良, 湯沢八江：高齢者介護施設における感染管理のあり方に関する研究，厚生労働省，2005.4.1
- ・ 岩下清子 他：医療機関の訪問看護等在宅医療の実態調査，日本訪問看護振興財団を通して厚生労働省に報告書提出，2005.11
- ・ 外口玉子, 岩下清子, 島田千穂 他：日本型保健医療システムにおける小規模多機能サービス事業体の機能と役割の再評価とその定着・発展に向けた要件の明確化，及び施策化にともなう課題に関する研究，ファイザーヘルスリサーチ振興財団，2005.12

- ・四宮葉一, 木村哲彦: 膝周囲筋の筋収縮を誘発させる他動訓練機の開発, 生活支援工学会誌, 5(1), 19-27, 2005.12.8
- ・越智和弘, 木村哲彦: 脚部他動訓練の膝痛患者への適応, リハビリテーションネットワーク研究, 2(2), 57-62, 2005.7.1
- ・越智和弘, 木村哲彦: 膝関節の剪断力を低減した脚部他動訓練機の開発とその臨床効果, 産総研ジェロンテクノロジー研究フォーラム, Proceeding, 33-36, 2005.12.16
- ・木村哲彦, 太田久彦: 回復期リハビリテーション病院における他職種情報伝達に関する質的研究, 医療情報学会連合大会論文集, 1(25), 1088-1090, 2005.11.23
- ・Ozawa T, Kimura T: Development of passive Exercise Training Equipment for leg exercise without leg pain, AFMS, Proceeding, 2005.5
- ・越智和弘, 木村哲彦: 膝周囲筋の等尺性筋収縮を誘導可能な他動訓練機の膝関節痛及び大腿筋痛への応用, ライフサポート学会, 論文集, 2005.12.5
- ・Ishida K, Kimura T: Validation of passive exercise equipment for improvement of Insulin sensitivity, Gerontology, Proceeding, 2005.5
- ・木村哲彦, 小林順子: 回復期リハビリテーション病院における他職種情報伝達の定量的分析, 医療情報学会連合大会論文集, 1(25), 1086-1087, 2005.11.23
- ・木村哲彦, 越智和弘: 等尺性筋収縮を誘発する簡易型他動訓練機の開発と評価, 日本ロボット学会学術集会論文集, 23, J:26, 2005.9.15
- ・木村哲彦, 四宮葉一: 乗馬ロボット・家庭用「ジョーバ」の有用性 体幹・下肢筋力改善と平衡感覚の改善, 運動療法と物理療法, 16(2), 97, 2005.6.16
- ・木村哲彦, 越智和弘: 膝周囲筋の等尺性筋収縮を誘導可能な他動訓練機の膝関節への効果, 17年度中国四国リハビリテーション医学研究会論文集, 2005.12.8
- ・四宮葉一, 木村哲彦: 他動的自動運動誘発器の運動負荷評価, 生体医工学シンポジウム, 論文集, 2005.9
- ・東郷真紀, 長田春美, 松下年子 他: 「エステティック・プログラム」の実践報告ー慢性期病棟への導入ー, 第11回精神科リハビリテーション看護学会誌, 91-95, 2005.8.10
- ・根間真一, 松下年子, 大林領子 他: 精神科デイ・ケア通所者における喫煙・飲酒行動, 日本アディクション看護学会学会誌, 2(2), 70-75, 2005.5.31
- ・山本匡介: 肝癌再発予防におけるビタミンK<sub>2</sub>の臨床および基礎的検討, 日本未病システム学会雑誌, 11(1), 2005

#### 講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・開原成允: 病名の標準化, 疾病管理研究会, 学士会館, 東京, 2005.5.15
- ・開原成允: 個人情報保護法に対する病院の対応, 日本病院会, 国際会議場, 名古屋, 2005.7.18
- ・開原成允: シンポジウム「褥創と法制」学会発表と個人情報保護, 日本褥創学会, 横浜パシフィコ, 横浜市, 2005.8.26
- ・開原成允: シンポジウム「混合診療」混合診療を見る視点, 日本眼科医会総会, 札幌市民会館, 札幌市, 2005.10.8
- ・鎌倉矩子: 教育講演 手よーこの, 世界への接点, 第39回日本作業療法学会, つくば国際会議場, つくば市, 2005.6.23
- ・梅内拓生: ザンビア・プライマリ・ヘルスケア, 日本国際協力機構 (JICA), JICA国際協力総合研究所, 東京, 2005.5
- ・田中 繁: 福祉用具開発における医療系大学と企業の協力, 技術・資源フォーメーション支援事業, 栃木県中小企業団体中央会, 2005.11.11

- ・ 樋渡正夫：リハビリテーションの諸問題，宮城県塩竈市医師会講演会，宮城県塩竈市，宮城県，2005.5
- ・ 樋渡正夫：ドーピングコントロール内科的疾患の問題，日本サッカー協会指導者講習会，福島県Jヴィレッジ，2005.9
- ・ 樋渡正夫：ドーピングコントロール内科的疾患の問題，日本サッカー協会指導者講習会，福岡県宗像市，2005.12
- ・ 樋渡正夫：サッカー選手の内科的管理，日本サッカー協会ドクターズセミナー，宮城県仙台市，2005.10
- ・ 樋渡正夫：救急処置法，宮城県体育協会講習会，宮城県仙台市，2005.7
- ・ 山本澄子：脳卒中片麻痺者の動作分析－脳卒中片麻痺者に必要なAFOの機能とは－，歩行分析研究会大東セミナー，川村義肢株式会社，大阪府大東市，2005.4.16-17
- ・ 山本澄子：福祉用具へのアプローチ役立つ福祉用具開発と普及をめざして－，とちぎ青年経済人会議，ホテル丸治，栃木県宇都宮市，2005.6.15
- ・ 山本澄子：人の足，装具歩行，リハビリテーション工学協会義肢装具SIG，佐賀市民会館，佐賀県佐賀市，2005.8.31
- ・ 山本澄子：自分の足が戻ってきたみたい，いきいきライフフェスタ，国際医療福祉大学，栃木県大田原市，2005.10.15
- ・ 山本澄子：役立つ福祉用具開発と普及をめざして，産業技術振興交流会，国際医療福祉大学，栃木県大田原市，2005.11.11
- ・ 山本澄子：GaitSolutionの最新情報，日本義肢装具学会学術大会マニュファクチュアラーズプレゼンテーション，静岡グランシップ，静岡県静岡市，2005.11.19
- ・ 山本澄子：片麻痺者のためのAFOの開発，パシフィックサブライセミナー，タイム24ビル，東京都江東区，2005.11.26-27
- ・ 山本澄子：歩行分析による義肢装具の適応・調整の評価，臨床歩行分析研究会定例会，藤田保健衛生大学，愛知県豊明市，2005.12.12
- ・ 山本澄子：バイオメカニクスの基礎と片麻痺者の歩行，誠愛リハビリテーション病院研修会，誠愛リハビリテーション病院，福岡県大野城市，2006.1.7-9
- ・ 山本澄子：バイオメカニクスからみた片麻痺者のための短下肢装具，初台リハビリテーション病院研修会，初台リハビリテーション病院，東京都渋谷区，2006.1.27
- ・ 湯沢八江：看護の専門性，栃木県看護協会学術集会，栃木教育会館，宇都宮，2005.11
- ・ 湯沢八江：看護研究講評，国際医療福祉大学関連病院看護研修会，乃木坂ホール，東京，2006.2.18
- ・ 和田 勝：医療制度改革，関節リュウマチ学会，品川プリンスホテル，品川区，2005.11
- ・ 和田 勝：社会保障改革，京都大学大学院医学系研究科，京都市，2005.11
- ・ 和田 勝：薬価基準制度のあり方，中医協支払い側委員研究会，健保連，港区，2005.8
- ・ 木村哲彦：福祉機器の開発課題，立命館大学シンポジウム，琵琶湖キャンパス，滋賀県，2005.5.4
- ・ 木村哲彦：医療福祉工学専門職員養成に関する医・工連携教育のニーズ，生活支援工学会シンポジウム，東京電機大学，東京都，2005.6
- ・ 木村哲彦：健康寿命延伸と介護予防，社会福祉協議会 教育講演，浦和ロイヤルパインズホテル，埼玉県浦和，2005.4.15
- ・ 木村哲彦：地域リハビリテーションネットワークと高齢者を取り巻く医療環境，静岡県リハビリテーション研究プロジェクト，KKRホテル熱海，静岡県熱海，2005.9.15
- ・ 木村哲彦：地域リハビリテーションCRNのあり方，バイオフィリアリハビリテーション学会 基調講演，慶応大学，神奈川県藤沢市，2005.8.4
- ・ 木村哲彦：Welfare equipment for the Disabled（国際教育講演），中災防（厚労省），国際研修センター，東京都田町，2005.9.18

- ・ 田中俊一：医療機関とSMO，厚生労働省，東京，2005.9.9
- ・ 田中俊一：医師に必要な治験の知識－治験責任医師の要件と責務－，琉球大学大学院医学系研究科，琉球大学（臨床講義棟），沖縄県，2005.9.28
- ・ 北川 明：治験に対する薬剤師の貢献，医療薬学会，岡山コンベンションセンター，岡山，2005.10.2
- ・ 北川 明：治験の効率化は大学病院から始まる，熊本大学，熊本ニューオオタニホテル，熊本，2006.2.27
- ・ 松下年子：アディクション看護の現状－欧米と日本の比較－，日本アディクション看護学会第4回学術大会 大会長講演，江戸川区総合区民ホール「タワーホール船堀」，東京，2005.12.10
- ・ 高嶋幸男：こどもの健やかな発達：障害の早期発見と療育，広島小児科医会，広島，2006.2.7
- ・ 高嶋幸男：重症児（者）の健やかな生活向上と老化，第28回九州地区重症心身医学研究会，別府，2006.3.11
- ・ 高嶋幸男，小沢愉理，小保内俊雅：乳児突然死症候群の病理：神経伝達機構の発達異常を中心に，第50回未熟児新生児学会，名古屋，2005.12.4
- ・ 安徳恭演：神経難病の理解，難病相談従事者研修会，えーるピア久留米，久留米市，2005.12.13
- ・ 池崎清信：医療福祉・医療保険制度などの同時通訳のこつ，第19回日本脳神経外科同時通訳夏季研修会，松本文化会館，長野県松本市，2005.7.19
- ・ 大橋昌夫，藤松里美：1型糖尿病の治療経過中にSIADHを合併した一例，第43回日本糖尿病学会九州地方会，熊本，2005.10.14

## 学会発表

- ・ 岡村世里奈，島田千穂，開原成允：経営・運営の変化が医療及び医療機関に与える影響に関する研究－国立病院移譲を例として－，第43回日本病院管理学会，ホテルオークラ，東京，2005.10.27
- ・ 内山康子，開原成允：診療科の名称の標準化に関する一考察，第43回日本病院管理学会，ホテルオークラ，東京，2005.10.27
- ・ 千種あや，開原成允，島田千穂，松下年子，服部洋一：日本の医療において患者会が果たす機能－実態の把握と可能性の追求－，第43回日本病院管理学会，ホテルオークラ，東京，2005.10.28
- ・ 高橋加代子，外山比南子，中村勝弥，高橋 泰，開原成允：シミュレーションゲームを取り入れた病院経営の教育，第43回日本病院管理学会，ホテルオークラ，東京，2005.10.28
- ・ 中村勝弥，外山比南子，高橋加代子，高橋 泰，開原成允：医療機関における情報管理責任者（CIO）に求められるもの，第43回日本病院管理学会，ホテルオークラ，東京，2005.10.28
- ・ 開原成允（司会）：鼎談「草創期から今を振り返る」，日本医療情報学会，横浜パシフィコ，横浜市，2005.11.25
- ・ 開原成允（特別講演）：日本の医療改革と情報システムのあり方，第1回情報システム学会，東京国際大学早稲田キャンパス，東京，2005.11.26
- ・ 山鳥 重，鎌倉矩子（座長）：生活の中の認知障害，第28回日本神経心理学会学術集会，広島国際会議場，広島市，2005.9
- ・ 梅原貞臣，梅内拓生（座長）：健康概念とRational Drug Useの検討（1）－ストレス関連疾患について－，日本国際保健医療学会，東京大学山上会館，東京，2005.11.5
- ・ 高他武始，梅内拓生（座長）：健康概念とRational Drug Useの検討－生活習慣病について－，日本国際保健医療学会，東京大学山上会館，東京，2005.11.5
- ・ 泉田晃彦，梅内拓生：持続可能な開発評価の基礎的研究2－環境税導入国を中心とした経済・税・環境との関係の検討，日本評価学会，広島大学東千田町キャンパス，広島，2005.12.10
- ・ 高他武始，梅内拓生：保健医療薬剤政策評価の基礎研究（2）－循環器系薬剤を中心に－，日本評価学会，広島大学

東千田町キャンパス, 広島, 2005.12.10

- 梅原貞臣, 梅内拓生: 適切な医薬品使用に関する考察 (2) - ストレス関連疾患を取り上げて - , 日本評価学会, 広島大学東千田町キャンパス, 広島, 2005.12.10
- 正木朋也, 梅内拓生: ベキ法則に基づく健康と経済のマクロ指標を用いた政府開発援助政策評価法の基礎研究 (IV) , 日本評価学会, 広島大学東千田町キャンパス, 広島, 2005.12.10
- 高田恵子, 梅内拓生: 人間性教育と性教育評価の基礎 第2報 ~社会の動向, 性行動の動態と教育政策の検討~, 日本評価学会, 広島大学東千田町キャンパス, 広島, 2005.12.11
- 田中 繁: ISO/TC 173/WG 1/ meeting in Helsinki Finland, ISO/TC 173/WG 1/N-300 “Verification of the friction test for tips of Walking Aids” , 2005.5.30
- 田中 繁: ISO/TC 173/WG 1/ meeting in Oslo Norway, ISO/TC 173/WG 1/N-317 “Questions, coments, and answers about ISO/WD 24415-1” , 2005.10.10
- 田中 繁: ISO/TC 173/WG 1/ meeting in Oslo Norway, ISO/TC 173/WG 1/N-318 “The survey about the inclined tip angle for the friction test” , 2005.10.10
- 樋渡正夫: 最近のリハビリテーション治療, 栃木県北脳卒中研究会, 那須塩原市, 栃木県, 2005.10
- Takeda K, Hashimoto R, Hiwatari M et al. : Near-infrared spectroscopy for monitoring cerebral activation after hemiparetic stroke., Society for Neuroscience., Washington DC, USA, 2005.11
- 増子尚樹, 宮田幸雄, 樋渡正夫 他: 維持血液透析(HD)患者の骨密度と骨代謝関連血液パラメータの解析, 第51回日本透析医学会学術集会, 神奈川県横浜市, 2006.3
- 小泉一愉, 稲熊隆博, 樋渡正夫 他: トマトジュースの運動疲労軽減作用, 第13回運動生理学会, 東京都, 2005.7
- 山本澄子 (主催者): 第26回バイメカニズム学術講演会, 国際医療福祉大学, 栃木県大田原市, 2005.10.23-24
- 山本澄子 (座長): 歩行のセッション, 日本義肢装具学会, 静岡グランシップ, 静岡県静岡市, 2005.11.19
- Yuzawa Yae: Reevaluated elderly care insurance in Japan, Western Social Science Association, Albuquerque, NM, U.S.A., 2005.4.13
- 松下年子, 島田千穂, 湯沢八江: 特別養護老人ホームにおける感染対策-従来型とユニット型の比較から-, 第9回日本看護管理学会年次大会, 神戸ポートピアホテル, 神戸, 2005.8.19-20
- 松下年子, 島田千穂, 湯沢八江: 特別養護老人ホームにおける感染管理, 第64回日本公衆衛生学会, 札幌コンベンションセンター, 札幌, 2005.9.14-16
- 木村哲彦 (主催者): 基調講演: 高齢化社会と地域リハ, リハビリテーションネットワーク研究会, 日本医科大学橋桜開館, 東京, 2005.12.23
- 木村哲彦 (主催者): 基調講演 e項参照, Biophilia Rehabilitation 学会, 慶応湘南校舎 大講堂, 藤沢市, 2005.8.4
- 田中俊一, 菊地桂子, 菊地和人, 北川 明 他3名: 臨床試験の被験者スクリーニングにおけるInformation Technology(DBFocus)利用の有用性の検討, 第5回CRCと臨床試験のあり方を考える会議, パシフィコ横浜, 会議センター, 横浜市, 2005.10.16
- 田中俊一, 横橋佑子, 湯沢賢治, 鈴木君江 他6名: 電子CRFの使用経験と医療機関側からの評価 (第2報), 第5回CRCと臨床試験のあり方を考える会議, パシフィコ横浜, 会議センター, 横浜市, 2005.10.15-16
- 田中俊一, 山木輝彦, 麻生圭子, 北川 明 他4名: 治験参加の意思決定に係る要因の調査研究~被験者アンケートによる分析~, 第5回CRCと臨床試験のあり方を考える会議, パシフィコ横浜, 会議センター, 横浜市, 2005.10.15-16
- 田中俊一, 麻生圭子, 北川 明, 中原綾子 他3名: CRCのモチベーション維持に関する実態調査について, 第5回CRCと臨床試験のあり方を考える会議, パシフィコ横浜, 会議センター, 横浜市, 2005.10.15-16
- 田中俊一, 久野知佳子, 佐々木淳, 北川 明 他1名: 医師主導型多施設共同臨床試験の実態調査とCRCの位置づけ,

- 第5回CRCと臨床試験のあり方を考える会議，パシフィコ横浜，会議センター，横浜市，2005.10.15-16
- ・ 田中俊一，鈴木高弘，北川 明，中原綾子 他2名：遠隔データ収集システムを利用した被験者の家庭血圧動向調査，第5回CRCと臨床試験のあり方を考える会議，パシフィコ横浜，会議センター，横浜市，2005.10.15-16
  - ・ 田中俊一，阿部尚美，北川 明，中原綾子 他2名：医師主導型臨床試験における試験参加に及ぼす因子の検討，第5回CRCと臨床試験のあり方を考える会議，パシフィコ横浜，会議センター，横浜市，2005.10.15-16
  - ・ 田中俊一，山中順子，鈴木高弘，中原綾子 他3名：臨床試験に参加する被験者のコンプライアンスについて—特に高齢者における問題点の研究調査—，第5回CRCと臨床試験のあり方を考える会議，パシフィコ横浜，会議センター，横浜市，2005.10.15-16
  - ・ 田中俊一，野呂瀬紀子，団起志子，北川 明 他3名：Line-Oriented Flight Training(LOFT)をモチーフとした新しい治験コーディネーター教育システムの確立：シナリオの作成，第5回CRCと臨床試験のあり方を考える会議，パシフィコ横浜，会議センター，横浜市，2005.10.15-16
  - ・ 田中俊一，団起志子，野呂瀬紀子，北川 明 他4名：Crew Resource ManagementのLine Oriented Flight TrainingをモチーフにしたCRC教育の評価系の作成，第5回CRCと臨床試験のあり方を考える会議，パシフィコ横浜，会議センター，横浜市，2005.10.15-16
  - ・ 田中俊一，福與広太郎，福與健介，山崎友美 他10名：Fクリニックで実施した臨床試験における同意撤回及び中止・脱落症例の実態調査，第5回CRCと臨床試験のあり方を考える会議，パシフィコ横浜，会議センター，横浜市，2005.10.15-16
  - ・ 北川 明，中原綾子：新しいCRCの教育・トレーニング方法の開発の試み，臨床薬理学会，ビーコンプラザ，大分，2005.12.2
  - ・ 松下年子，小林未果，松島英介 他：長期入院治療を要する悪性疾患患児を抱えた母親のQOL，第18回日本サイコロジ学会総会，パシフィコ横浜，横浜，2005.6.30-7.2
  - ・ 河野裕太，丸山道夫，松下年子 他：消化器がん患者の退院後の心理的苦痛とセルフエフィカシー，第18回日本サイコロジ学会総会，パシフィコ横浜，横浜，2005.6.30-7.2
  - ・ 東郷真紀，長田春美，松下年子 他：「エステティック・プログラム」の実践報告—慢性期病棟への導入—，第11回精神科リハビリテーション看護，岡山コンベンションセンター，岡山，2005.9.1-2
  - ・ 桑江みちよ，長谷川志穂，松下年子 他：精神科治療病棟入院患者の本人が捉える親の養育態度，第48回日本病院地域精神医学会総会，アクロス福岡，福岡，2005.10.7-8
  - ・ 鎌田澄子，松下年子：精神障害者小規模作業所利用者の生活満足感と自尊感情，第21回日本精神衛生学会大会，秋田看護福祉大学，秋田，2005.10.8-9
  - ・ 小林未果，松島英介，松下年子 他：特別養護老人ホームにおける尊厳死に関する研究，第29回日本死の臨床研究会年次大会，山口市市民会館，ばるるプラザ山口，山口，2005.11.12-13
  - ・ 野口 海，松下年子，小林未果 他：中・小規模の一般病院（50床以上300床未満）における尊厳死についての意識調査，第29回日本死の臨床研究会年次大会，山口市市民会館，ばるるプラザ山口，山口，2005.11.12-13
  - ・ 伊藤美保，安積美保，松下年子 他：アルコール依存症者の喫煙行動，第4回日本アディクション看護学会学術大会，江戸川区総合区民ホール「タワーホール船堀」，東京，2005.12.10-11
  - ・ 小林未果，野口 海，松下年子 他：わが国の特別養護老人ホームにおける尊厳死に関する研究，第25回日本社会精神医学会，京王プラザ，東京，2006.2.23-24
  - ・ 野口 海，松下年子，小林未果 他：全国一般病院（50床以上300床未満）における尊厳死についての意識調査，第25回日本社会精神医学会，京王プラザ，東京，2006.2.23-24
  - ・ 新井清美，松下年子，伊藤美保：アルコール依存症者の喫煙行動とSOC(Sense of Coherence)，第25回日本社会精神医

- 学会, 京王プラザ, 東京, 2006.2.23-24
- ・ 中原綾子 (座長) : 逸脱の予防と方策, CRCと臨床試験のあり方会議, 横浜パシフィコ, 横浜市, 2005.10.15
  - ・ 中原綾子 : イブニングセミナー (認定試験問題解説), 日本臨床薬理学会, ビーコンプラザ, 別府市, 2005.12.3
  - ・ 横橋祐子, 中原綾子 他2名 : 治験におけるEDCの使用経験と医療機関側からの評価, 日本臨床薬理学会, ビーコンプラザ, 別府市, 2005.12.2
  - ・ 水口 雅, 伊藤雅之, 高嶋幸男 他3名 : 結節性硬化症モデル動物Ekerラットの大脳に発生した悪性脳腫瘍, 第46回日本神経病理学会, 宇都宮, 2005.5.12
  - ・ 金海武志, 一戸明子, 高嶋幸男 他2名 : ダウン症候群におけるCBSの加齢的発現, 第46回日本神経病理学会, 栃木県総合文化センター, 宇都宮, 2005.5.12
  - ・ 水口 雅, 伊藤雅之, 高嶋幸男 他3名 : 結節性硬化症のモデル動物Eckerラットの大脳病変, 第47回日本小児神経学会, 熊本, 2005.5.19
  - ・ 小財健一郎, 飯盛健生, 高嶋幸男 他2名 : Rett症候群は可逆性で線条体へのMeCP2遺伝子治療できる—MeCP2欠損マウスでの検討, 第47回日本小児神経学会, 熊本, 2005.5.19
  - ・ 金海武志, 高嶋幸男, 廣瀬伸一 他2名 : KCNQ2のヒト脳における年齢依存性発現, 第47回日本小児神経学会, 熊本, 2005.5.19
  - ・ 糸数直哉, 高嶋幸男, 長田陽一 他5名 : 電子記録カードを用いた療育システムと障害予防 : 1) 頭部画像, 第31回日本重症心身障害学会, 東京, 2005.9.29
  - ・ 高嶋幸男, 前田知己 : NICU長期入院児のQOL, 第47回九州新生児研究会, 別府, 2005.11.12
  - ・ 戸蒔 創, 高嶋幸男 : 新生児医療から見たSIDS, 第50回日本未熟児新生児学会, 名古屋, 2005.12.4
  - ・ 出口貴美子, 高嶋幸男, 井上 健 : 超早産児における神経系前駆細胞傷害と脳室周囲白質軟化症, 第50回日本未熟児新生児学会, 名古屋, 2005.12.4
  - ・ 和田直子, 刈茅 茂, 高嶋幸男 他2名 : 筑後地区の養護学校3校における, 医療的配慮を要する生徒の実態調査報告, 第437回日本小児科学会福岡地方会, 福岡, (2005.2.17)
  - ・ 糸数直哉, 瀬川芳恵, 高嶋幸男 他2名 : 入所者にみられた強い脳萎縮を示す4例の臨床的解析, 第28回九州地区重症心身医学研究会, 別府, (2005.3.11)
  - ・ Sakai T, Koike F, Antoku Y : A therapeutic strategy for spinocerebellar ataxias III, An open trial with Papaverine Hydrochloride, World Congress of Neurology, Sydney Convention Center, Australia, 2005.11.8
  - ・ 塚本浩介, 豊川智之, 井上和男, 山本廉毅, 三好裕司, 安德恭演, 薮野久法 : 赤血球膜ヘキサコサン酸と動脈硬化危険因子複合との関連, 循環器病予防学会, 横浜情報文化センター, 横浜市, 2005.5.27
  - ・ 小池文彦, 田中 良, 長山成美, 迫 香織, 大石裕之, 廣松聖夫, 酒井徹雄, 押田恭一, 塚本浩介, 安德恭演 : 脳血管障害と赤血球膜極長鎖脂肪酸に関する研究 : 第一報, 日本神経学会九州地方会, 福岡大学, 福岡市, 2005.9.17
  - ・ 池崎清信 (座長) : もやもや病, 第64回日本脳神経外科学会総会, パシフィコ横浜, 神奈川県横浜市, 2005.10.5
  - ・ 池崎清信 (座長) : セッション6 ; その他, 第20回日本脳神経外科国際学会フォーラム, 松本文化会館, 長野県松本市, 2005.7.18
  - ・ 池崎清信 (座長) : Cerebrovascular Disease, 9<sup>th</sup> Kyushu Young-Honam Neurosurgical Joint Meeting, The Republic of Korea, Busan, 2005.10.29
  - ・ 大野恵里, 江頭由佳子, 野見山真理, 小島加代子 他7名 : Day3不良胚1個移植における臨床報告, 第62回日本不妊学会九州支部会, アクロス福岡, 福岡市, 2005.4.17
  - ・ 眞崎暁子, 江頭由佳子, 野見山真理, 小島加代子 他7名 : Day3移植における年齢別1個移植の有用性, 第62回日本不妊学会九州支部会, アクロス福岡, 福岡市, 2005.4.17

- ・ 眞崎暁子, 江頭由佳子, 野見山真理, 小島加代子 他7名: Day3移植における年齢別1個移植の有用性, 第50回日本不妊学会, ニュースカイホテル, 熊本市, 2005.11.17-18
- ・ 中村忠治, 江頭由佳子, 野見山真理, 小島加代子 他7名: 初期胚の発生速度が胚発生に及ぼす影響, 第50回日本不妊学会, ニュースカイホテル, 熊本市, 2005.11.17-18
- ・ 水田敏彦, 前山豊明, 山本匡介: 佐賀県における肝疾患対策への取り組みと今後の展望, 第47回日本消化器病学会大会, ポートピアホテル, 兵庫県, 2005.10.8
- ・ 山本匡介 (座長): NASH, 第36回日本肝臓学会西部会講演, 鈴鹿サーキットフラワーガーデンホテル, 三重県, 2005.11.25-26
- ・ 水田敏彦, 江口有一郎, 山本匡介: C型慢性肝炎における耐糖能, インスリン感受性の解析, 第9回日本肝臓学会大会講演, ポートピアホテル, 兵庫県, 2005.10.5-6
- ・ 水田敏彦, 尾崎岩太, 山本匡介 他5名: Vitamin K2による肝癌細胞増殖抑制機序の解明, 第41回日本肝臓学会総会講演, 大阪国際会議場, 大阪, 2005.6.16-17
- ・ 尾崎岩太, 張 浩, 山本匡介 他6名: Programmed Cell Death 4 (PDCD4) 遺伝子はTGF- $\beta$  1による肝癌細胞のアポトーシス誘導に関与する, 第41回日本肝臓学会総会講演, 大阪国際会議場, 大阪, 2005.6.16-17
- ・ 高橋宏和, 水田敏彦, 山本匡介 他7名: C型慢性肝炎に対するribavirin+IFN療法における高用量vitaminE+C併用効果の検討, 第41回日本肝臓学会総会講演, 大阪国際会議場, 大阪, 2005.6.16-17
- ・ 野見山真理 (座長): 子宮鏡下手術後に妊娠成立したアッシャーマン症候群の1例, 福岡産婦人科内視鏡手術懇話会, 交通センタービル, 福岡市, 2005.4.16
- ・ 野見山真理: 子宮腔癒着症のAFS分類別治療成績, 日本産科婦人科内視鏡学会, 宝塚ホテル, 宝塚市, 2005.7.15-16

#### 研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

- ・ 開原成允: 製薬企業及び医療機関における日米EU医薬品規制調和会議 (ICH) 医薬品規制用語集の適用に関する研究, 厚生労働科学研究費補助金, 医薬品医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業, H16医薬-053, 継続
- ・ 開原成允, 上田慶二 (主任研究者) (分担): 国際的な動向を踏まえた医薬品の新たな有効性及び安全性評価に関する研究, 厚生労働科学研究費補助金, 医薬品医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業, H16医薬-004, 継続
- ・ 開原成允, 脊山洋右 (主任研究者) (分担): UMLSと連携した日本語医学用語シソーラスの研究, 厚生労働科学研究費補助金, 医療技術評価総合研究事業, H14-医療-036, 継続
- ・ 開原成允: ①医療情報の管理者育成のためのモデルプログラム開発事業②遠隔医療活用型管理人材育成事業, ①サービス産業人材育成事業②電源地域サービス産業人材育成事業, 単年度採択
- ・ 樋渡正夫: 高齢者の健康増進のための運動はどこまで強度を下けても有効か?, 日本学術振興会科学研究費, 基盤研究(C)(2), 16500351, 継続
- ・ 樋渡正夫: 運動時の疲労度に対する野菜ジュース摂取の影響に関する研究, リコピンなどのカルテノイドの抗アレルギー作用に関する研究, 産学共同研究研究助成金, 寄付金カゴメ (株), 採択
- ・ 窪田 聡, 山本澄子: 介護用ベッドの背上げ動作が身体に及ぼす影響, 日本科学協会, 継続
- ・ 足立 啓 (主任研究者), 湯沢八江 (分担研究者): 従来型施設における痴呆性高齢者環境支援指針の適用による環境改善手法の開発と効果の多面的評価, 厚生労働省科学研究費補助金長寿科学総合研究事業 痴呆・骨折臨床研究, H16-痴呆・骨折-007, 継続
- ・ 木村哲彦: 高齢者自身による地域リハビリテーション・ネット構築, (NPO) WAM 独立行政法人福祉医療機構, 17年単年, リハ

- ・木村哲彦：褥瘡対策未実施減算導入後の褥瘡に関する研究，文部科学省 科研費，17/18，17590458，基盤 C
- ・服部洋一，松下年子，島田千穂 他：患者団体による医療者を対象とする講義が医療者，患者団体，及び医療者－患者間コミュニケーションにもたらす変化の分析：日本の医療システムへの患者団体の参与のしかたとしての「患者による講義」の活用，ファイザー財団若手研究者育成事業(B)国内共同研究，採択
- ・湯沢八江，松下年子，佐々木由恵：高齢者施設における感染管理の実態と課題，平成17年度厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業，H16-痴呆・骨折-007，継続
- ・松下年子，野口 海，小林未果 他：我が国における尊厳死に関する研究－一般病院におけるがん告知の実態調査－，平成17年度厚生労働科学研究費補助金効果的医療技術の確立推進臨床研究事業 分担研究報告書，発医政，0331019，継続
- ・高嶋幸男：電子記録カードを用いた療育システムの確立と脳障害形成の予防に関する研究，独立行政法人日本学術振興会科学研究費，基盤研究(B)，16300185，継続

### 学位取得・研究業績に対する受賞

- ・田中 繁：経済産業大臣表彰 工業標準化事業功労者表彰，福祉用具に関するJIS作成，国際規格ISOへの貢献に対する表彰，2005.10.13
- ・松下年子：日本私立看護系大学協会平成17年度看護学研究奨励賞，Early Detection of Postoperative Delirium and Confusion in a Surgical Ward using the NEECHAM Confusion Scale，2005.8.8
- ・佐野裕子：博士（障害科学），ロすぼめ呼吸の生理学的検証－オシレーション法を用いた呼吸インピーダンスの測定－，2006.3.24

### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・開原成允：日本医療情報学会（顧問），American College of Medical Informatics（Fellow），American Telehealth Association
- ・鎌倉矩子：日本神経心理学会（評議員），日本高次脳機能障害学会（評議員）
- ・梅内拓生：日本性感染症学会（理事），日本評価学会（理事），日本国際保健医療学会（評議員），日本公衆衛生学会（評議員）
- ・田中 繁：日本リハビリテーション工学協会（理事），日本生活支援工学会（理事），日本義肢装具学会（評議員），日本バイオメカニズム学会（評議員），ISPO International Society of Prosthetics and Orthotics（終身フェロー）
- ・長谷川豊：日本国際保健医療学会，日本公衆衛生学会
- ・兵頭明和：日本統計学会
- ・樋渡正夫：日本リハビリテーション医学会（専門医），日本内科学会（認定臨床医，臨床指導医），日本高血圧学会，日本臨床スポーツ学会，日本心血管内分泌代謝学会，日本糖尿病学会
- ・山本澄子：日本義肢装具学会（理事，国際回答原案作成委員会委員），バイオメカニズム学会（評議員），国際義肢装具連盟（日本支部副会長），臨床歩行分析研究会（運営委員，事務局長），日本福祉工学会（理事），日本生活支援工学会（評議員），日本リハビリテーション工学協会，日本理学療法科学会，日本リハビリテーション医学会，日本人間工学会，日本建築学会，日本臨床バイオメカニクス研究会
- ・湯沢八江：日本在宅ケア学会，日本看護研究学会，日本老年看護学会，日本看護管理学会，日本公衆衛生学会，日本地域看護学会
- ・岩下清子：日本質的心理学会
- ・木村哲彦：日本整形外科学会（認定医），日本リハビリテーション医学会（専門医），日本脊髄障害学会（評議員），

- Biophilia Rehabilitation学会（会長，理事長），日本リハ・ネットワーク研究会（会長，理事長），日本ライフサポート学会（顧問），生活支援工学会（監事）
- ・ 田中俊一：日本内科学会（認定医），日本糖尿病学会（専門医，研修指導医），日本内分泌学会（指導医），日本病態栄養学会，日本臨床内科医会，American Diabetes Association（Professional Section Member），New York Academy of Sciences
  - ・ 松下年子：日本アディクション看護学会（理事，編集委員長），日本嗜癲行動学会，日本公衆性衛生学会，日本社会精神医学会，日本看護科学学会，日本保健科学学会，日本外来精神医療学会，日本サイコオンコロジー学会，日本総合病院精神医学会，Psychiatry and Clinical Neurosciences，日本看護管理学会，日本高齢者虐待防止学会，日本緩和医療学会，日本病院管理学会，日本精神衛生学会
  - ・ 中原綾子：日本臨床薬理学会（認定CRC）（認定試験制度委員，認定試験委員）
  - ・ 高嶋幸男：日本小児神経学会（名誉会員），日本神経病理学会（評議員），日本SIDS研究会（理事），小児神経蔵王セミナー（会長）
  - ・ 安徳恭演：日本神経学会（評議員）
  - ・ 池崎清信：日本脳神経外科学会（専門医），日本脳卒中学会（専門医），日本脳神経外科コンgres（評議員），日本神経疾患医療福祉従事者協議会（評議員），日本小児神経外科学会（機関誌査読委員），アメリカ神経外科学会（国際交流委員），アメリカ神経外科コンgres（国際外交委員），日本脳神経外科国際学会フォーラム（運営委員），日本脳神経外科同時通訳団（九州支部長）
  - ・ 小島加代子：日本不妊学会（生殖医療指導医），日本産科婦人科学会（専門医）
  - ・ 山本匡介：日本肝臓学会（認定医，指導医）（評議員，肝癌撲滅佐賀県責任者），日本病態栄養学会（評議員），日本動脈硬化学会（評議員），日本未病システム学会（理事），日本消化器病学会（認定医，指導医）（評議員），日本内科学会（認定医，研修指導医）
  - ・ 野見山真理：日本産科婦人科内視鏡学会（技術認定指導医）（評議員），日本産科婦人科学会（専門医），日本生殖医学会（評議員）
  - ・ 江頭由佳子：日本哺乳動物卵子学会（生殖補助医療胚培養士資格）
  - ・ 大浦ゆう子：日本看護研究学会，日本看護科学学会，日本老年看護学会

## 国際医療福祉大学附属熱海病院

### 著書

- ・ 神崎 仁，隈部まち子：おまかせしない医療－自立した患者になるために，慶應義塾大学出版，2005.10.25
- ・ 神崎 仁，岩田 誠 他（監修）：新・病気とからだの読本7 眼と耳と鼻の病気，突発性難聴，245-260，暮らしの手帖社，2005.11
- ・ 熊埜御堂浩，神崎 仁，矢崎義雄（監修）：治療薬UP-TO-DATE 2006，耳鼻科用薬，121-124，メディカルレビュー社，2006.1
- ・ 川口 実（分担執筆），工藤進英（編集）：EMRのコツと落とし穴，EMRの適応病変－胃腺腫，58-59，中山書店，2005.4.20
- ・ 川口 実（分担執筆），工藤進英（編集）：ESDにおける術中合併症とそのコントロール，126-127，中山書店，2005.4.20

- ・ 川口 実 (分担執筆), 工藤進英 (編集) : EMR後の経過観察—胃腫瘍, 173-175, 中山書店, 2005.4.20
- ・ 川口 実 (分担執筆), 神保勝一 (編集) : 画像診断のピットフォール, 大腸内視鏡抜去時に肛門ポリープと誤認した直腸LST, 18-20, 潰瘍性大腸炎に併発した腸壁嚢状気腫症, 34-36, 病気の真実は患者が教えてくれる—cap polyposisの例, 110-113, 中山書店, 2005.6.10
- ・ 川口 実 : 管理栄養士合格指導講座実践編 臨床栄養学, 株式会社 桂樹社グループ, 2005.5
- ・ 中村治彦, 加藤治文 (分担執筆) : 癌治療の新たな試み 新編III, 癌薬物療法の分子標的 分化誘導, 243-255, 医薬ジャーナル社, 2005.12
- ・ 中村治彦 (分担執筆) : MOOK 肺癌の臨床, 肺癌の遺伝子素因, 11-19, 篠原出版新社, 2006.3
- ・ 伊藤 章 (監修) : コレで解消, しろく先生の「エイズよろず相談室」, 「HIV/AIDSはこんな病気」他, 1-20, 東京法規出版, 2005.6.
- ・ 伊藤 章 (分担執筆) : HIV感染症「治療の手引き」 (第9版), HIV感染症の検査他, 5, HIV感染症治療研究会, 2005.12
- ・ 岩崎博幸 (分担執筆) : がん克服への道—解説と症例, 高度進行甲状腺癌でも手術で治る, 215-228, 真興交易 (株) 医書出版部, 2005.7
- ・ 岩崎博幸 (分担執筆) : 乳腺, 甲状腺外科Practical Discussion 15, 甲状腺乳頭癌, 進行, 再発癌の治療ガイドライン (試案), 66-73, 74-78, インターメルク, 2006.2
- ・ 岩崎博幸 (分担執筆) : 臨床検査のガイドライン2005/2006 症候編, 疾患編, 検査編, 甲状腺の悪性腫瘍, 219-224, 日本臨床検査医学会包括医療検討委員会および厚生労働省, 2006.1
- ・ 唐澤英偉 (分担執筆) : 今日の治療指針2005, 胆嚢小隆起病変 (ポリープ), 396-398, 医学書院, 2005.8
- ・ 栗山 学 (分担執筆) : 広範囲血液・尿化学検査 免疫学的検査 第6版, 前立腺特異抗原 (PSA), 前立腺特異抗原・ $\alpha$ 1-アンチキモトリプシン複合体 (PSA-ACT), 遊離PSA, F/T比, 694-697, 日本臨床社, 2005.8.28
- ・ 栗山 学 (分担執筆) : 広範囲血液・尿化学検査 免疫学的検査 第6版, 前立腺性酸性ホスファターゼ (PAP), 702-704, 日本臨床社, 2005.8.28
- ・ 五來逸雄, 松本俊夫, 加藤茂明 (編集) : SERMのすべて, 骨粗鬆症患者の骨代謝に及ぼす影響, 43-51, 医薬ジャーナル社, 2005
- ・ 五來逸雄, 麻生武志 (編集) : 更年期医療のコツと落とし穴, 骨粗鬆症と鑑別する疾患—原発性, 続発性骨粗鬆症など, 56-57, 中山書店, 2005
- ・ 田中 躍, 五來逸雄, 麻生武志 (編集) : 更年期医療のコツと落とし穴, 更年期症状を主訴として来院し, 他科 (内科) 疾患が診断される場合 (糖尿病, 肝機能障害), 218-219, 中山書店, 2005
- ・ 五來逸雄, 水沼英樹, 萩野 浩 (編集) : ファーマナビゲーター ビスフォスフォネート編, HRTとビスフォスフォネートは併用出来ますか?, 180-183, メディカルレビュー社, 2005
- ・ 五來逸雄, 太田博明, 加藤茂明, 紅林淳一, 杉本 利, 宗 聡, 田中 栄, 野崎雅裕, 野出孝一 (編集) : SERM No.1, SERMの歴史, SERM研究の目的, 14-18, メディカルレビュー社, 2005
- ・ 五來逸雄, 太田博明, 加藤茂明, 紅林淳一, 杉本 利, 宗 聡, 田中 栄, 野崎雅裕, 野出孝一 (編集) : SERM No.2, SERMの歴史, タモキシフェンの歴史, 12-19, メディカルレビュー社, 2005
- ・ 堤坂敏昭, 船橋宏幸, 奥山輝明 : 産婦人科の実際, 産褥における母体血液凝固能について, 637-640, 金原出版, 2005.4
- ・ 佐々木哲雄 : 臨床診断に苦渋する100の外來皮膚疾患, 凍瘡, 132-133, メディカルレビュー社, 2005.9
- ・ 篠永正道 : あなたのむち打ち症は治ります, 木を見て森を見ずいま, あなたの脳があぶない! 患者さんから学んだ「脳脊髄液減少症」, 5-71, 日本医療企画, 2005.9

- ・ 篠永正道：今日の治療指針，15. 神経・筋疾患低髄液圧症候群，685-686，医学書院，2006.1
- ・ 篠永正道：神経疾患最新の治療2006-2008，低髄液圧症候群のブラッドパッチ治療，39-41，南江堂，2006.3
- ・ 高藤 繁（分担執筆）：医学大辞典，アナフィラキシー様反応，39，吸入ステロイド薬，559，ラテックスアレルギー，2564，薬物過敏症，2505，薬物特異体質，2507，I型アレルギー反応，119，パルス療法，2017，南山堂，2006.3
- ・ 玉城允之（分担執筆）：看護学入門 9巻 成人看護 II，脳神経疾患の基本的知識，159-205，メヂカルフレンド，2005.11
- ・ 築山久一郎，重政朝彦，小林 泉（分担執筆）：大規模臨床試験要約集（監修：築山久一郎，中谷矩章，岩本安彦），大規模介入試験にみる循環器疾患の薬物治療の新しい潮流，9-16，テクノミックサイエンスプレス，2005.10.24
- ・ 築山久一郎（監修）：大規模臨床試験要約集（監修：築山久一郎，中谷矩章，岩本安彦），高血圧・虚血性心疾患・心不全，18-40，テクノミックサイエンスプレス，2005.10.24
- ・ 築山久一郎（監修）：大規模臨床試験要約集（監修：築山久一郎，中谷矩章，岩本安彦），大規模臨床試験一覧，81-137，テクノミックサイエンスプレス，2005.10.24
- ・ 築山久一郎，重政朝彦，小林 泉，生駒英子（分担執筆）：循環器病の薬物療法（編集：斉藤宗靖）  
新・目で見る循環器病シリーズ21，中枢性・末梢性交感神経抑制薬，ヒドララジンの使い方，267-273，Medical View社，2006.1.1
- ・ 築山久一郎，重政朝彦，生駒英子：コメディカルのための専門基礎分野テキスト 老年医学，循環器疾患，98-110，中外医学社，（2005.3）
- ・ 築山久一郎，生駒英子，佐々木龍（分担執筆）：酸化ストレスナビゲーター（監修：倉林正彦，編集：山岸昌一），HOPE研究，166-167，メディカルレビュー社，（2005.3.15）
- ・ 築山久一郎，重政朝彦，佐々木龍（分担執筆）：酸化ストレスナビゲーター（監修：倉林正彦，編集：山岸昌一），SPACE試験，168-169，メディカルレビュー社，（2005.3.15）
- ・ 都島基夫（監修）：高血圧ーこれで安心ー，全巻，1-191，小学館，2005.7.10
- ・ 藤澤知雄：出血（吐血・下血）小児救急の手引き 三河春樹 他（監修），下巻，33-43，中外医学社，2005.12.30
- ・ 藤澤知雄：肝胆道・膵・腹膜疾患，ナースとコメディカルのための小児科学 白木和夫，高田 哲（編集），300-306，日本小児医事出版社，東京，2006.2.14.
- ・ 藤澤知雄：小児期における肝炎ウイルス感染症のトピックス，Frontiers in Gastroenterology，10，376-379，2005.4
- ・ 小俣 真，小松陽樹，高田栄子，田村正徳，十河 剛，板倉敬乃，乾あやの，藤澤知雄：母子感染予防処置をしたにもかかわらず発症した急性肝炎，症例に学ぶ EBM指向輸血検査・治療 大戸 斉（編集代表），医歯薬出版，2005.11
- ・ Fujisawa T：Perinatal HBV transmission and prevention. Seminar on infectious hepatitis, its epidemiology, prevention and treatment., 85-87, 2006.2
- ・ Kawamura H：Journal of Ultrasound in Medicine, Diagnosis of hemorrhage from the gallbladder with the use of contrast-enhanced sonography, 1583-1586, The American Institute of Ultrasound in Medicine, 2005.12

## 原著論文

- ・ 奥津芳人：これだけは知っておきたい手術室ナースング Q&A, Q62 気管支喘息患者の手術中の注意，134-136
- ・ 奥津芳人：これだけは知っておきたい手術室ナースング Q&A, Q66 空気塞栓の原因と予防，144-145，2006.3.30
- ・ 神崎 仁：めまい診療へのアプローチ，日医雑，134(8)，1463-1466，2005.11
- ・ 神崎 仁，松永達雄：突発性難聴ー最近の話題，日医雑，134，1504-1508，2005.11
- ・ 神崎 仁：メニエール病，からだの科学，245，12-16，2005.9

- ・ 神崎 仁, 神崎 晶 : 突発性難聴の諸問題—治療成績の評価を中心に—, 耳展, 48, 336-342, 2005.12
- ・ 神崎 仁 : ステロイド依存性感音難聴, JOHNS, 21, 1247-1250, 2005.9
- ・ 小林宏成, 五島史行, 國弘幸伸, 小川 郁, 齊藤 晶, 神崎 仁 : 回旋性視覚刺激下の自覚的垂直位 (Subjective Visual Vertical:SVV) とvection, Equilibrium Res, 64, 57-63, 2005.4
- ・ 川口 実, 荒川城司 : 今日の治療薬 3.胃癌, 看護実践の科学, 30, 4-7, (2005.3.1)
- ・ 築山久一郎, 川口 実 : 降圧薬と薬物性肝障害, 医学のあゆみ, 214, 839-843, 2005.9.3
- ・ 川口 実 : 胃・十二指腸疾患鑑別診断, 治療, 88, 83-88, (2005.1.1)
- ・ Nakamura H, Fujita K, Nakagawa H 他4名 : Expression pattern of the scaffold protein IQGAP1 in lung cancer, Oncology Reports, 13(3), 427-431, 2005.4
- ・ Nakamura H, Kawasaki N, Taguchi M 他1名 : Survival following lobectomy vs limited resection for stage I lung cancer: a meta analysis, British Journal of Cancer, 92, 1033-1037, 2005.5
- ・ Nakamura H, Kawasaki N, Taguchi M 他1名 : Association of HER-2 overexpression with prognosis in nonsmall cell lung carcinoma: a meta-analysis, Cancer, 103, 1865-1873, 2005.5
- ・ Nakamura H, Kawasaki N, Taguchi M 他3名 : Quantitative detection of lung cancer cells by fluorescence in situ hybridization: comparison with conventional cytology, Chest, 128(2), 906-911, 2005.6
- ・ アウテ・イデリス, 中村治彦, 田口雅彦 他4名 : Fluorescence in situ hybridization法による気管支洗浄液中の肺癌細胞検出, 日本気管食道科学会報, 56(6), 470-475, 2005.9
- ・ 川崎徳仁, 田口雅彦, 中村治彦 : 異所性ADHおよびACTH産生小細胞肺癌の1例, 日本気管食道科学会報, 56(1), 47-51, 2005.4
- ・ Nakamura H, Kawasaki N, Taguchi M 他1名 : Survival impact of epidermal growth factor receptor overexpression in patients with non-small-cell lung cancer: a meta-analysis, Thorax, 61(2), 140-145, 2006.1
- ・ 土田知史, 長 晴彦, 足立広幸, 岩崎博幸, 今田敏夫, 高梨吉則 : 腭頭部腫瘤像を呈した十二指腸原発平滑筋肉腫の1例, 日臨外会誌, 66(9), 2177-2180, 2005.9
- ・ 鈴木雅之, 三原裕嗣, 鈴木秀和, 北洞哲治, 永橋正一, 正岡建洋, 田中 伸, 鈴木絃一, 石井裕正, 日比紀文 : 胃潰瘍部粘膜の好中球由来活性酸素産生量に与えるヘリコバクターピロリ除菌の影響—内視鏡的潰瘍ステージと活性酸素産生量との相関, 日本消化器内視鏡学会雑誌, 47, 366-372, (2005.3)
- ・ 川口とし子, 広門未知子, 北村 創 他1名 : 皮膚Mycobacterium abscessus 感染症の1例, 皮膚科の臨床, 47(9), 1163-1165, 2005.9.1
- ・ 五來逸雄, 本庄英雄 : 日本更年期医学会アンケート調査集計結果報告, 日更年期医誌, 13, 147-150, 2005
- ・ Nishizawa Y, Nakamura T, Ohta H, Kushida K, Gorai I, Shiraki M, Fukunaga M, Hosono T, Miki T, Chaki O, Ichimura S, Nakatsuka K, Miura M : Guidelines for the use of biochemical markers of bone turnover in osteoporosis (2004), J Bone Miner Metab, 23, 97-104, 2005
- ・ Miki Y, Suzuki T, Tazawa C, Ishizuka M, Semba S, Gorai I, Sasano H : Analysis of gene expression induced by diethylstilbestrol (DES) in human primitive Mullerian duct cells using microarray, Cancer Lett, 220, 197-210, 2005
- ・ 山口由衣, 高橋一夫, 佐々木哲雄 他6名 : 難治性下腿潰瘍を契機に診断した高齢男性の抗リン脂質抗体症候群, 皮膚科の臨床, 48(3), 387-390, 2006.3
- ・ 澤田義則, 玉城允之, 荒崎圭介 他1名 : すくみ足現象に対する連続経頭蓋磁気刺激 (rTMS) の治療効果—足底主要部位別の足圧測定による分析—, 臨床脳波, 47(6), 382-388, 2005.6
- ・ 古井宏彦, 石川富久, 都島基夫 他10名 : ピタバスタチン (リパロ錠) の有効性・安全性に関する多施設共同症例集積報告—朝食後投与と夕食後投与の比較を含めて—, Progress in Medicine, 25(4), 1140-1148, 2005.4

- ・ 都島基夫：未病医学の概念と高齢化社会における必要性－介護予防に向けて－，日本老年医学会誌，43(1)，74-77，2005.12
- ・ 仲森隆子，角田 裕，都島基夫 他1名：早食い習慣が身体に及ぼす影響（事業所における疫学），日本未病システム学会誌，11(1)，73-76，2005.8
- ・ 仲森隆子，角田 裕，都島基夫 他1名：トリグリセライド値が身体に及ぼす影響（疫学研究），日本未病システム学会誌，11(1)，126-128，2005.8
- ・ Zhu K, Fukasawa I, Hayashi M 他8名：Inhibitory effects of herbal drugs on the growth of human ovarian cancer cell lines through the induction of apoptosis., Gynecol Oncol., 97(2), 405-409, 2005.5
- ・ Hayashi M, Ueda Y, Ohkura T 他1名：Interleukin-6 concentrations in the placenta and blood in normal pregnancies and preeclampsia., Horm Metab Res., 37(7), 419-424, 2005.6
- ・ Zhu K, Fukasawa I, Hayashi M 他9名：Profiling of proteins associated with cisplatin resistance in ovarian cancer cells., Int J Gynecol Cancer, 15(5), 747-754, 2005.10
- ・ Hayashi M, Sohma R, Sumioka Y 他1名：Granulocyte-macrophage colony-stimulating factor levels in amniotic fluid before the onset of labor and during labor do not differ in normal pregnancies., Am J Reprod Immunol., 55(1), 69-75, 2006.1.
- ・ Hayashi M, Hombo Y, Shibazaki M 他2名：Elevation of macrophage colony-stimulating factor in amniotic fluid at late stage of normal pregnancy., Am J Reprod Immunol., 55(3), 226-231, 2006.3
- ・ Hayashi M, Fukasawa I, Inaba N：Serum levels of macrophage colony-stimulating factor in singleton and twin pregnancy., Horm Metab Res., 38(3), 193-196, 2006.3
- ・ Hayashi M, Fukasawa I, Inaba N：Thrombin-antithrombin complex and  $\alpha_2$ -plasmin inhibitor-plasmin complex levels in singleton and twin pregnancies., Int J Clin Pract., 2006.3
- ・ 林 雅敏，黄海文昌，相馬良一：妊娠高血圧症候群妊婦の羊水中tumor necrosis factor- $\alpha$ の動態，日本妊娠高血圧学会雑誌，13(1)，137-138，2005.12
- ・ Nagasaka H, Yorifuji T, Egawa H, Yanai H, Fujisawa T, Kosugiyama K, Matsui A, Hasegawa M, Okada T, Takayanagi M, Chiba H, Kobayashi K：Evaluation of risk for atherosclerosis in Alagille syndrome and progressive familial intrahepatic cholestasis：Two congenital cholestatic diseases with different lipoprotein metabolisms. J Pediatr, 146(3), 329-335, (2005.3)
- ・ 藤澤知雄：小児期発症の自己免疫性肝炎に対するステロイドパルス療法，厚生労働省科学研究補助金（難治性疾患克服研究事業）難治性の肝疾患に関する調査研究，平成16年度研究報告書，50，2005.4
- ・ 藤澤知雄，乾あやの，十河 剛：小児期のC型慢性肝炎に対するPEG-IFN療法，厚生労働科学研究費補助金 肝炎等克服緊急対策研究事業（肝炎分野），平成16年度 総括・分担研究報告書，26-30，2005.4
- ・ 伊藤 淳：大腿骨頸部骨折術後の荷重によるラグスクリューのtelescopingと術後歩行能力の関係，Journal of clinical rehabilitation, 15(2), 182-186, 2006.2
- ・ Inui A, Sogo T, Komatsu H, Miyakawa H, Fujisawa T：Antibodies against cytokeratin 8/18 in a patient with de novo autoimmune hepatitis after living-donor liver transplantation., Liver Transpl, 504-507, 2005.4.11
- ・ 藤澤知雄：知っておきたい診療上の留意点，肝炎，小児科，46(5)，829-834，2005
- ・ 乾あやの，鈴木高弘，十河 剛，藤澤知雄：内服薬の薬効や副作用に影響を及ぼす食事は？，小児内科，37，597-600，2005.5
- ・ 十河 剛，小松陽樹，乾あやの，藤澤知雄：肝移植と免疫能低下の評価と対策，小児内科，37，797-800，2005.6
- ・ 中島章子，梅林宏明，黒沢るみ子，今川智之，片倉茂樹，森 雅亮，相原雄幸，横田俊平，十河 剛，乾あやの，藤澤知雄，半澤典生：EBV肝炎との鑑別に肝生検が有効であった自己免疫性肝炎の1例，日本臨床免疫学会雑誌，154，

154-158, 2005.6

- Komatsu H, Inui A, Sogo T, Fujisawa T, Egawa H, Tanaka K : Severe hypogammaglobulinemia associated with hepatic vein stenosis causes cytomegalovirus infection after living-related liver transplantation. *Transpl Infect Dis*, 21-24, (2005.3.7)
- Sogo T, Fujisawa T, Inui A, Kawamura Y, Komatsu H : Abdominal imaging of mesenteric adenitis caused by *Yersinia enterocolitica*, *J of Japanese Society of Radiology*, 21, 113-115, 2005.4
- 藤澤知雄, 乾あやの, 十河 剛 : 小児血液疾患の合併症とその対策, 慢性肝障害, 小児内科, 37, 1241-1244, 2005.9
- 藤澤知雄 : 抗菌薬投与時における下痢予防のための生菌薬同時投与の効果, 小児内科, 37, 1292-1293, 2005.9
- 十河 剛, 小松陽樹, 乾あやの, 藤澤知雄 : そこが知りたい 小児臨床検査のポイント, AST, ALT,  $\gamma$ GTP, LAP, Ch-E, 小児内科, 37巻増刊号, 165-170, 2005.11
- 乾あやの, 十河 剛, 藤澤知雄 : そこが知りたい 小児臨床検査のポイント, 抗LKM-1抗体, 小児内科, 37巻増刊号, 389-390, 2005.11
- 藤澤知雄, 十河 剛, 乾あやの : けいれん・意識障害を起こす疾患の治療・管理のポイント, 肝性昏睡 小児内科, 38, 455-459, 2006.1
- 藤澤知雄, 乾あやの, 十河 剛, 小松陽樹 : HCV母子感染例に対するPEG-IFN単独療法, 平成17年度厚生労働科学研究費助成金(肝炎等克服緊急対策研究事業省)「C型肝炎ウイルス等の母子感染防止に関する研究」分担報告書, 74-76, 2006
- 藤澤知雄, 乾あやの, 十河 剛, 小松陽樹 : 国際方式によるHBV母子感染予防効果, 平成17年度厚生労働科学研究費補助金(肝炎等克服緊急対策研究事業)「C型肝炎ウイルス等の母子感染防止に関する研究」分担研究報告書, 76-82, 2006
- 十河 剛, 乾あやの, 小松陽樹, 藤澤知雄 : 自己免疫性肝疾患, 肝臓, 47, 86-89, 2006.2
- 藤澤知雄 : わが国におけるWilson病の肝移植, 医学のあゆみ, 216, 823-827, 2006.3
- 藤澤知雄 : 園医, 学校医の実践Q and A ウイルス性肝炎キャリア児, HIVキャリア児の取り扱い, 小児内科, 38, 642-643, 2006.3
- 重政朝彦, 生駒英子, 佐々木龍, 築山久一郎 : グリチルリチン投与により著明な低カリウム血症・横紋筋融解症を発症, 呼吸抑制をきたした偽性アルドステロン症の1例, 内科, 96(4), 787-791, 2005.10
- 堀部 円, 石川 均, 陶山秀夫 他2名 : 眼内レンズ挿入眼における両眼開放下近方瞳孔径と近方視力の関係, 眼科臨床医報, 99(6), 449-451, 2005.6
- 浅川 賢, 石川 均, 陶山秀夫 他3名 : 若年者におけるフェニレフリン・トロピカミド点眼前後の近方視力・瞳孔反応, 輻輳, 神経眼科, 22(2), 238-245, 2005.6
- Ishida T, Takanashi Y, Kiwada H : Safe and efficient drug delivery system with liposomes for intrathecal application of an antispasmodic drug, fasudil., *Biol Pharm Bull*, 29, 397-402, 2006.3
- 藤井本晴, 武内重二, 高家幹夫 他2名 : 進行期パーキンソン病に対する深部脳刺激療法の治療結果, 機能的脳神経外科, 44, 82-83, 2005
- 藤井本晴, 武内重二, 高家幹夫 他2名 : 進行期パーキンソン病に施行した深部脳刺激療法の合併症, 機能的脳神経外科, 44, 94-95, 2005
- 高家幹夫, 武内重二, 藤井本晴 他2名 : セミマイクロレコーディングによる視床下核(STN)の同定, 機能的脳神経外科, 44, 62-63, 2005
- 藤井本晴, 武内重二, 高家幹夫 他2名 : 進行期パーキンソン病に対する深部脳刺激療法の検討, 機能的脳神経外科, 44, 147-150, 2005
- Ishikawa Y, Otsu K, Oshikawa J : Caveolin; different roles for insulin signal?, *Cellular Signaling*, 17(10), 1175-1182, 2005

- ・小林照子, 相原道子, 池澤善郎 : アトピー性皮膚炎における真菌アレルギーと抗真菌療法の効果について, アレルギー, 55(2), 126-133, 2006.2
- ・大塚裕一, 国崎主税, 羽鳥慎祐 他 : 食道癌術後在宅経腸栄養療法の評価, 日本臨床外科学会雑誌, 66(5), 985-989, 2005.5.25
- ・CHIKARA KUNISAKI, TOSHIO IMADA, SHINSUKE HATORI et al. : Phase II Study of Docetaxel Plus Cisplatin as a Second-line Combined Therapy in Patients with Advanced Gastric Carcinoma, ANTICANCER RESEARCH, 25, 2973-2978, 2005.5.5
- ・Takuji Amano, Hideaki Hiro-Oka, Donghak Choi, Hiroyuki Furukawa, Fumiyo Kano, Mituo Takeda, Motoi Nakanishi, Kimiya Shimizu, and Kohji Ohbayashi : Optical frequency-domain reflectometry with a rapid wavelength-scanning superstructure-grating distributed Bragg reflector laser, APPLIED OPTICS, 44(5), 808-816, 2005
- ・N Shoji, H Suzuki, T Amano, H Hiro-oka, D Choi, H Furukawa, K Ohbayashi, M Nakanishi, T Morita, K Shimizu : 12mm Depth Range, 125 kHz A-line Rate Optical-Frequency-Domain Optical Coherence Tomography for Imaging of Anterior Segment of Eyes, Invest Ophthalmol Vis Sci, 2005
- ・D Choi, T Amano, H Hiro-Oka, H Fukukawa, T Miyazawa, R Yoshimura, M Nakanishi, K Shimizu, K Ohbayashi : Tissue imaging by OFDR-OCT using an SSG-DBR laser, Coherence Domain Optical Methods and Optical Coherence Tomography in Biomedicine IX, 5690, 101-113, 2005

## 総説

- ・川口 実 : 学会印象記 第69回日本消化器内視鏡学会, 胃と腸40, 9, 1220, 2005.8
- ・川口 実 : 胃の検査のいろいろ, 暮らしと健康, 8月号, 14-16, 2005.8
- ・中村治彦 : 外国文献紹介(Prediction of cancer outcome with microarrays: a multiple random validation Strategy. Lancet 365 : 488-492, 2005), 日本気管食道科学会会報, 56(3), 309, 2005.5
- ・中村治彦 : Association of HER-2 overexpression with prognosis in nonsmall cell lung carcinoma: a meta analysis (トピック紹介), Lung Cancer Update (Thomson Scientific 発行), 11, 5, 2005.8
- ・中村治彦 : Quantitative detection of lung cancer cells by fluorescence in situ hybridization: comparison with conventional cytology (トピック紹介), Lung Cancer Update (Thomson Scientific 発行), 20, 表紙・裏表紙, 1, 8-9, 2005.10
- ・Nakamura H, Sugishita K, Kawasaki N, 他2名 : History of limited resection for non-small cell lung cancer, Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery, 11(6), 356-362, 2005.9
- ・伊藤 章 : 最近の話題から, 労務安全衛生 (かながわ), 50(4)674, 20-22, 2005.4
- ・伊藤 章 : 最近のニュースから, 労務安全衛生 (かながわ), 50(8)678, 24-25, 2005.8
- ・伊藤 章 : 日々雑感, 労務安全衛生 (かながわ), 50(12)682, 22-23, 2005.12
- ・唐澤英偉 : USによる胆道癌の診断—造影超音波について, 臨床消化器内科, 20(7), 174-184, 2005
- ・Eii Karaswa : Technical innovation in medicine and health care, and restoration of trust, J Med Ultrasonics, 33, 1-2, 2006.3
- ・築山久一郎, 唐澤英偉, 川口 実 : 降圧薬と薬物性肝障害, 医学のあゆみ, 214(10), 839-843, 2005.9.3
- ・川口 実, 野澤秀樹, 北洞哲治, 唐澤英偉, 南 智行, 稲垣大輔, 土田知史, 岡本隆英, 岩崎博幸, 和泉英彰, 坂井雄三, 【消化管の出血性疾患2005】疾患各論 胃潰瘍・十二指腸潰瘍, 胃と腸, 40, 567-574, 2005.4
- ・北洞哲治 : 消化器4 炎症性腸疾患, 最新医学・別冊 新しい診断と治療のABC, 29, 85-95, 2005.7
- ・栗山 学 : 前立腺肥大症とPSA, カレントセラピー, 24(4), 384, 2006.3.25
- ・五来逸雄 : ホルモン補充療法の新たなストラテジー, Million Woman Studyとは?, 骨粗鬆症治療, 4, 25-30, 2005
- ・五来逸雄 : 原発性骨粗鬆症の診断と治療, Osteoporosis Jpn, 13, 106-107, 2005

- ・ 五來逸雄：ホルモン補充療法の光と影，産婦治療，90，854-859，2005
- ・ 五來逸雄：新しいHRTの可能性，臨婦産，59，1121-1126，2005
- ・ 五來逸雄：EBMに基づく骨粗鬆症の薬物療法，SERMの使い方，モダンフィジシャン，25，1377-1380，2005
- ・ 佐々木哲雄：強皮症 20年間の進歩と展望，皮膚病診療，27(11)，1250-1255，2005.11
- ・ 佐々木哲雄：忘れ得ぬ症例と人生の節目に思うこと，皮膚科の臨床，47(9)，1153-1154，2005.9
- ・ 佐々木哲雄：第11回ブラハ皮膚科シンポジウムに参加して，臨床皮膚科，60(2)，205-207，2006.2
- ・ 篠永正道：脳卒中治療における電気刺激治療法，ペインクリニック，26，503-506，2005.9
- ・ 篠永正道：“低髄液圧症による頭痛”－脳脊髄液減少症／低髄液圧症候群，医学のあゆみ第5土曜特集 頭痛のすべて，215，1166-1170，2005.12
- ・ 高藤 繁：喫煙とCOPD，日本気管食道科学会会報，56，410-416，2005.10
- ・ 築山久一郎，生駒英子：ガイドラインを読む－高血圧管理指針における併用療法，血圧，12(4)，481-482，2005.4.1
- ・ 築山久一郎，安東克之，木村玄次郎 他2名：降圧薬の併用療法における利尿薬の評価，血圧，12(4)，496-509，2005.4.1
- ・ 築山久一郎，重政朝彦，佐々木龍 他1名：最近の介入試験からの検証，最近の介入試験からの検証－Ca拮抗薬による冠動脈疾患発症の抑制効果－，血圧，12(5)，537-544，2005.5.1
- ・ 築山久一郎，小林 泉，岡田興造：軽・中等症高血圧における降圧薬の使い方，クリニカ，32(3)，150-155，2005.5.31
- ・ 築山久一郎，岡田興造，生駒英子：降圧薬治療と新規糖尿病発症の臨床的意義，Ther Res，26(10)，1925-1943，2005.10.20
- ・ 築山久一郎，重政朝彦，小林 泉，生駒英子，岡田興造：高血圧 その発症・進展と代謝異常 代謝異常を伴った高血圧の治療 各種降圧薬の代謝への影響，カレントセラピー，23(12)，78-83，2005.12
- ・ 築山久一郎，生駒英子，岡田興造：併用療法の実際，今月の治療，13(11)，1171-1176，2005.10.25
- ・ 築山久一郎，折居 喬：併用療法における降圧利尿薬，血圧，13(1)，59-64，2006.1.1
- ・ 築山久一郎，押川 仁，藤川哲也 他1名：特定保健用食品－降圧効果はあるのか？なぜ最近ブームなのか？，Medical Practice，22(11)，1911-1915，2005.11.1
- ・ 築山久一郎：心拍数管理の重要性－最近の大規模研究からみた高心拍数のリスクとしての評価と心拍数管理の意義，Kyo，144，1-7，2005.7.20
- ・ 築山久一郎，重政朝彦，小林 泉：合併症を伴う高齢者高血圧の治療 合併症を伴う高齢者高血圧の治療方針と留意点－臓器保護作用と降圧薬の選択の実際 7) 痛風と高血圧，Geriatric Medicine，43(12)，1903-1910，2005.12
- ・ 築山久一郎，押川 仁，藤川哲也：治療抵抗性高血圧，診断と治療，94(3)，465-470，2006.3.31
- ・ 築山久一郎：血圧管理不良例の対策と実際，名古屋内科医会会誌，121，6-17，2005.11.15
- ・ 築山久一郎，重政朝彦：Information Up-to-date 降圧薬療法と脈圧，血圧（以下，短報），12(4)，398-399，2005.4.1
- ・ 築山久一郎，重政朝彦，佐々木龍 他1名：Trial & Meta-analysis WACS (Women’s Antioxidant Cardiovascular Study)，臨床高血圧，11(2)，152-153，2005.4.15
- ・ 築山久一郎，生駒英子，重政朝彦：サイアザイド治療による糖尿病発症と心血管疾患死，血圧，12(9)，920-921，2005.9.1
- ・ 築山久一郎，折居 喬：ACE阻害薬とCa拮抗薬の利点，血圧，12(12)，1244-1245，2005.12.1
- ・ 築山久一郎，重政朝彦：β遮断薬は第一選択薬でよいか？，血圧，13(2)，152-153，2006.2.1
- ・ 築山久一郎，岡田興造，小林 泉：降圧薬の服薬継続率と服薬再開率，血圧，12(12)，1230-1231，2005.12.1
- ・ 築山久一郎，生駒英子：β遮断薬は本態性高血圧治療の第一選択薬として残すべきか？メタアナリシス結果，臨床高

血圧, 12(1), 72-74, 2006.2.15

- ・ 築山久一郎, 岡田興造: ALLHATサブグループ解析糖尿病患者における降圧薬治療の評価, 臨床高血圧, 12(1), 62-65, 2006.2.15
- ・ 築山久一郎, 生駒英子: 2005カナダ高血圧ガイドライン:治療, 血圧, 13(3), 240-241, 2006.3.1
- ・ 築山久一郎, 重政朝彦, 小林 泉: Information up to date  $\beta$ 遮断薬と微量アルブミン尿, 血圧, 13(3), 242-243, 1309-1315, 2006.3
- ・ 都島基夫: 動脈硬化の脂質仮説とメタボリックシンドローム, Geriatric Medicine, 43(5), 793-798, 2005.10
- ・ 都島基夫: 健康になる前に治すー「未病」とは?ー, 日本医師会雑誌, 健康プラザ 198, 1, 2005.6
- ・ 都島基夫: 高脂血症と脳血管障害, 小倉内科医会誌, 28, 68-71, 2005.12
- ・ 都島基夫: 「未病」から始まる健康長寿 第1回 主治医はあなた自身, 健康日本, 457, 4-7, 2006.3
- ・ 都島基夫, 川島由紀子, 小山裕久, 他1人: からだの学校「楽しく食べて元気な血管」, 賢者の休日, 2006年春号, 6-9, 2006.3
- ・ 井藤英喜, 都島基夫, 秦 葭哉: 高齢者におけるメタボリックシンドローム, Geriatric Medicine, 43(7), 1096-1106, 2005.7
- ・ 関原久彦, 山田佳彦: 【知っておきたい難病の現況と対策】 各種難病の診断と治療 原発性アルドステロン症, 臨床と研究, 82(7), 1130-1133, 2005.7
- ・ 山田佳彦, 関原久彦: 11-デオキシコルチゾール, 日本臨床, 63(8), 307-310, 2005.8.28
- ・ 山田佳彦, 関原久彦: コルチコステロン, 日本臨床, 63(8), 316-318, 2005.8.28
- ・ 山田佳彦, 関原久彦: デオキシコルチコステロン, 日本臨床, 63(8), 319-321, 2005.8.28
- ・ 山田佳彦, 関原久彦: 11-ヒドロキシコルチコイド, 日本臨床, 63(8), 358-360, 2005.8.28
- ・ 山田佳彦, 関原久彦: 17-ヒドロキシコルチコイド, 日本臨床, 63(8), 361-363, 2005.8.28
- ・ 山田佳彦, 関原久彦: 脳の機能とステロイドホルモン, Annual Review 糖尿病・代謝・内分泌2006, 180-185, 2006.1.25
- ・ 板倉敬乃: 1歳を過ぎても母乳を欲しがることがどうしたらよいか, 小児内科, 37(7), 631-632, 2005.5
- ・ 板倉敬乃, 羽鳥雅之, 峯 真人, 安田 正: 埼玉県内の医療機関における児童虐待に関する実態調査, 小児保健研究, 65(2), 344-347, 2006.3.31

## 研究報告

- ・ 中村治彦: 基盤研究(C) (平成16年) 課題「リアルタイムPCR法による肺癌発現遺伝子の高感度検出と診断への応用」, 平成15-16年度文部科学省科学研究費最終報告書, 2005.6
- ・ 武林 亨, 西脇祐司, 北洞哲治, 松岡克善, 井上 詠: クロウン病および潰瘍性大腸炎に関する疫学指標の検討, 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服対策研究事業「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」, 平成16年度研究報告書, 57-58, (2005.3)
- ・ 佐々木哲雄, 高橋一夫, 池澤善郎 他6名: 全身性強皮症における指尖潰瘍・壊死(皮膚潰瘍含)の治療経験, 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」平成17年度総括・分担研究報告書, 37-42, 2006.3
- ・ 佐々木哲雄, 矢田佳子, 唐澤英偉 他2名: 偽性腸閉塞を合併した全身性強皮症の1例, 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」平成17年度総括・分担研究報告書, 253-258, 2006.3
- ・ 都島基夫, 大鈴文孝, 小西正光 他10人: 循環器疾患の予防に向けた炎症反応指標の応用, 厚生労働省循環器病研究

委託費（国立循環器病センター），2005.4

- ・ 清川 浩 他：気管支喘息の気流閉塞は連続性ラ音を発生するまでに呼出可能な気量と相関する，臨床と薬理，15(5)，551-559，2005.9

#### 講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 奥津芳人：フィジカルアセスメント「輸液と電解質，酸塩基平衡」，神奈川県立保健福祉大学実践教育センター急性期重症者支援課程，2005.6，2005.7，3回
- ・ 奥津芳人：集中講義「呼吸器の基礎 体液と輸液・酸塩基」，静岡県立東部看護専門学校，2005.12，2006.1
- ・ 奥津芳人：静岡県救急救命士講習会「呼吸器 体液 酸塩基」
- ・ 奥津芳人：人工呼吸セミナー「体液・血液ガスと酸塩基平衡」，神奈川県臨床工学技士会，2006.2
- ・ 神崎 仁：「突発性難聴の50年」において「突発性難聴の可逆性」，第50回日本聴覚医学会 シンポジウム，六本木アカデミーヒルズ40，東京，2005.9.22-24
- ・ 川口 実：下血をきたした患者の下部内視鏡検査の諸問題，東部内視鏡手技懇話会，沼津東急ホテル，沼津，2005.7.28
- ・ 中村治彦：肺癌から身を守るには，第7回 熱海市・市民公開講座，熱海市観光会館，静岡県熱海市，2005.5.15
- ・ 伊藤 章：最近の抗真菌薬の動向と治療戦略，第1回静岡東部感染症研究会，三島商工会議所，三島市，2005.7.22.
- ・ 鈴木雅之，北洞哲治，鈴木秀和：胃粘膜好中球由来活性酸素産生量におよぼす背景因子の解析，第67回 日本内視鏡学会総会（ワークショップ：内視鏡を用いた機能診断・病態へのアプローチ），京都国際会議場，京都市，2005.5
- ・ 北村 創：皮膚病理学について，その2 皮膚付属器腫瘍，横須賀市皮膚科専門医会，ホテルキャメロットジャパン横浜，横浜市，2005.11.5
- ・ 五來逸雄：閉経後骨粗鬆症の新しい治療薬，第112回近畿産科婦人科学会学術集会，ランチョンセミナー，和歌山市，2005.6.12
- ・ 五來逸雄：特別講演「原発性骨粗鬆症の診断と治療」，北信産婦人科医会学術講演会，長野市，2005.6.23
- ・ 五來逸雄：カレントコンセプト「骨粗鬆症における長期の服薬コンプライアンスを維持するために」，第7回日本骨粗鬆症学会，大阪市，2005.10.14
- ・ 五來逸雄，田中郁子：対談「骨粗鬆症における長期の服薬」，第7回日本骨粗鬆症学会，大阪市，2005.10.15
- ・ 五來逸雄：ミニレクチャー「原発性骨粗鬆症の治療の実際－薬物療法」静岡市整会・内科医会合同講演会，静岡市，2005.10.19
- ・ 五來逸雄，田中 躍，岩沖靖久：ラロキシフェン，活性型ビタミンD併用の骨代謝，カルシウム代謝に対する影響，ワークショップ，ラロキシフェン治療の実際，第16回婦人科骨粗鬆症研究会，東京都，2005.11.5
- ・ 五來逸雄：骨粗鬆症薬物療法の実際，第5回女性骨代謝研究会，東京都，2005.11.24
- ・ 篠永正道：脳脊髄液減少症（低髄液圧症候群）の診断と治療，第2回阿賀北脳神経外科フォーラム，2005.6.16
- ・ 篠永正道：脳脊髄液減少症による頭痛，第5回熊本頭痛研究会，国際交流会館，熊本，2005.7.8
- ・ 篠永正道：頭痛の鑑別診断 脳脊髄液減少症を中心として，第6回愛媛頭痛研究会，国際ホテル松山，愛媛県松山市，2005.9.16
- ・ 篠永正道：脳脊髄液減少症の診断と治療，福井県臨床整形外科医会学術講演会，福井パレスホテル，福井，2005.9.29
- ・ 篠永正道：脳脊髄液減少症（低髄液圧症候群の診断と治療），武蔵野脳神経外科カンファレンス，武蔵野赤十字病院，武蔵野市，2005.12.8
- ・ 篠永正道：鞭打ち症後遺症の原因のひとつとしての脳脊髄液減少症，第24回埼玉整形外科フォーラム，川越プリンスホテル，埼玉県川越市，2006.3.9

- ・高藤 繁：環境汚染とアレルギー，第47回関東耳鼻咽喉科アレルギー懇話会，日本教育会館，東京，2005.9.4
- ・高藤 繁：気管支喘息の診断と治療，静岡東部EAP Meeting，KKRホテル，熱海，2005.10.28
- ・高藤 繁：COPDの病態，診断，治療，静岡県東部呼吸器疾患談話会，三島プラザホテル，三島，2005.11.25
- ・玉城允之：パーキンソン病の歴史と治療の現況，三共株式会社学術研修会，三共株式会社三島出張所，静岡県三島市，2006.2.16
- ・築山久一郎：利尿薬の有用性（高血圧WG報告），第28回日本高血圧学会総会，旭川市民文化会館，旭川市，2005.9.15
- ・築山久一郎：利尿薬の有用性—大規模介入試験成績から見た考察（プレナリーレクチャー），第28回日本高血圧学会総会，旭川市民文化会館，旭川市，2005.9.16
- ・都島基夫：（シンポジウム）老年医学における未病：未病医学の概念と高齢化社会における必要性，第47回日本老年医学会学術集会，東京国際フォーラム，東京，2005.6.15-17
- ・斯波真理子，山本 章，都島基夫 他5人：（シンポジウム）脂質代謝異常症—その臨床的アプローチ—，家族性高コレステロール血症（FH）とAutosomal Recessive Hypercholesterolemia（ARH）の臨床像，第37回日本動脈硬化学会総会，東京京王プラザホテル，東京，2005.7.14-15
- ・Motoo Tsushima：Metabolic syndrome occurs due to the microcirculation disturbances.—Perfusion Metabolism Theory，59<sup>th</sup> Annual Fall Conference and Scientific Sessions of the Council for High Blood Pressure Research in association with the Council on the Kidney in Cardiovascular Disease，Omni Shoreham Hotel，Washington,D.C.，2005.9.21-24
- ・武井直之，渡辺清明，都島基夫 他3人：2型糖尿病患者における腹部大動脈石灰化率，その進展度と危険因子，合併症，治療薬の関係—CTを用いた検討—，第48回日本糖尿病学会年次学術集会，神戸ポートピアホテル 国際会議場，神戸，2005.5.12-14
- ・中野里美，京谷晋吾，都島基夫 他4人：頸動脈エコーによる頸動脈硬化の経年的な変化に対する危険因子と加齢の関与について—紀勢町研究第6法—，第47回日本老年医学会学術集会，東京国際フォーラム，東京，2005.6.15-17
- ・岡田克俊，佐藤慎一，都島基夫 他6人：地域集団におけるメタボリックシンドロームと高感度CRPとの関連についての疫学研究，第37回日本動脈硬化学会総会，東京京王プラザホテル，東京，2005.7.14-15
- ・都島基夫：Was the Extremely High Level of Serum HDL-Cholesterol Concentration a Risk for Cardiovascular Diseases?，NPO 統合研究会学会報告，東京グランドホテル，東京，2005.7.30
- ・都島基夫：市民公開講座 パネル 本当に大丈夫ですか？あなたの血管，～気にしてください食後の血糖値～，第27回日本臨床栄養学会総会，パシフィコ横浜会議センター，横浜，2005.11.11-13
- ・仲森隆子，角田 裕，都島基夫 他1人：検診における採血時間と検査データとの関連について，第27回日本臨床栄養学会総会，パシフィコ横浜会議センター，横浜，2005.11.11-13
- ・縦山幸彦，河口明人，都島基夫 他3人：日本人の安定CAD例において高感度CRPは予後因子となるか，厚生労働省循環器病研究委託費（14公-6）による研究，第53回日本心臓病学会総会，大阪国際会議場，大阪，2005.9.21.
- ・仲森隆子，角田 裕，都島基夫 他1名：随時血糖と脈波伝播速度法による血管老化に関する研究，第12回日本未病システム学会学術総会，KKRホテル大阪，大阪，2006.1.27-28
- ・都島基夫：メタボリックシンドロームと微小循環 未病からの発症予防，栃木脂質代謝研究会，小山グランドホテル 2F楽天，栃木，2005.7.20
- ・都島基夫：未病医学の概念と高齢化社会における必要性—健康寿命延伸にむけて—，第2回日本経済団体連合会 新産業・新事業委員会ヘルスケア産業委員会，経団連会館9F，東京，2005.10.3
- ・都島基夫：未病医学の概念と高齢化社会における必要性—健康寿命延伸にむけて—，第2回統合医療展，パシフィコ横浜 展示会場，横浜，2006.1.19

- ・ 都島基夫：「いきいき85歳を目指して」イントロ「求められるのは前向きの気持ち」，第8回国際医療福祉大学附属熱海病院公開講座，熱海市観光会館，熱海，2005.10.16
- ・ 都島基夫：メタボリックシンドロームと炎症 アディポサイトカイン，三菱ウェルファーマー社員研修会，三菱ウェルファーマー沼津支所，沼津，2005.12.14
- ・ 都島基夫：糖尿病の管理と合併症，熱海DMポート，国際医療福祉大学熱海病院講堂，熱海，2005.4.18
- ・ Hayashi M：Procedures for abdominal radical hysterectomy，International Workshop of Obstetrics and Gynecology in Beijing，首都医科大学（大学講堂），中国北京市，2005.10.28
- ・ Hayashi M：Procedures for para-aortic and pelvic lymphadenectomy，International Workshop of Obstetrics and Gynecology in Beijing，首都医科大学（大学講堂），中国北京市，2005.10.28
- ・ Hayashi M：Procedures for vaginal hysterectomy，International Workshop of Obstetrics and Gynecology in Beijing，首都医科大学（大学講堂），中国北京市，2005.10.28
- ・ Hayashi M：Immunoreactions and pre-eclampsia，International Workshop of Obstetrics and Gynecology in Beijing，首都医科大学（大学講堂），中国北京市，2005.10.28
- ・ 藤澤知雄：（講演）移植医療 生体肝移植における小児科医の役割，第108回日本小児科学会学集会，東京，2005.4.23
- ・ 藤澤知雄：（講演）自己免疫性肝炎と原発性硬化性胆管炎，第22回日本小児肝臓研究会，仙台，2005.7.16-17
- ・ Fujisawa T：（シンポジウム 講演）Perinatal HBV transmission and prevention，Seminar on Infectious Hepatitis, Its Epidemiology, Prevention and Treatment，Kumamoto，2005.9.14
- ・ 藤澤知雄：（教育講演）小児期における肝疾患のトピックス，南部小児科医会兼第26回神奈川県看護衛生専門学校附属病院小児科懇話会，横浜，2005.11.9
- ・ 乾あやの，十河 剛，藤澤知雄：（シンポジウム 講演）小児期肝疾患の病態と診断の進歩，HBV母子感染予防の長期経過と今後の展望，第9回 日本肝臓学会大会，神戸，2005.10.5-6
- ・ 乾あやの，藤澤知雄，阿部賢治：（シンポジウム 講演）本邦におけるHBV genotypeの変遷とその臨床的意義，B型肝炎母子感染防止事業前後におけるHBV genotypeの変遷，第9回日本肝臓学会大会，神戸，2005.10.5-6
- ・ 小林 泉：感染性心内膜炎の診断と治療，伊豆内分泌代謝研究会，附属熱海病院，静岡県熱海市，2006.2.17
- ・ 重政朝彦：candesartanの使用経験，プロプレス錠 CHF効能追加記念講演会 in Atami，KKRホテル熱海，静岡県熱海市，2006.1.17
- ・ 小林照子：特別教育セッション2 3) 薬剤に関連した乾癬，第35回日本皮膚アレルギー学会総会，第30回日本接触皮膚炎学会総会および合同学術大会，パシフィコ横浜，横浜，2005.7.16
- ・ N Shoji, H Suzuki, T Amano, H Hiro-oka, D Choi, H Furukawa, K Ohbayashi, M Nakanishi, T Morita, K Shimizu：（ポスター展示）12mm Depth Range, 1.25 kHz A-line Rate Optical-Frequency-Domain Optical Coherence Tomography for Imaging of Anterior Segment of Eyes, ARVO 2005 GLOBAL NETWORKING, FLORIDA, 2005.5.4
- ・ 鈴木宏昌，中西 基，川井友美，天野卓治，廣岡秀明，古川浩之，崔 東学，大林康二，森田哲也，庄司信行，清水公也：（一般講演）OFDR-OCTによる濾過手術後の濾過胞形状の観察，第16回日本緑内障学会，熊本，2005.9.17
- ・ 比留間美穂，筒井健太，高野雅彦，中山 幸，柳田智彦，中西 基，引田文子，片倉智博，池田哲也，輿水 学，高橋慶子，清水公也（北里大 眼科）：（一般演題）強膜バックリング術後のIOLマスター™による評価，第41回北里大学・神奈川県眼科医会合同リサーチカンファレンス，神奈川，2005.10.13
- ・ Motoi Nakanishi, MD PhD, Takuji Amano PhD, Hideaki Hiro-oka PhD, Hiroyuki Furukawa PhD, DongHak Choi PhD, Kohji Ohbayashi PhD, Hiromasa Suzuki MD, Nobuyuki Shoji MD, Kimiya Shimizu MD：（ポスター発表）New Biomicroscopy With OFDR-OCT, AAO Annual Meeting Chicago 2005, Chicago, 2005.10.15-18

- ・ 中西 基 : (シンポジウム) 北里大式OFDR-OCT, 第6回眼科臨床機器研究会, 神奈川, 2005.11.19
- ・ 筒井健太, 高野雅彦, 比留間美穂, 中山 幸, 柳田智彦, 中西 基, 引田文子, 片倉智博, 池田哲也, 輿水 学, 高橋慶子, 魚里 博, 清水公也 : (一般講演) IOLマスター™を用いた強膜内陥術後の眼球形状変化, 第44回日本網膜硝子体学会総会, 大阪, 2005.12.3
- ・ 古川裕之, 天野卓治, 廣岡秀明, 崔 東学, 宮澤丈夫, 中西 基, 清水公也, 大林康二 : (一般講演) 周波数掃引OCT, 第22回情報通信学会, 東京, 2005.6.24-25
- ・ 原 淳 (Pier Paolo Mariani) (共同) : 後十字靭帯損傷に対する手術治療 (In-lay法を中心に), 日本整形外科学会, パシフィコ横浜. 横浜市, 2005.5.15

## 学会発表

- ・ 神崎 仁 (座長) : 第106回日本耳鼻咽喉科学会総会, 大阪, 2005.5.19-21
- ・ 神崎 仁 (座長) : 第50回日本聴覚医学会, 六本木アカデミーヒルズ40, 東京, 2005.9.22-24
- ・ 神崎 仁 (座長) : 第15回日本耳科学会, 大阪, 2005.10.20-22
- ・ 神崎 仁 (座長) : 第19回日本耳鼻咽喉科学会専門医講習会, 神戸, 2005.11.24-25
- ・ 神崎 仁 (座長) : 第64回日本めまい平衡医学会, 東京, 2005.11.24-25
- ・ 山川昌美, 押川 仁, 藤川哲也, 川口 実 : Vincristinに著効を示した血栓性血小板減少性紫斑病の一例, 日本内科学会東海地方会, 愛知県産業貿易館, 名古屋, 2005.10.22
- ・ 川口 実 (司会) : 食道・胃静脈瘤 PEG, 第5回日本消化器内視鏡学会東海支部ガイドライン研修会, 津, 2005.7.24
- ・ 川口 実 (座長) : 胃癌②, 第47回日本消化器病学会大会, 神戸国際会議場, 神戸, 2005.10.5
- ・ 川口 実 (座長) : 胃癌④, 第70回日本消化器内視鏡学会, 神戸国際会議場, 神戸, 2005.10.8
- ・ 中村治彦, アウテ・イデリス, 川崎徳仁, 田口雅彦, 加藤治文 : 肺癌におけるFISH を利用した定量的細胞診断の可能性, 第45回日本呼吸器学会学術講演会, 幕張メッセ国際会議場, 千葉県千葉市, 2005.4.14
- ・ 中村治彦, 田口雅彦, 川崎徳仁 : HER2遺伝子発現と非小細胞肺癌の予後—メタアナリシス, 第22回日本呼吸器外科学会総会, 京都国際会議場, 京都府, 2005.6.2
- ・ 川崎徳仁, 田口雅彦, 中村治彦 : 肺小細胞癌の気管支鏡所見と確定診断法, 第28回日本呼吸器内視鏡学会総会, 京王プラザホテル, 東京都, 2005.6.10
- ・ 中村治彦, 川崎徳仁, 田口雅彦, 加藤治文 : 肺癌におけるEGFR遺伝子変異—臨床との関連, 第30回日本外科系連合学会総会, 日本大学会館, 東京都, 2005.6.24
- ・ Nakamura H, Kawasaki N, Taguchi M, Kabasawa K : Survival following lobectomy versus limited resection for stage I lung cancer: a meta-analysis, 11th International Congress for the Study of Lung Cancer (IASLC), バルセロナ国際会議場, スペイン・バルセロナ, 2005.7.4
- ・ 中村治彦 : 呼吸器外科領域の感染症—特に周術期感染, 第1回国際医療福祉大学附属熱海病院リンクナース講習会, 国際医療福祉大学附属熱海病院, 静岡県熱海市, 2005.8.6
- ・ 中村治彦, 田口雅彦, 川崎徳仁 : 肺癌に対する縮小手術と肺葉切除の予後比較—メタアナリシスによる検討, 第58回日本胸部外科学会総会, 岡山コンベンションセンター, 岡山県岡山市, 2005.10.5
- ・ 中村治彦, 川崎徳仁, 田口雅彦, 加藤治文 : 小腫瘍径肺癌におけるEGFR遺伝子変異の検討, 第43回日本癌治療学会総会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2005.10.25
- ・ 中村治彦, 川崎徳仁, 田口雅彦 : EGFR過剰発現と肺癌の予後—メタアナリシスによる解析, 第46回日本肺癌学会総会, 幕張メッセ国際会議場, 千葉県千葉市, 2005.11.26
- ・ 田口雅彦, 中村治彦, 川崎徳仁 : 当地域における高齢者肺癌治療の現状と課題, 第46回日本肺癌学会総会, 幕張メッセ

セ国際会議場，千葉県千葉市，2005.11.26

- ・ 日吉孝治，川崎徳仁，田口雅彦，北村 創，中村治彦：化学療法が著効した胸腺癌の一例，第144回日本肺癌学会関東部会，京王プラザホテル，東京都，2005.12.17
- ・ 西村行徳，清川 浩，日吉孝治，川崎徳仁，田口雅彦，高藤 繁，中村治彦：胸腔鏡下生検で確定診断を得た悪性胸膜中皮腫の1例，第115回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会，京王プラザホテル，東京都，2005.12.17
- ・ 中村治彦，川崎徳仁，田口雅彦，北村 創：肺癌と鑑別を要した炎症性偽腫瘍の1例，第145回日本肺癌学会関東部会，栃木県総合文化センター，栃木県宇都宮市，2006.3.11
- ・ 中村治彦（座長）：（一般口演）その他1，第22回日本呼吸器外科学会総会，京都国際会議場，京都府，2005.6.2
- ・ 中村治彦（座長）：最近の話題 呼吸器外科医のための画像診断，日本呼吸器外科学会 第11回呼吸器外科セミナー，京都国際会議場，京都府，2005.6.4
- ・ 中村治彦（座長）：（一般口演）びまん性肺疾患他，第28回日本呼吸器内視鏡学会総会，京王プラザホテル，東京都，2005.6.10
- ・ 中村治彦（座長）：（シンポジウム）各領域における遺伝子解析と応用，第30回日本外科系連合学会総会，日本大学会館，東京都，2005.6.24
- ・ 中村治彦（座長）：（一般演題）胸腔鏡による診断と治療，第46回日本肺癌学会総会，幕張メッセ国際会議場，千葉県千葉市，2005.11.25
- ・ 中村治彦（主催）：第1回東伊豆病診連携呼吸器疾患研究会，国際医療福祉大学附属熱海病院，静岡県熱海市，2006.1.20
- ・ 中村治彦（主催）：第2回東伊豆病診連携呼吸器疾患研究会，国際医療福祉大学附属熱海病院，静岡県熱海市，2006.3.17
- ・ 住友みどり，佐藤芳美，伊藤 章 他7名：公立大学法人横浜市立大学附属病院にて分離された酵母様真菌の薬剤感受性と抗真菌薬使用量について，第52回日本臨床検査医学会，福岡国際会議場，福岡市，2005.11.11
- ・ 鈴木由香，柳川裕美，伊藤 章：開院以来3年間の血液培養成績の検討，第17回日本臨床微生物学会，パシフィコ横浜，横浜，2006.1.25
- ・ 鈴木高弘，鈴木由香，伊藤 章 他4名：単包パックアルコール綿 切り替えにあたっての取り組み，第21回日本環境感染学会，ホテル日航東京，東京，2006.2.21
- ・ 岩崎博幸：Pathogenesis of cystic nodal metastasis from papillary thyroid cancer，13<sup>th</sup> International Thyroid Congress，Hilton Hotel Convention center，Buenos Ailes Argentine，2005
- ・ 唐澤英偉（座長）：（一般演題）日本画像医学会，東京国際フォーラム，東京，2006.2.11
- ・ 伊能智隆，唐澤英偉：64列MDCTによるCT colonography（CTC）の検討（第一報），日本画像医学会，東京国際フォーラム，東京，2006.2.11
- ・ 田中政道，唐澤英偉（発表者）：64列MDCTによるCT colonographyの試み，第1123回千葉医学会例会，三井ガーデンホテル千葉，千葉県千葉市，2006.1.28
- ・ 渡部まき，唐澤英偉，重政朝彦，山田真梨子，井上のぞみ，大野 孝，高田康廣，小林正夫，田中かおり：IHE Key Image Notesを活用した超音波レポートシステム，日本超音波医学会第78回学術集会，東京国際フォーラム，東京都千代田区，2005.5.14
- ・ 北村 創（コメンテーター）：乳癌症例検討，第82回神奈川病理医会，帝京大学溝口病院，川崎市，2006.1.7
- ・ 北村 創（コメンテーター）：乳癌症例検討，第17回神奈川乳腺疾患懇話会，ホテルキャメロットジャパン横浜，横浜市，2006.2.3
- ・ 五来逸雄，菊地律子，茶木 修，平原史樹：エストロゲン受容体ではなくエストロゲン代謝酵素の遺伝子多型は健常

- 日本人閉経後女性での初経年齢と相関する, 第57回日本産科婦人科学会学術講演会, 京都市, 2005.4.5
- ・倉澤健太郎, 茶木 修, 望月久美, 善方裕美, 荒田与志子, 菊地律子, 平原史樹, 五來逸雄: 閉経後骨粗鬆症婦人に対する塩酸ラロキシフェンの治療効果の検討, 第57回日本産科婦人科学会学術講演会, 京都市, 2005.4.5
  - ・田中 躍, 五來逸雄: Aggressive angiomyxomaの1例, 第38回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 2005.7.2
  - ・Gorai I, Uchiyama Y, Yamauchi H, Kurasawa K, Chaki O, Hirahara F, Ii Y: The postmenopausal women with consistently accelerated bone turnover achieve lower BMD at years beyond 10 years since menopause, 27<sup>th</sup> Annual Meeting of the American Society for Bone and Mineral Research Nashville, Tennessee, USA, 2005.9.24
  - ・五來逸雄, 田中 躍, 岩沖靖久: ラロキシフェン, 活性型ビタミンD併用の骨代謝, カルシウム代謝に対する影響, 第7回日本骨粗鬆症学会, 大阪市, 2005.10.14
  - ・船橋宏幸, 提坂敏昭, 奥山輝明: 妊婦の血液凝固開始時間の変動—妊婦血の過凝固状態が正常化するまで, 第57回日本産科婦人科学会学術講演会, 京都国際会議場, 京都市, 2005.4
  - ・提坂敏昭: 母体血液凝固能の産褥期における正常化について, 第28回日本バイオレオロジー学会年会, 東北大学マルチメディア教育研究棟6F大ホール, 仙台市, 2005.7
  - ・Sasaki T: A mild subtype of systemic sclerosis (SSc) with generalized morphea like characteristic skin sclerosis on the trunk. Is it one phenotype of so-called inflammatory SSc?, 11<sup>th</sup> Prague Dermatology Symposium, Prague, 2005.9.15-17
  - ・佐々木哲雄: 全身性強皮症患者の切離趾断端に生じた verrucous hyperplastic skin lesions, 第104回日本皮膚科学会総会, パシフィコ横浜, 横浜市, 2005.4.22-24
  - ・伊東祥雄, 佐々木哲雄, 花田美穂: ヨーロッパ旅行中に生じたマダニ(*Ixodes ricinus*)刺症, 第104回日本皮膚科学会総会, パシフィコ横浜, 横浜市, 2005.4.22-24
  - ・矢田佳子, 佐々木哲雄, 唐澤英偉 他2名: 偽性腸閉塞を合併した全身性強皮症の1例, 第82回日本皮膚科学会静岡地方会, 静岡労政会館, 静岡市, 2005.6.25
  - ・佐々木哲雄, 菅原万理子, 北村 創 他1名: カルバマゼピンによる drug-induced hypersensitivity syndromeの2例, 第35回日本皮膚アレルギー学会・第30回日本接触皮膚炎学会合同学会, パシフィコ横浜, 横浜市, 2005.7.16-17
  - ・佐々木哲雄 (座長): 薬疹(6), 第35回日本皮膚アレルギー学会・第30回日本接触皮膚炎学会合同学会, パシフィコ横浜, 横浜市, 2005.7.16-17
  - ・佐々木哲雄, 花田美穂, 北村 創 他1名: 踵部褥瘡から敗血症を来し死亡した糖尿病透析患者の1剖検例, 第7回日本褥瘡学会学術総会, パシフィコ横浜, 横浜市, 2005.8.26-27
  - ・磯貝善蔵, 前田 学, 佐々木哲雄: 高齢者外用治療マニュアルの開発と普及, 第7回日本褥瘡学会学術総会, パシフィコ横浜, 横浜市, 2005.8.26-27
  - ・佐々木哲雄 (司会): 第21回県央皮膚科・アレルギー懇話会, グランドホテルSHONAN, 藤沢市, 2005.10.19
  - ・高橋一夫, 佐々木哲雄, 池澤善郎 他6名: 全身性強皮症における指尖潰瘍・壊死(皮膚潰瘍含)の臨床的治療経験, 第55回日本アレルギー学会総会, 盛岡市民文化ホール, 盛岡市, 2005.10.20-22
  - ・高橋一夫, 佐々木哲雄, 池澤善郎 他6名: 全身性強皮症における指尖潰瘍・壊死, 皮膚潰瘍の治療経験, 厚生労働省「強皮症」研究班2005年度班会議・第9回強皮症研究会議合同会議, 大正製薬本社, 東京都, 2006.1.14
  - ・矢田佳子, 佐々木哲雄, 唐澤英偉 他2名: 偽性腸閉塞を合併した全身性強皮症の1例, 厚生労働省「強皮症」研究班2005年度班会議・第9回強皮症研究会議合同会議, 大正製薬本社, 東京都, 2006.1.14
  - ・山口絢子, 佐々木哲雄, 池澤善郎 他6名: シェーグレン症候群合併全身性エリテマトーデスの1例, 第29回皮膚脈管膠原病研究会, 岡山コンベンションセンター, 岡山市, 2006.1.27-28
  - ・山口由衣, 佐々木哲雄, 池澤善郎 他3名: 抗EJ抗体陽性であった非典型全身性強皮症の1例, 第29回皮膚脈管膠原病研究会, 岡山コンベンションセンター, 岡山市, 2006.1.27-28

- ・ 佐々木哲雄, 小林照子, 矢田佳子, 他1名 : 四肢に多発する結節あるいは腫瘍から診断されたサルコイドーシスの2例, 第69回日本皮膚科学会東京支部学術大会, パシフィコ横浜, 横浜市, 2006.2.11-12
- ・ 佐々木哲雄 (座長) : 教育講演 皮膚LEの見方と治療の話題 (衛藤 光), 第69回日本皮膚科学会東京支部学術大会, パシフィコ横浜, 横浜市, 2006.2.11-12
- ・ 佐々木哲雄 (司会) : 第22回県央皮膚科・アレルギー懇話会, 小田急ホテルセンチュリー相模大野, 相模原市, 2006.2.22
- ・ 篠永正道 : CSF hypovolemia as a cause of WAD, 第5回日韓脊髄カンファレンス, 札幌, 2005.6.10
- ・ 篠永正道 : 脳脊髄液減少症の診断と治療, 第64回日本脳脊髄外科学会総会, 横浜, 2005.10.7
- ・ 篠永正道 : Chronic headache attributed to CSF hypovolemia, 12<sup>th</sup> Congress of International Headache Society, 京都, 2005.10.11
- ・ 篠永正道 : CSF hypovolemia as a cause of chronic headache attributed to Whiplash injury, 12<sup>th</sup> Congress of International Headache Society, 京都, 2005.10.12
- ・ 篠永正道 (主催者) : 長期間の不随意運動, 歩行不能がEBP後に改善した1例, 第4回脳脊髄液減少症研究会, 国際医療福祉大学附属熱海病院大会議室, 熱海, 2006.2.4
- ・ 篠永正道 (主催者) : 頻回のEBPにもかかわらず腰椎から髄液漏出が持続しフィプロガミンEBPで漏出が止まった1例, 第4回脳脊髄液減少症研究会, 国際医療福祉大学附属熱海病院大会議室, 熱海, 2006.2.4
- ・ 篠永正道 (主催者) : EBPにより改善した小児難治性頭痛の1例, 第4回脳脊髄液減少症研究会, 国際医療福祉大学附属熱海病院大会議室, 熱海, 2006.2.4
- ・ 篠永正道 (主催者) : 特異な精神症状を呈した脳脊髄液減少症に1例, 第4回脳脊髄液減少症研究会, 国際医療福祉大学附属熱海病院大会議室, 熱海, 2006.2.4
- ・ 篠永正道 (主催者) : RI脳槽シンチとMRミエロの対比 MRミエロで髄液漏出はどの程度可能か, 第4回脳脊髄液減少症研究会, 国際医療福祉大学附属熱海病院大会議室, 熱海, 2006.2.5
- ・ 篠永正道 (主催者) : この5年間の脳脊髄液減少症の診療実績と私が行っている治療法について, 第4回脳脊髄液減少症研究会, 国際医療福祉大学附属熱海病院大会議室, 熱海, 2006.2.5
- ・ 篠永正道 (主催者) : 脳脊髄液減少症の裁判に係わって 4件の裁判事例から, 第4回脳脊髄液減少症研究会, 国際医療福祉大学附属熱海病院大会議室, 熱海, 2006.2.5
- ・ 高藤 繁 (座長) : 好酸球増多症, 第17回日本アレルギー学会春季臨床大会, ホテルグランヴィア岡山, 岡山, 2005.6.3
- ・ Takafuji S, Kuboshima S, Ishida A et al. : Platelet-activating factor activates human lung fibroblasts in the presence of interleukin-4, The XIX World Allergy Organization Congress, ICM-International Congress Center Munich, Munich Germany, 2005.6.30
- ・ M Tamaki, Y Sawada, Y Ichikawa et al. : Repetitive transcranial magnetic stimulation (rTMS) improves freezing of gait (FOG) in patients with Parkinsonism, XVIIth Conference International Society for Postural and Gait Research, International conference center, Marseille, Marseille France, 2005.6.1
- ・ 玉城允之, 橘 滋国 : 首下がりを主徴とした筋無力症様症候群の一例, 第18回日本神経免疫学会学術集会, 名古屋国際会議場, 愛知, 名古屋, 2006.3.3
- ・ 築山久一郎 (座長) : 臨床一般演題 臨床 (治療), 第28回日本高血圧学会総会, 旭川市, 2005.9.16
- ・ 山田佳彦, 田中俊一, 都島基夫 他7名 : (ポスター) 糖尿病患者および健常者における足趾/上腕血圧比 (TBI) 測定の有用性の検討, 第48回日本糖尿病学会年次学術集会, 神戸ポートピアホテル 神戸国際会議場, 神戸, 2005.5.12-14
- ・ 今村佳代子, 丸山千寿子, 都島基夫 他3人 : (ポスター) 一般住民におけるインスリン抵抗性と食物摂取頻度につ

- いて、第48回日本糖尿病学会年次学術集会、神戸ポートピアホテル 国際会議場、神戸、2005.5.12-14
- ・ 仲森隆子, 角田 裕, 都島基夫 他1人: 早食い習慣が肥満, メタボリックシンドロームの原因となる, 第26回日本肥満学会, ホテルロイトン札幌, 札幌, 2005.10.13-14
  - ・ 都島基夫 (座長): (シンポジウムII) 老年医学における未病-老年疾患の予防をどのようにすすめるか-, 第47回日本老年医学会学術集会, 東京国際フォーラム, 東京, 2005.6.15-17
  - ・ 都島基夫 (座長): (一般演題) プラークの形成と破綻2, 第37回日本動脈硬化学会総会, 東京京王プラザホテル, 東京, 2005.7.14-15
  - ・ 都島基夫 (座長): (一般演題) 肥満症, 第27回日本臨床栄養学会総会, パシフィコ横浜会議センター, 横浜, 2005.11.11-13
  - ・ 都島基夫 (座長): (一般演題) メタボリックシンドローム, 第12回日本未病システム学会学術総会, KKRホテル大阪, 大阪, 2006.1.27-28
  - ・ 都島基夫 (座長), 由谷親夫: 病理医から見た先端医療, 第1回静岡会, ブケ東海静岡, 静岡, 2005.9.3
  - ・ 都島基夫 (座長): (特別講演) 糖尿病治療のパラダイムシフト~長期予後を見据えた経口糖尿病薬の位置付け~, 第1回伊豆糖尿病懇話会, KKRホテル熱海, 熱海, 2006.2.18
  - ・ 林 雅敏 (座長): Group 60 多胎II, 第57回日本産科婦人科学会, 国立京都国際会館, 京都府京都市, 2005.4.4
  - ・ 林 雅敏 (座長): 更年期障害III, 第20回日本更年期医学会, 大宮ソニックシティ, 埼玉県さいたま市, 2005.11.12
  - ・ 林 雅敏 (座長): ランチョン・セミナー6.婦人科手術後の排尿障害とその管理について, 第39回特定非営利活動法人日本婦人科腫瘍学会, 都市センター, 東京都, 2005.12.9
  - ・ 亀森 哲, 深澤一雄, 林 雅敏 他9人: 質量分析装置を用いた卵巣癌早期診断法の開発, 第57回日本産科婦人科学会, 国立京都国際会館, 京都府京都市, 2005.4.4
  - ・ 山崎龍王, 深澤一雄, 林 雅敏 他8人: 早期子宮頸癌においてp16INK4aの発現はリンパ節転移と相関する, 第57回日本産科婦人科学会, 国立京都国際会館, 京都府京都市, 2005.4.5
  - ・ 濱田佳伸, 堀中奈奈, 林 雅敏 他1人: 妊娠中に開頭術を施行し, 妊娠を継続した2症例, 第110回日本産科婦人科学会関東連合地方部会, 京王プラザホテル, 東京都, 2005.6.12
  - ・ 濱田佳伸, 堀中奈奈, 林 雅敏 他9人: epithelioid sarcomaの1症例, 第67回埼玉県産婦人科医会平成17年度前期学術集会, 県民健康センター, 埼玉県さいたま市, 2005.6.18
  - ・ 矢追正幸, 杉山紀子, 林 雅敏 他1人: 子宮体癌術後1年4ヶ月目に膀胱転移を含めた多発転移症例に対し, TTJ療法を施行して, 著効となった1症例, 第38回特定非営利活動法人日本婦人科腫瘍学会, アバローム紀の国, 和歌山県和歌山市, 2005.7.22
  - ・ 杉山紀子, 矢追正幸, 林 雅敏 他1人: 両側子宮内膜症性嚢胞切除後に発生した漿液性乳頭状腺癌の1症例, 第38回特定非営利活動法人日本婦人科腫瘍学会, アバローム紀の国, 和歌山県和歌山市, 2005.7.22
  - ・ 濱田佳伸, 矢追正幸, 林 雅敏 他3人: 産後精神障害の2症例, 第34回日本女性心身症学会, 長良川国際会議場, 岐阜県岐阜市, 2005.8.28
  - ・ 矢追正幸, 濱田佳伸, 林 雅敏 他2人: SSRIのパロキセチンが閉経女性の血管運動神経症状に及ぼす効果に関する検討(第2報:長期効果の検討), 第34回日本女性心身症学会, 長良川国際会議場, 岐阜県岐阜市, 2005.8.28
  - ・ 林 雅敏, 黄海文昌, 相馬良一: 妊娠高血圧症候群妊婦の羊水中 tumor necrosis factor- $\alpha$ の動態, 第26回日本妊娠高血圧学会, シェラトングランデ・オーシャンリゾート, 宮崎県宮崎市, 2005.10.13
  - ・ 矢追正幸, 濱田佳伸, 林 雅敏 他2人: PETで診断が特定できなかったPSCPまたはSSPCの1症例, 第110回日本産科婦人科学会関東連合地方部会, 松本文化会館, 長野県松本市, 2005.10.16
  - ・ 安藤昌守, 濱田佳伸, 林 雅敏 他7人: HRT施行症例にリセドロネート製剤を併用した時の骨量と骨代謝マーカー

- の変化について—第2報—, 第20回日本更年期医学会, 大宮ソニックシティ, 埼玉県さいたま市, 2005.11.12
- ・ 安藤昌守, 濱田佳伸, 林 雅敏 他7人: 長期間のホルモン補充療法における各種動脈硬化指標の推移, 第20回日本更年期医学会, 大宮ソニックシティ, 埼玉県さいたま市, 2005.11.12
  - ・ 橋本卓史, 蜂矢正彦, 月本一郎, 堀 裕雅, 堀 健一, 藤澤知雄: 産科施設におけるHCV抗体陽性の妊婦から出生した児の前方視的観察, 第108回日本小児科学会学術集会, 東京, 2005.4.22
  - ・ 乾あやの, 十河 剛, 小松陽樹, 藤澤知雄: 小児B型肝炎におけるgenotypeの検討, 第108回日本小児科学会学術集会, 東京, 2005.4.24
  - ・ 十河 剛, 乾あやの, 小松陽樹, 藤澤知雄, 中島章子, 横田俊平, 堀越泰雄, 三間屋純一: C型慢性肝炎に対するPEG-インターフェロン $\alpha$ 2a単独療法の経験, 第108回日本小児科学会学術集会, 東京, 2005.4.23
  - ・ 藤澤知雄: C型慢性肝炎に対するPEG-IFN単独療法, 第2回小児C型慢性肝炎治療研究会, 東京, 2005.4.23
  - ・ 中島章子, 菊池信行, 横田俊平, 十河 剛, 乾あやの, 藤澤知雄: スクリーニングで発見されたWilson病の長期経過, 第9回ウイルソン病研究会, 東京, 2005.5.14
  - ・ 乾あやの, 十河 剛, 小松陽樹, 藤澤知雄, 宮川 浩, 江川裕人, 田中紘一: 生体部分肝移植後のde novo autoimmune hepatitis (AIH)発症におけるサイトケラチン(CK)8/18抗体の関与, 第17回神奈川移植医学会, . 横浜, 2005.6.4
  - ・ Fujisawa T, Inui A, Sogo T, Komatsu H, Abe K: Hepatitis B virus genotype in Japanese Children – Present and future. 9<sup>th</sup> Congress of the Asian Pan-pacific Society of Pediatric Gastroenterology, Hepatology and Nutrition, Kuala Lumpur, MALAYSIA, 2005.6.16-19
  - ・ 十河 剛, 乾あやの, 藤澤知雄, 三間屋純一: 超音波検査が診断に有用であった不完全型Budd-Chiari症候群の1例, 第41回日本小児放射線学会, 高松, 2005.6.24-25
  - ・ 十河 剛, 乾あやの, 板倉敬乃, 高崎二郎, 藤多和信, 藤澤知雄: 2004年に当院小児科で実施した腹部超音波検査の検討, 第108回 日本小児科学会 静岡地方会, 静岡, 2005.6.26
  - ・ 金澤正樹, 小川真司, 河野陽一, 村山 圭, 長坂博範, 高柳正樹, 十河 剛, 乾あやの, 藤澤知雄: 自己免疫性肝炎が疑われる1男児例, 第32回武蔵野小児肝臓病懇話会, 東京, 2005.7.5
  - ・ 十河 剛, 乾あやの, 藤澤知雄, 三間屋純一, 唐澤偉英: 超音波が診断に有用であった不完全型Budd-Chiari症候群の1例, 第33回静岡県東部臨床小児懇話会, 沼津, 2005.7.16
  - ・ 橋本卓史, 月本一郎, 堀 裕雅, 堀 健一, 藤澤知雄: HCV抗体陽性の妊婦に対するprenatal visitの効果について(アンケート調査結果の報告), 第22回日本小児肝臓研究会, 仙台, 2005.7.16-17
  - ・ 乾あやの, 十河 剛, 小松陽樹, 藤澤知雄: C型慢性肝炎に対するPEG-IFN単独療法の安全性と効果, 第32回日本小児栄養消化器肝臓学会, 久留米, 2005.10.8-9
  - ・ 橋本卓史, 中山智考, 直井和之, 嶋田博光, 中村久理子, 高月晋一, 松裏裕行, 佐地 勉, 藤澤知雄: 肺高血圧症を主症状とした門脈体循環短絡の3例, 第32回日本小児栄養消化器肝臓学会, 久留米, 2005.10.8-9
  - ・ 乾あやの, 十河 剛, 小松陽樹, 藤澤知雄: 小児のノロウイルス感染症の臨床的特徴, 第4回静岡感染制御研究会, 静岡, 2005.10.29
  - ・ 渡辺孝平, 儘田明央, 織田志郎, 岡田公美, 中山章子, 羽山忠良, 藤澤知雄, 瀬野尾章: 肝細胞内の管状封入体の超微形態について, 第37回日本臨床分子形態学会, 大阪, 2005.9.30-10.1
  - ・ 乾あやの, 十河 剛, 小松陽樹, 藤澤知雄: HBV母子感染予防の長期経過, 第37回日本感染症学会, 三重, 2005.11.11-12
  - ・ 乾あやの, 十河 剛, 小松陽樹, 藤澤知雄: B型肝炎母子感染とHBV genotypeの関連性についての検討, 三重, 2005.11.11-12

- ・小松陽樹, 乾あやの, 十河 剛, 藤澤知雄: 生体部分肝移植後の肝静脈狭窄に伴う低ガンマグロブリン血症とCMV感染, 三重, 2005.11.11-12
- ・Komatsu H, Sogo T, Inui A, Fujisawa T: Evolution of hepatitis C virus after mother to infant transmission role of humeral cellular response., 1<sup>st</sup> Congress of Asian Society for Pediatric Research., 2005.11.24-26
- ・Inui A, Sogo T, Komatsu H, Fujisawa T: Antibodies against cytokeratin 8/18 and de novo autoimmune hepatitis after liver transplantation., 1<sup>st</sup> Congress of Asian Society for Pediatric Research., 2005.11.24-26
- ・Komatsu H, Sogo T, Inui A, Fujisawa T: Hypogammaglobulinemia with hepatic stenosis causes cytomegalovirus after liver transplantation., 1<sup>st</sup> Congress of Asian Society for Pediatric Research., 2005.11.24-25.
- ・直井和之, 橋本卓史, 藤澤知雄: 診断に苦慮している胆汁うっ滞の乳児例, 第33回武蔵野小児肝臓病懇話会, 2005.12.6
- ・乾あやの, 十河 剛, 小松晴樹, 藤澤知雄: 小児期のHBV感染症におけるgenotype., 第7回静岡県小児肝・消化器疾患研究会, 2006.1.28
- ・乾あやの, 十河 剛, 小松陽樹, 阿部賢治, 藤澤知雄: B型肝炎母子感染防止事業前後におけるHBV genotypeの変遷, 平成17年度第2回宮川庚子記念研究財団研修会, 2006.2.4
- ・乾あやの, 十河 剛, 藤澤知雄, 杉枝正明, 西尾 治: ノロウイルスによる急性胃腸炎の臨床的特徴, 第2回日本小児消化管感染症研究会, 2006.2.25
- ・十河 剛, 乾あやの, 藤澤知雄, 田尻 仁, 恵谷ゆり, 中島章子, 今川知之, 森 雅亮, 横田俊平: 小児期発症原発性硬化性胆管炎の長期予後, 第12回神奈川県小児肝疾患研究会, 2006.3.1
- ・十河 剛, 乾あやの, 藤澤知雄, 田尻 仁, 恵谷ゆり, 中島章子, 今川智之, 横田俊平: 小児期発症原発性硬化性胆管炎の長期予後効果, 第109回日本小児科学会静岡地方会, 2006.3.4
- ・中島章子, 柳町昌克, 梶原良介, 黒木文子, 後藤祐明, 横田俊平, 十河 剛, 乾あやの, 藤澤知雄: 骨髄移植後の肝GVHD症例における病理所見, 第12回神奈川県小児肝疾患研究会, 2006.3.1
- ・橋本卓史, 中山智考, 直井和之, 嶋田博光, 中村久理子, 高月晋一, 松裏裕行, 佐地 勉, 藤澤知雄: 肺高血圧症を合併した先天性門脈体循環短絡症3例-肝移植の適応について, 第19回日本小児脾臓研究会, 東京, 2006.3.4
- ・伊藤 淳, 腰野富久, 岡本連三, 三ツ木直人, 齋藤知行: Kinematic 人工膝関節置換術後の膝蓋骨追加置換例, 第48回日本リウマチ学会, 岡山コンベンションセンター, 岡山, 2005.4.15
- ・伊藤 淳, 上杉昌章: 大腿骨頸部骨折手術患者における入院前の日常生活動作の自立度と退院時歩行能力との関係, 第42回日本リハビリテーション医学会, 石川県立音楽堂, 金沢, 2005.6.18
- ・伊藤 淳, 腰野富久, 岡本連三, 三ツ木直人, 齋藤知行: 膝蓋骨非置換人工膝関節置換術後の膝蓋骨高位と膝蓋骨追加置換について, 第33回日本リウマチ・関節外科学会, 品川プリンスホテル, 東京, 2005.11.12
- ・清川 浩 他: 呼吸における連続性ラ音の出現と閉塞性換気障害との関連, 第30回肺音(呼吸音)研究会, エーザイ別館, 東京, 2005.11.12
- ・小林 泉, 根本豊治, 堀口順子, 森田由紀子, 上村大輔, 重政朝彦, 生駒英子, 岡田興造, 大森智子, 瀧川政和: 術前CT, Angiographyを施行し経カテーテル動脈塞栓術により治療した鎖骨上窩の仮性動脈瘤の一例, 第125回日本循環器学会東海地方会, 三重県医師会館, 三重県津市, 2005.6.11
- ・小林 泉, 岡田興造, 重政朝彦, 根本豊治, 堀口順子, 森田由紀子, 上村大輔, 青木直人, 和泉直子: 急性心筋梗塞に対するインターベンションで冠状動脈穿孔を来し, ePTFE被覆バルーン拡張型ステントにて治療した1例, 第196回日本内科学会東海地方会, ぱるるプラザ岐阜, 岐阜県岐阜市, 2005.6.25
- ・小林 泉, 重政朝彦, 生駒英子, 岡田興造: 診断造影後7日目に新たに出現した血栓によると考えられる左前下行枝の狭窄に対し血栓吸引術後薬物溶出性ステントを留置した一例, 第14回日本心血管インターベンション学会東海北陸

地方会，ホテル日航金沢，石川県金沢市，2005.11.25-26

- ・ 重政朝彦，佐々木龍，生駒英子：完全房室ブロックを合併した急性前壁心筋梗塞に対して，橈骨動脈アプローチによる冠動脈インターベンションが奏効し救命し得た90歳高齢男性の1例，第13回日本心血管インターベンション学会東海北陸地方会，岐阜県県民文化ホール 未来会館，岐阜県岐阜市，2005.5.14
- ・ 重政朝彦，小林 泉，生駒英子，岡田興造：心室細動に対して病院前の救急救命士による除細動が有効だった急性心筋梗塞の2例，第3回駿河湾を囲む臨床を語る会，沼津東急ホテル，静岡県沼津市，2005.5.25
- ・ 井上のぞみ，重政朝彦，小林 泉，生駒英子，岡田興造，渡部まき，山田真梨子，織田寛子：携帯型超音波診断装置により確定診断にいたった心室中隔穿孔合併急性心筋梗塞の93歳高齢女性の1例，日本超音波医学会第22回中部地方会学術集会，名古屋国際会議場，愛知県名古屋市，2005.7.3
- ・ 重政朝彦，佐々木龍，生駒英子，伊藤真紀，北出弘昭：急性前壁心筋梗塞発症後に急性期リハビリテーションを施行した90歳高齢男性の1例，第11回日本心臓リハビリテーション学会，大阪国際会議場，大阪府大阪市，2005.7.17
- ・ 岡田興造，重政朝彦，小林 泉，生駒英子：術前に診断し救命し得た閉鎖孔ヘルニアの1例，第16回日本老年医学会東海地方会，名古屋市中心企業振興会館（吹上ホール），愛知県名古屋市，2005.8.27
- ・ 重政朝彦，小林 泉，生駒英子，岡田興造：心疾患患者における拡張早期左室流入血流速度と拡張早期僧帽弁輪運動速度との比は運動耐容能を予測しうるか，第53回日本心臓病学会学術集会，大阪国際会議場，大阪府大阪市，2005.9.20
- ・ 重政朝彦：当院で経験した循環器疾患一心電図変化と心臓カテーテル検査所見を中心に一，第1回伊豆内分泌代謝研究会，KKRホテル熱海，静岡県熱海市，2005.9.22
- ・ 重政朝彦，小林 泉，生駒英子，岡田興造：ループ腎炎による慢性腎不全に対する維持透析経過中に急性大動脈解離を発症した1例，日本循環器学会第126回東海・第111回北陸合同地方会，名古屋市中心企業振興会館（吹上ホール），愛知県名古屋市，2005.11.5
- ・ 生駒英子，重政朝彦，小林 泉，岡田興造：当院で経験した64列MDCTで解析した循環器疾患症例，第4回駿河湾を囲む臨床を語る会，沼津東急ホテル，静岡県沼津市，2005.11.16
- ・ 重政朝彦（オブザーバー）：皮疹により診断された心サルコイドーシスの1例 など4症例，第2回循環器ミーティング，共立蒲原総合病院，静岡県庵原郡，2005.11.25
- ・ 生駒英子，重政朝彦，小林 泉，岡田興造，渡部まき，山田真梨子，井上のぞみ，織田寛子，進藤達也，腹膜透析の透析液濃度変更により左室流入血流速度波形の改善を確認し得た心不全合併慢性腎不全患者の1例，日本超音波医学会第23回中部地方会学術集会，アスト津，三重県津市，2006.1.22
- ・ 重政朝彦，小林 泉，生駒英子，岡田興造：64列MDCTによる心機能評価，第25回日本画像医学会，東京国際フォーラム，東京都千代田区，2006.2.11
- ・ 生駒英子，重政朝彦，小林 泉，岡田興造：たこつぼ型心筋症の合併が疑われたANCA関連腎炎の1例，第198回日本内科学会東海地方会，名古屋国際会議場，愛知県名古屋市，2006.3.4
- ・ 陶山秀夫：Lasikを施行した視野異常を呈した症例，第1回静岡東部眼科カンファレンス緑内障セミナー，沼津東急ホテル，沼津，2005.4.16
- ・ 柏木広哉，矢田清身，陶山秀夫：黄斑部脈絡膜隆起病変の1例，第23回眼腫瘍研究会，新潟県医師会館，新潟，2005.6.25
- ・ 陶山秀夫：凝固時間が30分と延長した症例の白内障手術，第2回静岡東部眼科カンファレンス白内障セミナー，沼津東急ホテル，沼津，2005.7.2
- ・ 緒方博子，庄司信行，陶山秀夫 他3名：ラタノプロスト単独使用例へのプリンゾラミド追加による1年後の眼圧下降効果，第16回日本緑内障学会，ホテル日航熊本，熊本，2005.9.17

- ・後関利明, 陶山秀夫, 石川 均: ラタノプロスト点眼からウノプロストン点眼への切り替えによる有効性, 第59回日本臨床眼科学会, 北海道厚生年金会館, 札幌, 2005.10.7
- ・柏木広哉, 陶山秀夫: 総合病院眼科の電子カルテ (旧バージョンで生き残れるか), 第59回日本臨床眼科学会, 北海道厚生年金会館, 札幌, 2005.10.7
- ・高梨吉裕: 術中所見からみた脳動脈瘤の術前診断, 第35回日本脳卒中の外科学会, パシフィコ横浜, 横浜, 2006.3.21
- ・高梨吉裕 (座長): 脊髄電気刺激療法懇話会, 附属熱海病院, 熱海, 2006.2.18
- ・田口雅彦: 当地域における高齢者肺癌治療の現状と課題, 第46回日本肺癌学会総会, 幕張メッセ, 千葉, 2005.11.26
- ・藤井本晴, 高家幹夫, 山上達人 他3名: 進行期パーキンソン病に対する深部脳刺激療法の治療結果, 第44回日本定位・機能神経外科学会, グランキューブ大阪 (大阪国際会議場), 大阪, (2005.1.21-22)
- ・藤井本晴, 高家幹夫, 山上達人 他3名: 進行期パーキンソン病に施行した深部脳刺激療法の合併症, 第44回日本定位・機能神経外科学会, グランキューブ大阪 (大阪国際会議場), 大阪, (2005.1.21-22)
- ・藤井本晴, 高家幹夫, 山上達人 他3名: 解離性椎骨動脈瘤の1例, 第28回近畿脳神経血管内手術ワークショップ, 南和歌山医療センター, 和歌山, 2005.7.23-24
- ・藤井本晴, 武内重二, 高家幹夫 他2名: 進行期パーキンソン病に対する深部脳刺激療法の中期成績—術後2年以上経過した33症例について, 第64回日本脳神経外科学会総会, パシフィコ横浜, 横浜, 2005.10.5-7
- ・藤井本晴, 高家幹夫, 山上達人 他3名: 頸部内頸動脈狭窄症に対するステント留置術—自験21例について—, 第21回日本脳神経血管内治療学会総会, 和歌山県民文化会館, 和歌山, 2005.11.9-11
- ・藤井本晴, 高家幹夫, 山上達人 他2名: 小児脳神経外科のpitfall: 親御さんの理解—救命できなかった小児水頭症の1例に基づいて, 第23回こども病院神経外科医会, 大阪リバーサイドホテル, 大阪市立総合医療センター, 大阪, 2005.11.12-13
- ・藤井本晴, 高梨吉裕, 篠永正道: 脊髄硬膜外電気刺激 (SCS) による脳血流改善後, 左椎骨動脈狭窄症に対してPTAを施行した1例, 第8回静岡脳神経血管内手術懇話会, 島田市立文化会館, 静岡, 2005.12.3
- ・藤井本晴, 高梨吉裕, 篠永正道: ブラッドパッチ治療後に勃起機能不全の改善した1例, 第1回脳脊髄液減少症ワークショップ, 国際医療福祉大学附属熱海病院, 熱海, 2006.2.4-5
- ・岩崎知之, 米田正人, 山田佳彦 他3名: フェリチンと内臓・皮下脂肪と肝脂肪含有量の解析, 第48回日本糖尿病学会年次学術集会, 神戸国際会議場 他, 神戸市, 2005.5.12
- ・山田佳彦, 名和田新, 関原久彦 他2名: デヒドロエピアンドロステロン (DHEA) 補充療法による血中性ステロイドホルモン及び各種インスリン抵抗性指標への影響, 第78回日本内分泌学会学術総会, 京王プラザホテル, 東京都, 2005.7.2
- ・岩崎知之, 山田佳彦, 中島 淳 他4名: 高感度CRPと内臓・皮下脂肪と肝脂肪含有量の解析, 第78回日本内分泌学会学術総会, 京王プラザホテル, 東京都, 2005.7.3
- ・浦 信行, 大村昌夫, 山田佳彦 他6名: 2型糖尿病・境界型糖尿病合併高血圧に対する血管拡張性 $\beta$ 1遮断薬セリプロロールの臨床検討札幌医科大学及び関連施設, 横浜市立大学共同研究, 第9回日本心血管内分泌代謝学会, 東京コンファレンスセンター品川, 東京都, 2005.11.18
- ・板倉敬乃: 育児不安の軽減のために～周産期からの育児支援とひとりひとりのための評価の必要性, 東京, 2005.6.4
- ・板倉敬乃: 育児不安の軽減のために～乳児の発達の見方と育児不安の理解～, 東京, 2005.7.23
- ・板倉敬乃: DENVER II 予備発達判定票の問題点, 第52回日本小児保健学会, 下関メッセ, 下関, 2005.10.8
- ・板倉敬乃: 乳児健診におけるアンケート調査, 第30回静岡県小児保健学会, 静岡県産業経済会館, 静岡, 2005.10.29
- ・板倉敬乃: 小児科医より学校医・養護教諭に知って欲しいこと, 学校医と養護教諭の集い (熱海市医師会), 熱海, 2005.11.15

- ・ 山川昌美, 押川 仁, 藤川哲也 他1名: Vincristineに著効を示した血栓性血小板減少性紫斑病の一例, 第197回日本内科学会東海地方会, 名古屋, 愛知県名古屋市, 2005.10
- ・ 河村晴信: 食道静脈瘤に対する地固め療法後に粘膜下血腫を発症した1例, 第80回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 砂防会館, 東京, 2005.6.3
- ・ 河村晴信: 胆嚢内出血を造影超音波検査にて診断し得た1例, 第47回日本消化器病学会大会, 神戸国際展示場, 神戸, 2005.10.7
- ・ 三ツ木直人, 齋藤 泉 他: リウマチ肘に対するGSB III型人工肘関節置換術の成績, 東日本整形災害外科学会, 新高輪プリンスホテル, 東京都港区, 2005.9.23
- ・ 鈴木 誠 (発表者): 胃十二指腸潰瘍穿孔手術例29例の傾向, 診断と治療, 消化器外科学会, 高輪プリンスホテル, 東京, 2005.7.21
- ・ 田中政道 (発表者): IFN/ribavirin併用療法抵抗例に特徴的なアミノ酸変異を導入したHCV repliconの薬剤耐性の検討, 第41回日本肝臓学会総会, 大阪国際会議場, 大阪府大阪市, 2005.6.17
- ・ 熊埜御堂浩, 神崎 仁: 耳鳴患者の心理的特徴と治療, 伊豆耳鼻科懇話会, ホテル池田, 静岡県熱海市, 2005.8.28
- ・ 田中 躍: (口演) 当科に於ける静脈血栓塞栓症の3例, 第109回日本産科婦人科学会関東連合地方部会, 京王プラザホテル, 東京都, 2005.5.6
- ・ 田中 躍: (ポスター) Aggressive Angiomyxomaの1例, 第38回日本婦人科腫瘍学会発表, アパローム紀の国, 和歌山市, 2005.7.21
- ・ 田中 躍: (口演) SSI (Surgical site infection) について, 第15回熱海病院院内学術懇話会発表, 附属熱海病院, 熱海, 2005.5.24
- ・ 田中 躍: (口演) 当科に於ける静脈血栓塞栓症について, 第19回熱海病院院内学術懇話会発表, 附属熱海病院, 熱海, 2006.1.27
- ・ 藤川 考: PLLAプレートを用いた上下顎骨形成術の予後安定性について, 第15回日本顎変形症学会総会, 徳島県郷土文化会館, 徳島市, 2005.6.3
- ・ 羽鳥慎祐: 当センターにおける進行食道癌に対するSalvage Surgery, 第58回日本胸部外科学会総会, 岡山コンベンションセンター, 岡山, 2005.10.5
- ・ 羽鳥慎祐: TS-1治療後のSecond-Line ChemotherapyとしてのWeekly Taxol療法, 第78回日本胃癌学会総会, 大阪国際会議場, 大阪, 2006.3.9
- ・ 羽鳥慎祐: CDDP・5-FU療法にてCRが得られた食道小細胞型未分化癌の1例, 第48回静岡県がん治療研究会, 静岡商工会議所, 静岡, 2006.3.25
- ・ 村上仁志, 吉川貴己, 大仏智彦, 長谷川慎一, 円谷 彰, 小林 理: リンパ節洗浄液の定量RT-PCRを用いた胃癌症例におけるリンパ節転移診断, 第106回日本外科学会定期学術集会, 東京国際フォーラム, 東京都千代田区, 2006.3.31

#### 研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

- ・ 川口 実: 胃微細粘膜模様の観察, 東京医大ガン研究助成金, 採択
- ・ 五來逸雄 (研究代表者): 閉経後日本人女性の骨量変化に及ぼす内分泌的・遺伝的因子の影響と骨量予知に関する研究, 文部科学省科学研究費, 基盤研究(C)(2), (平成14年~平成17年)
- ・ 佐々木哲雄: 難治性疾患克服研究事業強皮症における病因解明と根治的治療法の開発, 厚生労働科学研究費補助金, 継続
- ・ 佐々木哲雄: 高齢者医療サービスの標準化並びに長寿医療の供給体制に関する研究, 長寿医療研究委託費, 継続
- ・ 都島基夫: 未病としてのメタボリックシンドロームの疫学研究ーアディポネクチンと炎症指標の動脈硬化への影響ー,

生活習慣病予防等に関する研究助成金 いきいき健康増進財団, 採択

- ・ 林 雅敏: 異常妊娠の胎盤のトロホプラスト機能に与える各種サイトカインの影響, 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), 16591681, 継続
- ・ 藤澤知雄, 乾あやの, 十河 剛, 小松陽樹: HCV感染症の治療対策, 厚生労働科学研究費補助金, 肝炎等克服緊急対策研究事業, C型肝炎ウイルス等の母子感染防止に関する研究, 平成17年度第1回研究会議プログラム, 2005.6.25
- ・ 藤澤知雄: 小児期に発症する原発性硬化性胆管炎, 厚生労働科学研究補助金 難治性疾患克服研究事業, 「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究」, 東京, 2005.8.26
- ・ 藤澤知雄, 乾あやの, 十河 剛: HCV母子感染例に対するPEG-IFN単独療法「C型肝炎ウイルス等の母子感染防止に関する研究」, 平成17年度第2回研究会議, 福島, 2005.11.5
- ・ 藤澤知雄, 乾あやの, 十河 剛: 国際方式によるHBV母子感染予防効果「C型肝炎ウイルス等の母子感染防止に関する研究」, 平成17年度第2回研究会議, 福島, 2005.11.5
- ・ 藤澤知雄: 小児期に発症する原発性硬化性胆管炎, 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究」, 平成17年度第2回総会, 2006.1.19-20
- ・ 押川 仁: カベオリンの糖代謝における役割についての研究, 科学研究費補助金(若手研究(B)), 医歯薬学基礎医学, 17790152, 採択

#### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 奥津芳人: 日本麻酔科学会(麻酔指導医)(評議員), 日本呼吸療法医学会(評議員), 日本老年麻酔学会(評議員), 日本ペインクリニック学会(認定医)
- ・ 川口 実: 日本消化器内視鏡学会(指導医)(学会賞選定委員), 日本消化器病学会(専門医)
- ・ 中村治彦: 日本外科学会(専門医, 指導医), 日本胸部外科学会(正会員, 認定医), 日本呼吸器外科学会(専門医, 指導医)(評議員, 学術委員会委員, 評議員資格選定委員会委員, 専門医試験問題作成委員会委員), 日本呼吸器学会(専門医, 指導医)(用語委員会委員), 日本呼吸器内視鏡学会(専門医, 指導医)(理事, 評議員, 規則改定委員会委員長, 保険委員会委員, 専門医認定小委員会委員), 日本呼吸器内視鏡学会関東支部会(幹事), 日本肺癌学会(評議員, 会則改定委員会委員), 日本肺癌学会関東支部会(幹事), 日本外科系連合学会(評議員), 日本気管食道科学会(評議員, 編集委員), 日本癌学会, 日本癌治療学会, 日本臨床細胞学会, 日本臨床外科学会, 日本レーザー医学会, 日本外科感染症学会, 日本遺伝子治療学会, 日本癌病態治療研究会(世話人), 日本癌免疫研究会, 静岡県東部地区肺癌研究会(世話人), 国際肺癌学会(International Association for the Study of Lung Cancer, IASLC)
- ・ 伊藤 章: 日本感染症学会(感染症専門医, ICD(Infection Control Doctor))(評議員), 日本化学療法学会(抗菌薬臨床試験指導医)(評議員), 日本臨床検査医学会(臨床検査専門医)(功労会員), 日本臨床検査専門医会(臨床検査専門医), 日本医真菌学会(医真菌学専門医)(評議員), 日本環境感染学会(評議員), 日本臨床微生物学会(評議員), 日本内科学会(認定内科医), 日本性感染症学会(評議員), 日本抗生物質学術協議会(機関紙審査委員, 評議員), 神奈川県感染症医学会(幹事), 神奈川県臨床検査医学会(監事), 神奈川STD研究会(幹事), 静岡県東部感染症研究会(代表幹事, 事務局), 日本エイズ学会, 日本産業衛生学会, Int.Society of Human and Animal Mycology
- ・ 唐澤英偉: 日本消化器病学会(評議員, 社会保険委員会委員, 専門医制度審議委員会委員), 日本画像医学会(理事), 日本超音波医学会(指導医, 専門医)(評議員, 編集委員), 日本膵臓学会(評議員), 日本胆道学会(評議員, 学術賞選考委員), 日本消化器内視鏡内視鏡学会(専門医), 日本肝臓学会(専門医), 日本内科学会(認定医), 日本放射線医学会, 日本癌治療学会, 東京膵癌研究会(世話人), 超超音波ドプラ研究会(副代表), 腹部放射線研究会(世話人)

- ・ 北洞哲治：日本消化器病学会（専門医）（評議員），日本消化器内視鏡学会（専門医）（評議員），日本消化器免疫学会（評議員），日本消化器病学会関東地方支部会（評議員），日本内視鏡学会関東地方支部会（評議員），日本内科学会（認定医），日本大腸肛門病学会，日本癌治療学会，日本腹部救急医学会，日本ヘリコプター学会，日本実験潰瘍学会，日本救急医学会関東地方会，日本消化吸収学会，日本機能水学会（理事）
- ・ 北村 創：日本病理学会（専門医）（評議員），日本乳癌学会
- ・ 栗山 学：日本泌尿器科学会（指導医，認定医），日本透析療法学会（指導医，認定医），日本性機能学会（評議員），日本化学療法学会（評議員），日本がん検診学会（評議員），UICC（終身会員），SIU・AUA・EAU（Active or corresponding Member）
- ・ 五來逸雄：日本更年期医学会（理事），日本骨代謝学会（評議員），日本骨粗鬆症学会（評議員），代謝性骨疾患研究会（世話人），日本産科婦人科学会（専門医），日本癌治療学会（臨床試験登録医，がん治療専門医），日本婦人科腫瘍学会（暫定指導医，専門医）
- ・ 提坂敏昭：日本産婦人科学会（専門医），日本思春期学会（理事），日本バイオレオロジー学会，日本産婦人科・新生児血液学会，日本周産期・新生児医学会
- ・ 佐々木哲雄：日本皮膚科学会（専門医），日本研究皮膚科学会（評議員），日本結合組織学会（評議員），日本臨床免疫学会（評議員），日本リンパ網内系学会（評議員）
- ・ 篠永正道：日本脳神経外科学会（専門医），日本脳卒中学会（専門医），日本脊髄外科学会（専門医），日本ニューロモデュレーション学会（評議員）
- ・ 高藤 繁：日本内科学会（認定内科医），日本呼吸器学会（呼吸器専門医），日本アレルギー学会（認定指導医）（代議員）
- ・ 築山久一郎：日本高血圧学会（FJSH）（功労会員，高血圧治療ガイドライン作成委員会委員），日本臨床生理学会（評議員），日本内科学会（日本内科学会認定内科医），日本循環器学会（日本循環器学会認定循環器専門医）
- ・ 都島基夫：日本内科学会（指導医，認定医），日本循環器学会（専門医），日本糖尿病学会（指導医，専門医），日本老年医学会（指導医，専門医）（評議員），日本未病システム学会，（常任理事，教育委員会委員長），日本臨床栄養学会（理事，財務担当理事，教育委員，第28回総会会長(06)），日本動脈硬化学会（評議員），日本肥満学会（評議員），日本脈管学会（評議員），日本臨床生理学会（評議員），日本病態栄養学会（評議員），日本血栓止血学会，日本アフレスシス学会，日本心血管内分泌学会
- ・ 西川潤一：日本核医学会（認定医，PET核医学認定医），日本医学放射線学会（専門医）
- ・ 林 雅敏：日本産科婦人科学会（専門医），日本婦人科腫瘍学会（暫定指導医），日本妊娠高血圧学会（理事），日本母性衛生学会（幹事，評議員），日本産婦人科・新生児血液学会（評議員），日本胎盤学会（評議員），日本女性心身症学会（評議員），日本更年期医学会（評議員），日本癌学会，日本癌治療学会，日本不妊学会，日本受精着床学会，日本生殖外科学会，日本分子腫瘍マーカー研究会，婦人科悪性腫瘍化学療法研究機構（JGOG）
- ・ 藤澤知雄：日本肝臓学会（専門医，指導医）（評議員），日本小児科学会（専門医，指導医）（代議員），日本小児放射線学会（理事），日本肝臓学会東部会（評議員），日本小児栄養消化器肝臓学会（運営委員，学術委員長（肝臓）），日本肝移植研究会（運営委員），日本肝不全研究会（運営委員），武蔵野小児肝臓懇話会（代表世話人），日本病理学会，日本小児肝臓研究会（運営委員），日本小児感染症学会（評議員），日本小児外来小児科学会，日本小児循環器学会，日本新生児学会
- ・ 伊藤 淳：日本整形外科学会（専門医），日本リウマチ学会（指導医，専門医）（評議員），日本リハビリテーション医学会（指導医，専門医）
- ・ 乾あやの：日本肝臓学会（肝臓専門医，指導医），日本肝臓学会東部会（評議員），日本小児科学会（小児科専門医），日本小児栄養消化器学会（薬事委員），日本小児肝臓研究会（運営委員）

- ・ 清川 浩：日本内科学会（認定医，専門医，指導医），日本呼吸器学会（専門医，指導医），日本呼吸器内視鏡学会（専門医，指導医），日本呼吸管理学会，日本臨床腫瘍学会，日本気管食道学会，日本音響学会，国際肺音学会
- ・ 小林 泉：日本内科学会（認定医，専門医，指導医），日本循環器学会（認定医），日本心血管インターベンション学会（認定医），日本心臓病学会，日本人工臓器学会，日本心血管カテーテル治療学会
- ・ 塩野孝博：日本医学放射線学会（専門医）
- ・ 重政朝彦：日本内科学会（認定内科医，認定内科専門医，指導医）（東海地方会評議員），日本循環器学会（循環器専門医），日本心臓病学会（特別正会員（FJCC）），日本高血圧学会（特別正会員（FJSH）），日本老年医学会（老年病専門医，老年病指導医），日本内分泌学会（内分泌代謝科（内科）専門医，内分泌代謝科（内科）指導医），日本超音波医学会（超音波専門医，超音波指導医），日本心血管インターベンション学会（認定医），日本心臓リハビリテーション学会（心臓リハビリテーション指導士），日本心血管内分泌代謝学会，日本不整脈学会，日本心エコー図学会，日本臨床検査医学会，日本画像医学会，米国内科学会（American College of Physicians），米国高血圧学会（American Society of Hypertension），身体障害者福祉法指定医（心臓機能障害）
- ・ 陶山秀夫：日本眼科学会（認定医），日本眼科医会，日本神経眼科学会（評議員）日本緑内障学会，日本自律神経学会，日本眼手術学会，日本旅行医学会，日本温泉気候物理医学会
- ・ 高梨吉裕：日本脳神経外科学会（脳神経外科専門医），日本脳神経外科コンgres，日本脳卒中の外科学会，日本脳卒中学会（脳卒中学会専門医），スパズム・シンポジウム，日本神経内視鏡学会，日本脳ドック学会
- ・ 田口雅彦：日本外科学会（専門医），日本呼吸器外科学会（専門医），日本胸部外科学会（認定医）
- ・ 中島年人：日本麻酔学会（専門医）
- ・ 藤井本晴：日本脳神経外科学会（専門医，評議員），日本脳神経血管内治療学会（専門医），日本脳卒中学会（専門医），米国脳神経外科学会（International Member 2000），米国脳神経コンgres学会（Active International Member 2000），日本脳神経外科コンgres，日本脳卒中の外科学会，日本頸部脳血管治療学会，近畿脳神経血管内治療学会，日本小児神経外科学会，日本定位・機能神経外科学会，日本脊髄外科学会，日本神経外傷学会，日本神経超音波学会，日本神経放射線学会，日本神経内視鏡学会，日本リハビリテーション医学会，日本救急医学会，日本脳神経外科救急学会，日本神経生理学会，日本神経学会，静岡脳血管内治療をすすめる会（推進委員）
- ・ 山田佳彦：日本内科学会（認定医），日本糖尿病学会（専門医）
- ・ 生駒英子：日本内科学会（日本内科学会認定内科専門医），日本循環器学会（日本循環器学会専門医）
- ・ 板倉敬乃：日本小児科学会（小児科専門医），日本小児感染症学会（ICD），日本小児科医会（こどもの心相談医）
- ・ 河村晴信：日本内科学会（日本内科学会認定医），日本消化器病学会（日本消化器病学会専門医），日本消化器内視鏡学会（日本消化器内視鏡学会専門医）
- ・ 小林照子：日本皮膚科学会（専門医），日本アレルギー学会，日本美容皮膚科学会，日本レーザー学会
- ・ 齋藤 泉：日本整形外科学会（整形外科専門医）
- ・ 鈴木 誠：日本外科学会（専門医），日本消化器外科学会，日本臨床外科学会，日本癌治療学会，日本胃癌学会，日本大腸肛門病学会，乳癌学会，マンモグラフィ検診精度管理中央委員会（マンモグラフィ読影医）
- ・ 熊埜御堂浩：日本耳鼻咽喉科学会（専門医），日本気管食道科学会（認定専門医）
- ・ 田中 躍：日本臨床細胞学会（細胞診専門医認定）
- ・ 藤川 考：日本口腔外科学会，日本口腔科学会，日本口腔インプラント学会，日本小児口腔外科学会，日本有病者歯科医療学会
- ・ 藤川哲也：日本内科学会（内科認定医），日本腎臓学会，日本透析医学会
- ・ 羽鳥慎祐：日本外科学会（専門医），日本臨床外科学会，日本消化器外科学会，日本胃癌学会，日本胸部外科学会，日本癌治療学会，日本食道学会

- ・ 原 淳：日本体育協会スポーツドクター（公認）
- ・ 村上仁志：日本外科学会（認定医，専門医），日本消化器外科学会，日本内視鏡外科学会，日本癌治療学会，日本臨床外科学会，日本胃癌学会
- ・ 横山真紀：日本耳鼻咽喉科学会（専門医）

## 国際医療福祉大学附属三田病院

### 著書

- ・ 池田徳彦，加藤治文 他：日本肺癌学会ガイドライン検討委員会，肺癌診療ガイドライン2005年版，金原出版，2005.11.20
- ・ 鎌田信悦，米川博之：イラスト手術手技のコツ 耳鼻咽喉科・頭頸部外科－咽喉頭頸部編，前腕皮弁，482-486，東京医学社，2005.5.1
- ・ 鈴木義之：小児科の新しい流れ 先端医療シリーズ34，薬物療法（遺伝病に対する新しい治療法），104-108，先端医療技術研究所，2005.6
- ・ Suzuki Y，Oshima A，Nanba E：Sriver CR，Beaudet AL，Sly WS，Valle D，Childs B，Vogelstein B（eds）：Online Metabolic and Molecular Bases of Inherited Disease， $\beta$ -Galactosidase deficiency（ $\beta$ -galactosidosis）：G<sub>M1</sub>-Gangliosidosis and Morquio B disease，<<http://genetics.accessmedicine.com/>>，McGraw-Hill，New York，2005
- ・ 赤坂 徹，赤澤 晃，松井猛彦 他：小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2005（森川昭廣，西間三馨監修），協和企画，2005.11
- ・ Kaminishi M，Takuko K，Mafune K（編集）：The Diversity of Gastric Cancer，Springer-Verlag，2005
- ・ Mafune K：Surgery for Advanced Gastric Cancer，Kaminishi M，Takubo K，Mafune K eds，The Diversity of Gastric Cancer，271-286，Springer-Verlag，2005
- ・ 真船健一，島田 正（分担執筆）：神保勝一編 下部消化管 画像診断のピットフォール，下剤服用後に発症した虚血性腸炎，54-55，結腸の粘膜下腫瘍を呈する腸管子宮内膜症，68-69，中山書店，2005.6
- ・ 真船健一（分担執筆）：窪田敬一編 全科ドレーン管理マニュアル，食道手術後ドレナージ，58-63，胃手術後ドレナージ，78-82，照林社，2005.9
- ・ Kaminishi K，Shimoyama S，Mafune K 他8名（分担執筆）：Early Cancer of the Gastrointestinal Tract Endoscopy（Fujijta R，Jass JR，Kaminishi M，Schlemper RJ eds），Pathology，and Treatment，Surgical treatment and survival rate of early cancer，259-272，Springer-Verlag，2005.5
- ・ 真船健一（分担執筆）：佐藤信紘編 内視鏡医療－創造と実践－～過去・現在・未来を語る～，内視鏡による診断・治療の進歩とその将来，249-251，メディカルレビュー社，2006.2
- ・ 真船健一（分担執筆）：佐藤信紘編 内視鏡の教育・研修～名内視鏡医の取り組み～，「内視鏡，どう教えたら優れた内視鏡医になるのか？」－それが問題だ！，282-284，メディカルレビュー社，2006.2
- ・ 渡辺清明：血栓・止血・血管学 血栓症制圧のために，血栓止血関連検査 オーバービュー，744-749，中外医学社，2005.9
- ・ 佐藤敦久（分担執筆），猿田享男：ARBの新しい展開臓器保護と降圧効果，アルドステロンブレイクスルー（エスケープ），175-181，日本医学出版，2005.4
- ・ 三浦弘規：がんの薬物療法マニュアル，1. 頭頸部腫瘍，135-142，中外医学社，2005.12.10

- ・渡邊雄介, 前田正一 (編集) : 喉頭微細手術 (ラリンゴマイクロサージェリー), インフォームドコンセント その理論と書式実例, 医学書院, 114-117, 2005.8.15
- ・Daentzer D, Asamoto S, Böker D.-K : Orthopäde, HAK-Titan als Interponat zur interkorporellen Fusion bei knöchern bedingter Spinalkanalstenose der HWS. Ergebnisse nach 6-jährigem klinischen Einsatz, 34, 234-240, 2005.6
- ・神保洋之 : レジデントノート, 冬の救急-脳血管障害-, 1207-1213, 羊土社, 2005.12

## 原著論文

- ・Umeda S, Iwata T, Tanaka Y et al. : Morecular comparison of drusen and possible involvement of anti-retinal autoimmunity in two different forms of macular degeneration in cynomolgus monkey (Macaca fascicularis) , The FASEB Journal express article, 10, 1096/fj, 2005.11
- ・Izumi K, Iwata T, Tanaka Y et al. : Involvement of Insulin-like Growth Factor-1 and Insulin-like Growth Factor Binding Protein-3 in Corneal Fibroblasts during Corneal Wound Healing, Invest.Ophthal.& VIS Sci, 47, 591-598, 2006.2
- ・Ikeda N, Hayashi A, Miura Y, Okunaka T, Okuzawa K, Tsuboi M, Suga Y, Kato H : Present strategy of lung cancer screening and surgical treatment, Ann Thorac Cardiovasc Surg, 11(6), 363-366, 2005.12
- ・Ikeda N, Honda H, Hayashi A, Usuda J, Kato Y, Tsuboi M, Ohira T, Hirano T, Kato H, Serizawa H : Early detection of bronchial lesions using newly developed videoendoscopy-based autofluorescence bronchoscopy, Lung Cancer, 52, 21-27, 2006.3
- ・Hirano T, Kato H, Maeda M, Gong Y, Shou Y, Nakamura M, Maeda J, Yashima K, Kato Y, Akimoto S, Ohira T, Tsuboi M, Ikeda N : Identification of postoperative adjuvant chemotherapy responders in non-small cell lung cancer by novel biomarker, Int J Cancer, 117, 460-468, 2005.11
- ・Tsuboi M, Hayashi A, Ikeda N, Honda H, Kato Y, Ichinose S, Kato H : Optical coherence tomography in the diagnosis of bronchial lesions, Lung Cancer, 49, 387-394, 2005.9
- ・Kato Y, Hirano T, Yoshida K, Yashima K, Akimoto S, Tsuji K, Ohira T, Tsuboi M, Ikeda N, Ebihara Y, Kato H : Frequent loss of E-cadherin and/or catenins in intrabronchial lesions during carcinogenesis of the bronchial epithelium, Lung Cancer, 48, 323-330, 2005.6
- ・Miyajima K, Nakajima S, Taguchi M, Hayashi A, Kajiwaru N, Uchida O, Kono T, Takahashi M, Kawanishi K, Tanaka M, Takizawa H, Ikeda N, Kato H : Cytokine Responsiveness in Cultured Human Small Airway Epithelial Cells in Relation to Lung Transplantation, Ann Thorac Cardiovasc Surg, 11(6), 372-379, 2005.12
- ・田中浩一, 岡田邦明, 川村秀樹, 横田良一, 坪井正博, 池田徳彦, 加藤治文 : 超音波凝固切開装置 (ハーモニック スカルペル) とPGAフェルト, フィブリン糊を用いた胸腔鏡下解剖学的肺区域切除術, 日本呼吸器外科学会雑誌, 19(4), 599-604, 2005.5
- ・菅 泰博, 宮島邦治, 米山一男, 大平達夫, 坪井正博, 池田徳彦, 加藤治文 : 著明な好酸球増多を伴った浸潤浸潤性胸腺腫の1例, 東京医科学大学雑誌
- ・神保洋之, 儘田佳明, 岩崎康夫 他4名 : 切迫脳卒中で発症した高齢者頸部頸動脈狭窄症の検討, 脳卒中の外科, 33, 256-260, 2005.8
- ・鎌田信悦, 別府 武 他 : 上歯肉, 硬口蓋原発扁平上皮癌の原発巣制御に関する臨床的検討, 頭頸部癌, 31, 22-27, 2005.4.15
- ・鎌田信悦, 別府 武 他 : 下咽頭扁平上皮癌頸部リンパ節転移に対する超音波断層診断の有用性と限界および頸部郭清術に及ぼす影響について, 日本耳鼻咽喉科学会会報, 108, 794-800, 2005.8.20
- ・鎌田信悦, 吉本世一 他 : 舌癌及び下咽頭癌における頸部転移症例の郭清方法について-機能を温存する頸部郭清術-,

頭頸部癌, 31, 376-381, 2005.7.15

- Suzuki Y, Eto Y, Ohashi T, Utsunomiya Y et al. : Enzyme replacement therapy in Japanese Fabry disease patients: the results of a phase 2 bridging study, *J Inher Metab Dis*, 28, 575-583, 2005.6
- Hiroki M, Kajimura N, Takayama Y et al. : Effect of Benzodiazepine Hypnotic Triazolam on Relationship of Blood Pressure and PaCO<sub>2</sub> to Cerebral Blood Flow During Human Non-Rapid Eye Movement Sleep, *J Neurophysiol*, 95, 2293-2303, 2005.10.26
- Hattori K, Iida K, Joraku A 他3名 : Chemopreventive effects of cyclooxygenase-2 inhibitor and epidermal growth-receptor kinase inhibitor on rat urinary bladder carcinogenesis, *BJU Int*, 97(3), 640-643, 2006.1
- 安東 聡, 福原喜春, 服部一紀 他5名 : 下血を契機に発見された, 両側副腎, 小腸転移を伴った腎細胞癌の1例, *日本泌尿器科学会雑誌*, 97(1), 64-67, 2006.1
- 松井猛彦 : 喘息死ゼロを彼方に—喘息死から学び, 小児喘息治療の在り方を考える, *日小ア誌*, 19(1), 1-15, (2005.1)
- 鳥居新平, 赤坂 徹, 松井猛彦 他 : 喘息死委員会レポート2004, *日小ア誌*, 19(3), 288-300, 2005.8
- Hatao F, Hiki N, Mafune K 他7名 : The induction of super-resistance using synthetic lipo-polysaccharide receptor agonist rescues fatal endotoxemia in rats without excessive immunosuppression, *Shock*, 23(4), 365-370, 2005.4
- Kubota K, Mafune K 他9名 : Efficacy of Triple Therapy Plus Cetraxate for the *Helicobacter pylori* Eradication in Partial Gastrectomy Patients, *Digestive Diseases and Sciences*, 50(5), 842-846, 2005.5
- Lu J, Imamura K, Mafune K 他9名 : Chemopreventive effect of peroxisome proliferator-activated receptor gamma on gastric carcinogenesis in mice, *Cancer Res*, 65(11), 4769-4774, 2005.6
- Shimoyama S, Imamura K, Mafune K 他3名 : Performance of outpatient regimen of S-1 in combination with fractional cisplatin for advanced or recurrent gastric cancers: a phase I study, *Int J Clin Oncol*, 10(4), 251-255, 2005.8
- Shimoyama S, Mafune K, Kaminishi M : Safety of a paraaortic node dissection for selected advanced gastric cancer patients, *Hepatogastroenterology*, 52(65), 1631-1635, 2005.9-10
- 大野明美, 石橋みどり, 関口 仁, 渡辺清明 : 「ビトロスPSA」の基礎的検討および臨床的有用性, *医学と薬学*, 53(2), 257-263, (2005.2)
- 鍋木淳一, 島田 舞, 片桐尚子, 川合陽子, 渡辺清明 : SLE, SLE診断例における希釈ラッセル蛇毒時間測定キット (LAテスト「グラデイポア」によるループスアンチコアグラント測定の再評価), *日本検査血液学会雑誌*, 6-2, 218-223, 2005.8
- 塚本秀子, 武井 泉, 石井啓子, 深田比呂子, 大竹皓子, 菊池春人, 広瀬信義, 渡辺清明 : 内部標準を用いたKrauss改良法による2型糖尿病患者の small dense LDL の検討, *臨床病理*, 53, 818-824, 2005.9
- Oikawa T, Ito G, Koyama H et al. : Prokinetic effect of a Kampo medicine, Hange-koboku-to (Banxia-houpo-tang) , on patients with functional dyspepsia, *Phytomedicine*, 12, 730-734, 2005.11
- Shimbo I, Yamaguchi T, Koyama H et al. : Effect of Clostridium butyrium on fecal flora in Helicobacter pylori eradication therapy, *World J gastroenterol*, 11, 7520-7524, 2005.12
- Sato A, Hayashi K, Saruta T : Antiproteinuric effects of mineralocorticoid receptor blockade in patients with chronic renal disease, *Am. J. Hypertens.*, 18, 44-49, 2005.4
- 佐藤敦久, 猿田享男 : ACE阻害薬とARBの違いを認識し, ACE阻害薬の良さを再考する, *Prog. Med.*, 10, 2625-2636, 2005.10
- Sato A, Saruta T, Funder JW : Combination therapy with aldosterone blockade and renin-angiotensin inhibitors confers organ protection, *Hypertens. Res.*, 29, 211-216, 2006.3

- ・小川 真, 吉田 操, 杉山視夫, 佐々木良二, 渡邊雄介, 久保 武 : 声門上部圧迫を伴う muscle tension dysphonia における喉頭所見と音声所見との関連性, 日本耳鼻咽喉科学会誌, 108, 734-741, 2005.4
- ・中村一博, 渡邊雄介, 渡嘉敷亮二, 岡本伊作, 吉田知之, 鈴木 衛 : 内転型痙攣性発声障害に対する喉頭微細手術下両側甲状披裂筋切除術, 日本気管食道科学会会報, 57(1), 20-27, 2006.2
- ・渡邊雄介 : 内転型痙攣性発声障害に対する両側甲状披裂筋切除術, 喉頭, 16(2), 74-78, 2005.7
- ・渡邊雄介 : 耳鼻咽喉科医が診るGERD その診断と治療, 日本気管食道科雑誌, 56(2), 202-205, 2005.10
- ・望月隆一, 渡邊雄介 : 胃酸分泌と耳鼻咽喉科疾患—LPRD : 咽喉頭逆流症—, 消化器内視鏡, 17(3), 356-361, 2005.10
- ・望月隆一, 渡邊雄介, 川本将宏, 山本圭介, 渡嘉敷亮二, 本郷道夫 : 胃食道逆流による咽喉頭症状に対するニザチジン投与の有用性, 消化器の臨床, 8(3), 377-382, 2005.10
- ・松谷亮一, 渡邊雄介, 加藤 崇, 久保 武 : 声帯ポリープを合併したWerner症候群の一例, 喉頭, 17(1), 39-42, 2005.5
- ・Hisanori Sasai, Yusuke Watanabe, Hiroshi Muta, Junichi Yoshida, Ibuki Hayashi, Takeshi Kubo : Long-term histological outcomes of injected autologous fat into human vocal folds after secondary laryngectomy, Otolaryngology-Head and Neck Surgery, 132(5), 685-688, 2005.9
- ・Shunji Asamoto, Dieter-Karsten Böker, Andreas Joedicke : Surgical treatment for ulnar nerve entrapment of the elbow, Neurol Med Chir (Tokyo), 45, 240-245, 2005.5
- ・Shunji Asamoto, Hiroshi Doi, Nobusuke Kobayashi, Takahiro Endoh, Hajime Sakagawa, Yoichi Iwanaga, Masahiro Ida, Hiroyuki Jimbo : Spondylodiscitis: diagnosis and treatment, Surg Neurol, 64, 103-108, (2005.1)
- ・朝本俊司, 土居 浩, 小林信介, 遠藤孝裕, 阪川 肇, 井田正博, 岩永洋一, 神保洋之 : 脊椎椎体・椎間板炎に対する外科的治療, 脊髄外科, 19, 119-126, 2005.6
- ・神保洋之, 儘田佳明, 東郷康二, 田中幸太郎, 三原結子, 朝本俊司, 岩崎康夫 : 切迫脳卒中で発症した高齢者頸部頸動脈狭窄症の検討, 脳卒中の外科, 33, 256-260, (2005.3)
- ・Asano Y, Ihn H, Kubo M 他4名 : Clinical significance of serum levels of matrix metalloproteinase-13 in patients with systemic sclerosis., Rheumatology, 45, 303-307, 2006.3
- ・Jimbo H, Asamoto S, Mitsuyama T 他3名 : Spinal chronic subdural hematoma associated with anticoagulant therapy, Spine, 31(6), 184-187, 2006.3
- ・神保洋之, 儘田佳明, 東郷康二 他4名 : 切迫脳卒中で発症した高齢者頸部頸動脈狭窄症の検討, 脳卒中の外科, 33, 256-260, 2005.8
- ・Asamoto S, Jimbo H, Fukui Y 他5名 : Cyst of ligamentum flavum, Neurologia medico-chirurgica, 45(12), 653-656, 2005.12
- ・Takagi M, Absalon MJ, McLure KG 他1名 : Regulation of p53 translation and induction after DNA damage by ribosomal protein L26 and nucleolin, Cell, 123, 49-63, 2005.10
- ・Takagi K, Takagi M, Kanangat S 他3名 : Modulation of TNF $\alpha$  Gene Expression by IFN $\gamma$  and Pamidronate in Murine Macrophages: Regulation by STAT1-Dependent Pathways, Journal of Immunology, 174, 1801-1810, (2005.2)
- ・別府 武, 佐々木徹, 川端一嘉, 吉本世一, 三浦弘規, 福島啓文, 多田雄一郎, 蝦原康宏, 三谷浩樹, 米川博之, 鎌田信悦 : 下咽頭扁平上皮癌頸部リンパ節転移に対する超音波断層診断の有用性と限界および頸部郭清術に及ぼす影響について, 日本耳鼻咽喉科学会会報, 108, 794-800, 2005
- ・別府 武, 三谷浩樹, 川端一嘉, 吉本世一, 米川博之, 三浦弘規, 福島啓文, 佐々木徹, 多田雄一郎, 蝦原康宏, 近藤 敦, 新橋 渉, 鎌田信悦 : 上歯肉, 硬口蓋原発扁平上皮癌の原発巣制御に関する臨床的検討, 頭頸部癌, 31, 22-27, 2005

- ・吉本世一, 鎌田信悦, 川端一嘉, 三谷浩樹, 米川博之, 三浦弘規, 別府 武, 福島啓文, 佐々木徹, 多田雄一郎, 蝦原康宏, 近藤 敦, 新橋 渉: 舌癌及び下咽頭癌における頸部転移症例の郭清方法について—機能を温存する頸部郭清術—, 頭頸部癌, 31(3), 376-381, 2005
- ・西山信宏, 河野 淳, 北村剛一, 清水重敬, 鈴木 衛: 蝸牛骨迷路欠損を伴う慢性中耳炎例, 耳鼻咽喉科臨床, 98(12), 927-931, 2005.12
- ・前野晋一, 西川雄司, 青山龍馬 他2名: 脛骨顆部骨折手術後に生じたRegional Migratory Osteoporosisの1例, 膝, 30(2), 361-364, 2005.12
- ・Shinichi Maeno, Yasuo Niki, Hideo Matsumoto et al.: The effect of calcium ion concentration on osteoblast viability, proliferation and differentiation in monolayer and 3D culture, Biomaterials, 26(23), 4847-4855, 2005.8

## 総説

- ・Kato H, Tsuboi M, Kato Y, Ikeda N, Okunaka T, Hamada C: Postoperative adjuvant therapy for completely resected early-stage non-small cell lung cancer, Int. J Clinical Oncology, 10, 157-164, 2005.6
- ・池田徳彦: 画像無所見肺癌 (喀痰細胞診陽性) の局在診断, 篠原出版・肺癌の臨床2004-2005, 99-104, 2005.4
- ・林 和, 池田徳彦, 木村雅一, 高橋 充, 坪井正博, 加藤治文: 超音波ガイド下穿刺が可能な超音波気管支ファイバースコープ, Medical Technology, 33, 1002-1003, 2005.10
- ・加藤治文, 斉藤 誠, 平野 隆, 古川欣也, 池田徳彦, 三浦弘之, 坪井正博, 大平達夫, 河野貴文, 内田 修, 梶原直央, 林 和, 宮島邦治, 白田実男, 高橋 充: 臨床医学の展望: 呼吸器外科学, 日本医事新報, 4216, 37-46, (2005.2)
- ・筒井英光, 林 博樹, 白田実男, 鈴木明彦, 久保田光博, 角田佳彦, 渋谷 洋, 坪井正博, 池田徳彦, 平野 隆, 加藤治文: 気管分岐部狭窄に対するY型ファイコンスタントの使用経験, 日本気管食道科学会 第15回認定医大会テキスト, 13-15, 2005.10
- ・洪 秀樹: 多価不飽和脂肪酸の働きと適正な摂取法, 日本医事新報, 4226, 95-96, 2005.4.23
- ・洪 秀樹: 日本の高脂血症患者に対する脂質管理とスタチンの選択—一次予防を目的としたスタチン療法は?, Prog.Med., 25, 2695-2698, 2005.10.10
- ・鈴木義之: ライソゾーム病の酵素補充療法, Brain Medical, 17, 253-258, 2005.9
- ・服部一紀: 前立腺癌の治療方針: 特に非観血的治療について, 病理と臨床, 23(4), 356-361, 2005.4
- ・松井猛彦: こどもの集団生活と心身の健康 V. 疾病・障害・事故対策, 3. アレルギー疾患を持つ子ども, 小児科臨床, 58(4), 643-652, 2005.4
- ・松井猛彦: 心臓以外の病気・病態での突然死 喘息, 日本臨床, 63(7), 1214-1219, 2005.7
- ・松井猛彦: 短時間作用型吸入 $\beta_2$ 刺激薬とは?, Q&Aでわかるアレルギー疾患, 1(3), 297-299, 2005.10
- ・松井猛彦: 気管支喘息と末梢気道 I. 小児について 3) リモデリングと末梢気道, アレルギー・免疫, 12(11), 1518-1522, 2005.11
- ・松井猛彦: 小児喘息死の全国調査, アレルギー科, 20(5), 396-402, 2005.11
- ・松井猛彦: 小児喘息の治療—小児科からのアドバイス, 内科, 97(2), 291-298, 2006.2
- ・真船健一: バレット食道癌, 日本臨床, 63(8), 1463-1469, 2005.8.1
- ・久保田啓介, 真船健一, 上西紀夫: GIST (gastrointestinal stromal tumor) の疾患概念の変遷と新たな治療法, Medical Science Digest, 31(9), 327-328, 2005.9
- ・真船健一: 食道癌の手術, エキスパートナース, 21(11)増, 121-125, 2005.11
- ・渡辺清明: フェリチン異常値, 総合臨床, 54(9), 2503-2504, 2005.9.1

- ・ 渡辺清明：医療経済と臨床検査の動向，臨床病理，53(11)，1019-1023，2005.11
- ・ 佐藤敦久，猿田享男：アルドステロンブレイクスルー：抗アルドステロン薬の追加投与の必要性，内分泌・糖尿病科，21，274-279，2005.9
- ・ 佐藤敦久，猿田享男：アルドステロンブレイクスルー現象，呼吸と循環，53，1257-1262，2005.12.15
- ・ 佐藤敦久：糖尿病性腎症の進展抑制を目指した降圧療法とは，Pharma Medica，23，134-139，2005.9
- ・ 佐藤敦久：高血圧治療におけるARBの位置付けを探る，Medical Tribune，2005.10.13
- ・ 佐藤敦久，Funder JW：アルドステロン研究の最新の話題，Medical Tribune，38，60-61，2005.10.20
- ・ 佐藤敦久，島本和明，伊藤 裕，片山茂裕：糖尿病合併高血圧の管理と対策，内科，97，2006.2
- ・ 小幡博人，征矢耕一：加齢変化による眼病態 角膜の加齢変化，眼科，47(8)，1031-1040，2005.8
- ・ 渡邊雄介：咽喉頭酸逆流症，日本口腔・咽頭下学会雑誌，17(2)，227-230，2005.10
- ・ 渡邊雄介：咽喉頭酸逆流症，消化器の臨床，8(3)，336-340，2005.10
- ・ 渡邊雄介：声帯内脂肪注入術のコツは？-2，JOHNS，21(5)，748-750，2005.10
- ・ 渡邊雄介：GERDと慢性咳・嗝声，MEDICINA，42(1)，81-83，2005.10
- ・ 長束美貴，林 和，坪井正博，加藤治文：OCT (optical coherence tomography)：光干渉断層法による気管支病変の診断，篠原出版 MOOK「肺癌の臨床」 診断-OCT 2005-2006，151-156，2006.3

## 研究報告

- ・ 鎌田信悦：上顎・頭蓋底がんの切除と再建手術の標準化に関する研究，厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業報告書，別添1，11-13，2005.4
- ・ 久保田啓介，達富祐介，真船健一 他8名：局所切除後胃運動機能の評価とクエン酸モサプリドの修飾についての研究—Strain-Gauge Force Transducerと<sup>13</sup>C-Octanoic Acid呼気試験の応用—，Therapeutic Research，26(5)，878-881，2005.5
- ・ 久保田啓介，真船健一，上西紀夫：切除不能進行胃癌症例に対するStomach-Partitioning Gastrojejunostomy，消化器医学，3，118-122，2005.10
- ・ Shunji Asamoto，Hiroyuki Jimbo，Yasuyuki Fukui，Hiroshi Doi，Hajime Sakagawa，Masahiro Ida，Manabu Takahashi，Naoki Shiraiishi：Cyst of the ligamentum of flavum —case report—，Neurologia medico-chirurgica，45(12)，653-656，2005.12
- ・ 朝本俊司，土居 浩，小林信介，遠藤孝裕，阪川 肇，井田正博，神保洋之：馬尾神経部に発生した腫瘍の手術，脊髄外科，19，55-60，(2005.3)

## 講演 (学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演)

- ・ 松原 哲：臨床心電図入門，東京都臨床検査技師会，東京医科大学病院，東京都新宿区，2005.6.3
- ・ Ikeda N，Kato H：Interactive Video Session on endoscopic Procedures，11th World Conference on Lung Cancer，Barcelona，2005.7.4
- ・ Ikeda N，Honda H，Hayashi A，Usuda J，Tsuboi M，Ohira T，Hirano T，Kato H：Recent advances in endoscopic early detection of bronchial lesions，11th World Conference on Lung Cancer，Barcelona，2005.7.4
- ・ Ikeda N：Autofluorescence Bronchoscopy，Workshop of Bronchoscopy and Autofluorescence Bronchoscopy，Persahabatan Hospital，Jakarta，2005.9.20-21
- ・ Ikeda N，Honda H，Hayashi A，Usuda J，Tsuboi M，Ohira T，Hirano T，Kato H：Advances in endoscopic diagnosis of early lesions of the bronchus，11th World Conference on Lung Cancer，Barcelona，2005.7.4
- ・ Ikeda N：Present strategy of early detection and treatment of lung cancer，Seminar in British Columbia Cancer Research Centre，

British Columbia Cancer Research Centre, Vancouver, 2006.2.20

- ・ 池田徳彦, 内田 修, 長東美貴, 鈴木明彦, 木村雅一, 坪井正博, 梶原直央, 林 和, 大平達夫, 平野 隆, 加藤治文: 高齢者 (80歳以上) に対する外科治療の検討 (ワークショップ), 第105回日本外科学会定期学術集会, 名古屋, 2005.5.11-13
- ・ 平野 隆, 大平達夫, 本多英俊, 片場寛明, 坪井正博, 梶原直央, 池田徳彦, 加藤治文: プロテオミクス解析の肺癌診療への応用と問題点, 第45回日本呼吸器学会学術講演会, 千葉, 2005.4.14
- ・ 平野 隆, 菅 泰博, 片場寛明, 井上達哉, 本多英俊, 梶原直央, 大平達夫, 坪井正博, 池田徳彦, 加藤治文: 術式の個別化を目指した原発性肺腺癌プロテオーム解析, 第22回日本呼吸器外科学会総会, 京都, 2005.6.2
- ・ 坪井正博, 林 和, 池田徳彦, 前田純一, 一ノ瀬修二, 加藤治文: 超音波内視鏡の新たな展開: 表層病変の評価-R-EBUSから気管支鏡下OCT診断へ, 第28回日本呼吸器内視鏡学会総会ワークショップ, 京王プラザホテル, 東京, 2005.6.10
- ・ 坪井正博, 大平達夫, 林 和, 内田 修, 梶原直央, 白田実男, 高橋 充, 池田徳彦, 平野 隆, 加藤治文: 非小細胞肺癌手術補助療法の戦略: 術前化学療法の臨床試験と今後のstudy designを中心に, 第22回日本呼吸器外科学会総会シンポジウム, 国立京都交際会館, 京都, 2005.6.2
- ・ 坪井正博, 大平達夫, 白田実男, 内田 修, 梶原直央, 宮島邦治, 長東美貴, 池田徳彦, 林 和, 平野 隆, 加藤治文: IB-III期非小細胞肺癌に対する術前化学療法の取組み, 第46回日本肺癌学会総会シンポジウム, 幕張メッセ国際会議場, 千葉, 2005.11.25
- ・ 大平達夫, 平野 隆, 菅 泰博, 本多英俊, 片場寛明, 岩崎賢太郎, 小鹿雅和, 坪井正博, 池田徳彦, 加藤治文: 末梢性肺癌診療の今後の展開 細胞診から臨床へのフィードバック 肺癌診療における臨床細胞学の有用性, 第44回日本臨床細胞学会秋期大会, 奈良, 2005.11.11-12
- ・ 大平達夫, 白田実男, 菅泰 博, 大谷圭志, 坪井正博, 池田徳彦, 平野 隆, 米山一男, 加藤治文: 肺切除後合併症と対策 胸腔鏡下肺切除の合併症と対策, 第28回日本呼吸器内視鏡学会総会, 東京, 2005.6.9-10
- ・ 内田 修, 岩崎賢太郎, 高橋 充, 宮島邦治, 梶原直央, 大平達夫, 坪井正博, 平野 隆, 池田徳彦, 加藤治文: 末梢型小型肺腺癌の検討, 第67回日本臨床外科学会総会シンポジウム, 東京, 2005.11.10
- ・ 白田実男, 本多英俊, 井上達哉, 林 和, 梶原直央, 内田 修, 大平達夫, 坪井正博, 池田徳彦, 平野 隆, 古川欣也, 奥仲哲弥, 加藤治文: 中心型早期肺癌に対する光線力学的治療の最前線・ワークショップ, 第28回日本呼吸器内視鏡学会総会, 東京, 2005.6.9-10
- ・ 白田実男, 本多英俊, 大谷圭志, 井上達哉, 山田公人, 大平達夫, 坪井正博, 池田徳彦, 平野 隆, 古川欣也, 奥仲哲弥, 加藤治文: 肺癌に対する光線力学的治療 (PDT) の最前線-基礎から臨床へ, 日本光線力学会, 浜松, 2005.6
- ・ 菅 泰博, 宮島邦治, 本多英俊, 大谷圭志, 片場寛明, 白田実男, 大平達夫, 坪井正博, 池田徳彦, 平野 隆, 加藤治文: Pancoast肺癌に対する2椎体全置換術を伴う右上葉切除術, 第67回日本臨床外科学会総会, 東京, 2005.11.5
- ・ 長東美貴, 林 和, 白田実男, 梶 直央, 内田 修, 大平達夫, 坪井正博, 池田徳彦, 平野 隆, 加藤治文: Optical Coherence Tomography (OCT) による内視鏡診断, 第14回日本癌病態治療研究会, 札幌, 2005.6.24
- ・ 池田徳彦: 日本呼吸器内視鏡学会 池田賞記念講演, 第28回日本呼吸器内視鏡学会, 東京, 2005.6.10
- ・ 池田徳彦: 非小細胞肺癌の診断と治療, Co-Medicalのための癌治療セミナー, 東京, 2005.9.8
- ・ 池田徳彦: 肺癌診療の現状, Pentaxインキュベーションセンター講演会, 東京, 2005.10.4
- ・ 池田徳彦: 肺癌診療の現状, 港区医師会三田地区講演会, 東京, 2005.12.14
- ・ 池田徳彦: 肺癌診療ガイドライン改訂に関する考察, 城南術後補助化学療法研究班, 東京, 2005.11.30
- ・ 岩崎康夫: 脳ドックで分かること, 院内研修会, 三田病院, 東京, 2006.2.3
- ・ 鎌田信悦: 頭蓋底外科を学ぶ人のために, 第17回日本頭蓋底外科学会, 千里東急ホテル, 大阪市, 2005.7.7

- ・ 鎌田信悦：頭蓋底外科手術，日本耳鼻咽喉科学会専門医講習会，神戸国際会議場，神戸市，2005.11.19
- ・ 洪 秀樹：メタボリックシンドロームにおけるスタチンの役割，三田学術講演会，インターコンチネンタル東京ベイ，東京都港区，2005.5.20
- ・ 洪 秀樹：メタボリックシンドロームについて，院内研修ワンポイントレクチャー講師，株式会社日立製作所多賀総合病院，茨城県日立市，2005.12.5
- ・ Suzuki Y：Child Neurology: Many patients and many diseases. What next?, 3rd International Conference on Child Neurology of Central Asian Countries, Almaty Kazakhstan, 2005.6.2-3
- ・ Suzuki Y： $\beta$ -Galactosidase Deficiency: An Approach to Chaperone Therapy, 42nd Annual Symposium of the Society for the Study of Inborn Errors of Metabolism, Paris, 2005.9.6-9
- ・ 鈴木義之：ケミカルシャペロン療法：遺伝性ライソゾーム病に対する新しい分子治療，第50回人類遺伝学会大会，倉敷市，2005.9.19-22
- ・ Suzuki Y：New Therapies for Neurogenetic Disorders, XVIII World Congress of Neurology, Sydney, 2005.9.5-11
- ・ 鈴木義之，渡辺 浩，岩崎博之 他：G<sub>M1</sub>-ガングリオシドシスモデルマウスを用いた新しい治療法の開発，第22回日本疾患モデル学会，伊香保町，2005.11.24-25
- ・ 高山 豊：国内外の痴呆専門外来の現状と問題点：アルツハイマー病－現在の臨床課題，第20回日本老年精神医学会シンポジウム，東京国際フォーラム，東京，2005.6.16
- ・ 高山 豊：「認知症（痴呆）」の認知を考える－ケアに有効な心理学の成果と課題－，第69回日本心理学会シンポジウム，慶応大学三田キャンパス，東京，2005.9.12
- ・ 松井猛彦：シンポジウム：突然死の現状と予防呼吸器疾患による突然死について－喘息死を中心に，第108回日本小児科学会学術集会，東京国際フォーラム，東京，2005.4.22
- ・ 松井猛彦：シンポジウム1：アレルギー疾患の現状と展望 社会的問題点と対策，第22回日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会，大阪市中央公会堂，大阪，2005.5.14
- ・ 松井猛彦：思春期喘息におけるコンプライアンス良否の影響（シンポジウム12 治療コンプライアンス向上の問題点と対策），第17回日本アレルギー学会春季臨床大会，ホテルグランヴィア岡山，岡山市，2005.6.3
- ・ 松井猛彦：喘息死からみた小児気管支喘息の管理（特別講演），第11回愛媛小児アレルギー懇話会，リジュール松山，松山市，2005.10.29
- ・ 松井猛彦：小児気管支喘息－大改訂された新ガイドラインと問題点（特別講演），第2回静岡小児喘息研究会，ホテルセンチュリー静岡，静岡市，2005.11.26
- ・ 松井猛彦：小児喘息死の現況（シンポジウム2 喘息死の現況とその対策），第55回日本アレルギー学会秋季大会，ホテルメトロポリタン盛岡，盛岡市，2005.10.20
- ・ Takehiko Matsui：Difficult asthma in children in Japan (Invited Lecture)，Annual Meeting of Korean Academy of Allergy and Respiratory Disease, Walker Hill Shearaton Hotel, Seoul, 2005.10.22
- ・ 松井猛彦：新小児喘息治療ガイドラインとその問題点（特別講演），第25回呼吸器疾患もちより検討会，東京都立荏原病院，東京，2005.11.22
- ・ 松井猛彦：小児気管支喘息治療管理ガイドライン2005とその問題点（特別講演），第63回小児アレルギー同好会，ホテルグランドパレス，東京，2006.2.4
- ・ 松井猛彦：小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2005（基調講演），日本医師会生涯教育協力講座セミナー慢性呼吸器疾患講座（日本医師会・山梨県医師会），アピオタワー館，甲府市，2006.2.22
- ・ 折口信人：パネルディスカッション「下肢静脈瘤」，第25回日本静脈学会総会，名古屋国際会議場，名古屋，2005.7.7

- ・ 佐藤敦久 : ACE阻害薬の有用性の再確認, 田辺製薬降圧薬研究会, スクワール麹町, 東京都千代田区, 2005.4.12
- ・ 佐藤敦久 : ARBと高血圧治療, 武田薬品工業研究会, 武田薬品工業本社, 東京都中央区, 2005.4.26
- ・ 佐藤敦久 : 尿中微量アルブミンの測定意義について, 群馬地区N型カルシウムチャンネル研究会, マーキュリーホテル, 群馬県前橋市, 2005.5.13
- ・ 佐藤敦久 : 高血圧治療におけるACE阻害薬の位置づけ, 田辺製薬高血圧研究会, 田辺製薬本社, 大阪府大阪市, 2005.5.17
- ・ 佐藤敦久 : 最新の高血圧治療, ひたちなか医師会三水会, ホテルクリスタルパレス, 茨城県ひたちなか市, 2005.5.18
- ・ 佐藤敦久 : 高血圧とメタボリックシンドローム, 三田地区学術講演会, インターコンチネンタル東京ベイ, 東京都港区, 2005.5.20
- ・ 佐藤敦久 : ACE阻害薬の有用性の再確認-ARBとの比較検討-, 松本市医師会学術講演会, 松本市医師会館, 長野県松本市, 2005.5.26
- ・ 佐藤敦久 : 高血圧治療について, 日赤東部ブロック薬剤部長会議, 水戸京成ホテル, 茨城県水戸市, 2005.5.27
- ・ 佐藤敦久 : アルドステロンブロッカー: 臓器保護作用をもつ新時代の降圧薬, 第87回東京腎生理集談会, 日本都市センター, 東京都千代田区, 2005.5.28
- ・ 佐藤敦久 : 日常診療で腎臓病を疑う時, 赤坂地区四季の会, ホテルプレジデント青山, 東京都港区, 2005.5.31
- ・ 佐藤敦久 : アルドステロンブロッカー: 腎保護作用をもつ新時代の降圧薬, 第1回茨城腎とRAAS研究会, ホテルグランド東雲, 茨城県つくば市, 2005.6.7
- ・ 佐藤敦久 : カンデサルタンの用量別効果と腎保護作用, プロプレス発売6周年記念講演会, 東京プリンスホテルパークタワー, 東京都港区, 2005.6.9
- ・ 佐藤敦久 : 脳卒中のリスクファクターとしての高血圧, ARB学術講演会, 水戸プラザホテル, 茨城県水戸市, 2005.6.17
- ・ 佐藤敦久 : 臓器保護を考えたARBの使い方, 第334回秋ノ宮CC学術講演会, 湯沢グランドホテル, 秋田県湯沢市, 2005.6.21
- ・ 佐藤敦久 : 高性能のACE阻害薬は他のどんな降圧薬にも負けない, 須高医師会学術講演会, スザカ迎賓館, 長野県須坂市, 2005.6.24
- ・ 佐藤敦久 : アルドステロン研究の最新の話, メディカルトリビューン座談会講師, ヒルトン東京, 東京都新宿区, 2005.6.30
- ・ 佐藤敦久 : 高血圧治療におけるARBの位置づけを探る, メディカルトリビューン座談会講師, 水戸プラザホテル, 茨城県水戸市, 2005.7.9
- ・ 小野雅史, 佐藤敦久 : HBVキャリアで急性間質性腎炎を伴った多発性骨髄腫症例への透析・ステロイド治療, 第12回愛宕山腎疾患カンファレンス, 東京プリンスホテルパークタワー, 東京都港区, 2005.7.15
- ・ 佐藤敦久 : 臓器保護を目的としたARBの使い方, ARB学術講演会, ホテルテラスザガーデン水戸, 茨城県水戸市, 2005.7.21
- ・ 佐藤敦久 : 高性能のACE阻害薬は他のどんな降圧薬にも負けない, 南空知医師会学術講演会, 三井グリーンランドホテルサンプラザ, 北海道岩見沢市, 2005.7.27
- ・ 佐藤敦久 : JSH2004に基づいた高血圧治療, ミカルディス学術講演会RAAS系から考える, ホテル日航金沢, 石川県金沢市, 2005.7.30
- ・ 佐藤敦久 : 高性能のACE阻害薬は他のどんな降圧薬にも負けない, 鎌倉市医師会学術講演会, 鶴ヶ丘会館, 神奈川県鎌倉市, 2005.8.23
- ・ 佐藤敦久 : 高性能のACE阻害薬は他のどんな降圧薬にも負けない, いわきタナトリル学術講演会, 報徳苑, 福島県いわき市, 2005.8.23

わき市, 2005.8.29

- ・ 佐藤敦久, 藤田敏郎: REAL VALUE, Expert Meeting, ウェスティンホテル東京, 東京都目黒区, 2005.9.6
- ・ 佐藤敦久: 高血圧治療-ARBの新たな展開-, オルメテック学術講演会, 東京プリンスホテルパークタワー, 東京都港区, 2005.9.9
- ・ 佐藤敦久: ACE阻害薬の良さを再確認する, 東邦薬品学術講演会, ホテル東日本宇都宮, 栃木県宇都宮市, 2005.9.13
- ・ 佐藤敦久: 腎疾患と高血圧-注目すべき疾患-, ひたちなか医師会三水会9月例会, ホテルクリスタルパレス, 茨城県ひたちなか市, 2005.9.21
- ・ 佐藤敦久: ACE阻害薬の良さを再認識する, 日本高血圧学会生涯教育オフィシャルセミナー, ホテルニュー長崎, 長崎県長崎市, 2005.10.4
- ・ 佐藤敦久: 高性能ACE阻害薬の選択とそのエビデンス, レニン・アンジオテンシン系阻害薬を再考する, 赤坂プリンスホテル, 東京都千代田区, 2005.10.7
- ・ 佐藤敦久, 島本和明, 伊藤 裕: 糖尿病合併高血圧の管理と対策-臓器保護型Ca拮抗薬の果たす役割-, 月刊「内科」座談会 講師, Four Seasons Hotel 丸の内東京, 東京都千代田区, 2005.10.8
- ・ 佐藤敦久: 高性能ACE阻害薬の選択とそのエビデンス, レニン・アンジオテンシン系阻害薬を再考する Vol.2, ホテル阪急インターナショナル, 大阪府大阪市, 2005.10.8
- ・ 佐藤敦久: 尿中微量アルブミンの測定意義とN型カルシウムチャンネル拮抗薬の抗アルブミン尿作用への期待, 東葛地区N型カルシウムチャンネル講演会, ザ・クレストホテル柏, 千葉県柏市, 2005.11.1
- ・ 佐藤敦久: 高性能ACE阻害薬の選択とそのエビデンス, 札幌医師会五支部合同学術講演会, 札幌パークホテル, 北海道札幌市, 2005.11.8
- ・ 佐藤敦久: 高性能のACE阻害薬は他のどんな降圧薬にも負けない, 大田原支部医師会講演会, ニュー勝田屋, 栃木県大田原市, 2005.11.15
- ・ 佐藤敦久: 高性能ACE阻害薬の選択とそのエビデンス, 鹿島藤津郡地区医師会学術講演会, 武雄センチュリーホテル, 佐賀県武雄市, 2005.11.22
- ・ 佐藤敦久: アルドステロン: 基礎から臨床へ, アルドステロン研究会, リーガロイヤルホテル堺, 大阪府堺市, 2005.11.26
- ・ 佐藤敦久, 藤田敏郎: 高性能ACE阻害薬の選択とそのエビデンス, 日本高血圧学会生涯教育講演会, パレスホテル大宮, 埼玉県大宮市, 2005.11.30
- ・ 小野雅史, 佐藤敦久: 糖尿病患者の尿中Free cortisone/free cortisol比を指標とした11 $\beta$ -hydroxysteroid dehydrogenase活性へのアンジオテンシン変換酵素阻害薬の影響-アルドステロンブレイクスルーとの関連で-, 第3回 腎と高血圧 Update, 品川プリンスホテル, 東京都港区, 2005.12.3
- ・ 佐藤敦久: 抗炎症薬としてのアルドステロンブロッカーへの期待, 第5回ベイサイドCVRフォーラム, 神戸メリケンパークオリエンタルホテル, 兵庫県神戸市, 2005.12.8
- ・ 佐藤敦久: アルドステロンとRA系抑制薬, 神田医師会・千代田医師会合同学術講演会, ホテルニューオータニ, 東京都千代田区, 2005.12.14
- ・ 佐藤敦久: アルドステロンとRA系抑制薬-高性能ACE阻害薬のエビデンス-, レニン・アンジオテンシン系阻害薬を再考する Vol.3, 東京プリンスホテル, 東京都港区, 2005.12.17
- ・ 佐藤敦久, 藤田敏郎, 高井真司: 高血圧治療・臓器保護におけるACE阻害薬とARBの意義, 座談会・今日の最適治療を考える, 東京プリンスホテル, 東京都港区, 2005.12.18
- ・ 佐藤敦久: 進化する高血圧治療-カルシウム拮抗薬, ARBは差別化の時代へ-, 新潟医師会胎内支部学術講演会, 中条グランドホテル, 新潟県胎内市, 2006.1.18

- ・ 佐藤敦久：循環器疾患を考慮したRA系薬剤の選択（基調講演），エキスパートミーティング，グラントハイアット 東京，東京都港区，2006.1.26
- ・ 小野雅史，佐藤敦久：高齢で発症した抗糸球体基底膜（GBM）抗体型糸球体腎炎の1例，第13回愛宕山腎疾患カンファレンス，東京プリンスホテルパークタワー，東京都港区，2006.2.3
- ・ 佐藤敦久，猿田享男，篠村裕之，Levy BI：ACEIとARBの作用メカニズムの相違点と使い分けについて，座談会，赤坂プリンスホテル，東京都千代田区，2006.2.5
- ・ 佐藤敦久：心臓保護を考慮した降圧薬の選択，伊勢・志摩臨床集談会，伊勢地区医師会館，和歌山県伊勢市，2006.2.5
- ・ 佐藤敦久，藤田敏郎，千本松孝明，Levy BI：レニン-アンジオテンシン系 阻害薬を再考する，レニン-アンジオテンシン系 阻害薬 座談会，フォーシーズンズホテル椿山荘東京，東京都文京区，2006.2.6
- ・ 佐藤敦久：アルドステロンとRA系抑制薬-高性能ACE阻害薬のエビデンス-，田辺製薬薬理研究所学術講演会，田辺製薬薬理研究所，埼玉県戸田市，2006.2.7
- ・ 佐藤敦久：ミネラルコルチコイド受容体をターゲットとする新時代の降圧薬；アルドステロンブロッカー，第6回湘南アンジオテンシンカンファレンス，ザ・ホテル オブラファエロ，神奈川県藤沢市，2006.2.24
- ・ 佐藤敦久：心臓保護を考慮した降圧薬の選択-時代は高性能のACE阻害薬へ，学術講演会 なぜACE阻害薬を選ぶか？，京王プラザホテル八王子，東京都八王子市，2006.2.25
- ・ 佐藤敦久：心臓保護を考慮した降圧薬の選択-時代は高性能のACE阻害薬へ，燕市医師会学術講演会，燕三条ワシントンホテル，新潟県燕市，2006.3.7
- ・ 佐藤敦久：心血管病に対するACE阻害薬とARBの違いを探る，白河石川郡東白川郡医師会学術講演会，ホテルサント白河，福島県白河市，2006.3.14
- ・ 佐藤敦久，藤田敏郎：Selection of high performance ACE inhibitors and their evidences. Can ARBs be regarded as ACE inhibitors without causing dry cough?，Imidapril Asian Seminar-Revaluation of renin-angiotensin system and high performance ACE inhibitor; Imidapril-，名古屋東急ホテル・ゴシック，愛知県名古屋市，2006.3.23
- ・ 征矢耕一：コンタクトレンズトラブル解決法 感染症について，第48回日本コンタクトレンズ学会総会，パシフィコ横浜，横浜市，2005.7.10
- ・ 征矢耕一：眼表面疾患の私の診方考え方，第20城南眼科集談会，関東中央病院，世田谷区，2005.11.24
- ・ 征矢耕一：結膜炎の分類と病態，港区医師会学術講演会，港区医師会館，港区，2006.2.16
- ・ 渡邊雄介：耳鼻咽喉科医は胃食道逆流症を正しく診断，治療しているのか？，東京都耳鼻咽喉科医会 学術講演会，東京，（2005.1.27）
- ・ 渡邊雄介：第1回21世紀の酸関連疾患を見つめて，1.日常診療に潜むGERD GERDと耳鼻咽喉科疾患-PPIを処方する耳鼻咽喉科医-，東京，（2005.2.19）
- ・ 渡邊雄介：耳鼻咽喉科医はGERDを診断，治療できるのか？-耳鼻咽喉科医に必要な知識-，愛媛県耳鼻咽喉科医会学術講演会，松山，（2005.2.20）
- ・ 渡邊雄介：咽喉頭酸逆流症（LPRD）-耳鼻咽喉科医で診断治療するための知識-，第32回 鹿児島県耳鼻咽喉科学術集会，鹿児島，2005.4.14
- ・ 渡邊雄介：アシノン発売15周年 記念講演会，咽喉頭酸逆流症-どのイガイガは酸が原因？-，大阪，2005.5.11
- ・ 渡邊雄介：GERDの中の非典型的な症状-耳鼻咽喉科領域症状を中心に-，広島府中地区医師会学術講演会，広島，2005.7.27
- ・ 渡邊雄介：教育パネル6 耳・咽喉頭かたみた鼻副鼻腔疾患「喉頭かたみた鼻副鼻腔疾患」，第44回 日本鼻科学会総会，大阪，2005.10.1

- ・ 渡邊雄介：咽喉頭酸逆流症（LPRD）は耳鼻咽喉科医が診断・治療できるのか？，福岡，2005.9.2
- ・ 渡邊雄介（座長）：第10群 音声障害 I，第50回日本音声言語医学会，横浜，2005.10.28
- ・ 渡邊雄介：東京都葛飾区耳鼻咽喉科医会 特別講演，胃酸逆流によって引き起こされる様々な症状－耳鼻咽喉科領域を中心に－，第50回日本音声言語医学会，東京，2005.10.24
- ・ 渡邊雄介：耳鼻咽喉科医も診断・治療しなくてはならないGERD－多彩な症状の発現－，日本耳鼻咽喉科学会山梨方部会 研修会，甲府，2005.10.29
- ・ 渡邊雄介：声がでにくい・・・のどの症状は胃酸によるもの？－GERDの非定型的症状－，第7回茨城上部消化管研究会，水戸，2005.11.16
- ・ 渡邊雄介：声帯の形に異常のない音声障害について，帝耳会 臨床懇話会，東京，2005.11.17
- ・ 渡邊雄介：声帯の形に異常のない音声障害の取り扱い，東京都耳鼻咽喉科医会学術講演会，東京，2006.1.14
- ・ 渡邊雄介：咽喉頭酸逆流症（LPRD）－今分かっていること，分かっていること－，札幌市耳鼻咽喉科医会学術研修会，札幌，2006.2.4
- ・ 渡邊雄介：大阪と東京との音声診療の違い－悩みと希望－，第29回，9耳会，大阪，2006.2.9
- ・ 渡邊雄介：特別講演 音声障害の診断と治療，自治医科大学附属大宮病院病診連携の会，大宮2006.2.23
- ・ 渡邊雄介：GERD－その非定型症状に迫る－，胃酸逆流と耳鼻咽喉科領域の症状発現－のどのイガイガや咳－，Joint Symposium 2006，東京，2006.2.25
- ・ 渡邊雄介：第6回 和歌山嚥下フォーラム，のどのつまり感・イガイガ感と嚥下について，和歌山，2006.3.18
- ・ 高木正稔：RPL26とnucleolinによるp53の翻訳調節，小児血液腫瘍懇話会，東京医科大学，東京，2005.7.15
- ・ 高木正稔：RPL26とnucleolinによるp53の翻訳調節，国立がんセンター講演会，国立がんセンター，東京，2005.8.10
- ・ 高木正稔：RPL26とnucleolinによるp53の翻訳調節，特別セミナー，国立生育医療センター，東京，2005.12.14
- ・ 高木正稔：RPL26とnucleolinによるp53の翻訳調節，国立長寿医療センター講演会，国立長寿医療センターセミナー，名古屋大府，2006.2.3
- ・ 高木正稔：RPL26とnucleolinによるp53の翻訳調節，バイオの会，防衛医科大学校，埼玉所沢，2006.2.23
- ・ 高木正稔：p53集積におけるp53 mRNA 翻訳制御機構の解析，東京医科大学大学院研究交流セミナー，東京医科大学，東京，2006.3.27

## 学会発表

- ・ Umeda S, Tanaka Y, Iwata T et al. : Morecular Comparison of Drusen Observed in Hereditary Macular Degeneration in Cynomolgus Monkey(Macaca Fascicularis):Similarites to Age-Related Macular Degeneration in Human, American Association for Research in Vision and Ophthalmology, Convention Center, Fort Lauderdale, Fla ame, 2005.5.2
- ・ Shibuya M, Tanaka Y et al. : Differential Proteome Analysis by Isotope Ethanol Tagging of Proteins Extracted from RPE Cells Treated with Retinal Pigment Epithelial Cells Factor-1(REF-1), American Association for Research in Vision and Ophthalmology, Convention Center, Fort Lauderdale, Fla ame, 2005.5.1
- ・ Izumi K, Krosaka D, Tanaka Y et al. : Corneal Epithelial Cells Are Essential for Prevention of Myodifferentiation of Corneal Fibroblasts in a Coculture System, American Association for Research in Vision and Ophthalmology, Convention Center, Fort Lauderdale, Fla ame, 2005.5.1
- ・ Okamoto H, Iwata T, Tanaka Y et al. : Comparative Proteome Analysis of Mcura versus Peripheral Retina in Cymolgus Monkey, American Association for Research in Vision and Ophthalmology, Convention Center, Fort Lauderdale, Fla ame, 2005.5.1
- ・ Akahori M, Tanaka Y et al. : Deverpoment and Characterazation of Normal Tension Glaucoma Mouse Over Expressing

- Mutant of OPTN(E50K), American Association for Research in Vision and Ophthalmology, Convention Center, Fort Lauderdale, Fla ame, 2005.5.1
- 岩田 岳, 田中靖彦 他 : 正常眼圧緑内障マウスの作製とその病理学的, 分子生物学的解析, 第109回日本眼科学会, 国立京都国際会館, 京都, (2005.3.26)
  - 泉 加奈子, 岩田 岳, 田中靖彦 他 : ヒト角膜上皮・間葉系細胞共培養モデルにおける繊維芽細胞の筋繊維芽細胞化制御機構, 第109回日本眼科学会, 国立京都国際会館, 京都, (2005.3.26)
  - 小野雅史, 大山邦雄 他 : 心圧迫により心原性ショックを来たした食道裂孔ヘルニアの一剖検例, 日本内科学会関東地方会, 東京, 2005.5.14
  - 小野雅史, 大山邦雄 他 : 高齢で発症した抗糸球体基底膜抗体型糸球体腎炎の一例, 日本腎臓学会東部会, 新潟, 2005.10.8
  - Ikeda N, Honda H, Hayashi A, Usuda J, Tsuboi M, Ohira T, Hirano T, Kato H : Early detection of intraepithelial lesions of the bronchus using autofluorescence bronchoscopy, 1st Asian Pacific Congress on Bronchology and Interventional Pulmonology, Makuhari Chiba, 2005.11.25-26
  - Tsuboi M, Ohira T, Ikeda N, Hayashi A, Usuda J, Uchida O, Kaijwara N, Hirano T, Kato H : Preoperative induction chemotherapy with weekly paclitaxel and carboplatin for clinical-stage IB-III A non-small cell lung cancer, 11th World Conference on Lung cancer, Barcelona Spain, 2005.7.5
  - Tsuboi M, Komagata M, Ohira T, Honda T, Harada M, Hayashi A, Kaijwara N, Uchida O, Ikeda N, Kato H : A extended-long postero-lateral approach to Superior Sulcus Tumor with vertebral invasion in a long-term survivor with en-bloc resection, 11th World Conference on Lung cancer, Barcelona Spain, 2005.7.6
  - Tsuboi M, Nagatsuka Y, Takahashi M, Uchida O, Ohira T, Hayashi A, Ikeda N, Kato H : Optical Coherence Tomography in the Diagnosis of Trachio-Bronchial Lesions; preclinical study and clinical experiences—a preliminary report, 1st Asian Pacific Congress on Broncology and Interventional Pulmonology, Makuhari Chiba, 2005.9.27
  - Ohira T, Tsuboi M, Hirano T, Usuda J, Miyajima K, Suga Y, Honda H, Nakajima N, Kataba H, Ikeda N, Nishio K, Saijo N, Kato H : Characterization of Gefitinib sensitive human lung cancer cell lines, 51st International college of Surgeons Japan Section, Sapporo, 2005.5.28
  - Ohira T, Tsuboi T, Hirano T, Usuda J, Miyajima M, Suga Y, Honda H, Kataba H, Ikeda N, Kato H : Comparison between clinical non-small-cell lung cancer (NSCLC) samples obtained during surgery and gefitinib (IRESSA) - sensitive NSCLC cell lines characterized in vitro, 11th World Conference on Lung Cancer, Barcelona, Spain, 2005.7.3-6
  - Miyajima K, Toyooka S, Maruyama R, Suzuki M, Shigematsu H, Tsuboi M, Ikeda N, Hirano T, Kato H, Gazdar AF : Epigenetic regulation of the cyclooxygenase-2 (COX-2) gene in lung cancer cell lines, 11th World Conference on Lung Cancer, Barcelona Spain, 2005.7.5
  - Miyajima K, Suga Y, Ohira T, Tsuboi M, Ikeda N, Hirano T, Kato H, Toyooka S, Maruyama R, Suzuki M, Shigematsu H, Gazdar A F : Aberrant methylation of RASSF1A in small-sized lung adenocarcinoma and its relationship to clinicopathological features, 72nd American College of Chest Physicians, Montreal Canada, 2005.10.31
  - Usuda J, Ohtani K, Yamada K, Ohira T, Tsuboi M, Ikeda N, Hirano T, Furukawa K, Okunaka T, Kato H : Expression of vascular endothelial growth factor (VEGF) casused recurrence of human lung cancer in vivo after Photodynamic therapy (PDT) , 16th ISLSM, Tokyo, 2005.9.7-10
  - Suga Y, Miyajima K, Honda H, Usuda J, Hayashi A, Ohira T, Tsuboi M, Ikeda N, Hirano T, KatoH : Detection of aberrant p16 promoter methylation of tumor suppressor genes in serum DNA from non-small cell lung cancer patients using real-time PCR, 11th World Conference on Lung Cancer, Barcelona, Spain, 2005.7.4

- Suga, Y, Miyajima K, Honda H, Usuda J, Hayashi A, Ohira T, Tsuboi M, Ikeda N, Hirano T, Kato H : Usefulness of detection of p16 promoter methylation of tumor suppressor genes in serum DNA from non-small cell lung cancer patients using real-time PCR, 72nd American College of Chest Physicians, Montreal Canada, 2005.11.2
- Ikeda N (Vice President) (座長) : 12th International Conference on Screening for Lung Cancer, Nara, 2005.4.8-10
- Ikeda N (座長) : 1st Asian Pacific Congress on Bronchology and Interventional Pulmonology, Makuhari, Chiba, 2005.11.25-26
- 池田徳彦, 内田 修, 長東美貴, 木村雅一, 坪井正博, 大平達夫, 平野 隆, 加藤治文 : 高齢者 (80歳以上) に対する外科治療の検討, 第22回日本呼吸器外科学会総会, 京都, 2005.6.2-4
- 大平達夫, 垣花昌俊, 菅 泰博, 中嶋英治, 宮島邦治, 坪井正博, 池田徳彦, 平野 隆, GemmillRobert, DrabkinHarry, 加藤治文 : 肺癌における分子生物学的手法を用いた診断・治療の有用性, 第105回日本外科学会定期学術集会, 名古屋国際会議場, 名古屋, 2005.5.11-13
- 大平達夫, 池田徳彦, 臼田実男, 菅 泰博, 宮島邦治, 本多英俊, 角田佳彦, 坪井正博, 平野 隆, 加藤治文 : 肺癌再発例に対する再切除症例の検討, 第22回日本呼吸器外科学会総会, 京都, 2005.6.2-4
- 筒井英光, 林 博樹, 臼田実男, 渋谷 洋, 宮島邦治, 坪井正博, 池田徳彦, 平野 隆, 伊藤公一, 加藤治文 : 甲狀腺癌気道浸潤に対するステント治療, 第105回日本外科学会定期学術集会, 名古屋国際会議場, 名古屋, 2005.5.12
- 内田 修, 木村雅一, 中嶋英治, 梶原直央, 林 和, 宮島邦治, 高橋 充, 坪井正博, 池田徳彦, 平野 隆, 加藤治文 : 肺癌術後肺塞栓症の検討, 第105回日本外科学会定期学術集会, 名古屋国際会議場, 名古屋, 2005.5.11
- 内田 修, 木村雅一, 長東美貴, 梶原直央, 林 和, 宮島邦治, 大平達夫, 坪井正博, 池田徳彦, 平野 隆, 加藤治文 : 臨床病期 I 期小細胞肺癌手術症例の検討, 第22回日本呼吸器外科学会総会, 京都, 2005.6.2
- 梶原直央, 内田 修, 河野貴文, 林 和, 宮島邦治, 緒方 潔, 長東美貴, 高橋 充, 林 博樹, 鈴木明彦, 木村雅一, 坪井正博, 池田徳彦, 平野 隆, 加藤治文 : chemokine制御による肺移植後拒絶反応に対する治療戦略, 第22回日本呼吸器外科学会総会, 京都, 2005.6.3
- 臼田実男, 井上達哉, 大谷圭志, 筒井英光, 山田公人, 大平達夫, 坪井正博, 池田徳彦, 平野 隆, 古川欣也, 奥仲哲弥, 加藤治文 : 局所進行肺癌に対するあらたな治療戦略—光線力学的治療の適応拡大, 第105回日本外科学会定期学術集会, 名古屋国際会議場, 名古屋, 2005.5.11-13
- 臼田実男, 大谷圭志, 井上達哉, 山田公人, 大平達夫, 坪井正博, 池田徳彦, 平野 隆, 古川欣也, 奥仲哲弥, 加藤治文 : 肺癌に対する光線力学的治療の適応拡大—VEGF発現のメカニズム解析から, 第22回日本呼吸器外科学会総会, 京都, 2005.6.2-4
- 臼田実男, 大谷圭志, 井上達哉, 山田公人, 大平達夫, 坪井正博, 池田徳彦, 平野隆, 古川欣也, 奥仲哲弥, 加藤治文 : 固形がんに対する光線力学的治療の新たな適応拡大, 第27回日本癌局所療法研究会, 大阪, 2005.7
- 臼田実男, 大谷圭志, 井上達哉, 筒井英光, 平田剛史, 大平達夫, 坪井正博, 池田徳彦, 平野 隆, 古川欣也, 奥仲哲弥, 加藤治文 : 肺癌に対する光線力学的治療の基礎的研究 : Photofrin vs Laserphyrin, 第46回日本肺癌学会総会, 千葉, 2005.11.25-26
- 長東美貴, 林 和, 臼田実男, 梶原直央, 内田 修, 大平達夫, 坪井正博, 池田徳彦, 平野 隆, 加藤治文 : OCT (optical coherence tomography : 光干渉断層法による中枢気道病変の診断, 第58回日本胸部外科学会総会, 岡山, 2005.10.7
- 長東美貴, 林 和, 坪井正博, 臼田実男, 梶原直央, 内田 修, 大平達夫, 池田徳彦, 平野 隆, 加藤治文 : OCT (optical coherence tomography : 光干渉断層法による気管支切除断端の評価, 第46回日本肺癌学会総会, 千葉, 2005.11.25
- 鈴木明彦, 筒井英光, 久保田光博, 林 博樹, 宮島邦治, 池田徳彦, 平野 隆, 加藤治文 : Thiamazoleに対し薬剤抵

- 抗性を示したバセドウ病の一例, 第17回日本内分泌外科学会, 東京, 2005.4.17-19
- ・菅 泰博, 臼田実男, 宮島邦治, 大平達夫, 坪井正博, 池田徳彦, 平野 隆, 芹沢博美, 加藤治文, 好酸球増多症を伴った浸潤性胸腺腫の1例, 第30回呼吸器外科学会総会, 京都, 2005.6.2
  - ・菅 泰博, 宮島邦治, 本多英俊, 臼田実男, 林 和, 大平達夫, 坪井正博, 池田徳彦, 平野 隆, 加藤治文: Real-time PCRを用いた非小細胞肺癌患者血清中のp16 methylationの検出, 第30回日本外科系連合学会学術集会, 東京, 2005.6.24
  - ・菅 泰博, 宮島邦治, 本多英俊, 大谷圭志, 片場寛明, 臼田実男, 大平達夫, 坪井正博, 池田徳彦, 平野 隆, 加藤治文: Pancoast肺癌に対する2椎体全置換術を伴う右上葉切除術, 第67回日本臨床外科学会総会, 東京, 2005.11.9-11
  - ・池田徳彦 (座長): 第22回日本呼吸器外科学会総会, 京都, 2005.6.2-4
  - ・池田徳彦 (座長): 第46回日本肺癌学会総会, 千葉, 2005.11.25-26
  - ・池田徳彦 (座長): 第97回ACCP日本支部会定期教育講演会, 2005.9.17
  - ・岩崎康夫, 朝本俊司, 神保洋之 他2名: 潜在性脊髄閉鎖不全症の診断-tell-tale lesionは何を示唆するか, 第23回日本こども病院神経外科医会, 大阪リバーサイドホテル, 大阪市, 2005.11.12
  - ・畑山和己, 福井康之, 岩崎康夫 他3名: 脊椎・脊髄外科疾患に対する施設の役割と将来的展望, 第64回日本脳神経外科学会総会, パシフィコ横浜, 横浜市, 2005.10.5
  - ・神保洋之, 光山哲滝, 岩崎康夫 他2名: 脊髄慢性硬膜下血腫の治療経験と文献的考察, 第64回日本脳神経外科学会総会, パシフィコ横浜, 横浜市, 2005.10.5
  - ・光山哲滝, 朝本俊司, 岩崎康夫 他4名: 化膿性脊椎・椎間板炎に対する術後成績の検討, 第64回日本脳神経外科学会総会, パシフィコ横浜, 横浜市, 2005.10.5
  - ・朝本俊司, 福井康之, 岩崎康夫 他4名: 頸椎脊柱管狭窄症に対する椎弓再建の成績: 片開き式と縦割式椎弓形成術の比較検討, 第64回日本脳神経外科学会総会, パシフィコ横浜, 横浜市, 2005.10.7
  - ・鎌田信悦 (座長): 臨床腫瘍3, 日本耳鼻咽喉科学会, リーガロイヤルホテル, 大阪市, 2005.5.19
  - ・鎌田信悦 (座長): シンポジウム「頭頸部癌治療における再生医療」, 日本頭頸部癌学会, 京王プラザホテル, 東京都, 2005.6.17
  - ・鎌田信悦 (座長): シンポジウム「Reconstruction Following Surgery for Advanced Cancer of the Oral Cavity」, 国際耳鼻咽喉科学会, ローマ コンベンションセンター, ローマ, 2005.6.27
  - ・鎌田信悦 (座長): パネル「形成外科領域の一例に学ぶ」, 日本頭蓋底外科学会, 千里ライフサイエンスセンター, 大阪市, 2005.7.8
  - ・鎌田信悦 (座長): シンポジウム「口腔癌の最新治療」, 日本癌治療学会, 名古屋国際会議場, 名古屋市, 2005.10.25
  - ・鎌田信悦 (座長): 一般講演, 中咽頭癌, 日本気管食道学会, 京都国際会議場, 京都市, 2005.11.17
  - ・鎌田信悦 (座長): 一般講演, 鼻副鼻腔がん, 日本頭頸部外科学会, 翠香園, 久留米市, (2005.1.26)
  - ・Suzuki Y, Matsuda J, Nanba E et al.: A new molecular therapy for lysosomal storage diseases, EPNS (European Paediatric Neurology Society) Congress 2005, Goteborg Sweden, 2005.9.14-17
  - ・Suzuki Y, Takamura A, Higaki K, Matsuda J et al.: Impairment of Trk receptor-mediated signaling in G<sub>M1</sub>-gangliosidosis mouse brain, 第78回日本生化学会大会, 神戸, 2005.10.19-22
  - ・鈴木義之, 一ノ宮悟史, 渡辺浩史, 松田潤一郎 他: 遺伝子組換えG<sub>M1</sub>-ガングリオシドーシスモデルマウスの神経学的評価, 第48回日本先天代謝異常学会, 熊本市, 2005.11.16-18
  - ・鈴木義之, 大橋英美子, 檜垣克己, 山本浩一 他: ヒトG<sub>M1</sub>-ガングリオシドーシス遺伝子変異解析とケミカルシャペロン療法, 第48回日本先天代謝異常学会, 熊本市, 2005.11.16-18

- ・ 鈴木義之, 高村歩美, 檜垣克己, 山本浩一 他 : マウスモデル細胞を用いたG<sub>M1</sub>-ガングリオシドーシスの解析, 第11回ライソゾーム病研究会, 東京, 2005.12.2
- ・ Suzuki Y, Ichinomiya S, Watanabe H et al. : Neurological examination of genetically engineered G<sub>M1</sub>-gangliosidosis model mice, British Paediatric Neurology Association XXXII Annual Conference, Bristol, 2006.1.18-20
- ・ 小山美恵, 植田 恵, 高山 豊 : MCIからアルツハイマー病へ進行した例での塩酸ドネペジル服薬の効果—認知面と生活面の検討—, 第29回日本神経心理学会総会, 京都大学吉田キャンパス, 京都市, 2005.9.22
- ・ 服部一紀, 飯田勝之, 常楽 晃 他3名 : ラット膀胱発癌モデルにおけるCOX-2阻害剤, EGF受容体キナーゼ阻害剤の発癌予防効果, 第93回日本泌尿器科学会総会, ホテル日航東京他, 東京都, 2005.4.14
- ・ 松井猛彦 (座長) : シンポジウム 喘息死の現状と対策—実地医家と医療環境とのコラボレーション, 第17回日本アレルギー学会春季臨床大会, ホテルグランヴィア岡山, 岡山市, 2005.6.4
- ・ 松井猛彦 (座長) : 一般演題第3グループ, 第529回日本小児科学会東京都地方会講話会, 順天堂大学有山記念講堂, 東京, 2005.5.21
- ・ 松井猛彦 (座長) : 一般演題, 第21回薬物吸入療法研究会, パレスホテル東京, 東京, 2005.7.9
- ・ 松井猛彦 (座長) : 教育セミナー, 第42回日本小児アレルギー学会, フェニックス・プラザ, 福井市, 2005.11.19
- ・ 真船健一 (座長) : 胃腫瘍 : 臨床20, 第91回日本消化器病学会総会, 東京国際フォーラム, 東京, 2005.4.14
- ・ Mafune K, Cho Y-K (Chairpersons) : EG Junction, 6<sup>th</sup> International Gastric Cancer Congress, Pacifico Yokohama, Yokohama, 2005.5.5
- ・ Mafune K, Shimoyama S et al. : Clinicopathologic Study of Siewert Type II Adenocarcinoma, 6<sup>th</sup> International Gastric Cancer Congress, Pacifico Yokohama, Yokohama, 2005.5.5
- ・ Yamaguchi H, Hiki N, Mafune K 他8名 : Laparo-assisted pylorus preserving gastrectomy can be a standard surgery for early gastric cancer, 6<sup>th</sup> International Gastric Cancer Congress, Pacifico Yokohama, Yokohama, 2005.5.6
- ・ Yoshizawa N, Mafune K, Kubota K 他6名 : Diagnosis and clinical management of gastric gastrointestinal stromal tumors (GISTs), 6<sup>th</sup> International Gastric Cancer Congress, Pacifico Yokohama, Yokohama, 2005.5.6
- ・ 真船健一, 下山省二, 久保田啓介 他8名 : Siewert II型早期胃癌の検討, 第77回日本胃癌学会総会, パシフィコ横浜, 横浜, 2005.5.7-8
- ・ 山口浩和, 比企直樹, 真船健一 他8名 : 標準手術となりえる早期胃癌に対する腹腔鏡補助下幽門保存胃切除, 第77回日本胃癌学会総会, パシフィコ横浜, 横浜, 2005.5.7-8
- ・ 真船健一 (座長) : 食道癌 (周術期管理), 第105回日本外科学会定期学術総会, 名古屋国際会議場, 名古屋, 2005.5.12
- ・ 神森 眞, 田久保海誉, 真船健一 他5名 : 食道培養細胞を用いたQ-FISH (quantitative fluorescence in situ hybridization) によるテロメア長測定の検討, 第105回日本外科学会定期学術総会, 名古屋国際会議場, 名古屋, 2005.5.12
- ・ 吉澤奈央, 真船健一, 久保田啓介 他6名 : ワークショップ (2) . GISTに対する治療戦略 胃間葉系腫瘍とくにGISTの診断と治療, 第105回日本外科学会定期学術総会, 名古屋国際会議場, 名古屋, 2005.5.12
- ・ 比企直樹, 山口浩和, 真船健一 他4名 : 要望演題1. 生体侵襲・臓器不全の病態と治療鏡視下手術の侵襲軽減のメカニズムの解明 : 手指による腸管操作の侵襲反応への影響, 第30回日本外科系連合学会学術集会, アルディア市ヶ谷 (私学会館), 東京, 2005.6.24
- ・ 比企直樹, 山口浩和, 真船健一 他4名 : ビデオシンポジウム3. 内視鏡手術の最前線さらなる機能温存を目指して腹腔鏡補助下幽門保存胃切除術 (LAPPG), 第30回日本外科系連合学会学術集会, アルディア市ヶ谷 (私学会館), 東京, 2005.6.24

- ・比企直樹, 真船健一, 久保田啓介 他4名: 食道癌手術における腹腔鏡下胃管作製手術の多元的評価, 第59回日本食道学会, 東京ドームホテル, 東京, 2005.6.30
- ・真船健一 (座長): がんー手術2, 第59回日本食道学会, 東京ドームホテル, 東京, 2005.7.1
- ・比企直樹, 久保田啓介, 真船健一, 他7名: 腹腔鏡補助下幽門保存胃切除術症例80症例の手術の質と術後成績からみた鏡視下手術の意義, 第60回日本消化器外科学会定期学術総会, 新高輪プリンスホテル, 東京, 2005.7.21
- ・真船健一 (座長): 胃癌臨床⑧, 消化器病学会DDW-Japan 2005, 神戸国際展示場, 神戸, 2005.10.5
- ・真船健一, 野口 剛 (座長): 食道6~11, 第16回日本消化器癌発生学会総会, かごしま県民交流センター, 鹿児島, 2005.10.14
- ・真船健一 (座長): 胃・十二指腸 (悪性) 20, 第67回日本臨床外科学会総会, 新高輪プリンスホテル, 東京, 2005.11.11
- ・真船健一, 後藤田卓志 (司会): シンポジウム1: “内視鏡医と内視鏡外科医の対話” その1, 早期胃がんEMR適応下病変の治療ーESD対Laparoscopic surgeryー, 第81回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 東京ドームホテル, 東京, 2005.11.25
- ・和田郁雄, 久保田啓介, 真船健一 他3名: 進行再発胃癌に対するTS-1+低用量CDDP療法, 第43回日本癌治療学会総会, 名古屋国際会議場, 名古屋, 2005.10.25
- ・山田和彦, 久保田啓介, 真船健一 他5名: 食道癌再発に対するDocetaxel/CDDP (Nedaplatin) /5-FU3剤併用療法の評価, 第43回日本癌治療学会総会, 名古屋国際会議場, 名古屋, 2005.10.27
- ・國崎主税, 真船健一 (司会): 一般ビデオ2, 第78回日本胃癌学会総会, グランキューブ大阪 (大阪国際会議場), 大阪, 2006.3.10
- ・吉澤奈央, 真船健一, 久保田啓介 他5名: 胃間葉系腫瘍とくにGISTの診断と治療, 第2回日本消化管学会総会, 京王プラザホテル, 東京, 2006.2.12
- ・真船健一 (司会): 特別講演1 北海道大学癌診断治療学 小松嘉人「進行食道癌の治療」, 文京食道癌治療セミナー, 山の上ホテル, 東京, 2006.3.24
- ・真船健一 (司会): 特別講演2 国立がんセンター東病院 大津 敦「食道癌集学的治療の最近の話題」, 文京食道癌治療セミナー, 山の上ホテル, 東京, 2006.3.24
- ・真船健一 (座長): サージカルフォーラム (63) 食道 (遺伝子治療・免疫), 第106回日本外科学会定期学術総会, 東京国際フォーラム, 東京, 2006.3.30
- ・真船健一, 中村能人, 久保田啓介 他5名: サージカルフォーラム (72) 「免疫療法2・その他」 消化器癌におけるKIF14発現の検討, 第106回日本外科学会定期学術総会, 東京国際フォーラム, 東京, 2006.3.30
- ・佐藤敦久: 糖尿病性腎症の進展抑制を目指した降圧療法とは, 第48回日本糖尿病学会年次学術集会ランチョンセミナー25, 神戸国際会議場, 兵庫県神戸市, 2005.5.13
- ・小野雅司, 佐藤敦久, 加藤喜之, 大山邦雄: 高齢で発症した抗糸球体基底膜 (GBM) 抗体型糸球体腎炎の1例, 第35回日本腎臓学会東部学術集会, 朱鷺メッセ, 新潟県新潟市, 2005.10.8
- ・佐藤敦久: 高性能ACE阻害薬の選択とそのエビデンスーARBは咳の出ない阻害薬といえるかー, 第70回日本循環器学会総会・学術集会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, (2005.3.24)
- ・今井 豊, 由井克昌, 阿部庸子, 荻田恭子, 藍 真澄, 金子英司, 洪 秀樹, 下門顕太郎: 予後不良であった30歳代後半男性の2型糖尿病患者のearly worseningの2例, 日本糖尿病学会関東甲信越地方会, 京王プラザホテル, 東京都, 2006.1.28
- ・由井克昌 (座長): 第10回お茶の水糖尿病研究会, 明治記念館, 東京都, 2005.12.1
- ・小川 真, 渡邊雄介, 久保 武: 第7回日本音声外科研究会 左声帯の高度萎縮による失声症例, 日本音声外科研究

- 会, 大阪, (2005.1.8)
- ・中村一博, 吉田知之, 武藤孝夫, 鈴木伸弘, 渡邊雄介, 渡嘉敷亮二, 鈴木 衛: 第7回日本音声外科研究学会 喉頭枠組み手術における無挿管全静脈麻酔の有用性, 日本音声外科研究学会, 大阪, (2005.1.8)
  - ・細川清人, 渡邊雄介, 小野淳二, 笹井久徳, 松永 敦, 牟田 弘, 久保 武: 第7回日本音声外科研究学会 両側甲状披裂筋切除術施行後ボツリヌス注射を受けた症例について, 日本音声外科研究学会, 大阪, (2005.1.8)
  - ・渡邊雄介, 牟田 弘, 小野淳二, 小川 真, 松永 敦, 笹井久徳, 久保 武: 第7回日本音声外科研究学会 内転型痙攣性発声障害に対する両側甲状披裂筋切除術 術後状態について, 日本音声外科研究学会, 大阪, (2005.1.8)
  - ・渡邊雄介, 牟田 弘, 笹井久徳, 小川 真, 久保 武: 第17回日本喉頭科学学会 内転型痙攣性発声障害に対する両側甲状披裂筋切除術後 音声ピッチ・声帯振動について, 日本喉頭科学学会, 名古屋, (2005.3.18)
  - ・細川清人, 笹井久徳, 久保 武, 渡邊雄介: 第17回日本喉頭科学学会 両側甲状披裂筋切除術施行後ボツリヌス毒素注射を受けた症例について, 日本喉頭科学学会, 名古屋, (2005.3.18)
  - ・小川 真, 渡邊雄介: 第17回日本喉頭科学学会 音声改善手術が有効であった左声帯高度萎縮による失声症例, 日本喉頭科学学会, 名古屋, (2005.3.18)
  - ・本橋 玲, 渡邊雄介, 渡嘉敷亮二, 中村一博, 鈴木 衛: 第17回日本喉頭科学学会 咽喉頭酸逆流症とピロリ菌感染について, 日本喉頭科学学会, 名古屋, (2005.3.18)
  - ・笹井久徳, 渡邊雄介, 牟田 弘, 小川 真, 宮原 裕, 久保 武: 一色法及び岩村法をアレンジした片側喉頭麻痺に対する術式の考案, 第106回日本耳鼻咽喉科学会総会, 大阪, 2005.5.19
  - ・細川清人, 渡邊雄介, 今井貴夫, 花本 敦, 伊藤真人, 松永 敦, 久保 武: 声帯溝症に対する新しい外科的治療 (レーザー溝蒸散と声帯内自家脂肪注入術の併用), 第106回日本耳鼻咽喉科学会総会, 大阪, 2005.5.19
  - ・渡邊雄介, 西山信宏, 鈴木 衛: ポリープ様声帯に対する手術の一工夫, 第67回耳鼻咽喉科臨床学会, 松山, 2005.7.8
  - ・中村一博, 渡邊雄介, 渡嘉敷亮二, 岡本伊作, 吉田知之, 鈴木 衛: 内転型痙攣性発声障害に対する両側甲状披裂筋切除術, 日本耳鼻咽喉科学術集会, 横浜, 2005.10.28
  - ・小川 真, 山本佳史, 鎌倉武史, 猪原秀典, 渡邊雄介, 久保 武: 甲状披裂筋切除術により声門間隙甲大を達成した術側声帯外転障害症例の1例, 第57回日本気管食道科学会, 京都, 2005.11.17
  - ・金林秀則, 渡邊雄介, 渡嘉敷亮二, 中村一博, 鈴木 衛: LPRD (咽喉頭酸逆流症) に対するFスケールの有用性, 第57回日本気管食道科学会, 京都, 2005.11.17
  - ・中村一博, 渡邊雄介, 渡嘉敷亮二, 岡本いさく, 本橋 玲, 吉田知之, 鈴木 衛: 内転型痙攣性発声障害に対する両側甲状披裂筋切除術, 第21回西日本音声外科研究学会, 大阪, 2006.1.7
  - ・渡邊雄介 (座長): 第2回 平声会 第2群, 2006.3
  - ・光山哲滝, 朝本俊司, 神保洋之, 澤部吉春, 三須恭典, 岩崎康夫, 福井康之, 田中幸太郎, 三原結子, 土居 浩: 脊髄硬膜下血腫の一治験例, 第20回 日本脊髄外科学会, かでる2・7, 札幌市, 2005.6.8-9
  - ・三須恭典, 朝本俊司, 神保洋之, 光山哲滝, 澤部吉春, 岩崎康夫, 福井康之, 土居 浩: 無症候性の頸椎炎後に頸椎硬膜外膿瘍を来たしたと考えられる一治験例, 第20回 日本脊髄外科学会, かでる2・7, 札幌市, 2005.6.8-9
  - ・朝本俊司, 福井康之, 神保洋之, 川崎俊樹: ALSに合併した腰椎椎管狭窄症の一治験例, 第4回 京都鴨川脊椎手術研究会, ぱるるプラザ京都, 京都, 2005.5.21
  - ・土居 浩, 朝本俊司, 三須恭典, 福井康二, 岩間淳一: 仙骨部髄膜嚢腫 (meningeal cyst) 手術例の検討, 第20回 日本脊髄外科学会, かでる2・7, 札幌, 2005.6.8-9
  - ・畑山和己, 神保洋之, 光山哲滝, 朝本俊司, 岩崎康夫: 頸部内頸動脈狭窄症のプラーク性状評価におけるBlack-blood MRIの有用性, 第35回 日本脳卒中の外科学会, みなとみらい, 横浜, 2006.3.21

- ・朝本俊司, 福井康之, 神保洋之, 畑山和己, 光山哲滝, 前野晋一, 川崎俊樹, 岩崎康夫, 土居 浩: 頸椎脊柱管狭窄症に対する椎弓再建の成績: 片開き式と縦割式椎弓形成術の比較検討, 第64回 日本脳神経外科学会総会, みなとみらい, 横浜, 2005.10
- ・土居 浩, 朝本俊司, 福井康二, 三須恭典, 岩間淳一, 高橋秀暢, 阪川 肇, 黒岡雄二, 青山亮介: 脊椎・脊髄手術に対する他科の支援状況についての検討, 第64回 日本脳神経外科学会総会, みなとみらい, 横浜, 2005.10
- ・光山哲滝, 朝本俊司, 神保洋之, 福井康之, 畑山和己, 前野晋一, 川崎俊樹, 岩崎康夫, 土居 浩: 化膿性脊椎・椎間板炎に対する術後成績の検討, 第64回 日本脳神経外科学会総会, みなとみらい, 横浜, 2005.10
- ・畑山和己, 朝本俊司, 光山哲滝, 神保洋之, 福井康之, 前野晋一, 川崎俊樹, 岩崎康夫: 脊椎・脊髄疾患に対する施設の役割と将来的展望, 第64回 日本脳神経外科学会総会, みなとみらい, 横浜, 2005.10
- ・神保洋之, 朝本俊司, 光山哲滝, 畑山和己, 福井康之, 岩崎康夫: 脊髄慢性硬膜下血腫の治療経験と文献的考察, 第64回 日本脳神経外科学会総会, みなとみらい, 横浜, 2005.10
- ・朝本俊司, 福井康之, 神保洋之, 石川雅之, 光山哲滝, 前野晋一, 畑山和己, 川崎俊樹, 岩崎康夫: 潜在性二分脊椎を伴った脂肪腫術後のtethered cord syndrome, 第1回 愛知脊椎脊髄手術手技フォーラム2005, 愛知医科大学, 愛知, 2005.10
- ・朝本俊司, 福井康之, 神保洋之, 石川雅之, 光山哲滝, 畑山和己, 前野晋一, 川崎俊樹: プロ・アイスホッケー選手における頸椎flexion instabilityに対する保存的療法, 第16回 日本臨床スポーツ医学会学術会, 高輪プリンスホテル, 東京, 2005.10
- ・岩崎康夫, 朝本俊司, 神保洋之, 畑山和己, 光山哲滝: 潜在性脊髄閉鎖不全の診断 -tell-tale lesionは何を示唆するか-, 第23回 日本こども病院神経外科医会, 大阪, 2005.11
- ・石川雅之: Treatment of severe and rigid adult idiopathic scoliosis by anterior and posterior spinal fusion with hybrid segmental instrumentation. Are resection procedures necessary to achieve optimal results?, 12<sup>th</sup> International meeting on Advanced spine techniques, Canada Banff, 2005.7.8
- ・石川雅之: 高度成人期特発性側弯症に対するHybrid Segmental Instrumentation を用いた前方後方脊椎固定術, 第39回 日本側弯症学会, 東京, 2005.11.2
- ・久保正英, 蘆田龍一, 宮本礼子 他2名: Docetaxel hydrateによる薬剤性強皮症の1例, 日本皮膚科学会第188回熊本地方会, くまもと県民交流館パレアホール, 熊本県熊本市, 2006.3
- ・三村佳弘, 久保正英, 蘆田龍一 他8名: プレドニゾロン内服が奏功した小児generalized morpheaの1例, 日本皮膚科学会第188回熊本地方会, くまもと県民交流館パレアホール, 熊本県熊本市, 2006.3
- ・蘆田龍一, 佐伯秀久, 久保正英 他2名: Aneurysmal benign fibrous histiocytomaの1例, 日本皮膚科学会第803回東京地方会, 興和ホール, 東京都, 2005.11
- ・玉城善史郎, 山根謙一, 久保正英 他4名:  $\gamma$ グロブリン大量療法により皮膚硬化が著明に改善した汎発性強皮症の1例, 日本皮膚科学会第799回東京地方会, 茅場町高木ビル第一製薬本社別館, 東京都, 2005.5
- ・蘆田龍一, 玉城善史郎, 久保正英 他6名: 汎発性強皮症患者における毛細管拡張と臨床症状の相関について, 日本皮膚科学会第804回東京地方会, 弘済会館, 東京都, 2005.12
- ・浅野善英, 久保正英, 神人正寿 他4名: 限局性強皮症における血清中MMP-13濃度の臨床的意義, 日本皮膚科学会第804回東京地方会, 弘済会館, 東京都, 2005.12
- ・玉城善史郎, 蘆田龍一, 久保正英 他6名: 汎発性強皮症患者における毛細管拡張と臨床症状の相関について, 日本皮膚科学会第804回東京地方会, 弘済会館, 東京都, 2005.12
- ・久保田啓介 (座長): 胃EMR, 日本消化器内視鏡学会関東地方会, 東京ドームホテル・慶応大学, 東京, 2005.11.25
- ・神保洋之, 朝本俊司, 畑山和己 他3名: Spinal chronic subdural hematoma, 日本脳神経外科学会総会, パシフィコ横

浜, 神奈川県横浜市, 2005.10.5

- ・ 畑山和己, 神保洋之, 光山哲滝 他2名: 頸部内頸動脈の性状評価におけるBLACK-blood MRIの有用性, 日本脳卒中の外科学会, パシフィコ横浜, 神奈川県横浜市, 2006.3.21
- ・ Masatoshi Takagi, Kevin G. McLure, Michael B. Kastan. : Regulation of p53 translation and induction after DNA damage by ribosomal protein L26 and nucleolin, 96th American Association of Cancer Research Meeting, Anaheim Convention Center, Anaheim/CA/USA, 2005.4.19
- ・ 高木正稔, Michael B. Kastan : Ribosomal protein L26とnucleolinによるDNA障害後のp53翻訳および誘導調節, 第64回日本癌学会学術総会(ワークショップ), ロイトン札幌, 北海道札幌市, 2005.9.15
- ・ 佐藤正樹, 高木正稔, 海野純也, 水谷修紀: ATMとtopoisomerase II alphaの相互作用の解析, および乳児白血病発症におけるその役割, 第67回日本血液学会総会・第47回日本臨床血液学会・合同総会(ワークショップ), パシフィコ横浜, 神奈川県横浜市, 2005.9.18
- ・ 高木正稔, Michael B. Kastan : DNA障害によるp53集積における翻訳制御, 第67回日本血液学会総会・第47回日本臨床血液学会・合同総会(ワークショップ), パシフィコ横浜, 神奈川県横浜市, 2005.9.18
- ・ Masatoshi Takagi, Michael B. Kastan : Regulation of p53 translation and induction after DNA damage by Ribosomal protein L26 and Nucleolin, 1<sup>st</sup> Congress of Asian Society for Pediatric Research, 京王プラザホテル, 東京, 2005.11.26
- ・ 堀部志保, 高木正稔, 森尾友宏, 北川昌伸, 水谷修紀: 骨髄異形成症候群(MDS)の白血病への進展過程におけるDNA損傷応答の関与, 東京医科歯科大学フリーセミスター研究発表会, 東京医科歯科大学, 東京, 2006.3.4
- ・ Nishiyama N, Kawano A, Hagiwara A, Wada N, Kataoka T, Suzuki M : The importance of educational strategy in preschool age., The 5<sup>th</sup> Asia Pacific Symposium on Cochlear Implant and Related science, Hong Kong Convention and Exhibition Center, Hong Kong, 2005.11.26-28
- ・ 西山信宏, 河野 淳, 和田直子, 片岡智子, 萩原 晃, 河口幸江, 鈴木 衛: 人工内耳装用児の学校進学状況, 第50回日本聴覚医学会総会, 六本木アカデミーヒルズ, 東京, 2005.9.22-24
- ・ 西山信宏, 河野 淳, 萩原 晃, 河口幸江, 鈴木 衛: 術中NRTが無反応の小児人工内耳症例, 第15回日本耳科学会総会, 大阪グランキューブ, 大阪, 2005.10.20-22
- ・ 渡邊雄介, 西山信宏, 鈴木 衛: ポリープ様声帯手術に対する一工夫, 第67回耳鼻咽喉科臨床学会, 松山, 2005.7.8
- ・ 萩原 晃, 河野 淳, 西山信宏, 河口幸江, 鈴木 衛: 人工内耳再手術時の中耳, 内耳所見, 第15回日本耳科学会総会, 大阪グランキューブ, 大阪, 2005.10.20-22
- ・ 畑山和己, 福井康之, 朝本俊司 他: 脊椎・脊椎外科疾患に対する施設の役割と将来的展望, 第64回日本脳神経外科学会総会, パシフィコ横浜, 横浜市, 2005.10.5
- ・ 畑山和己, 神保洋之, 光山哲滝 他: 頸部内頸動脈狭窄症のブラック性状評価におけるBlack-blood MRIの有用性(優秀ポスター賞受賞), 第35回日本脳卒中の外科学会, パシフィコ横浜, 横浜市, 2006.3.21
- ・ 鈴木明彦, 河野貴文, 林 博樹, 高橋 充, 長東美貴, 緒方 潔, 林 和, 梶原直央, 内田 修, 加藤治文: Chemokine (RANTES)による肺虚血再灌流障害の抑制に関する検討, 第155回東京医科大学医学会総会, 東京医科大学病院会議室, 東京, 2005.6.4
- ・ 前野晋一, 西川雄司, 青山龍馬 他3名: MD-CTが局在診断に有用であった小児足関節色素性絨毛結節性滑膜炎の1例, 日本足の外科学会, 大宮ソニックシティ, 埼玉県大宮市, 2005.6.26
- ・ 前野晋一, 福井康之, 川崎俊樹 他6名: 膝十字靭帯ガングリオンによる可動域制限の一考察, 第31回日本関節鏡学会, びわこホール, 滋賀県大津市, 2005.12.3
- ・ 光山哲滝: 脊髄慢性硬膜下血腫の一治験例, 第20回脊髄外科学会, かでる2・7, 北海道札幌市, 2005.6.8-9
- ・ 光山哲滝: 化膿性脊椎・椎間板炎に対する術後成績の検討, 第64回日本脳神経外科学会総会, パシフィコ横浜, 神奈

川横浜市, 2005.10.5

- ・ 光山哲彦: 術前診断に難渋した後頭蓋窩脈絡叢乳頭腫の一例, 第97回日本脳神経外科学会関東地方会, 東海大学短期大学高輪校舎, 東京都港区, 2005.9.17
- ・ 宮本礼子: 乳腺下部乳癌部分切除後の上腹部皮膚脂肪弁挙上による再建法, 日本臨床外科学会, 新高輪プリンスホテル, 東京, 2005.11.10
- ・ 師田 暁: センチメルリンパ節ほどの放射能レベルまで生検すべきか, 第67回日本臨床外科学会総会, 新高輪プリンスホテル東京慈恵会医科大学外科, 東京, 2005.11.9

### 研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

- ・ 池田徳彦, 土屋了介: 新しい検診モデルの構築と検診能率の向上, 厚生労働省科学研究費, 第3次対がん総合戦略研究事業, 継続
- ・ 池田徳彦: 血液および喀痰中のバイオマーカー評価による肺癌の新しいスクリーニング, 文部省科学研究費, 基盤研究, 15591494, 継続
- ・ 鎌田信悦: 上顎・頭蓋底がんの切除と再建手術の標準化に関する研究, 厚生労働省科学研究費補助金, がん臨床研究事業, 020, 継続
- ・ 鈴木義之: ライソゾーム酵素欠損症の病態解析と新しい経口治療薬の開発, 厚生労働省厚生労働科学研究, こころの健康科学事業, 17231401, 採択
- ・ 鈴木義之: クラッペ病に対するシャペロン療法の検討, 厚生労働省厚生科学研究, 難治性疾患克服研究事業, H16-難治-02, 継続
- ・ 渡辺清明: 「DPC導入が臨床検査に及ぼす影響の検討」診断群別臨床検査のガイドラインに関する研究, 平成17年度厚生労働省科学研究費補助金, 政策科学推進研究事業, H16-政策-027, 継続
- ・ 渡辺清明: 健康診査の精度管理に関する研究, 平成17年度厚生労働省科学研究費補助金, 健康科学総合研究事業, H17-健康-008, 採択
- ・ 渡邊雄介: 本邦における高齢者の喉頭疾患とピロリ菌感染・酸逆流との関連について, 学校教師の嘔声に対する音声資源についての研究, 難聴患者様の音声障害について
- ・ 久保正英: 転写因子Fli-1の発現低下状態でのマトリックス蛋白の産生と細胞成長因子の関連, 科学研究費補助金 (若手研究(B)), 17790755
- ・ 久保田啓介: Real-time RT-PCR法の胃癌微小転移検出と早期胃癌進行度再評価, 科学研究費, 若手研究B, 15790712, 継続
- ・ 高木正稔: 遺伝性毛細血管拡張性小脳失調症Ataxia Telangiectasia責任遺伝子ATMによるDNA障害チェックポイントと白血病発症の分子機構に関する研究, 日本白血病研究基金一般研究, その他の研究助成金, 採択
- ・ 高木正稔: DNA障害における翻訳制御機構の研究, 上原記念生命科学財団研究奨励金, その他の研究助成金, 採択

### 学位取得・研究業績に対する受賞

- ・ 池田徳彦: 日本呼吸器内視鏡学会 池田賞, 気管支領域における自家蛍光診断の研究, 2005.6.10
- ・ 久保田啓介: 東京大学大学院・医学博士, 胃癌リンパ節微小転移の研究—real-time RT-PCR法の応用—, 2005.7
- ・ 高木正稔: 日本白血病研究基金一般研究賞, 遺伝性毛細血管拡張性小脳失調症Ataxia Telangiectasia責任遺伝子ATMによるDNA障害チェックポイントと白血病発症の分子機構に関する研究, 2005.12.3
- ・ 高木正稔: 上原記念生命科学財団研究奨励金, DNA障害における翻訳制御機構の研究, 2005.12.21
- ・ 前野晋一: 学位, The effect of calcium ion concentration on osteoblast viability, proliferation and differentiation in monolayer

and 3D culture, 2005.9.28

### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 田中靖彦：日本眼科学会（専門医），日本小児眼科学会（理事），日本弱視斜視学会，日本組織培養学会，日本視覚学会，日本ロービジョン学会（理事），日本医学教育学会，医療マネジメント学会，American Academy of Ophthalmology, Association for Research of Vision and Ophthalmology, American Association for Pediatric Ophthalmology and Strabismus, International Society for Genetic Eye Diseases and Retinoblastoma
- ・ 大山邦雄：日本内科学会（認定医），日本腎臓学会（認定専門医，指導医）（学術評議員），日本リウマチ学会，日本救急医学会，日本透析医学会
- ・ 福井康之：日本整形外科学会（整形外科専門医），日本整形外科学会（脊椎脊髄病医），日本脊椎脊髄病学会（脊椎脊髄外科指導医）
- ・ 松原 哲：日本循環器学会（循環器専門医），日本内科学会（内科認定医），日本適応医学会（評議員），臨床心臓電気生理研究会（幹事），東京不整脈フォーラム（教室幹事），新都心脂質・動脈硬化研究会（幹事）
- ・ 池田徳彦：International Conference on Screening for Lung（Vice President），World Association for Bronchology（理事），International Academy of Cytology（Fellow），日本胸部外科学会（認定医・指導医）（評議員），日本肺癌学会（評議員，集団検診委員，ガイドライン検討委員），日本がん検診・診断学会（評議員），日本呼吸器内視鏡学会（専門医，指導医）（評議員，専門医試験委員），日本臨床細胞学会（専門医，指導医）（評議員，学術委員，細胞検査士試験委員），International Association for Study of Lung Cancer（Acting member），日本外科学会（専門医，指導医），日本呼吸器外科学会（専門医，指導医），日本乳癌学会（認定医），日本臨床腫瘍学会（暫定指導医），日本癌治療学会，日本胸部CT検診学会
- ・ 岩崎康夫：日本脳神経外科学会（専門医）（代議員），日本脳神経外科コンgres（評議員），日本小児神経外科学会（世話人，機関紙査読委員），日本こども病院神経外科医会（世話人，第19回会長），日本小児神経学会，日本二分脊椎研究会，ニューロオンコロジーの会
- ・ 鎌田信悦：日本耳鼻咽喉科学会（専門医），日本頭頸部癌学会（理事），日本頭頸部外科学会（認定医・理事），日本気管食道学会（理事），日本頭蓋底外科学会（理事），日本嚥下学会（評議員），日本甲状腺外科学会（評議員），アジアオセアニア頭蓋底外科学会（運営委員）
- ・ 洪 秀樹：日本内科学会（認定医，指導医），日本糖尿病学会（専門医），日本循環器学会（専門医），日本臨床栄養学会（評議員），日本動脈硬化学会（評議員），日本肥満学会（評議員），国際動脈硬化学会
- ・ 鈴木義之：日本小児科学会（専門医），日本神経学会（専門医），日本小児神経学会（専門医），日本小児神経学会（名誉会員），日本先天代謝異常学会（理事），日本神経学会（評議員），日本小児科学会，日本新生児学会（功労会員），日本赤ちゃん学会（理事），日本人類遺伝学会（評議員），ライフサポート学会（評議員），日本生活支援工学会（評議員），日本遺伝子治療学会（幹事），International Child Neurology Association（Executive Board Member, Chair of Editorship Search Committee），Child Neurology Knowledge Environment（Member of Planning Committee, Search Committee, Oversight Committee），Child Neurology Society（USA）（Active Member），Society for the Study of Inborn Errors of Metabolism（Active Member），Brain & Development（Editor-in-Chief），Pediatric Neurology（Editor），Annals of Neurology（Editor），Journal of Pediatric Neurology（Editor），Child Health and Human Development（Editor），International Journal of Computational Cognition（Editor），日本先天代謝異常学会（編集委員）
- ・ 高山 豊：日本老年精神医学会（認定専門医）（広報委員），日本精神神経学会，日本神経心理学会，日本核医学会，日本高次脳機能障害学会
- ・ 服部一紀：日本泌尿器科学会（専門医，指導医），日本泌尿器科学会・日本EE学会（腹腔鏡技術認定医）

- ・ 松井猛彦：日本小児科学会（専門医）（代議員，社保委員会委員），日本アレルギー学会（専門医，指導医）（代議員，厚生労働省「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業」担当委員，保険委員会，ワーキンググループ委員，医療問題検討委員会委員，処方箋医薬品ワーキンググループ委員，気管支喘息ガイドライン専門部会ワーキンググループ委員，定款・細則検討委員会委員），日本小児アレルギー学会（評議員，理事，疫学委員会委員長，喘息死委員会委員長，社会保険委員会委員長，ガイドライン作成委員会委員），東京小児科医会（理事，社会保険委員会委員），日本小児科医会（社会保険委員会委員），日本小児保健学会，日本小児難治喘息アレルギー疾患学会
- ・ 真船健一：日本外科学会（指導医，専門医，認定医），日本胸部外科学会（指導医，認定医），日本消化器外科学会（指導医，専門医，認定医）（評議員），日本消化器病学会（指導医，専門医，認定医）（関東支部評議員），日本消化器内視鏡学会（指導医，専門医，認定医）（評議員，編集委員会査読委員），日本癌治療学会（臨床試験登録医），日本臨床腫瘍学会（暫定指導医），日本消化器癌発生学会（評議員，総務委員），日本臨床外科学会（評議員），日本食道学会（評議員，将来構想検討委員），日本胃癌学会（評議員，財務委員），日本外科系連合学会（評議員），日本癌学会，日本超音波医学会，日本内視鏡外科学会，日本乳癌学会，日本大腸肛門病学会，日本消化管学会，日本腹部救急医学会，日本高齢消化器病学会，日本外科感染症学会，日本外科代謝栄養学会，日本エンドトキシン研究会（世話人），残胃フォーラム（幹事），UGI研究会（世話人），城南消化器外科疼痛管理緩和研究会（世話人），文京食道癌治療懇話会（代表世話人），American College of Surgeons, American Association of Cancer Research, American Society of Clinical Oncology, Society of Surgical Oncology, New York Academy of Science, International Society of Surgery, International College of Surgeons, World Organization of Gastroenterology, International Society for Diseases of Esophagus, International Gastric Cancer Association
- ・ 小山秀彦：日本内科学会（認定医），日本消化器病学会（専門医），日本消化器内視鏡学会（指導医），日本超音波医学会（専門医），日本肝臓学会（専門医）
- ・ 折口信人：日本脈管学会（評議員），日本血管外科学会，日本外科学会（専門医），日本静脈学会，日本心臓血管外科学会（国際会員），日本消化器外科学会
- ・ 佐藤敦久：日本内科学会（指導医，専門医，認定医），日本腎臓学会（専門医）（学術評議員），日本内分泌学会（指導医，専門医）（代議員），日本高血圧学会（評議員），日本心血管内分泌代謝学会（評議員），日本結合組織学会（評議員）
- ・ 征矢耕一：日本眼科学会（専門医），日本眼科医会，日本角膜学会，日本医師会
- ・ 由井克昌：日本内科学会（認定医，内科専門医，指導医，糖尿病専門医，研修指導医）
- ・ 石川雅之：日本整形外科学会（専門医，脊椎脊髄病医），日本脊椎脊髄病学会（脊椎脊髄外科指導医）
- ・ 久保正英：日本皮膚科学会（専門医），城南褥瘡・創傷治癒研究会（世話人），日本臨床皮膚科医会
- ・ 久保田啓介：日本外科学会（認定医，指導医），日本消化器外科学会（認定医，専門医，指導医），日本消化器病学会（専門医），日本消化器内視鏡学会（認定医，専門医，指導医）
- ・ 神保洋之：日本脳神経外科学会（専門医）（評議員），日本脳卒中学会（専門医）（評議員）
- ・ 高木正稔：日本小児科学会（認定，専門医），日本血液学会（専門医，指導医），臨床血液学会，日本小児血液学会，日本がん学会，小児がん学会，日本分子生物学会，家族性腫瘍学会
- ・ 西山信宏：日本耳鼻咽喉科学会（専門医），日本耳科学会，日本聴覚医学会，耳鼻咽喉科臨床学会
- ・ 林 和：International Association for Study of Lung Cancer, 日本外科学会（専門医，指導医），日本胸部外科学会（認定医），日本呼吸器外科学会（専門医），日本呼吸器内視鏡学会（専門医，指導医），日本肺癌学会，日本移植学会，日本呼吸器学会，日本癌学会，日本癌治療学会，日本気管食道科学会，日本臨床外科学会，日本レーザー学会，日本内視鏡外科学会，日本臨床細胞学会，日本乳癌学会，日本臨床腫瘍学会，日本外科感染症学会
- ・ 光山哲滝：日本脳神経外科学会（専門医），日本脳神経外科コンgres, 日本脳卒中の外科学会，日本脊髄外科学会，

日本脳神経血管内治療学会

- ・ 師田 暁：日本乳癌学会（認定医）